令和　８年　３月（第１６．２版）

ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）

（健康保険・厚生年金保険適用関係届書）

厚　生　労　働　省
日 本 年 金 機 構

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
1.0	H15.04		－		初版発行	
2.0	H15.10	変更	はじめに 目次 1,6,7,9,17,18,20,22,24,32,59,82,104 113,138,158,164,169,173,174,177,178,179,180,183,185,187,189,197,200,204	1	電子申請に関する改善 ・ＦＤ提出に加えて電子申請による届書作成方法についての記載 ・電子申請の対応 ・1申請1事業所のみ収録（社労士） ・1申請20,000件以内収録 ・1申請4.5MB以内収録	
		追加	4-1	2		
		変更	77,79,83,85,89,91	3	健康保険証のカード化に伴う項目名変更	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
3.0	H16.04	変更	52,57,58,60,65,66,67,72,76,77,80-1,81,83,87,88,89,92-1,97,98,102,103,105,111,112,114,120,121,122,128,131,132,136-1,137,139,144,145,146,151,154	1	備考欄の追加に伴う変更	
		変更	35～38,177～179,198～209	2	社労士作成媒体に収録できる事業所数の変更	
		変更	はじめに,目次,1～7,9,10,173～180	3	光磁気ディスクの対応に伴う変更	
4.0	H18.05	変更	110,119,127,135,142,149	1	支払基礎日数の見直しに伴う変更	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
5.0	H20.10	変更	はじめに, 103, 104	1	全国健康保険協会設立に伴う変更	
		変更	136-1, 144, 151	2	月額変更届データレコード設定内容について記述修正	
6.0	H21.04	変更	57, 65, 72, 110, 119, 127, 136, 143, 150, 158, 164, 169	1	厚生労働大臣が社会保険・労働保険の現物給与の価値を統一して定めることとしたことに伴う変更	
6.1	H24.04	変更	4-2, 55, 57, 59, 59-1, 78, 82, 82-1, 84, 90, 100, 102, 104, 107, 113, 116, 124, 133, 138, 140, 147, 156, 160, 162, 167	1	6.0版の誤記に伴う修正	
6.2	H24.07	変更	111, 120, 128, 136-1, 144, 151	1	記載内容の変更	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
7.0	H25.10	変更	78, 79, 84, 85, 90, 91	1	喪失原因の追加に伴う変更	
		追加	はじめに, 目次, 2, 9	2	「国民年金第３号被保険者資格取得届」等の電子媒体届書への追加に伴う変更・新規追加 年金事務所提出用レコードのみ対象 ・健康保険扶養者（異動）届 ・国民年金第３号被保険者関係届（資格取得） ・国民年金第３号被保険者関係届（資格喪失） ・国民年金第３号被保険者関係届（死亡）	
		変更	172-1 ～ 172-63			
		変更	40, 44, 48, 53, 55, 57, 61, 63, 65, 68, 70, 72, 73, 80, 86, 92, 101, 108, 111, 111-1, 117, 120, 120-1, 125, 128, 128-1, 134, 136-1, 141, 144 148 151 157 163 168 199 203 207	3	記述内容の変更	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
7.1	H27.1	変更	表紙	1	7.0版から7.1版の記載変更	
		追加	2-2 5-1 174-2	2	CD／DVDの媒体追加に伴う変更・新規登録	
		変更	はじめに 1 2-1 4 5 6 7 10 17 174 174－1 177 ～ 180			
		追加	目次 172-64 ～ 172-72	3	国民年金第３号被保険者被扶養配偶者非該当届の追加に伴う変更・新規追加 ・年金事務所提出用レコードのみ対象	
		変更	2 8 9 172－7 172-61 172-62			
		変更	107 109 110 116 118 119 124 126 127	4	届書作成プログラムの改善に伴う対応 ・算定基礎届の「改定予定月」を省略項目へ変更 ・算定基礎届の「改定予定月」を省略項目へ変更したことに伴い「支払基礎日数」・「通貨によるものの額」・「現物によるものの額」の設定内容を変更	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
8.0	H28.10	変更	表紙	1	7.1版から8.0版の記載変更	
		変更	52 58 59 60 65-1 66 67 73 74 75 76	2	短時間労働者に対する厚生年金保険・健康保険の適用拡大に伴う対応（資格取得届） P52:図4.5.1-1 資格取得届データレコード（年金事務所提出）の項目構成 P57-1:表4.5.1-1 資格取得届データレコード（年金事務所提出）の項目説明項番３７「短時間労働者の取得(被保険者区分)」をデータレコードに新規追加 P58:図4.5.1-3 資格取得届データレコード（年金事務所提出）の作成例 P59:図4.5.1-2 健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届（平成28年10月現在） P60:図4.5.2-1 資格取得届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成追加 P65-1:表4.5.2-1 資格取得届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明項番３７「短時間労働者の取得(被保険者区分)」をデータレコードに新規追加 P66:　図4.5.2-2 資格取得届データレコード（健康保険組合提出）の作成例 P67:図4.5.3-1 資格取得届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成 P73:表4.5.3-1 資格取得届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明項番３７「短時間労働者の取得(被保険者区分)」をデータレコードに新規追加 P76:　図4.5.3-2 資格取得届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例	
		追加	57-1			

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
9.0	H29.1	変更	表紙	1	8.0版から9.0版の記載変更	
		変更	110 111 112 113 119 120 121 127 128 131 135 136-1 137 142 144 145 149 151 154	2	短時間労働者に対する厚生年金保険・健康保険の適用拡大に伴う対応（算定基礎届・月額変更届） P110:表4.8.1-1　算定基礎届データレコード(年金事務所提出）の項目説明　項番３４　設定内容を変更 P111:表4.8.1-1　算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明　項番３６「短時間労働者（特定適用事業所のみ）:「2」」を追加 P112:図4.8.1-3　算定基礎届データレコード(年金事務所提出）の作成例 P113:健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届（平成29年1月現在） P119:表4.8.2-1　算定基礎届データレコード(健康保険組合提出）の項目説明　項番３４　設定内容を変更 P120:表4.8.2-1　算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明　項番３６「短時間労働者（特定適用事業所のみ）:「2」」を追加 P121:図4.8.2-2　算定基礎届データレコード(健康保険組合提出）の作成例 P127:表4.8.3-1　算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出）の項目説明　項番３４　設定内容を変更 P128:表4.8.3-1　算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明　項番３６「短時間労働者（特定適用事業所のみ）:「2」」を追加	
		追加	144-1		P131:図4.8.3-2　算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出）の作成例 P135:表4.9.1-1　月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明　項番２１、２２、２３　設定内容を変更 P136-1:表4.9.1-1　月額変更届データレコード(年金事務所提出）の項目説明　項番４４　設定内容を変更 P137:図4.9.1-3　月額変更届データレコード(年金事務所提出）の作成例 P142:表4.9.2-1　月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明　項番２１、２２、２３　設定内容を変更 P144:表4.9.2-1　月額変更届データレコード(健康保険組合提出）の項目説明　項番４４　設定内容を変更 P145:図4.9.2-2　月額変更届データレコード(健康保険組合提出）の作成例 P149:表4.9.3-1　月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明　項番２１、２２、２３　設定内容を変更 P151:表4.9.3-1　月額変更届データレコード(厚生年金基金提出）の項目説明　項番４４　設定内容を変更 P154:図4.9.3-2　月額変更届データレコード(厚生年金基金提出）の作成例	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
9.0	H29.1	変更	65-1 66	3	個人番号利用に伴う健保固有項目設定内容変更（資格取得届） P65-1：表４．５．２－１ 資格取得届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明項番40 設定内容を変更 P66：図４．５．２－２ 資格取得届データレコード（健康保険組合提出）の作成例	
9.0	H29.5	追加	111 111-1 120 120-1 128 128-1	1	短時間労働者に対する厚生年金保険・健康保険の適用拡大に伴う対応（算定基礎届） P111、120、128:表4.8.1-1 算定基礎届データレコードの項目説明項番３５「また算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合」を追加 P111、120、128:表4.8.1-1 算定基礎届データレコードの項目説明項番３６「算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合は以下の区分を設定する。 ・一般の被保険者⇔ パート扱いする者：「1」 ・一般の被保険者⇔ 短時間労働者：「0」 ・パート扱いする者⇔ 短時間労働者：「1」 ・一般の被保険者⇔ パート扱いする者⇔ 短時間労働者：「1」」を追加 P111-1、120-1、128-1:表4.8.1-1 算定基礎届データレコードの項目説明 項番４５「算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨を入力してください。 パート扱いする者（短時間就労者）及び短時間労働者について入力してください。 ≪入力例≫ ４月はパート扱いする者、５、６月は短時間労働者の場合：パート４月短時間労働者５、６月」を追加	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
10.0	H30.3	変更	1～209	1	頁採番ルールの変更 なお、10.0版に係る変更履歴については、10.0の頁で記載することを原則とするが、新規登録部分は10.0版の頁（末尾に※のあるもの）で記載する。	
		変更	表紙	2	9.0版から 10.0版の記載変更	
		削除	2-1, 3-1, 4-1, 5	3	FD/MOの媒体削除に伴う変更・削除	
		変更	はじめに, 目次, 1, 2, 2-2, 3, 4, 5-1, 6～10, 16～32, 178～197			
		削除	52～172-72	4	番号制度の創設及び紙媒体届書の統合・様式変更にあわせた、電子媒体に収録して提出できる届書の全面的な整理に伴う、削除・追加	
		追加	4.5-1 ～ 4.11-10 ※			
		変更		5	番号制度の創設及び紙媒体届書の統合・様式変更に伴う変更	
	H30.10	追加	4.8-7～4.8-8, 4.8-17～4.8-18, 4.8-27～4.8-28	1	標準報酬月額の随時改定における新たな保険料算定の追加対応	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
11.0	H31.4	変更	表紙	1	10.0版から 11.0版の記載変更	
		変更	4-5-3, 4-5-5, 4-5-12, 4-5-14, 4-5-20, 4-5-22, 4-5-25, 4-6-3, 4-6-4, 4-6-5, 4-6-10, 4-6-11, 4-6-17, 4-6-18, 4-6-19, 4-7-4, 4-7-15, 4-7-16, 4-7-26, 4-7-27, 4-8-4, 4-8-5, 4-8-14, 4-8-15, 4-8-24, 4-8-25, 4-9-4, 4-9-12, 4-9-19, 4-10-3, 4-10-4, 4-10-6, 4-10-7, 4-10-10, 4-10-11, 4-10-12, 4-10-13, 4-10-14, 4-10-16, 4-11-2, 4-11-3, 4-11-5, 4-11-6, 4-11-9, 4-11-10, 4-11-11	2	新元号対応に伴う変更	
		変更	4.8-8, 4.8-18, 4.8-28	3	標準報酬月額の随時改定における新たな保険料算定の追加対応	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
11.0	H31.4	変更	4.5-4	4	項目名及び項目設定内容変更	
11.1	R1.8	変更	4.6-5 4.6-12 4.6-19	1	社会保障協定発効に伴う設定内容変更	
			5.4-22 5.4-26 5.4-30	2	記述内容の変更	
11.2	R2.4	変更	4.10-9, 4.10-12, 4.10-16 4.11-8, 4.11-11	1	被扶養者における国内居住要件の追加対応	
		変更	1.3-1	2	記述内容の変更	
12.0	R2.12	変更	4.10-1 4.10-2 4.10-9 4.10-12 4.10-13 4.10-14 4.10-16 4.10-17 4.10-18 4.10-21 4.10-22 4.10-23 4.10-24 4.10-26 4.10-27 4.11-12 4.11-13 4.11-14 4.11-15	1	被扶養者における国内居住要件の追加対応	
			4.6-4 4.6-7 4.6-11 4.6-18	2	社会保障協定による喪失に係る喪失原因の追加対応	
13.0	R4.3	変更	3.3-3 3.3-4	1	ＣＳＶファイルの容量等の上限拡大に伴う変更	
			4.6-4 4.6-11 4.6-18	2	資格喪失届の喪失原因欄の記述変更	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
14.0	R4.10	変更	4.10-1 4.10-2 4.10-24 4.10-26 4.11-1 4.11-14	1	届出意思確認済項目の追加に伴う変更	
		追加	4.12 4.13	2	「産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届」、「育児休業等取得者申出書（新規・延長）/終了届」の新規追加	
		変更	はじめに 目次 1.2-2 3.3-2 3.3-3 3.3-4 5.3-2	3	「産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届」、「育児休業等取得者申出書（新規・延長）/終了届」の追加に伴う記述内容の変更	
15.0	R6.12	変更	4.5-1 4.5-7 4.5-8 4.5-9 4.10-1 4.10-2 4.10-24 4.10-26 4.10-27	1	健康保険被保険者証廃止に伴う変更	
		変更	4.10-24 4.10-26 4.10-27 4.11-14 4.11-15	2	届出意思確認済項目の設定変更	
16.0	R6.12	変更	4.5-10 4.5-16 4.5-17	1	「資格取得届・70歳以上被用者該当届（健康保険組合提出用）」の「資格確認書発行要否」項目追加に伴う変更	
16.1	R7.12	変更	4.5-10 4.5-16 4.6-1 4.6-5 4.6-8 4.6-12 4.6-13 4.6-15 4.6-19 4.7-13 4.7-21 4.8-12 4.8-19 4.9-10 4.9-14	1	健康保険被保険者証の有効期限到来に伴う項目名称変更	

変　更　履　歴　表

電子媒体届書作成仕様書（ＣＤ／ＤＶＤ仕様書）
ＣＳＶ形式届書作成仕様書（電子申請）

版数	変更年月日	変更区分	変更頁	変更項番	変更内容（変更理由）	記　事
16.2	R8.3	変更	4.1-6 4.1-8 4.3-9 4.3-10 4.3-12 4.5-10 4.5-16 4.6-8 4.6-13 4.6-14 4.7-12 4.7-21 4.7-22 4.8-11 4.8-19 4.8-20 4.9-9 4.9-14 4.9-15 5.4-24 5.4-26 5.4-27			

はじめに

本書は、日本年金機構事務センター（年金事務所）（以下「年金事務所」という。）、健康保険組合、厚生年金基金に「紙」で提出している以下の届出内容を媒体に収録する方法を規定するものである。

本書では以降、コンパクトディスクをＣＤ、デジタルバーサタイルディスクをＤＶＤと記述する。

本書で規定する媒体は、以下の３つの媒体である。

（１）電子媒体届書ＣＤ

（２）電子媒体届書ＤＶＤ

（３）ＣＳＶ形式届書ファイル（電子申請用ファイル）

以下の３種類の提出先について規定する。

（１）年金事務所提出

（２）健康保険組合提出

（３）厚生年金基金提出

提出可能な届出内容については以下の通りである。

（１）年金事務所提出

下記の届出内容が電子媒体届書ＣＤ、電子媒体届書ＤＶＤ及びＣＳＶ形式届書ファイルに混在して収録することが可能である。

・健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届／厚生年金保険70歳以上被用者該当届

・健康保険・厚生年金保険被保険者資格喪失届／厚生年金保険70歳以上被用者不該当届

・健康保険・厚生年金保険被保険者標準報酬月額算定基礎届／
厚生年金保険70歳以上被用者算定基礎届

・健康保険・厚生年金保険被保険者標準報酬月額変更届／
厚生年金保険70歳以上被用者月額変更届

・健康保険・厚生年金保険被保険者賞与支払届／厚生年金保険70歳以上被用者賞与支払届

・健康保険被扶養者（異動）届／国民年金第３号被保険者関係届　※１

・国民年金第３号被保険者関係届　※２

・健康保険・厚生年金保険産前産後休業取得者申出書／変更（終了）届

・健康保険・厚生年金保険育児休業等取得者申出書(新規・延長）／終了届

（※１）全国健康保険協会（協会けんぽ）管掌健康保険の届出が対象

（※２）健康保険組合に加入の事業所が対象

（２）健康保険組合提出

以下の５種類の届出内容が電子媒体届書ＣＤ、電子媒体届書ＤＶＤ及びＣＳＶ形式届書ファイルに収録可能である。

・健康保険被保険者資格取得届
・健康保険被保険者資格喪失届
・健康保険被保険者標準報酬月額算定基礎届
・健康保険被保険者標準報酬月額変更届
・健康保険被保険者賞与支払届

（３）厚生年金基金提出

以下の５種類の届出内容が電子媒体届書ＣＤ、電子媒体届書ＤＶＤ及びＣＳＶ形式届書ファイルに収録可能である。

・厚生年金基金加入員資格取得届
・厚生年金基金加入員資格喪失届
・厚生年金基金加入員報酬標準給与月額算定基礎届
・厚生年金基金加入員報酬標準給与月額変更届
・厚生年金基金加入員賞与標準給与支払届

また、複数事業所を兼務している社会保険労務士が届出内容を作成する場合、同じ管轄内の複数事業所分の届出内容を１枚の提出先で利用可能な媒体（ＣＤまたはＤＶＤ）に混在して収録することが可能である。

厚生労働省においては、「申請・届出等手続の電子化」サービスが利用可能となっており、現状ＣＤまたはＤＶＤに収録していたファイルを電子添付書類としてインターネットから年金事務所に申請することで届出を行うことが可能である。

事業所が１事業所分の届出内容を作成する場合は、１章から４章の記載内容に従い、社会保険労務士が複数事業所分の届出内容を作成する場合は、１章から４章に加えて５章の記載内容に従うこととする。

本書では、電子媒体届書ＣＤまたは電子媒体届書ＤＶＤによる届出のことを「ＣＤ／ＤＶＤ提出」、ＣＳＶ形式届書ファイルによる届出のことを「電子申請」と呼ぶこととする。

－目　次－

第１章　提出形態

１．１　　提出する媒体について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１．１－１
１．２　　ラベルの記載内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１．２－１
　１．２．１　　年金事務所提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１．２－２
　１．２．２　　健康保険組合提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１．２－４
　１．２．３　　厚生年金基金提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１．２－６
１．３　　電子申請について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１．３－１

第２章　ハード仕様

２．１　　ＣＤ／ＤＶＤのハード規定・・・・・・・・・・・・・・・・・・２．１－１

第３章　ソフト仕様

３．１　　ファイル名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３．１－１
　３．１．１　　年金事務所提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３．１－１
　３．１．２　　健康保険組合提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３．１－１
　３．１．３　　厚生年金基金提出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３．１－２
３．２　　ＣＤ／ＤＶＤ提出時のファイル
　　格納方法及び電子申請時の申請単位・・・・・・・・・・・・・・・３．２－１
３．３　　ファイル形式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３．３－１
３．４　　コード規定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３．４－１

第４章　項目構成・項目説明・作成例

４．１　媒体管理レコード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．１－１
４．１．１　媒体管理レコード(年金事務所提出)・・・・・・・・・・・４．１－１
４．１．２　媒体管理レコード(健康保険組合提出)・・・・・・・・・・４．１－４
４．１．３　媒体管理レコード(厚生年金基金提出)・・・・・・・・・・４．１－８
４．２　事業所識別符号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．２－１
４．３　事業所管理レコード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．３－１
４．３．１　事業所数情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．３－２
４．３．２　事業所情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．３－５
４．３．２．１　事業所情報(年金事務所提出)・・・・・・・・・・・４．３－５
４．３．２．２　事業所情報(健康保険組合提出)・・・・・・・・・・４．３－９
４．３．２．３　事業所情報(厚生年金基金提出)・・・・・・・・・・４．３－１３
４．４　データ識別符号・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．４－１
４．５　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード・・・・・・４．５－１
４．５．１　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード
(年金事務所提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．５－１
４．５．２　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード
(健康保険組合提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．５－９
４．５．３　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード
(厚生年金基金提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．５－１８
４．６　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード・・・・・４．６－１
４．６．１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード
(年金事務所提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．６－１
４．６．２　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード
(健康保険組合提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．６－７
４．６．３　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード
(厚生年金基金提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．６－１３
４．７　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード・・・・４．７－１
４．７．１　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード
(年金事務所提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．７－１
４．７．２　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード
(健康保険組合提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．
４．７．３　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード
(厚生年金基金提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．
４．８　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード・・・・４．８－１
４．８．１　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード
(年金事務所提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．８－１
４．８．２　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード
(健康保険組合提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．８－１１
４．８．３　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード
(厚生年金基金提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．８－２０
４．９　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード・・・・・４．９－１
４．９．１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード
(年金事務所提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．９－１
４．９．２　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード
(健康保険組合提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．９－７
４．９．３　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード
(厚生年金基金提出)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．９－１２
４．１０　被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届
データレコード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．１０－１
４．１０．１　被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届
データレコード(年金事務所提出)・・・・・・・・・・・・・４．１０－１
４．１１　３号関係届データレコード・・・・・・・・・・・・・・・・・４．１１－１
４．１１．１　３号関係届データレコード(年金事務所提出)・・・・・・４．１１－１
４．１２　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード ・・４．１２－１
４．１２．１　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード
(年金事務所提出)　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４．１２－１

４．１３　育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコード ・４．１３－１
４．１３．１　育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届
データレコード（年金事務所提出）　・・・・・・・・・・・４．１３－１

第５章　社会保険労務士がファイルを作成する場合・・・・・・・・・・・・・５－１

５．１　提出形態 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５．１－１
５．１．１　年金事務所提出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５．１－１
５．１．２　健康保険組合提出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・５．１－３
５．１．３　厚生年金基金提出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・５．１－５
５．２　ハード仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５．２－１
５．３　ソフト仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５．３－１
５．４　項目構成・項目説明・作成例 ・・・・・・・・・・・・・・・５．４－１
５．４．１　媒体管理レコード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・５．４－２
５．４．１．１　媒体管理レコード(年金事務所提出）・・・・・・・・５．４－２
５．４．１．２　媒体管理レコード(健康保険組合提出）・・・・・・・５．４－５
５．４．１．３　媒体管理レコード(厚生年金基金提出）・・・・・・・５．４－９
５．４．２　事業所管理レコード ・・・・・・・・・・・・・・・・・５．４－２０
５．４．２．１　事業所情報(年金事務所提出）・・・・・・・・・・・５．４－２０
５．４．２．２　事業所情報(健康保険組合提出）・・・・・・・・・・５．４－２４
５．４．２．３　事業所情報(厚生年金基金提出）・・・・・・・・・・５．４－２８

参考資料１　ＪＩＳコード→ＪＩＳコードシフト方法
参考資料２　使用可能文字一覧（２バイト文字)
参考資料３　都道府県コード一覧

第１章　提出形態

ＣＤ／ＤＶＤ提出を行う場合は、「１．１　提出する媒体について」「１．２　ラベルの記載内容」に従い、電子申請を行う場合は、「１．３　電子申請について」に従うこととする。

１．１　提出する媒体について

作成した媒体（ＣＤ／ＤＶＤ）をコピーし、コピー元の媒体を（正）として各提出先に提出する。コピーした媒体は（副）として事業所にて保管する。

※利用可能な媒体（ＣＤ／ＤＶＤ）は、提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）に 確認すること。

１．２　ラベルの記載内容

媒体（ＣＤ／ＤＶＤ）を年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金に提出する際は、収録されている内容を明確にするため、収録内容をラベルに記載し、ケースに貼付する。

またディスク本体にもラベルの記載内容と同等のものを記載すること。

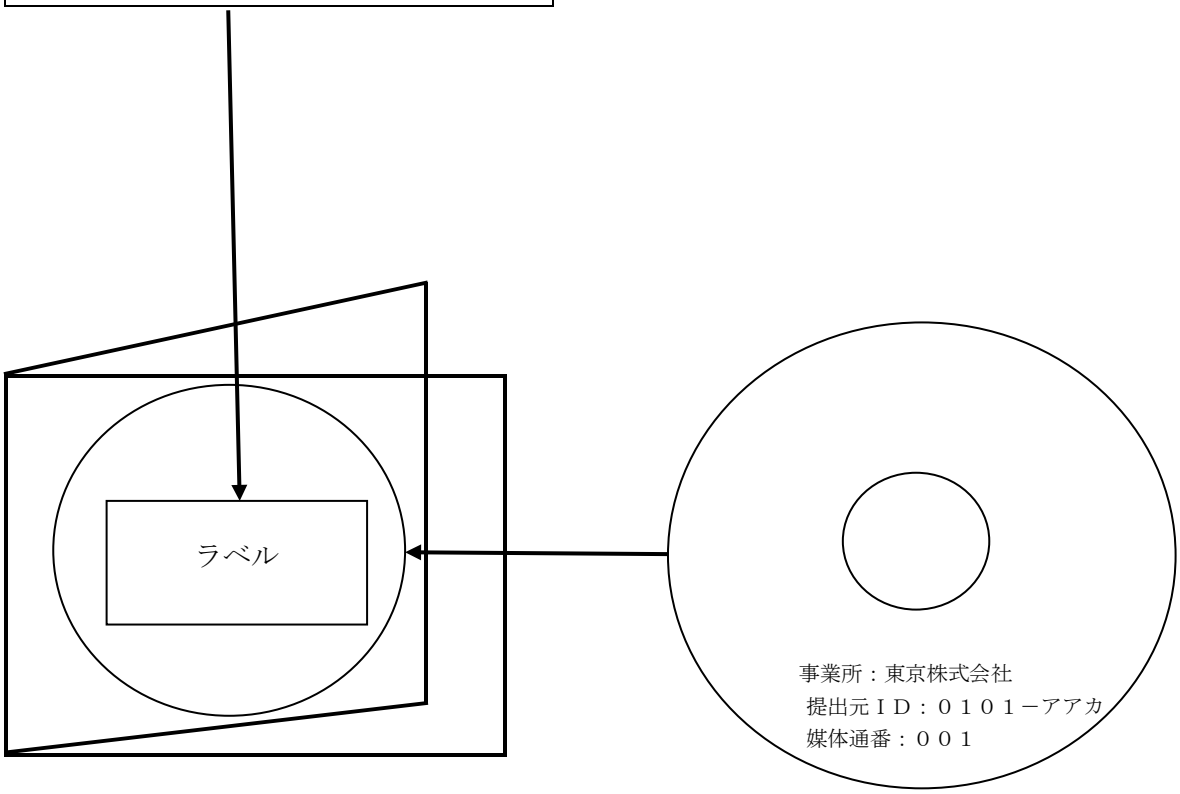
１．２．１　年金事務所提出

・ラベルの各項目の記載内容は、表１．２．１－１のとおりである。
・ＣＤラベル、ＤＶＤラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図１．２．１－１のとおりである

表１．２．１－１　ラベル（年金事務所提出）の記載内容

項番	ラベルの欄		記　載　内　容
1	タイトル		健康保険・厚生年金保険適用関係届書（正）と記載する
2	年金事務所		媒体の提出先である年金事務所名称を記載する
3	事業所 健保組合 国保組合		媒体の提出元である事業所名称を記載する ※健康保険組合、国民健康保険組合から提出する場合、「健保組合名称」、「国保組合名称」を記載する
4	識別情報	提出元ＩＤ	媒体を作成する際に設定した提出元ＩＤを記載する （提出元ＩＤの設定内容は 表４．１．１－１ 項番１、２、３ のとおりである）
		媒体通番	媒体を作成する際に設定した媒体通番を記載する （媒体通番の設定内容は 表４．１．１－１ 項番４ のとおりである ）
5	届書総件数		媒体を作成する際に収録した、以下のデータレコードの総レコード数を記載する ・資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード ・被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届データレコード ・３号関係届データレコード ・産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード ・育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコード
6	作成年月日		媒体を作成した年月日を和暦で記載する

健康保険・厚生年金保険適用関係届書（正）		
年金事務所　：　新宿		
事業所　　：　東京株式会社		
識別情報	提出元ＩＤ	媒体通番
	０１０１－アアカ	００１
届書総件数	９８０件	
作成年月日：　令和１年５月１日		



CD／DVDの表面には①事業所、②提出元ID、③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること

※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図１．２．１－１　ＣＤ／ＤＶＤラベルの記載例及びディスク本体の記載例

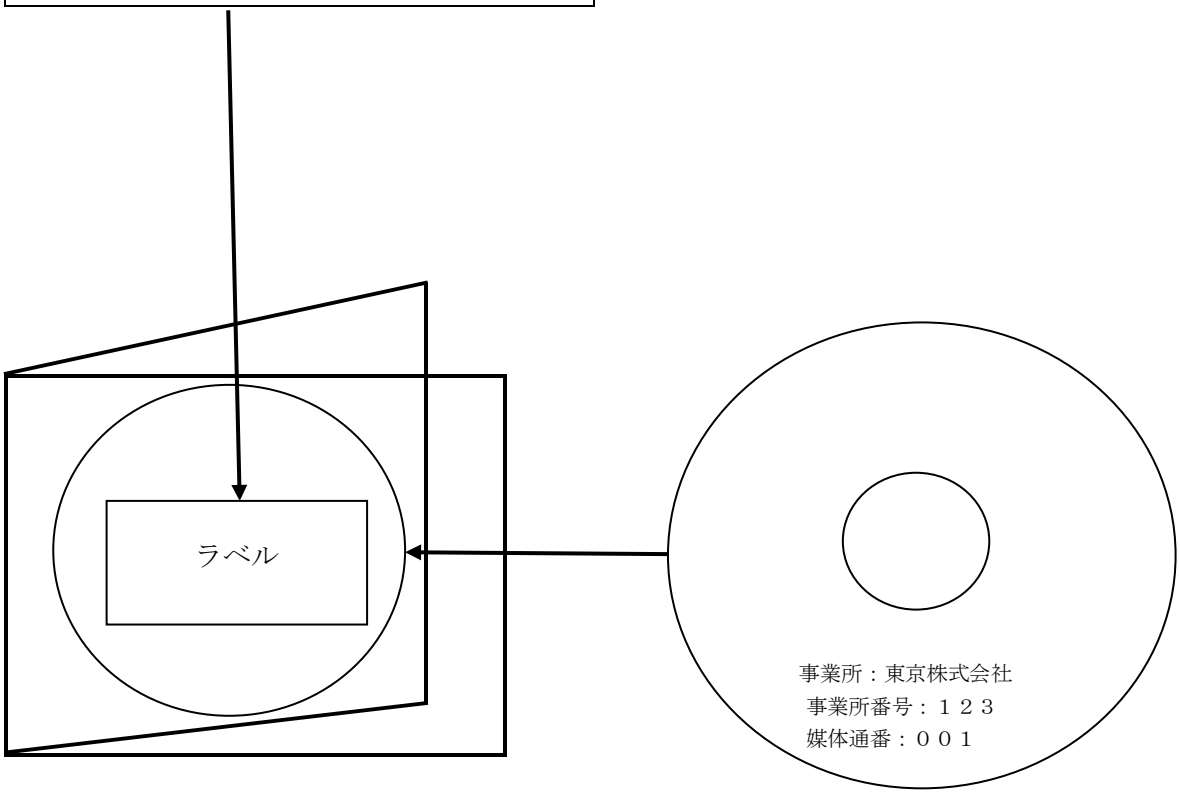
１．２．２　健康保険組合提出

・ラベルの各項目の記載内容は、表１．２．２－１のとおりである
・ＣＤラベル、ＤＶＤラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図１．２．２－１のとおりである

表１．２．２－１　ラベル（健康保険組合提出）の記載内容

項番	ラベルの欄		記　載　内　容
1	タイトル		健康保険組合適用関係届書（正）と記載する
2	健康保険組合		媒体の提出先である健康保険組合名称を記載する
3	事業所		媒体の提出元である事業所名称を記載する
4	識別情報	事業所番号	媒体を作成する際に設定した事業所番号を記載する （事業所番号の設定内容は 表４．１．２－１ 項番１ のとおりである）
		媒体通番	媒体を作成する際に設定した媒体通番を記載する （媒体通番の設定内容は 表４．１．２－１ 項番２ のとおりである ）
5	届書総件数		媒体を作成する際に収録した、以下のデータレコードの総レコード数を記載する ・資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード
6	作成年月日		媒体を作成した年月日を和暦で記載する

健康保険組合適用関係届書（正）		
健康保険組合：東京健康保険組合		
事業所　　：東京株式会社		
識別情報	事業所番号	媒体通番
	１２３	００１
届書総件数	９８０件	
作成年月日：　令和１年５月１日		



CD／DVDの表面には①事業所、②事業所番号、③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること

※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図１．２．２－１　ＣＤラベル、ＤＶＤラベルの
記載例及びディスク本体　（健康保険組合提出）の記載例

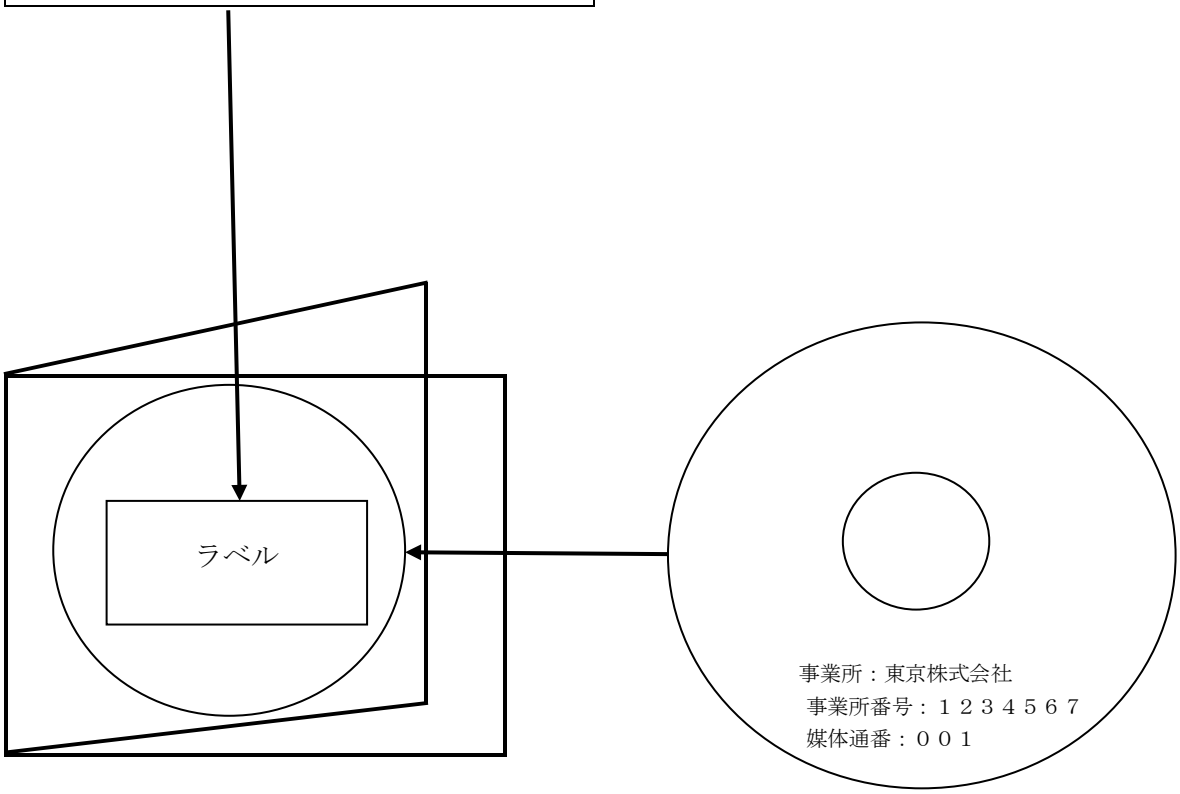
１．２．３　厚生年金基金提出

・ラベルの各項目の記載内容は、表１．２．３－１のとおりである
・ＣＤラベル、ＤＶＤラベルの記載例及びディスク
　本体の記載例は、図１．２．３－１のとおりである

表１．２．３－１　ラベル（厚生年金基金提出）の記載内容

項番	ラベルの欄		記　載　内　容
1	タイトル		厚生年金基金適用関係届書（正）と記載する
2	厚生年金基金		媒体の提出先である厚生年金基金名称を記載する
3	事業所		媒体の提出元である事業所名称を記載する
4	識別情報	事業所番号	媒体を作成する際に設定した事業所番号を記載する （事業所番号の設定内容は 表４．１．３－１ 項番１ のとおりである）
		媒体通番	媒体を作成する際に設定した媒体通番を記載する （媒体通番の設定内容は 表４．１．３－１ 項番２ のとおりである ）
5	届書総件数		媒体を作成する際に収録した、以下のデータレコードの総レコード数を記載する ・資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード
6	作成年月日		媒体を作成した年月日を和暦で記載する

厚生年金基金適用関係届書（正）		
厚生年金基金：東京厚生年金基金		
事業所　　：東京株式会社		
識別情報	事業所番号	媒体通番
	１２３４５６７	００１
届書総件数	９８０件	
作成年月日：　令和１年５月１日		



CD／DVDの表面には①事業所、②事業所番号、③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること

※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図１．２．３－１　ＣＤラベル、ＤＶＤラベルの
記載例及びディスク本体　（厚生年金基金提出）の記載例

１．３　電子申請について

作成した電子申請用ファイルは、e-Govもしくは届書作成プログラムの届書申請機能を用いてから電子添付書類として添付し、届出（電子申請）を行う。提出先が健康保険組合及び厚生年金基金については、それぞれにおいて、電子申請による受付状況を確認のうえ、実施すること。

電子申請を行うにあたり事前準備が必要となる。電子申請に関する最新情報については、日本年金機構ホームページを参照し、実施方法を確認してください。

日本年金機構ホームページ（https://www.nenkin.go.jp/）

なお、電子申請用に作成したＣＳＶ形式届書ファイルは、事業所にて保管することとする。

第２章　ハード仕様

本章で記述している内容は、ＣＤ／ＤＶＤ提出を行う場合の媒体に関するハード仕様である。電子申請を行う場合は、媒体を使用しないため、本章では省略する。

２．１　ＣＤ／ＤＶＤのハード規定

ＣＤのハード規定は表２．１－１、ＤＶＤのハード規定は表２．１－２のとおりである。

表２．１－１　ＣＤのハード規定

項番	項　目	規　定　事　項
１	記録媒体	「ＣＤ－Ｒ」、「ＣＤ－ＲＷ」とする。
２	記録方式（書き込み方式）	「ディスクアットワンス」とする。
３	フォーマット形式	「ＩＳＯ９６６０」とする。

表２．１－２　ＤＶＤのハード規定

項番	項　目	規　定　事　項
１	記録媒体	「ＤＶＤ＋Ｒ」、「ＤＶＤ－Ｒ」、「ＤＶＤ＋ＲＷ」、「ＤＶＤ－ＲＷ」とする。
２	記録方式（書き込み方式）	「ディスクアットワンス」とする。
３	フォーマット形式	「ＩＳＯ９６６０」とする。

第３章　ソフト仕様

３．１　ファイル名

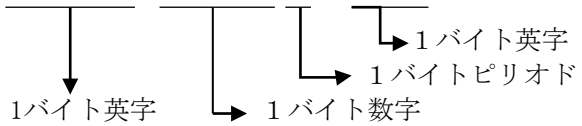
媒体に格納するファイル名は以下の通りとする。

３．１．１　年金事務所提出

（１）電子媒体届書ＣＤ／電子媒体届書ＤＶＤに格納するファイル名

ＳＨＦＤ０００６．ＣＳＶ

ＳＨＦＤ０００６．ＴＸＴ



（２）ＣＳＶ形式届書ファイルのファイル名

ＳＨＦＤ０００６．ＣＳＶ

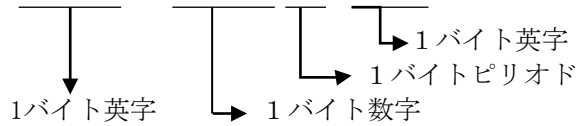
（電子申請では、拡張子がＣＳＶでなければならない）

３．１．２　健康保険組合提出

（１）電子媒体届書ＣＤ／電子媒体届書ＤＶＤに格納するファイル名

ＫＰＦＤ０００６．ＣＳＶ

ＫＰＦＤ０００６．ＴＸＴ



（２）ＣＳＶ形式届書ファイルのファイル名

ＫＰＦＤ０００６．ＣＳＶ

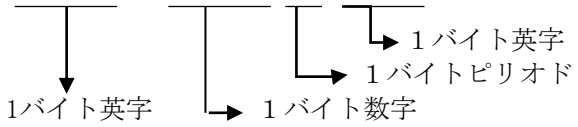
（電子申請では、拡張子がＣＳＶでなければならない）

３．１．３　厚生年金基金提出

（１）電子媒体届書ＣＤ／電子媒体届書ＤＶＤに格納するファイル名

ＫＮＦＤ０００６．ＣＳＶ

ＫＮＦＤ０００６．ＴＸＴ



（２）ＣＳＶ形式届書ファイルのファイル名

ＫＮＦＤ０００６．ＣＳＶ

（電子申請では、拡張子がＣＳＶでなければならない）

３．２　ＣＤ／ＤＶＤ提出時のファイル格納方法及び電子申請時の申請単位

ＣＤ／ＤＶＤ提出時は、媒体内に１ファイルのみ格納する。

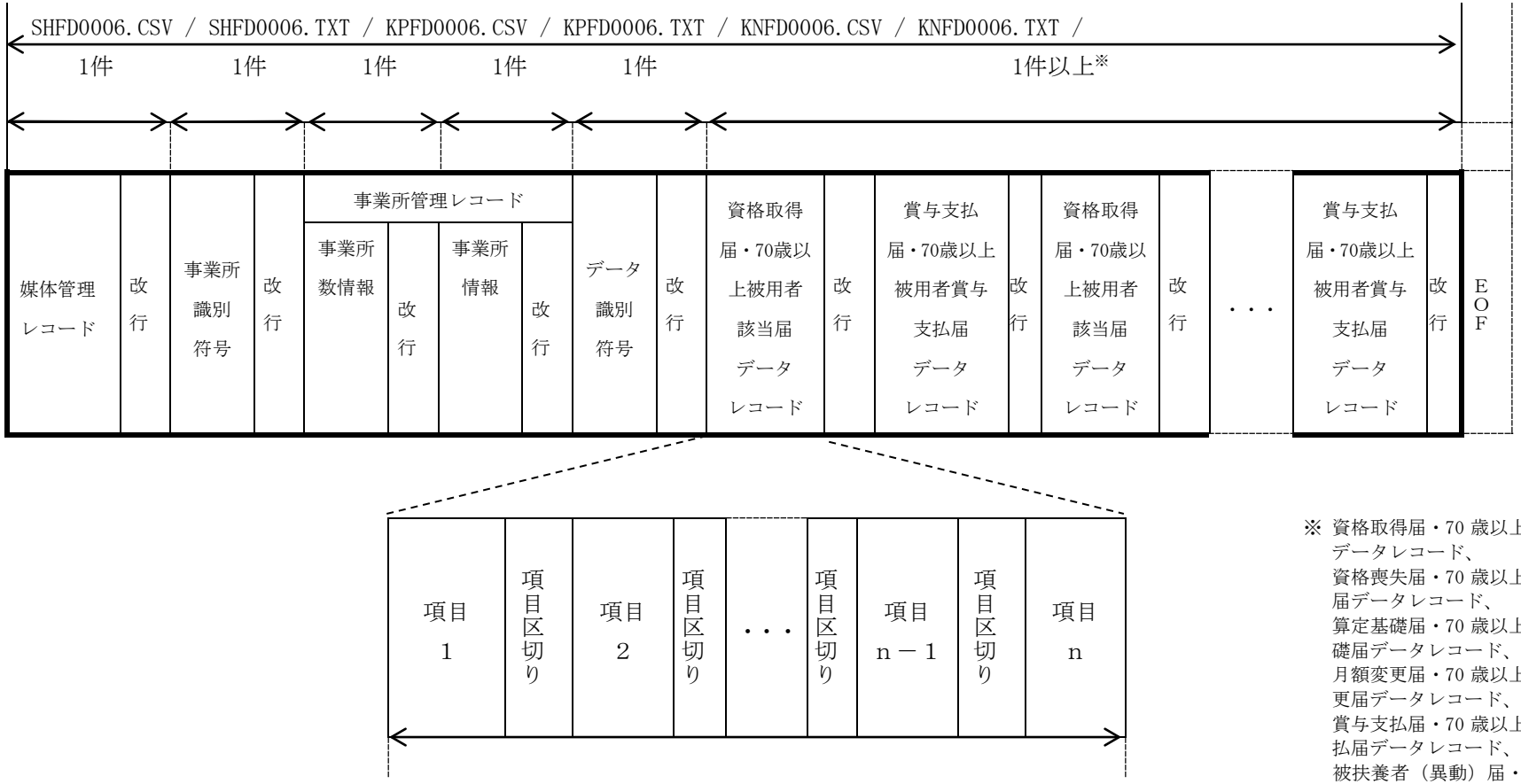
なお、SHFD0006.CSV、SHFD0006.TXT、KPFD0006.CSV、KPFD0006.TXT、KNFD0006.CSV、KNFD0006.TXT以外のファイルおよびディレクトリの作成は、不可とする。

電子申請時は、１回の申請につき、電子添付書類として１ファイル(例：″SHFD0006.CSV″)のみ添付する。

３．３　ファイル形式

提出するファイル（SHFD0006.CSV、SHFD0006.TXT、KPFD0006.CSV、KPFD0006.TXT、KNFD0006.CSV、KNFD0006.TXT）の形式は、ＣＳＶ（Comma Separated Value）形式とする。

・ファイルの構成図は、図３．３－１のとおりである
・ファイルの構成要素は、表３．３－１のとおりである
・テキストエディタで作成した場合のファイルのイメージは、図３．３－２のとおりである



1被保険者分のデータレコード

図３．３－１　ファイルの構成図

※ 資格取得届・70 歳以上被用者該当届データレコード、
資格喪失届・70 歳以上被用者不該当届データレコード、
算定基礎届・70 歳以上被用者算定基礎届データレコード、
月額変更届・70 歳以上被用者月額変更届データレコード、
賞与支払届・70 歳以上被用者賞与支払届データレコード、
被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届データレコード、
国民年金第３号被保険者関係届データレコード
産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード
育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコードのうち、１件以上収納する
（ただし、健康保険組合提出媒体、厚生年金基金提出媒体は被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届、３号関係届、産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届、育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届は含まれない）

表３．３－１　ファイルの構成要素（1/2）

項番	名　称		概　要	記　事
1	媒体管理レコード		媒体内の情報を管理するレコードである	必ず収録する ※いずれの媒体も同様
2	事業所識別符号		媒体管理レコードと事業所管理レコードの境を示す符号である	必ず収録する “[kanri]”と設定する
3	事業所管理レコード	事業所数情報	媒体内に収録された事業所の情報を管理するレコードである	必ず収録する
		事業所情報		必ず収録する
4	データ識別符号		事業所管理レコードとデータレコードの境を示す符号である	必ず収録する “[data]”と設定する
5	データレコード ・資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード ・被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届データレコード ・３号関係届データレコード ・産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード ・育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコード		届書内容を収録するレコードであり、収録内容に対応した７種類(健康保険組合提出、厚生年金基金提出は被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届、３号関係届、産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届、育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届を除く５種類)のデータレコードが存在する	１枚のＣＤまたはＤＶＤに複数のデータレコードを混在して収録することが可能であり、収録順については順不同である 収録可能件数は９９，９９９件までとする 電子申請においては、ＣＳＶ形式届書ファイルの容量は４．５ＭＢ以下、収録件数は、２万件以下に設定する
6	項目		実際に設定するデータである	各項目の設定内容については第４章にて説明する
7	項目区切り		項目間の区切りを示す文字である	“,”（カンマ）と設定する 項目を省略する場合についても項目区切りは省略しない

表３．３－１　ファイルの構成要素（2/2）

項番	名　称	概　要	記　事
8	改行	以下の構成要素の終端を示す文字である ・媒体管理レコード ・事業所識別符号 ・事業所数情報 ・事業所情報 ・データ識別符号 ・資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード ・資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード ・算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード ・月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード ・賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード ・被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届データレコード ・３号関係届データレコード ・産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード ・育児休業等取得者申出書（新規・延長)/終了届データレコード	改行を必ず設定する 本書では「改行」を表記上分かり易くするために「↓」と表記する（「↓」を設定するのではない）
9	ＥＯＦ(ファイル終端コード)	ファイルの終端であることを表すコードである	ＥＯＦの付加は任意とする 本書ではＥＯＦをEOFと表記する

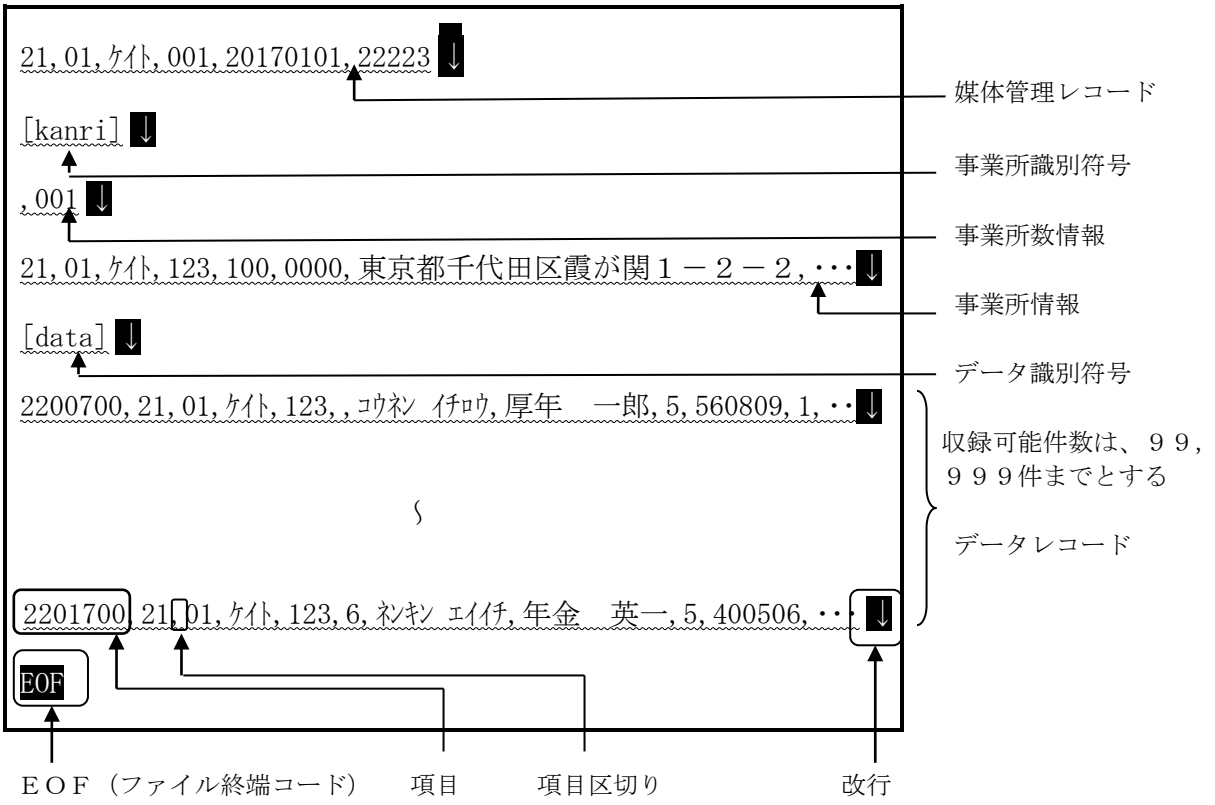


図３．３－２　ファイルのイメージ

３．４　コード規定

コード規定は表３．４－１のとおりである。

表３．４－１　コード規定

<table>
<tr><th>項番</th><th>項　目</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1バイト
文字</td><td>1バイト文字はＪＩＳ８単位符号（JIS X　0201-1976）を使用し、使用可能文字一覧は表３．４－２のとおりである（表中の空欄の箇所は使用不可とする）
なお、特殊文字のコード規定は以下のとおりである
<table><tr><th>名称</th><th>文字コード</th><th>記事</th></tr><tr><td>改行</td><td>0D0A(１６進)</td><td>－</td></tr><tr><td>ＥＯＦ</td><td>1A(１６進)</td><td>－</td></tr><tr><td>項目区切り</td><td>2C(１６進)</td><td>－</td></tr><tr><td>括弧”[”</td><td>５Ｂ</td><td>事業所識別符号、データ識別符号の設定時に使用</td></tr><tr><td>括弧”]”</td><td>５Ｂ</td><td>事業所識別符号、データ識別符号の設定時に使用</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>2</td><td>2バイト
文字</td><td>2バイト文字はシフトＪＩＳコード（JIS X　0208-1990（ＪＩＳ第一水準、ＪＩＳ第二水準）で規定された文字をシフトした文字コード）を使用し、使用可能コード範囲は表３．４－３のとおりである
また、シフトＪＩＳコードのシフト方法は巻末の参考資料１「ＪＩＳコード→シフトＪＩＳコードシフト方法」のとおりであり、使用可能文字一覧は巻末の参考資料２「使用可能文字一覧（２バイト文字）」のとおりである</td></tr>
</table>

表３．４－２　使用可能文字一覧（1バイト文字）

2^3～2^0 ＼ 2^7～2^4	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				0		P		p				ー	タ	ミ		
1				1	A	Q	a	q				ア	チ	ム		
2				2	B	R	b	r				イ	ツ	メ		
3				3	C	S	c	s				ウ	テ	モ		
4				4	D	T	d	t				エ	ト	ヤ		
5				5	E	U	e	u				オ	ナ	ユ		
6				6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7				7	G	W	g	w			ァ	キ	ヌ	ラ		
8				8	H	X	h	x			ィ	ク	ネ	リ		
9				9	I	Y	i	y			ゥ	ケ	ノ	ル		
A	LF	EOF			J	Z	j	z			ェ	コ	ハ	レ		
B					K	[	k				ォ	サ	ヒ	ロ		
C			’ (ｶﾝﾏ)		L		l				ャ	シ	フ	ワ		
D	CR		― (ﾊｲﾌﾝ)		M	]	m				ュ	ス	ヘ	ン		
E					N		n				ョ	セ	ホ	゛ (濁点)		
F					O		o				ッ	ソ	マ	゜ (半濁点)		

◎“EOF”「1A（16進）」はファイルの末尾でのみ使用可能
◎“CR”「0D（16進）」、“LF”「0A（16進）」は改行でのみ使用可能
◎“[”「5B（16進）」、“]”「5D（16進）」は事業所識別符号、データ識別符号でのみ使用可能
◎“,”「2C（16進）」は項目区切りでのみ使用可能
◎“SP”「20（16進）」はスペースでのみ使用可能

表３．４－３　使用可能コード範囲（２バイト文字）

項番	項　　目	内容	コード範囲	使用可否	使用可能コード範囲
1	特殊文字	特殊な図形をもち区切りや印などに用いる文字			
1-1	間隔		８１４０	全て使用可	８１４０
1-2	記述記号		８１４１～８１６４	全て使用可	８１４１～８１６４
1-3	括弧記号		８１６５～８１７Ａ	全て使用可	８１６５～８１７Ａ
1-4	学術記号		※1 ８１７Ｂ～８１８Ａ ８１Ｂ８～８１ＢＦ ８１Ｃ８～８１ＣＥ ８１ＤＡ～８１Ｅ８	一部使用不可	※1 ８１７Ｂ～８１８Ａ
1-5	単位記号		８１８Ｂ～８１９３ ８１Ｆ０～８１Ｆ１	一部使用不可	８１８Ｂ～８１９３
1-6	一般記号		８１９４～８１９Ｅ ８１９Ｆ～８１ＡＣ ８１Ｆ２～８１Ｆ７ ８１ＦＣ	一部使用不可	８１９４～８１９Ｅ ８１９Ｆ～８１ＡＣ
2	数字	０～９の１０文字	８２４Ｆ～８２５８	全て使用可	８２４Ｆ～８２５８
3	ローマ字	ＡＢ～Ｚの大文字及びａｂ～ｚの小文字	８２６０～８２７９ ８２８１～８２９Ａ	全て使用可	８２６０～８２７９ ８２８１～８２９Ａ
4	平仮名	旧仮名を含めた五十音、濁音、半濁音、拗音・促音の文字	８２９Ｆ～８２Ｆ１	全て使用可	８２９Ｆ～８２Ｆ１
5	片仮名	旧仮名を含めた五十音、濁音、半濁音、拗音・促音の文字	※1 ８３４０～８３９６	全て使用可	※1 ８３４０～８３９６
6	ギリシア文字	ＡΒ～Ωの大文字及びαβ～ωの小文字	８３９Ｆ～８３Ｂ６ ８３ＢＦ～８３Ｄ６	全て使用可	８３９Ｆ～８３Ｂ６ ８３ＢＦ～８３Ｄ６
7	ロシア文字	ＡБ～Яの大文字及びａб～яの小文字	８４４０～８４６０ ※1 ８４７０～８４９１	全て使用可	８４４０～８４６０ ※1 ８４７０～８４９１
8	漢字	第一水準、第二水準の文字	※2 ８８９Ｆ～９８７２ ９８９Ｆ～ＥＡＡ４	全て使用可	※2 ８８９Ｆ～９８７２ ９８９Ｆ～ＥＡＡ４
9	罫線素辺	細線、太線、混在素辺の文字	８４９Ｆ～８４ＢＥ	全て使用不可	無し
１０	その他領域	空き領域	上記以外	全て使用不可	無し

※１　ＸＸ７Ｆ（下２桁が「７Ｆ」である文字コード）は、文字コードシフト時に発生する未定義領域であるため、使用不可である

※２　ＸＸ７Ｆ（下２桁が「７Ｆ」である文字コード）、ＸＸＦＤ～ＸＸ３Ｆ（下２桁が「ＦＤ」～「３Ｆ」である文字コード）、Ａ０ＸＸ～ＤＦＸＸ（上２桁が「Ａ０」～「ＤＦ」である文字コード）は、文字コードシフト時に発生する未定義領域であるため、使用不可である

第４章　項目構成・項目説明・作成例

本章は、項目構成、項目説明および作成例から構成されている。

● 項目説明の見方

項目説明中の用語の定義は、以下のとおりである。

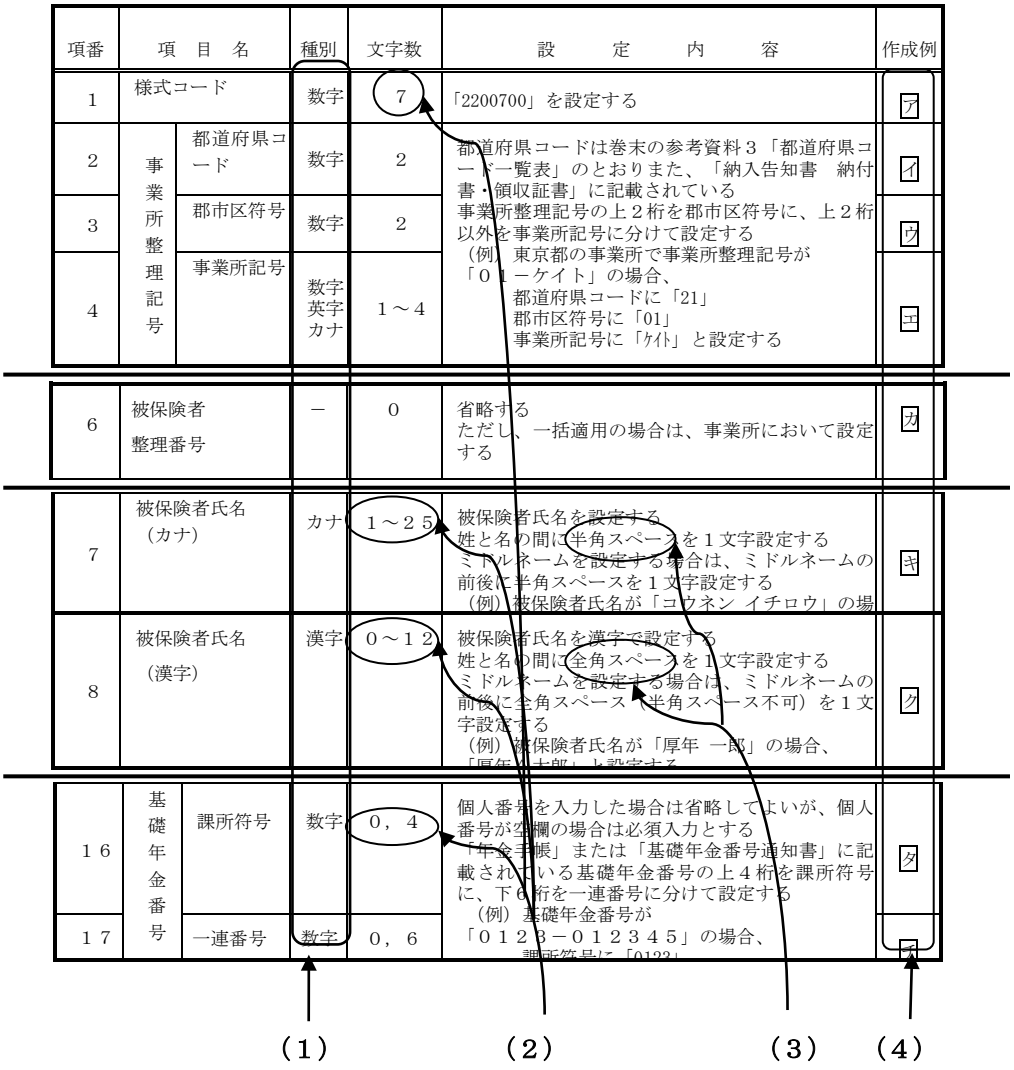


図４－１　「項目説明」の表記例

（１）種別について

・「漢字」は２バイトの全角文字である

・「数字」は“０”～“９”の１バイトの半角文字である

・「英字」はアルファベットおよび記号の１バイトの半角文字である

・「カナ」はカタカナの１バイトの半角文字である（スペースを含む）

・「括弧」は“[”と“]”の１バイトの半角文字である

・「－」　は常に項目を省略する場合である

（２）文字数について

・種別が「カナ」の場合、濁点・半濁点は１文字と数える

・半角スペースおよび全角スペースは１文字と数える

・「０～N」はN文字以下の省略可能項目である

・「１～N」はN文字以下の省略不可項目である

・「０，N」はN文字で設定又は省略する項目である

・「N」　　は必ずN文字で設定する項目である

・「０」　　は省略する項目である

（３）設定内容について

・２バイト文字のスペースは「全角スペース」、（例）では“△”と表記する

・１バイト文字のスペースは「半角スペース」、（例）では“␣”と表記する

（４）作成例について

・作成例は設定箇所を表す記号である

● 作成例の見方

作成例の見方は以下のとおりである。

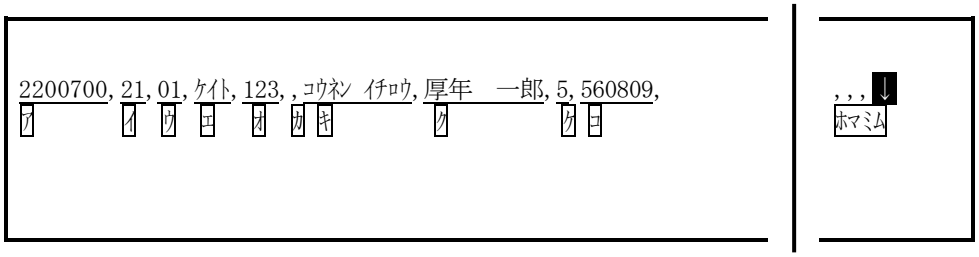


図４－２　「作成例」の表記例

・先頭もしくは途中にある省略された項目に対応するカタカナは、項目直後の項目区切り（カンマ）の直下に表記する（図４－２のカに相当する）

・末尾の省略された項目に対応するカタカナは、改行の直下に表記する

（図４－２のムに相当する）

４．１　媒体管理レコード

４．１．１　媒体管理レコード（年金事務所提出）

（１）媒体管理レコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する媒体管理レコードの項目構成は、図４．１．１－１のとおりでる。

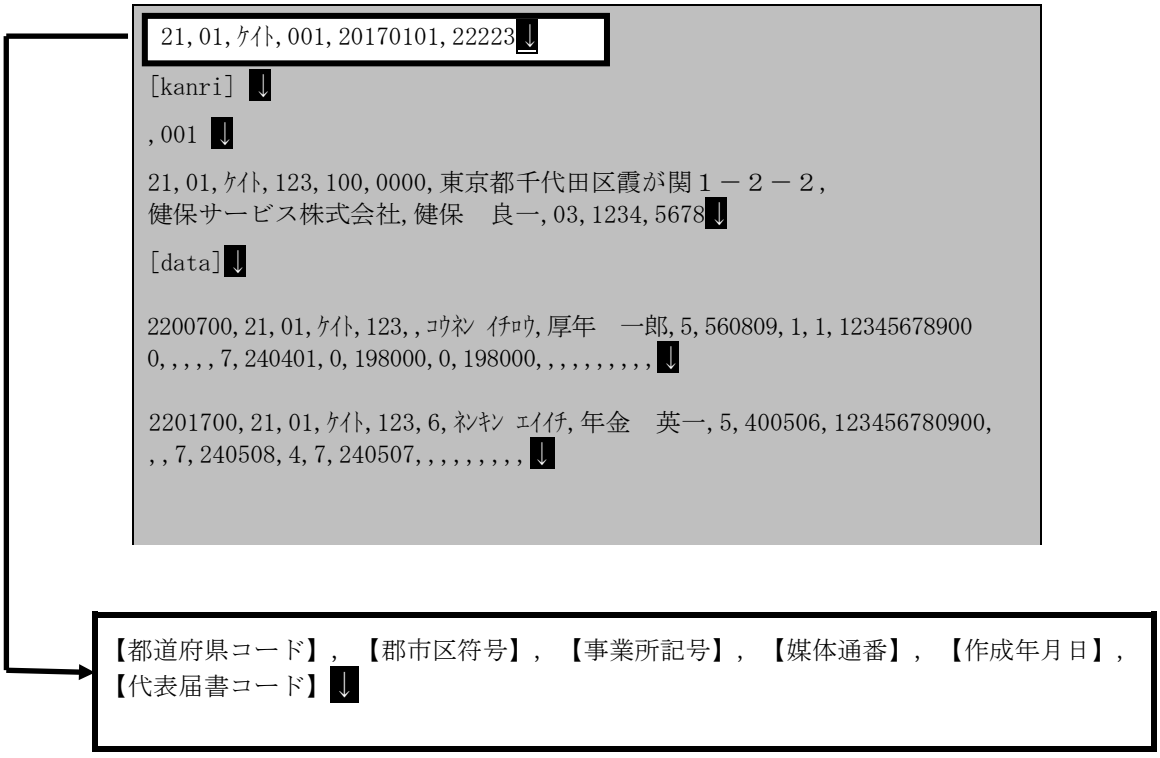


図４．１．１－１　媒体管理レコード（年金事務所提出）の項目構成

（2）媒体管理レコード（年金事務所提出）の項目説明

年金事務所に提出する媒体管理レコードの各項目の説明は、表４．１．１－１のとおりである。本項目は、電子媒体届書ＣＤ、電子媒体届書ＤＶＤ及びＣＳＶ形式届書ファイルのいずれの場合についても、設定を行う必要がある。

表４．１．１－１　媒体管理レコード(年金事務所提出)の項目説明　（１／２）

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
1	識別情報	提出元ID	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	ア
2			郡市区符号	数字	2		イ
3			事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		ウ
4		媒体通番		数字	3	媒体通番は、媒体の中での通し番号として００１から９９９までの数字を、最後に作成したファイルの媒体通番に引き続き昇順に設定する 媒体通番が９９９に達した場合は再度００１から設定する （例） ・初めて媒体を作成する場合 「001」と設定する ・新たに媒体を作成する場合 最後に作成した電子媒体届書ＣＤに設定した媒体通番が０２３の場合、今回作成する媒体に「024」と設定する ・媒体通番が９９９を超える場合 最後に作成した電子媒体届書ＣＤに設定した媒体通番が９９９の場合、今回作成する媒体に「001」と設定する ・前回提示した媒体と異なる媒体を作成する場合 前回作成した電子媒体届書ＣＤに「005」を使用した場合、今回作成する電子媒体届書ＤＶＤまたはＣＳＶ形式届書ファイルには「006」と設定する	エ

表４．１．１－１　媒体管理レコード(年金事務所提出)の項目説明　　（２／２）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
5	作成年月日	数字	8	ファイルの作成年月日（西暦）を年は４文字、 月、日はそれぞれ２文字で設定する （例）西暦２０１７年１月１日の場合、 「20170101」と設定する	オ
6	代表届書コード	数字	5	「22223」を設定する	カ

（3）媒体管理レコード(年金事務所提出)の作成例

表４．１．１－２に示す情報を設定する場合の作成例は、図４．１．１－２のとおりである。

表４．１．１－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名	設　定　内　容
事業所整理記号	０１－ケイト
媒体通番	００１
媒体の作成年月日	２０１７年1月１日

21, 01, ｹｲﾄ, 001, 20170101, 22223↓
ア　イ　ウ　エ　オ　　カ

図４．１．１－２　媒体管理レコード(年金事務所提出)の作成例

４．１．２　媒体管理レコード（健康保険組合提出）

（１）媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目構成

健康保険組合に提出する媒体管理レコードの項目構成は、図４．１．２－１のとおりである。

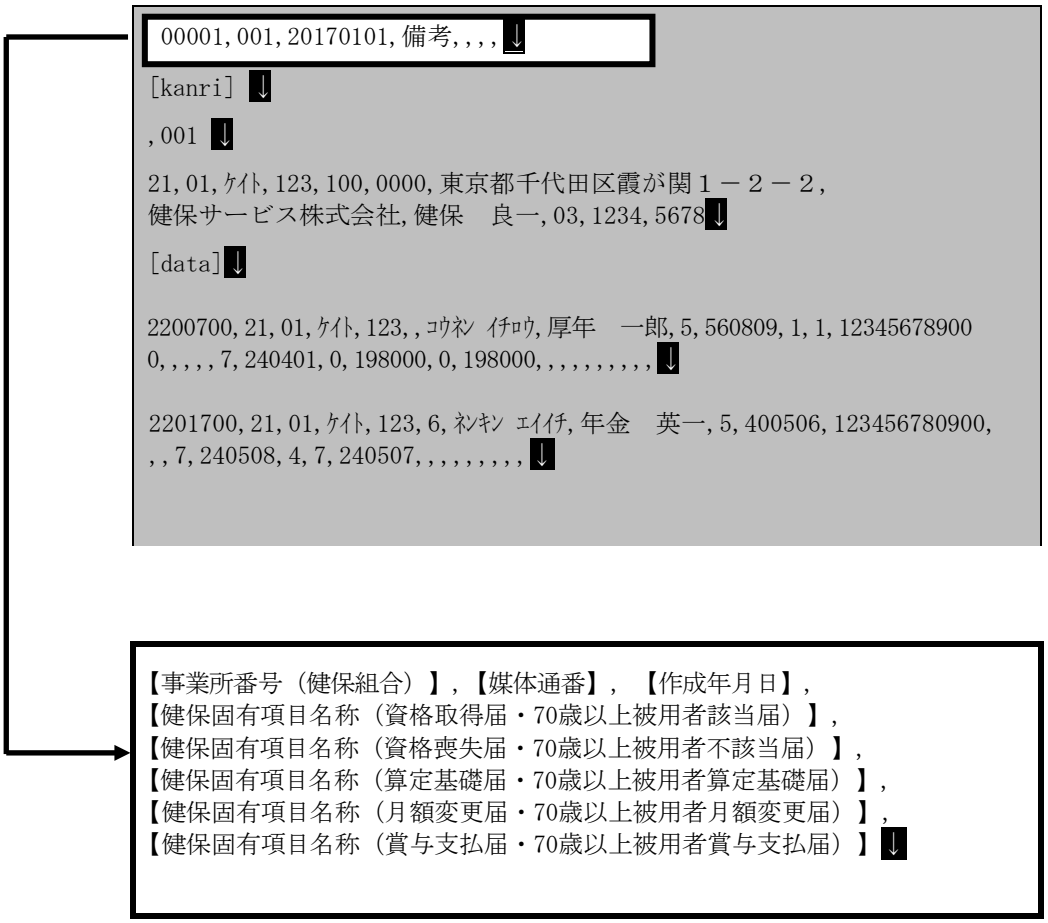


図４．１．２－１　媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目構成

（2）媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目説明

健康保険組合に提出する媒体管理レコードの各項目の説明は、表４．１．２－１のとおりである。本項目は、電子媒体届書ＣＤ、電子媒体届書ＤＶＤ及びＣＳＶ形式届書ファイルのいずれの場合についても、設定を行う必要がある。

表４．１．２－１　媒体管理レコード(健康保険組合提出)の項目説明　（１／２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	識別情報	事業所番号（健保組合）	数字 英字	１～５	健康保険組合の事業所番号を設定する	ア
2	識別情報	媒体通番	数字	3	媒体通番は、媒体の中での通し番号として００１から９９９までの数字を、最後に作成したファイルの媒体通番に引き続き昇順に設定する 媒体通番が９９９に達した場合は再度００１から設定する （例） ・初めて媒体を作成する場合 「001」と設定する ・新たに媒体を作成する場合 最後に作成した電子媒体届書ＣＤに設定した媒体通番が０２３の場合、今回作成する媒体に「024」と設定する ・媒体通番が９９９を超える場合 最後に作成した電子媒体届書ＣＤに設定した媒体通番が９９９の場合、今回作成する媒体に「001」と設定する ・前回提示した媒体と異なる媒体を作成する場合 前回作成した電子媒体届書ＣＤに「005」を使用した場合、今回作成する電子媒体届書ＤＶＤまたはＣＳＶ形式届書ファイルには「006」と設定する	イ
3	作成年月日		数字	8	ファイルの作成年月日（西暦）を年は４文字、月、日はそれぞれ２文字で設定する （例）西暦２０１７年１月１日の場合、 「20170101」と設定する	ウ

表４．１．２－１　媒体管理レコード(健康保険組合提出)の項目説明　　（２／２）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
4	健保固有項目名称（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	漢字	０～５	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	エ
		数字 英字 カナ	０～１０		
5	健保固有項目名称（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～５	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	オ
		数字 英字 カナ	０～１０		
6	健保固有項目名称（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～５	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	カ
		数字 英字 カナ	０～１０		
7	健保固有項目名称（月額変更届・70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～５	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	キ
		数字 英字 カナ	０～１０		
8	健保固有項目名称（賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～５	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	ク
		数字 英字 カナ	０～１０		

（3）媒体管理レコード（健康保険組合提出）の作成例

表４．１．２－２に示す情報を設定する場合の作成例は、図４．１．２－２のとおりである。

表４．１．２－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名	設　定　内　容
事業所番号（健保組合）	００００１
媒体通番	００１
ファイルの作成年月日	２０１７年1月１日
健保固有項目名称（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	備考

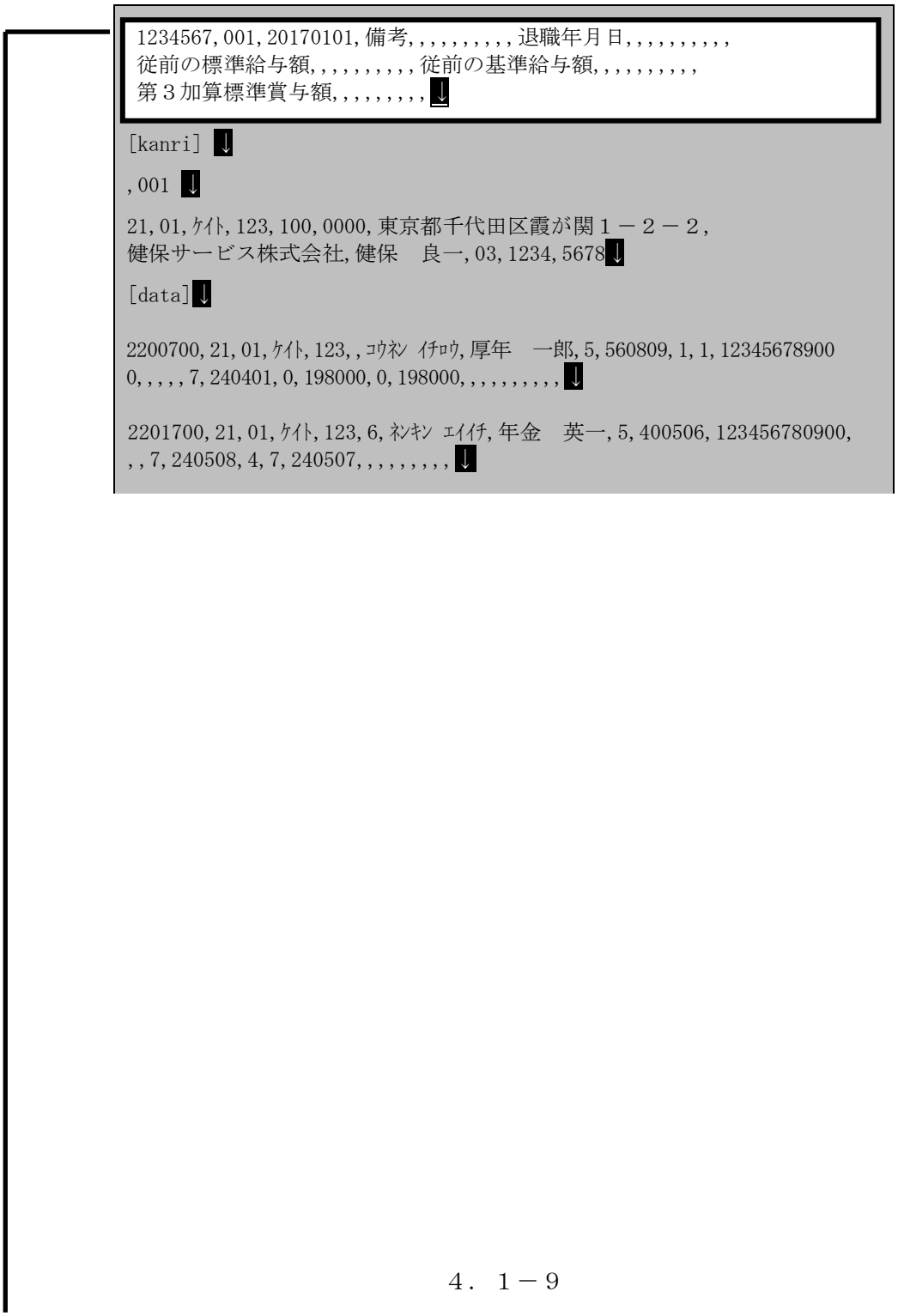
00001, 001, 20170101, 備考, , , , ↓
ｱ　　ｲ ｳ　　ｴ　ｵｶｷｸ

図４．１．２－２　媒体管理レコード（健康保険組合提出）の作成例

４．１．３　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）

（１）媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する媒体管理レコードの項目構成は、図４．１．３－１のとおりである。



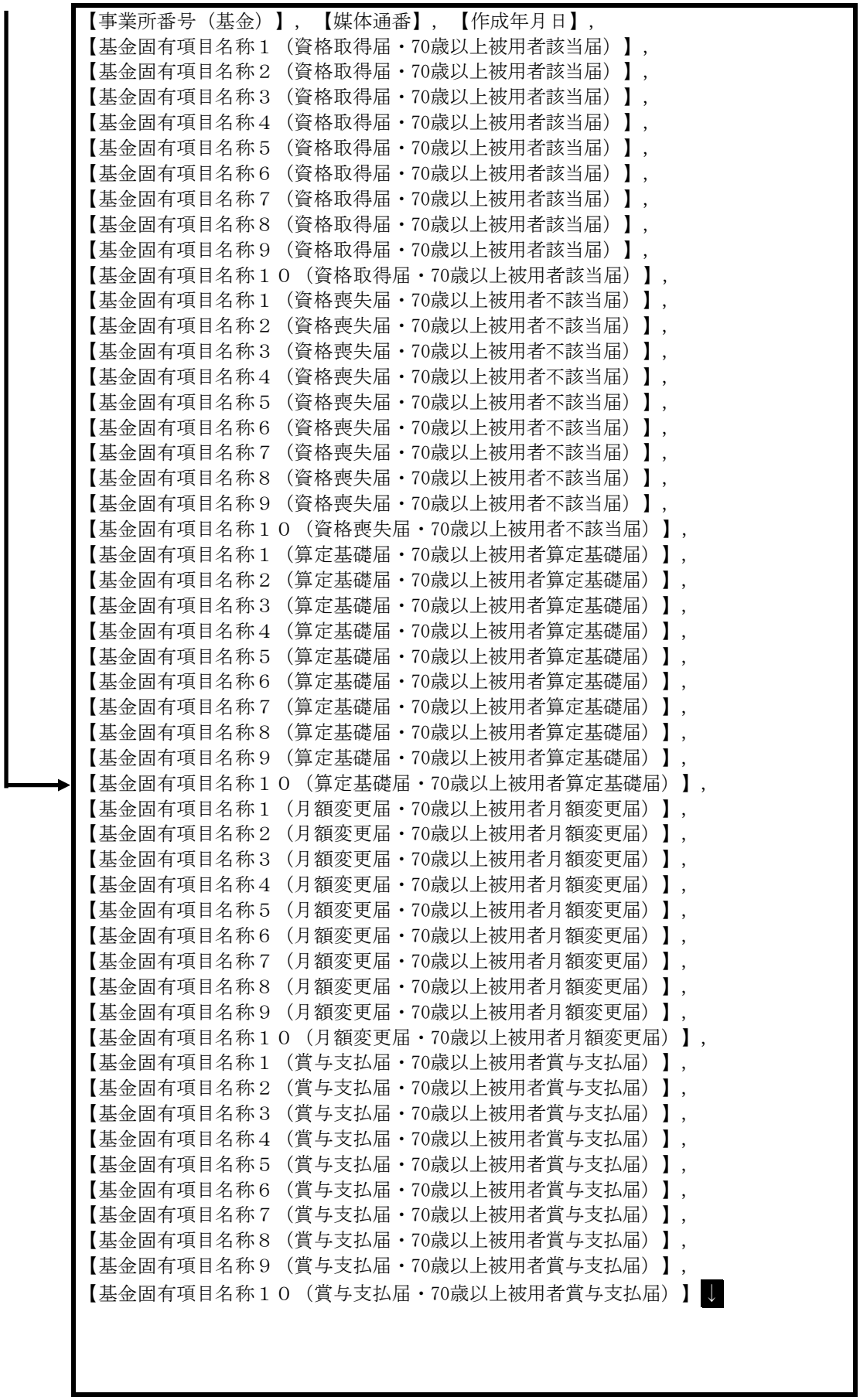


図４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目構成

（2）媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明

厚生年金基金に提出する媒体管理レコードの各項目の説明は、表４．１．３－１のとおりである。本項目は、電子媒体届書ＣＤ、電子媒体届書ＤＶＤ及びＣＳＶ形式届書ファイルのいずれの場合についても、設定を行う必要がある。

表４．１．３－１　媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明　（１／７）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	識別情報	事業所番号（基金）	数字 英字	１～７	厚生年金基金の事業所番号を設定する	ア
2	識別情報	媒体通番	数字	３	媒体通番は、媒体の中での通し番号として００１から９９９までの数字を、最後に作成したファイルの媒体通番に引き続き昇順に設定する 媒体通番が９９９に達した場合は再度００１から設定する （例） ・初めて媒体を作成する場合 「001」と設定する ・新たに媒体を作成する場合 最後に作成した電子媒体届書ＣＤに設定した媒体通番が０２３の場合、今回作成する媒体に「024」と設定する ・媒体通番が９９９を超える場合 最後に作成した電子媒体届書ＣＤに設定した媒体通番が９９９の場合、今回作成する媒体に「001」と設定する ・前回提示した媒体と異なる媒体を作成する場合 前回作成した電子媒体届書ＣＤに「005」を使用した場合、今回作成する電子媒体届書ＤＶＤまたはＣＳＶ形式届書ファイルには「006」と設定する	イ
3	作成年月日		数字	８	ファイルの作成年月日（西暦）を年は４文字、月、日はそれぞれ２文字で設定する （例）西暦２０１７年１月１日の場合、 「20170101」と設定する	ウ

表４．１．３－１　媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明　　（２／７）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
４	基金固有項目名称１（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｴ
		数字 英字 カナ	０～２０		
５	基金固有項目名称２（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｵ
		数字 英字 カナ	０～２０		
６	基金固有項目名称３（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｶ
		数字 英字 カナ	０～２０		
７	基金固有項目名称４（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｷ
		数字 英字 カナ	０～２０		
８	基金固有項目名称５（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｸ
		数字 英字 カナ	０～２０		
９	基金固有項目名称６（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｹ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１０	基金固有項目名称７（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｺ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１１	基金固有項目名称８（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｻ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１２	基金固有項目名称９（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｼ
		数字 英字 カナ	０～２０		

表４．１．３－１　媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明　　（３／７）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
１３	基金固有項目名称１０(資格取得届･70歳以上被用者該当届)	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｽ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１４	基金固有項目名称１（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｾ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１５	基金固有項目名称２（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ｿ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１６	基金固有項目名称３（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾀ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１７	基金固有項目名称４（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾁ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１８	基金固有項目名称５（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾂ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１９	基金固有項目名称６（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾃ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２０	基金固有項目名称７（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾄ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２１	基金固有項目名称８（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾅ
		数字 英字 カナ	０～２０		

表４．１．３－１　媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明　（４／７）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
２２	基金固有項目名称９（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ニ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２３	基金固有項目名称１０(資格喪失届･70歳以上被用者不該当届)	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヌ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２４	基金固有項目名称１（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ネ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２５	基金固有項目名称２（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ノ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２６	基金固有項目名称３（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ハ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２７	基金固有項目名称４（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヒ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２８	基金固有項目名称５（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	フ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２９	基金固有項目名称６（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヘ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３０	基金固有項目名称７（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ホ
		数字 英字 カナ	０～２０		

表４．１．３－１　媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明　　（５／７）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３１	基金固有項目名称８（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾏ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３２	基金固有項目名称９（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾐ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３３	基金固有項目名称１０(算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾑ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３４	基金固有項目名称１（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾒ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３５	基金固有項目名称２（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾓ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３６	基金固有項目名称３（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾔ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３７	基金固有項目名称４（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾕ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３８	基金固有項目名称５（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾖ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３９	基金固有項目名称６（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾗ
		数字 英字 カナ	０～２０		

表４．１．３－１　媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明　　（６／７）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
４０	基金固有項目名称７（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	リ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４１	基金固有項目名称８（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ル
		数字 英字 カナ	０～２０		
４２	基金固有項目名称９（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	レ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４３	基金固有項目名称１０(月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届・70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ロ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４４	基金固有項目名称１（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ワ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４５	基金固有項目名称２（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヲ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４６	基金固有項目名称３（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	A
		数字 英字 カナ	０～２０		
４７	基金固有項目名称４（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	B
		数字 英字 カナ	０～２０		
４８	基金固有項目名称５（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	C
		数字 英字 カナ	０～２０		

表４．１．３－１　媒体管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明　　（７／７）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
４９	基金固有項目名称６（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	D
		数字 英字 カナ	０～２０		
５０	基金固有項目名称７（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	E
		数字 英字 カナ	０～２０		
５１	基金固有項目名称８（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	F
		数字 英字 カナ	０～２０		
５２	基金固有項目名称９（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	G
		数字 英字 カナ	０～２０		
５３	基金固有項目名称１０(賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	H
		数字 英字 カナ	０～２０		

（３）媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の作成例

表４．１．３－２に示す情報を設定する場合の作成例は、図４．１．３－２のとおりである。

表４．１．３－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名	設　定　内　容
事業所番号（基金）	１２３４５６７
媒体通番	００１
ファイルの作成年月日	２０１７年1月１日
基金固有項目名称１（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	備考
基金固有項目名称１（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	退職年月日
基金固有項目名称１（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	従前の標準給与月額
基金固有項目名称１（月額変更届・70歳以上被用者月額変更届）	従前の基準給与月額
基金固有項目名称１（賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届）	第３加算標準賞与額

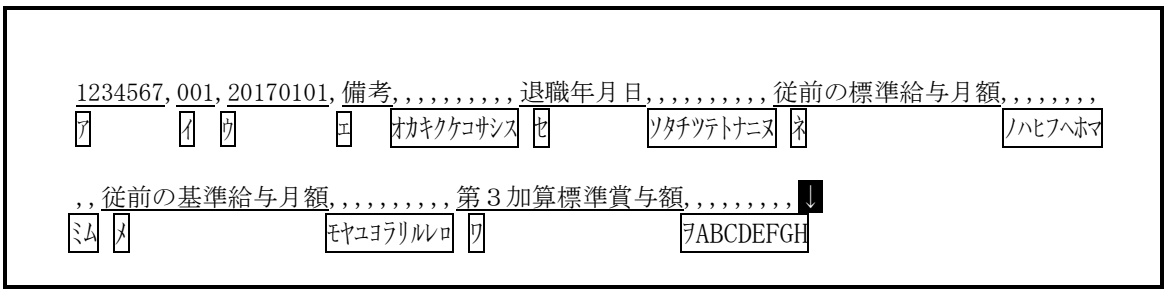


図４．１．３－２　媒体管理レコード　（厚生年金基金提出）の作成例

４．２　事業所識別符号

（１）事業所識別符号の項目構成

事業所識別符号の項目構成は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、図４．２－１のとおりである。

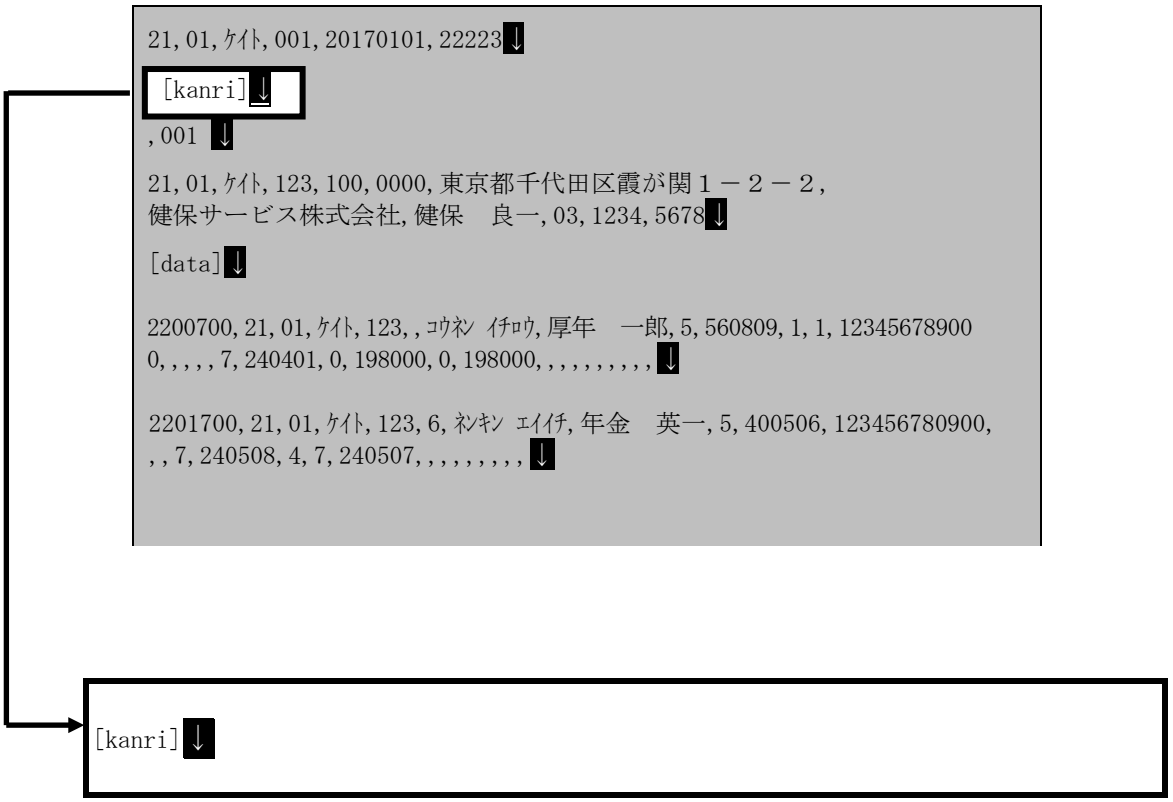


図４．２－１　事業所識別符号の項目構成

（2）事業所識別符号の項目説明

事業所識別符号の項目説明は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、表４．２－１のとおりである。

表４．２－１　事業所識別符号の項目説明

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
1	事業所識別符号	英字 括弧	7	“[kanri]”と設定する	－

４．３　事業所管理レコード

（１）事業所管理レコードの構成

事業所管理レコードは、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、事業所数情報と事業所情報から構成される。

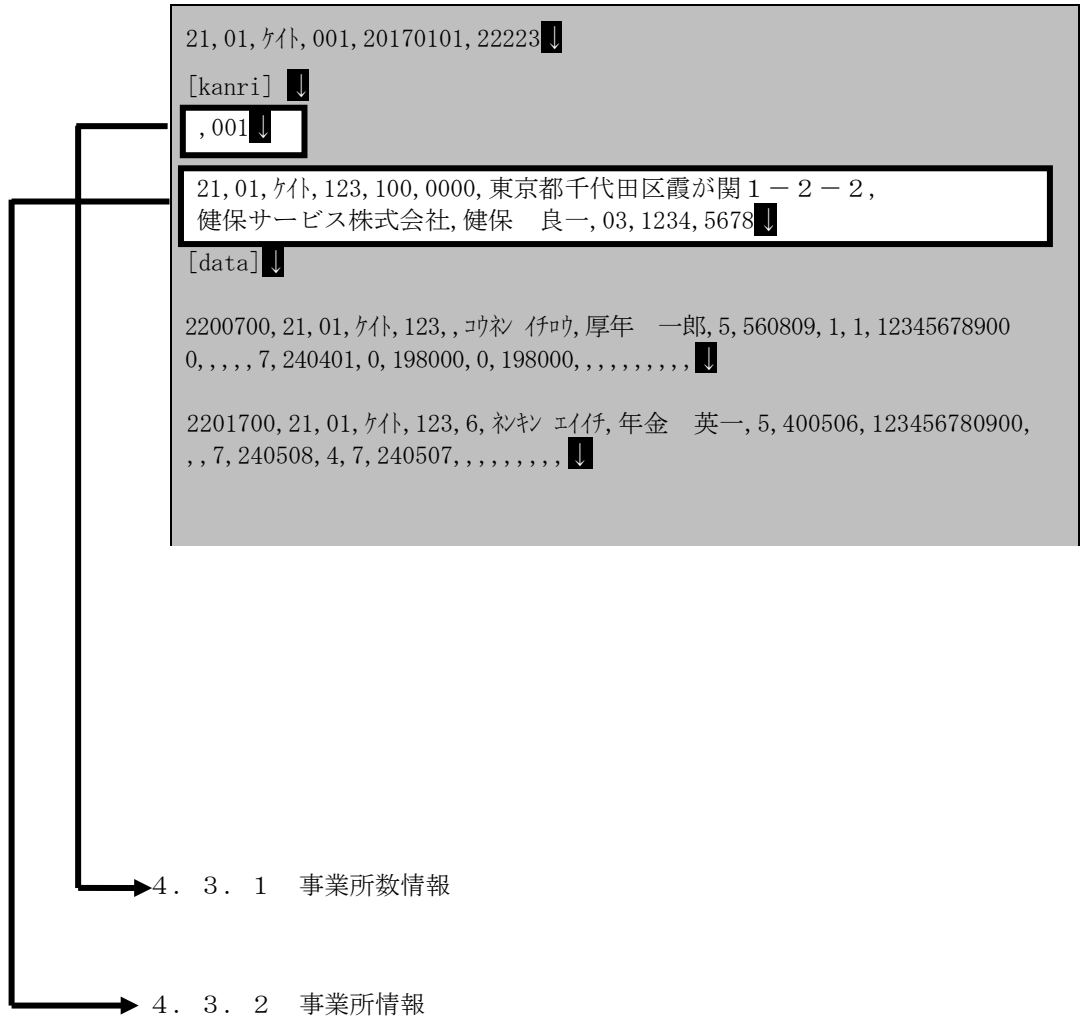


図４．３－１　事業所管理レコードの構成

４．３．１　事業所数情報

（１）事業所数情報の項目構成

事業所数情報の項目構成は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、図４．３．１－１のとおりである。

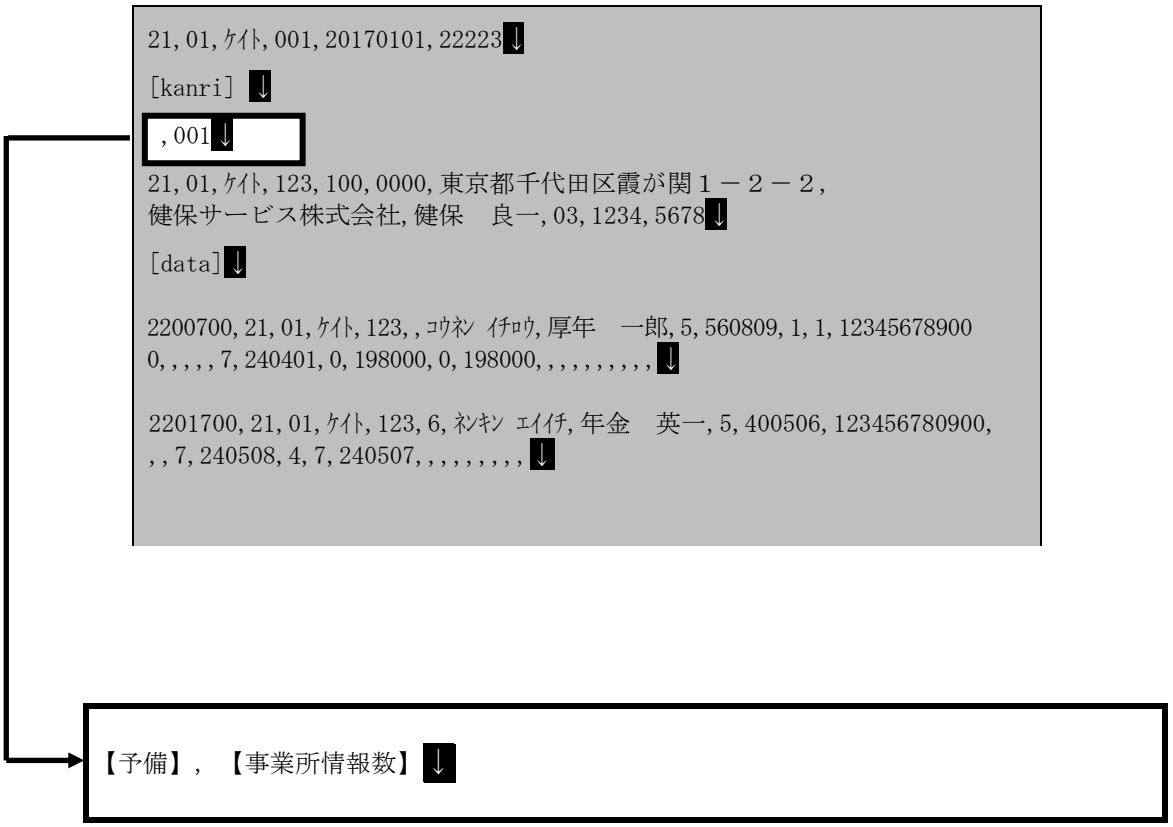


図４．３．１－１　事業所数情報の項目構成

（2）事業所数情報の項目説明

事業所数情報の各項目の説明は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、表４．３．１－１のとおりである。

表４．３．１―１　事業所数情報の項目説明

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
1	予備	－	0	省略する	ア
2	事業所情報数	数字	１～３	「001」を設定する 上記以外に「1」または「01」を設定してもよい	イ

（3）事業所数情報の作成例

事業所が提出する場合の作成例は、図４．３．１－２のとおりである。

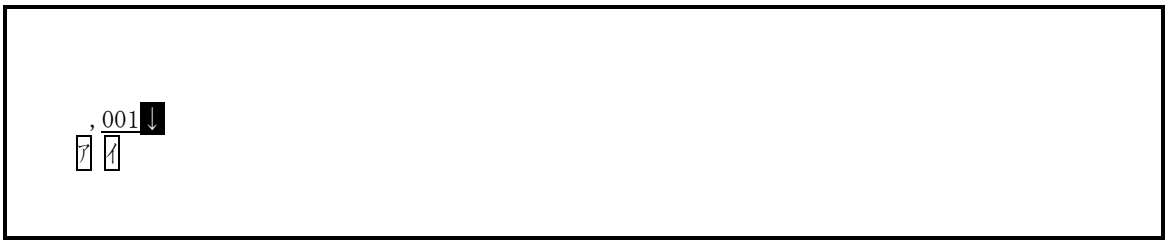


図４．３．１―２　事業所数情報の作成例

４．３．２　事業所情報

４．３．２．１　事業所情報（年金事務所提出）

（１）事業所情報（年金事務所提出）の項目構成

事業所情報の項目構成は、図４．３．２．１－１のとおりである。

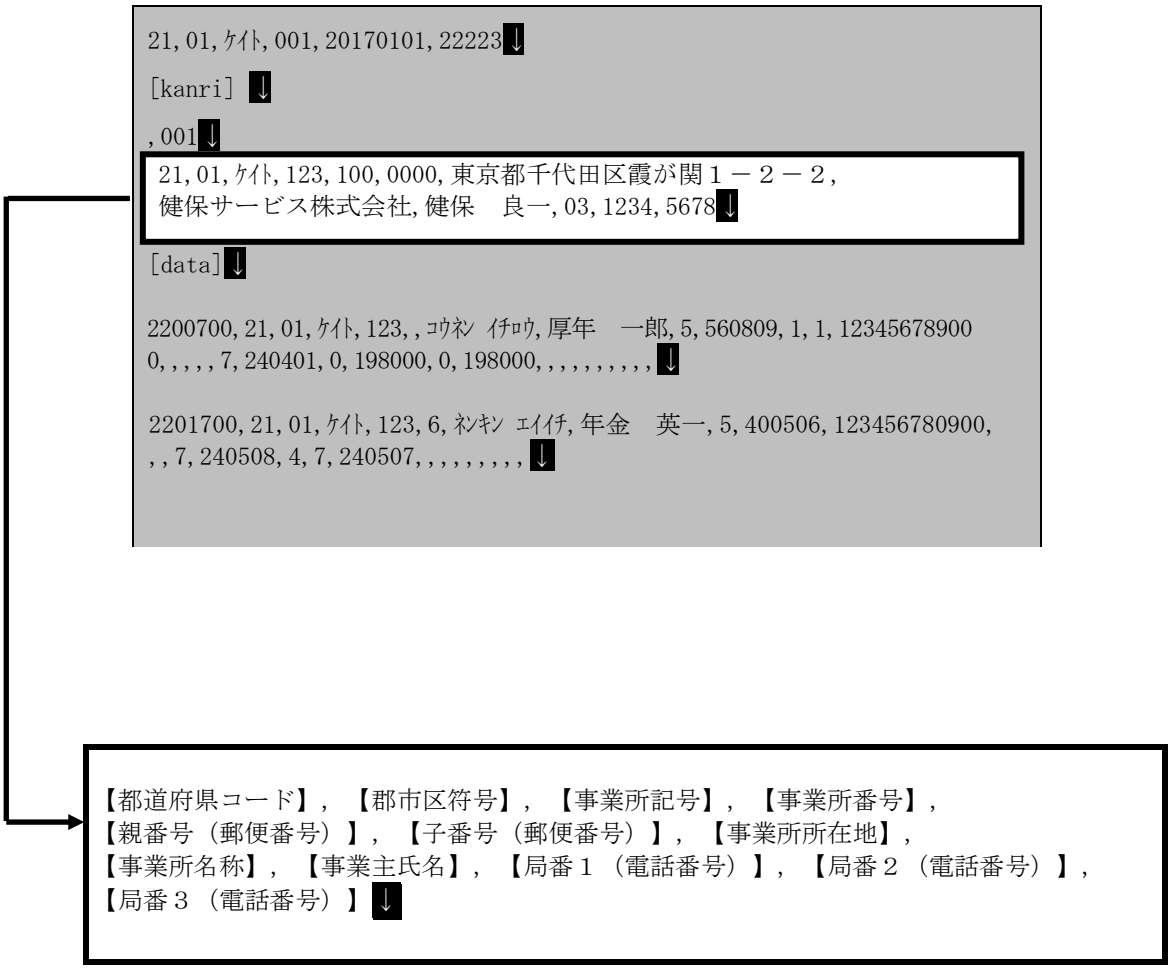


図４．３．２．１－１　事業所情報（年金事務所提出）の項目構成

（2）事業所情報の項目説明

年金事務所に提出する事業所情報の各項目の説明は、表４．３．２．１－１のとおりである。

表４．３．２．１－１事業所情報（年金事務所提出)の項目説明（１／２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	ア
2		郡市区符号	数字	2		イ
3		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		ウ
4	事業所番号		数字	１～５	「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する （例）事業所番号が「１２３」の場合、 「123」と設定する	エ
5	郵便番号	親番号	数字	3	事業所所在地の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１００－００００」の場合、 親番号に「100」 子番号に「0000」と設定する	オ
6		子番号	数字	4		カ

表４．３．２．１－１事業所情報（年金事務所提出)の項目説明 （２／２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
７	事業所所在地		漢字	１～３７	事業所所在地を都道府県名から３７文字以内の漢字で設定する （例）事業所所在地が千代田区霞が関1-2-2の場合、 「東京都千代田区霞が関１－２－２」と設定する なお、所在地に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するかまたは事業所所在地全てを７５文字以内の数字、英字、カナで設定する	キ
			数字 英字 カナ	１～７５		
８	事業所名称		漢字	１～２５	事業所名称を２５文字以内の漢字で設定する なお、名称に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業所名称全てを５０文字以内のカナで設定する	ク
			カナ	１～５０		
９	事業主氏名		漢字	１～１２	事業主氏名を１２文字以内の漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）事業主氏名が「健保 良一」の場合、 「健保△良一」と設定する 事業主氏名が「健保 K 良一」の場合、 「健保△ケイ△良一」と設定する なお、氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業主氏名全てを２５文字以内のカナで設定する カナで設定する場合は、姓と名の間に半角スペースを１文字設定する （例）事業主氏名が「髙田 六郎」（“髙”は使用不可文字）の場合、 「高田△六郎」（代替え文字使用）または、 「ﾀｶﾀﾞ△ﾛｸﾛｳ」（カナ使用）と設定する	ケ
			カナ	１～２５		
１０	電話番号	局番１	数字	２～５	事業所の電話番号（市外局番等）を設定する	コ
１１		局番２	数字	１～４	事業所の電話番号（市内局番等）を設定する	サ
１２		局番３	数字	４～５	事業所の電話番号（番号）を設定する	シ

（3）事業所情報（年金事務所提出）の作成例

表４．３．２．１－２に示す情報を設定する場合の作成例は、図４．３．２．１－２のとおりである。

表４．３．２．１－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名	設　　定　　内　　容
事業所整理記号	０１－ケイト
事業主番号氏名	１２３
事業所所在地	〒１００－００００　東京都千代田区霞が関１－２－２
事業所名称	健保サービス株式会社
事業主氏名	健保　良一
事業所電話番号	０３－１２３４－５６７８

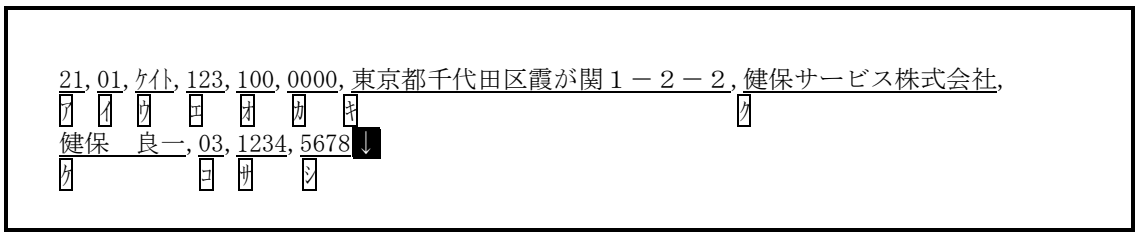


図４．３．２．１－２　事業所情報（年金事務所提出）の作成例

４．３．２．２事業所情報（健康保険組合提出）

（１）事業所情報（健康保険組合提出）の項目構成

事業所情報の項目構成は、図４．３．２．２－１のとおりである。

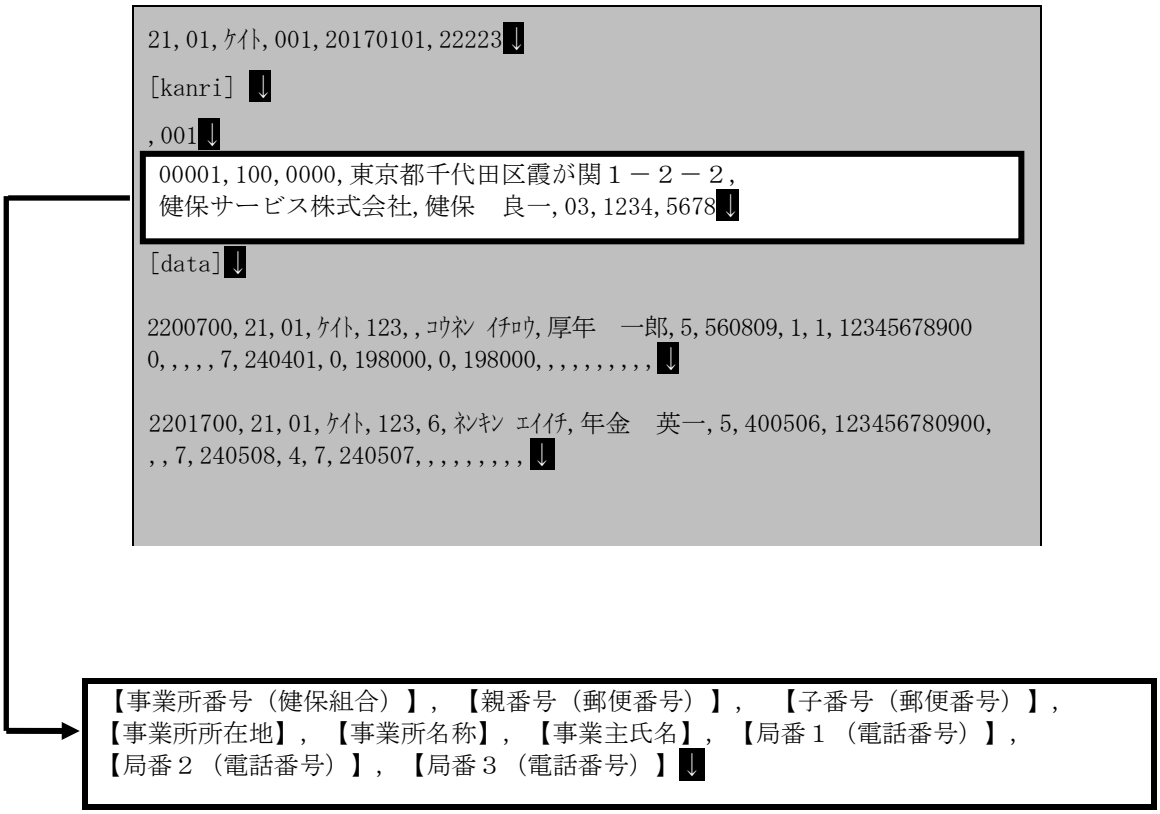


図４．３．２．２－１　事業所情報（健康保険組合提出）の項目構成

（2）事業所情報の項目説明

健康保険組合に提出する事業所情報の各項目の説明は、表４．３．２．２－１のとおりである。

表４．３．２．２－１事業所情報（健康保険組合提出）の項目説明（１／２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	事業所番号（健保組合）		数字 英字	１～５	健康保険組合の事業所番号を設定する	ア
2	郵便番号	親番号	数字	3	事業所所在地の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１００－００００」の場合、 親番号に「100」 子番号に「0000」と設定する	イ
3	郵便番号	子番号	数字	4		ウ
4	事業所所在地		漢字	１～３７	事業所所在地を都道府県名から３７文字以内の漢字で設定する （例）事業所所在地が千代田区霞が関1-2-2の場合、 「東京都千代田区霞が関１－２－２」と設定する なお、所在地に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するかまたは事業所所在地全てを７５文字以内の数字、英字、カナで設定する	エ
			数字 英字 カナ	１～７５		
5	事業所名称		漢字	１～２５	事業所名称を２５文字以内の漢字で設定する なお、名称に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業所名称全てを５０文字以内のカナで設定する	オ
			カナ	１～５０		

表４．３．２．２－１事業所情報（健康保険組合提出）の項目説明 （２／２）

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
6	事業主氏名		漢字	１～１２	事業主氏名を１２文字以内の漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）事業主氏名が「健保 良一」の場合、 「健保△良一」と設定する 事業主氏名が「健保 Ｋ 良一」の場合、 「健保△ケイ△良一」と設定する なお、氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業主氏名全てを２５文字以内のカナで設定する カナで設定する場合は、姓と名の間に半角スペースを１文字設定する （例）事業主氏名が「髙田 六郎」（“髙”は使用不可文字）の場合、 「高田△六郎」（代替え文字使用）または、 「ﾀｶﾀﾞ△ﾛｸﾛｳ」（カナ使用）と設定する	カ
			カナ	１～２５		
7	電話番号	局番１	数字	２～５	事業所の電話番号（市外局番等）を設定する	キ
8		局番２	数字	１～４	事業所の電話番号（市内局番等）を設定する	ク
9		局番３	数字	４～５	事業所の電話番号（番号）を設定する	ケ

（３）事業所情報（健康保険組合提出）の作成例

表４．３．２．２－２に示す情報を設定する場合の作成例は、図４．３．２．２－２のとおりである。

表４．３．２．２－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名	設　　定　　内　　容
事業所番号 （健保組合）	００００１
事業所所在地	〒１００－０００　東京都千代田区霞が関１－２－２
事業所名称	健保サービス株式会社
事業主氏名	健保　良一
事業所電話番号	０３－１２３４－５６７８

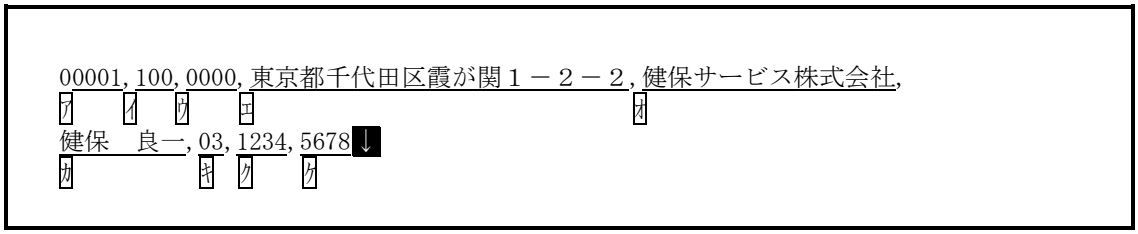


図４．３．２．２－２　事業所情報（健康保険組合提出）の作成例

４．３．２．３ 事業所情報（厚生年金基金提出）

（１）事業所情報（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する事業所情報の項目構成は、図４．３．２．３－１のとおりである。

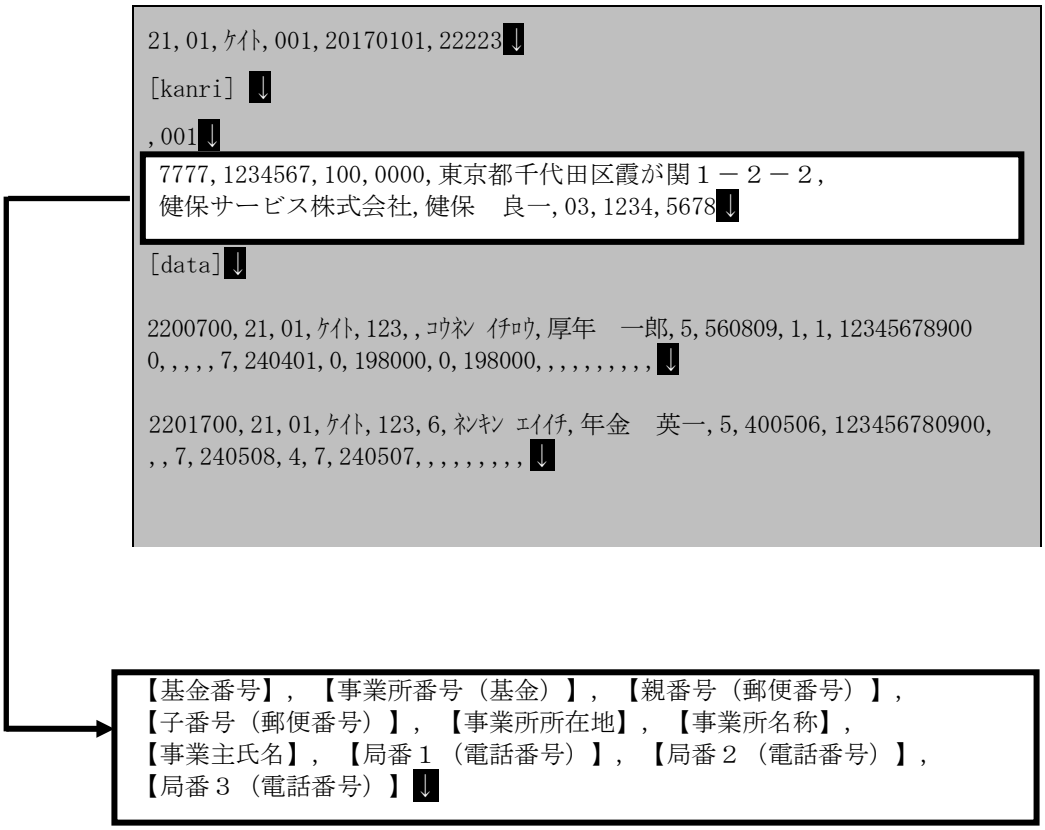


図４．３．２．３－１　事業所情報（厚生年金基金提出）の項目構成

（2）事業所情報の項目説明

厚生年金基金に提出する事業所情報の各項目の説明は、表４．３．２．３－１のとおりである。

表４．３．２．３－１事業所情報（厚生年金基金提出）の項目説明（１／２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	基金番号		数字	１～４	厚生年金基金の基金番号を設定する	ア
2	事業所番号（基金）		数字 英字	１～７	厚生年金基金の事業所番号を設定する	イ
3	郵便番号	親番号	数字	３	事業所所在地の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１００－０００」の場合、 親番号に「100」 子番号に「0000」と設定する	ウ
4		子番号	数字	４		エ
5	事業所所在地		漢字	１～３７	事業所所在地を都道府県名から３７文字以内の漢字で設定する （例）事業所所在地が千代田区霞が関1-2-2の場合、 「東京都千代田区霞が関１－２－２」と設定する なお、所在地に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するかまたは事業所所在地全てを７５文字以内の数字、英字、カナで設定する	オ
			数字 英字 カナ	１～７５		
6	事業所名称		漢字	１～２５	事業所名称を２５文字以内の漢字で設定する なお、名称に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業所名称全てを５０文字以内のカナで設定する	カ
			カナ	１～５０		

表４．３．２．３－１事業所情報（厚生年金基金提出）の項目説明 （２／２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	事業主氏名		漢字	１～１２	事業主氏名を１２文字以内の漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する	ｷ
			カナ	１～２５	ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）事業主氏名が「健保 良一」の場合、 「健保△良一」と設定する 事業主氏名が「健保 K 良一」の場合、 「健保△ケイ△良一」と設定する なお、氏名に「３．４ コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または事業主氏名全てを２５文字以内のカナで設定する カナで設定する場合は、姓と名の間に半角スペースを１文字設定する （例）事業主氏名が「髙田 六郎」（“髙”は使用不可文字）の場合、 「高田△六郎」（代替え文字使用）または、 「ﾀｶﾀﾞ△ﾛｸﾛｳ」（カナ使用）と設定する	
8	電話番号	局番１	数字	２～５	事業所の電話番号（市外局番等）を設定する	ｸ
9		局番２	数字	１～４	事業所の電話番号（市内局番等）を設定する	ｹ
１０		局番３	数字	４～５	事業所の電話番号（番号）を設定する	ｺ

（３）事業所情報（厚生年金基金提出）の作成例

表４．３．２．３－２に示す情報を設定する場合の作成例は、図４．３．２．３－２のとおりである。

表４．３．２．３－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名	設　　定　　内　　容
基金番号	７７７７
事業所番号 （基金）	１２３４５６７
事業所所在地	〒１００－００００　東京都千代田区霞が関１－２－２
事業所名称	健保サービス株式会社
事業主氏名	健保　良一
事業所電話番号	０３－１２３４－５６７８

```
7777,1234567,100,0000,東京都千代田区霞が関１－２－２,健保サービス株式会社,
健保　良一,03,1234,5678↓
```

図４．３．２．３－２　事業所情報（厚生年金基金提出）の作成例

４．４　データ識別符号

（１）データ識別符号の項目構成

データ識別符号の項目構成は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、図４．４－１のとおりである。

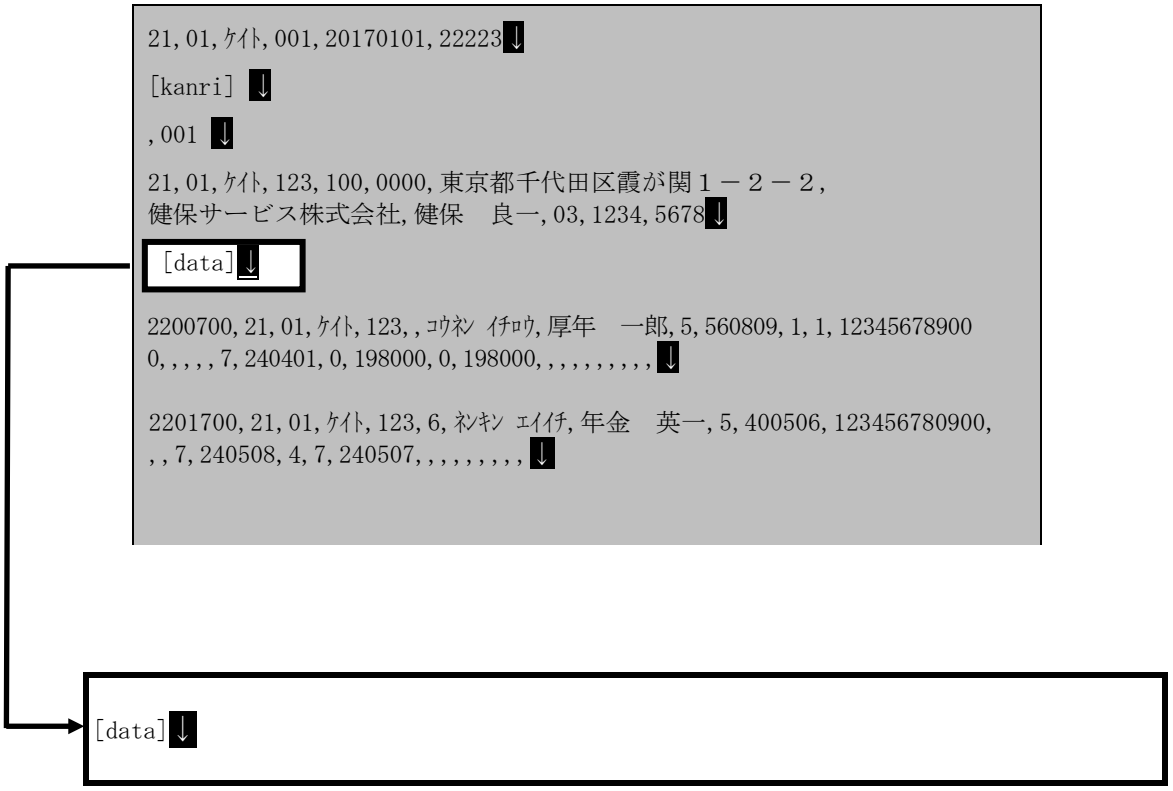


図４．４－１　データ識別符号の項目構成

（2）データ識別符号の項目説明

データ識別符号の項目説明は、全ての提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）共通であり、表４．４－１のとおりである。

表４．４－１　データ識別符号の項目説明

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
1	データ識別符号	英字 括弧	6	“[data]”と設定する	－

４．５　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード

４．５．１　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）

（１）資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの項目構成は、図４．５．１－１のとおりである。

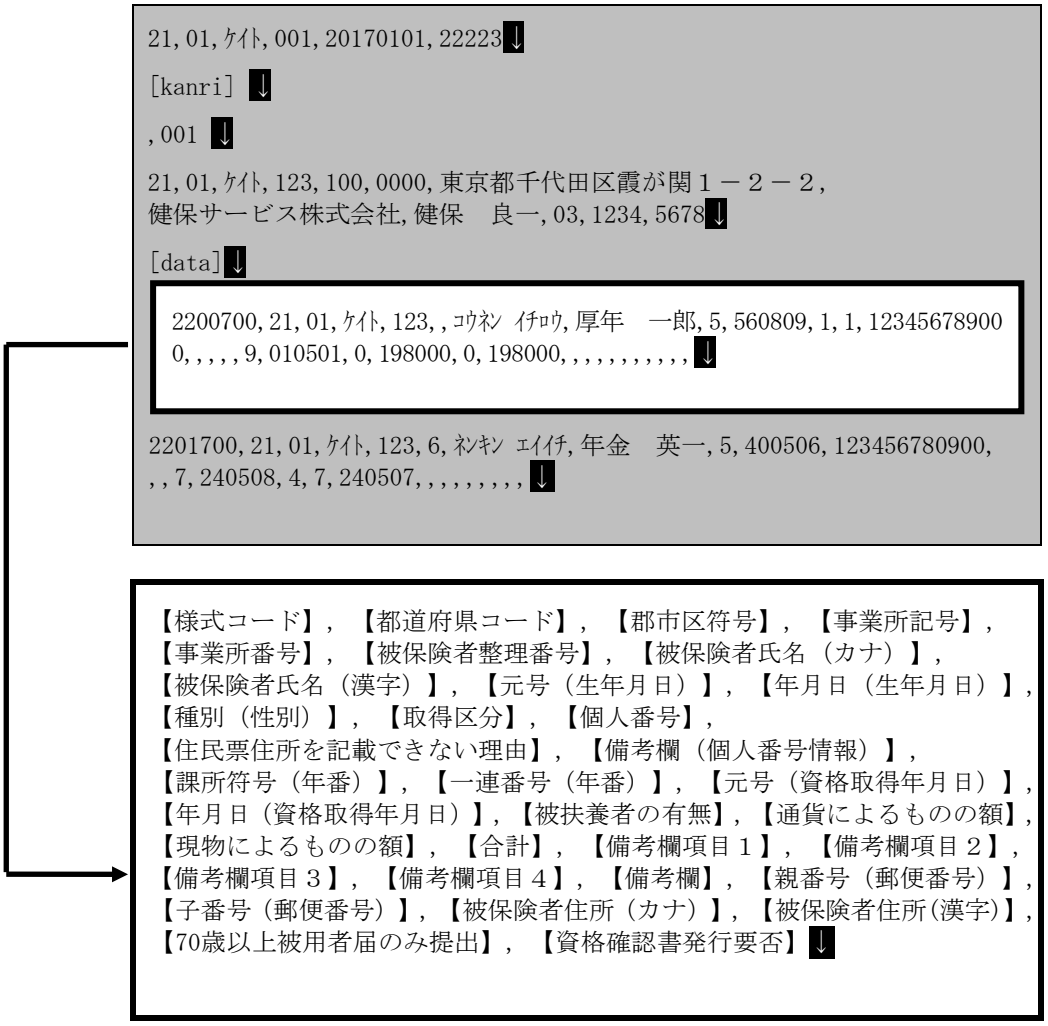


図４．５．１－１　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

（2）資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明

年金事務所に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの各項目の説明は、表４．５．１－１のとおりである。

表４．５．１－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（１／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2200700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する (例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	事業所番号		数字	１～５	「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する （例）事業所番号が「１２３」の場合、 「123」と設定する	オ
6	被保険者整理番号		－	0	省略する ただし、一括適用の場合は、事業所において設定する	カ
7	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「コウネン イチロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ△ｲﾁﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン Ｋ イチロウ」の場合、「ｺｳﾈﾝ△ｹｲ△ｲﾁﾛｳ」と設定する	キ

表４．５．１－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（２／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
８	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被保険者氏名が「厚年 一郎」の場合、 「厚年△一郎」と設定する 被保険者氏名が「厚年 K 一郎」の場合、 「厚年△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	ク
９	生年月日	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ケ
１０		年月日	数字	６	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和５６年８月９日の場合、 「560809」と設定する	コ
１１	種別（性別）		数字	０，１	当該被保険者の種別（性別）に対応する数字を設定する ・坑内員以外の男子　：「1」 ・女子　：「2」 ・坑内員　：「3」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員以外の男子　：「5」 ・厚生年金基金の加入員で女子　：「6」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員：「7」 ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	サ
１２	取得区分		数字	０，１	当該被保険者の取得区分に対応する数字を設定する ・健康保険・厚生年金保険に加入する者　：「1」 ・共済組合から公庫等へ出向する者　：「3」 ・船員年金任意継続被保険者　：「4」 ・「健康保険適用除外承認申請書」を同時に提出する者　：「6」 ・「適用証明書」を同時に提出する者　：「7」 ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	シ

表４．５．１－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（３／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１３	個人番号情報	個人番号	数字	０，１２	個人番号を設定する なお、個人番号を設定できない場合は、基礎年金番号の設定を必須とする	ス
１４	個人番号情報	住民票住所を記載できない理由	数字	０，１	個人番号を設定できない場合かつ住民票住所を設定できない場合は、以下の理由に対応する数字を設定する ・海外在住　：「1」 ・短期在留　：「2」 ・その他　　：「3」 個人番号を設定した場合、又は住民票住所を設定した場合は省略する	セ
１５	個人番号情報	備考欄	漢字	０～３７	住民票住所を記載できない理由が「その他」の場合に設定する 個人番号を設定した場合、又は住民票住所を設定した場合は省略する	ソ
			数字 英字 カナ	０～７５		
１６	基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	個人番号を設定した場合は省略してよいが、個人番号が空欄の場合は設定を必須とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する なお、個人番号を有していないかつ基礎年金番号の通知を受けていない者、または健康保険のみ加入する者については省略する	タ
１７	基礎年金番号	一連番号	数字	０，６		チ

表４．５．１－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（４／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１８	資格取得年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ツ
１９		資格取得（該当）年月日	数字	6	資格取得（70歳以上被用者該当）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月１日の場合、 「010501」と設定する	テ
２０	被扶養者の有無		数字	1	協会管掌の健康保険に加入する者で、健康保険被扶養者（異動）届を年金事務所に提出する者については「1」を、その他の者については「0」を設定する	ト
２１	通貨によるものの額		数字	１～７	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年３回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する （例）１９万８千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	ナ
２２	現物によるものの額		数字	１～７	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のもので支払われるものについて、健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する （例）報酬が無い場合、 「0」または 「0000000」と設定する	ニ
２３	合計		数字	１～７	通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する （例）１９万８千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ヌ

表４．５．１－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（５／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２４	備考欄項目１		数字	０，１	70歳以上被用者に該当する場合は「1」を設定する	ネ
２５	備考欄項目２		数字	０，１	二以上事業所勤務者の資格取得の場合は「1」を設定する	ノ
２６	備考欄項目３		数字	０，１	特定適用事業所における短時間労働者の資格取得の場合は「1」を設定する	ハ
２７	備考欄項目４		数字	０，１	退職後の継続再雇用者の資格取得の場合は「1」を設定する	ヒ
２８	備考欄		漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する （１）健康保険法第118条第１項各号のいずれかに該当する人については、その旨を設定する （２）資格取得時までに引き続いて厚生年金保険の第四種被保険者であった人は、その旨として管轄していた年金事務所名を設定する	フ
			数字 英字 カナ	０～７５		
２９	郵便番号	親番号	数字	０，３	被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１０５－８５１３」の場合、 親番号に「105」 子番号に「8513」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する 個人番号を入力した場合は省略する	ヘ
３０		子番号	数字	０，４		ホ

表４．５．１－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の項目説明（６／６）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３１	被保険者住所（カナ）	数字 英字 カナ	０～７５	被保険者の居住する住所を都道府県名から設定する なお、国外に居住する者については国名をカナで設定する 個人番号を入力した場合は省略する	マ
３２	被保険者住所（漢字）	漢字	０～３７	被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・国外に居住する者の場合 ・住所に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が３７文字を超える場合 個人番号を入力した場合は省略する	ミ
３３	70歳以上被用者届のみ提出	数字	０，１	70歳以上被用者該当届のみを提出する場合は「1」を設定する ※当該項目を設定した場合、備考欄項目１への設定は必須となる ※協会けんぽの管掌する事業所で７５歳以上の後期高齢者医療制度の対象者は必須となる	ム
３４	資格確認書発行要否	数字	０，１	資格確認書の発行を希望する場合は「1」を設定する	メ

（３）資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図４．５．１－３の「健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届／厚生年金保険70歳以上被用者該当届」に対応する作成例は、図４．５．１－２のとおりである。

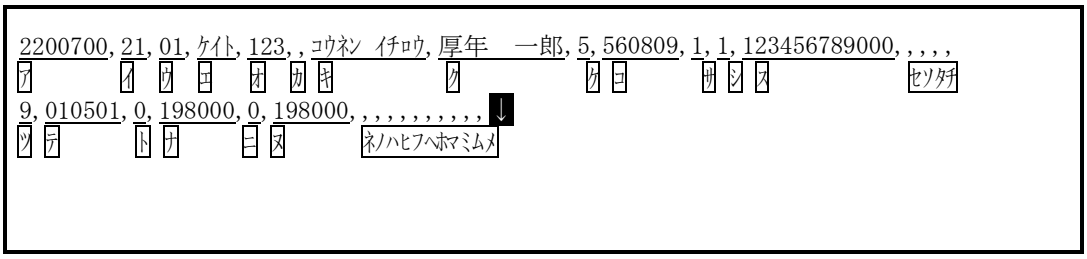


図４．５．１－２　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（年金事務所提出）の作成例

ア

様式コード 2200

健康保険
厚生年金保険
厚生年金保険

被保険者資格取得届
70歳以上被用者該当届

令和　年　月　日提出

受付印

提出者記入欄

事業所整理記号　ウ　－　エ　事業所番号　オ

届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。

事業所所在地　〒　－

事業所名称

事業主氏名

電話番号　（　）

社会保険労務士記載欄

氏名等

被保険者1

①被保険者整理番号	カ	②氏名	（フリガナ）（氏）キ　（名）ク	③生年月日	ケ 5.昭和 7.平成 9.令和	年	月 コ	日	④種別 サ　1. 男 2. 女 3. 坑内員 5. 男(基金) 6. 女(基金) 7. 坑内員(基金)
⑤取得区分	①健保・厚年 シ 4. 船保任継	⑥個人番号（基礎年金番号） ス タ	チ	⑦取得(該当)年月日	ツ 9.令和	年	月 テ	日	⑧被扶養者 ト　0. 無 1. 有
⑨報酬月額	㋐(通貨) ナ　円 ㋑(現物) ニ　円	㋒(合計 ㋐+㋑) ヌ　円		⑩備考	ネ 該当する項目を○で囲んでください。 1. 70歳以上被用者該当 2. 二以上事業所勤務者の取得 ノ ハ 3. 短時間労働者の取得(特定適用事業所等) ヒ 4. 退職後の継続再雇用者の取得 フ 5. その他（　）				
①住所	日本年金機構に提出する際、個人番号を記入した場合は、住所記入は不要です。 〒 ヘ　－　ホ　（フリガナ）マ ミ				セ 理由: 1. 海外在住 2. 短期在留 3. その他(ソ)				⑫資格確認書発行要否 メ　□ 発行が必要

被保険者2

①被保険者整理番号		②氏名	（フリガナ）（氏）（名）	③生年月日	5.昭和 7.平成 9.令和	年	月	日	④種別　1. 男 2. 女 3. 坑内員 5. 男(基金) 6. 女(基金) 7. 坑内員(基金)
⑤取得区分	①健保・厚年 3. 共済出向 4. 船保任継	⑥個人番号（基礎年金番号）		⑦取得(該当)年月日	9.令和	年	月	日	⑧被扶養者　0. 無 1. 有
⑨報酬月額	㋐(通貨) 円 ㋑(現物) 円	㋒(合計 ㋐+㋑) 円		⑩備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 70歳以上被用者該当 2. 二以上事業所勤務者の取得 3. 短時間労働者の取得(特定適用事業所等) 4. 退職後の継続再雇用者の取得 5. その他（　）				
①住所	日本年金機構に提出する際、個人番号を記入した場合は、住所記入は不要です。 〒　－　（フリガナ）				理由: 1. 海外在住 2. 短期在留 3. その他( )				⑫資格確認書発行要否　□ 発行が必要

被保険者3

①被保険者整理番号		②氏名	（フリガナ）（氏）（名）	③生年月日	5.昭和 7.平成 9.令和	年	月	日	④種別　1. 男 2. 女 3. 坑内員 5. 男(基金) 6. 女(基金) 7. 坑内員(基金)
⑤取得区分	①健保・厚年 4. 船保任継	⑥個人番号（基礎年金番号）		⑦取得(該当)年月日	9.令和	年	月	日	⑧被扶養者　0. 無 1. 有
⑨報酬月額	㋐(通貨) 円 ㋑(現物) 円	㋒(合計 ㋐+㋑) 円		⑩備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 70歳以上被用者該当 2. 二以上事業所勤務者の取得 3. 短時間労働者の取得(特定適用事業所等) 4. 退職後の継続再雇用者の取得 5. その他（　）				
①住所	日本年金機構に提出する際、個人番号を記入した場合は、住所記入は不要です。 〒　－　（フリガナ）				理由: 1. 海外在住 2. 短期在留 3. その他( )				⑫資格確認書発行要否　□ 発行が必要

被保険者4

①被保険者整理番号		②氏名	（フリガナ）（氏）（名）	③生年月日	5.昭和 7.平成 9.令和	年	月	日	④種別　1. 男 2. 女 3. 坑内員 5. 男(基金) 6. 女(基金) 7. 坑内員(基金)
⑤取得区分	①健保・厚年 3. 共済出向 4. 船保任継	⑥個人番号（基礎年金番号）		⑦取得(該当)年月日	9.令和	年	月	日	⑧被扶養者　0. 無 1. 有
⑨報酬月額	㋐(通貨) 円 ㋑(現物) 円	㋒(合計 ㋐+㋑) 円		⑩備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 70歳以上被用者該当 2. 二以上事業所勤務者の取得 3. 短時間労働者の取得(特定適用事業所等) 4. 退職後の継続再雇用者の取得 5. その他（　）				
①住所	日本年金機構に提出する際、個人番号を記入した場合は、住所記入は不要です。 〒　－　（フリガナ）				理由: 1. 海外在住 2. 短期在留 3. その他( )				⑫資格確認書発行要否　□ 発行が必要

協会けんぽご加入の事業所様へ
※ 70歳以上被用者該当届のみ提出の場合は、「⑩備考」欄の「1.70歳以上被用者該当」および「5.その他」に○をし、「5.その他」の（ ）内に「該当届のみ」とご記入ください（この場合、健康保険被保険者証の発行はありません）。

◎ イ 都道府県コード ム 70 歳以上被用者届のみ提出については記載されていない。
◎ 媒体に設定する様式コードは「2200」ではなく「2200700」である。

図４．５．１－３　健康保険・厚生年金保険被保険者資格取得届／厚生年金保険 70 歳以上被用者該当届
（令和６年１２月現在）

４．５．２　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）

（１） 資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

健康保険組合に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの項目構成は、図４．５．２－１のとおりである。

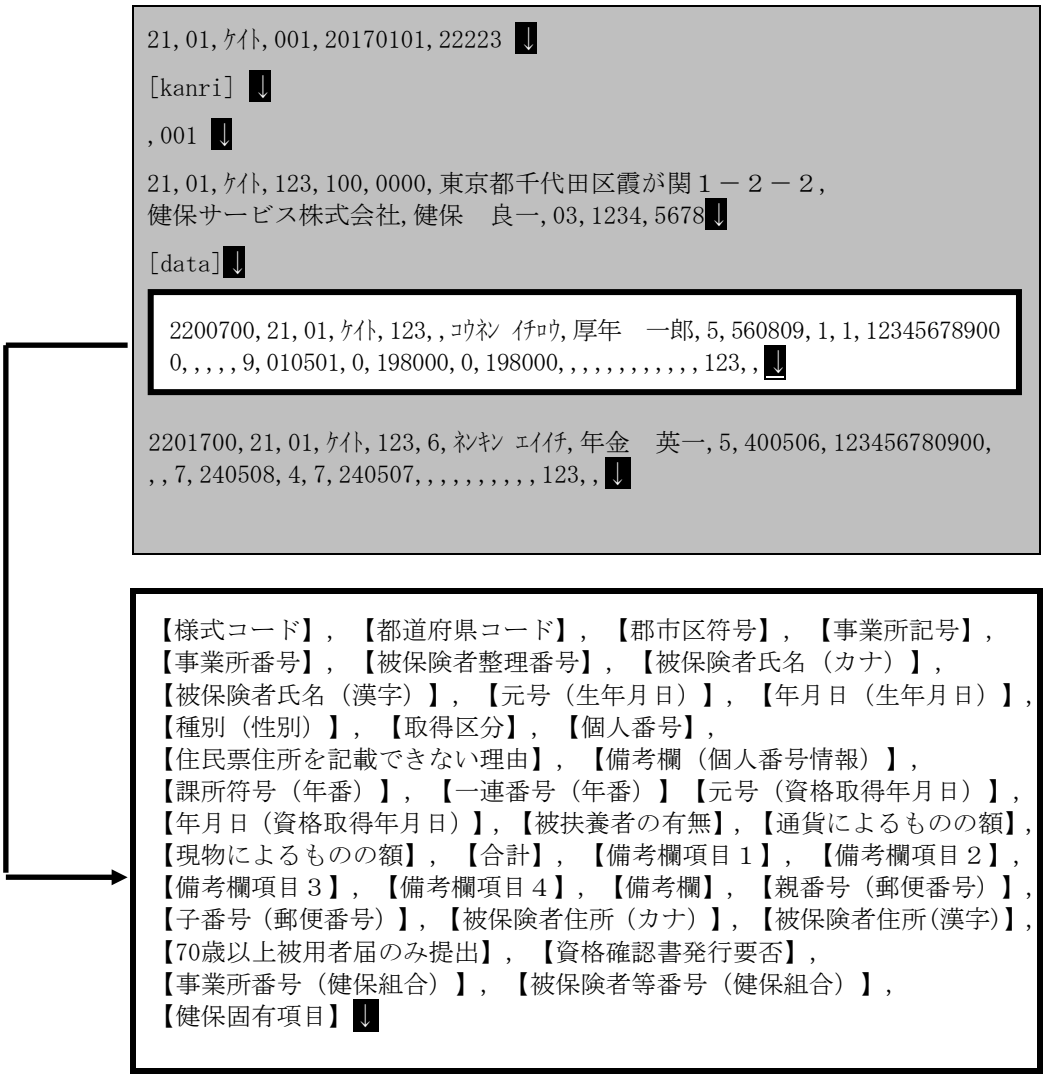


図４．５．２－１　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

（2）資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明

健康保険組合に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの各項目の説明は、表４．５．２－１のとおりである。

表４．５．２－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（１／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2200700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	事業所番号		数字	１～５	「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する （例）事業所番号が「１２３」の場合、 「123」と設定する	オ
6	被保険者整理番号		－	0	省略する	カ
7	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「コウネン イチロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ△ｲﾁﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン Ｋ イチロウ」の場合、「ｺｳﾈﾝ△ｹｲ△ｲﾁﾛｳ」と設定する	キ

表４．５．２－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（２／６）

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
８	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被保険者氏名が「厚年 一郎」の場合、 「厚年△太郎」と設定する 被保険者氏名が「厚年 K 一郎」の場合、 「厚年△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	ク
９	生年月日	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ケ
１０	生年月日	年月日	数字	６	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和５６年８月９日の場合、 「560809」と設定する	コ
１１	種別（性別）		数字	０，１	当該被保険者の種別（性別）に対応する数字を設定する ・坑内員以外の男子　：「1」 ・女子　：「2」 ・坑内員　：「3」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員以外の男子　：「5」 ・厚生年金基金の加入員で女子　：「6」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員：「7」	サ
１２	取得区分		数字	０，１	当該被保険者の取得区分に対応する数字を設定する ・健康保険・厚生年金保険に加入する者　：「1」 ・共済組合から公庫等へ出向する者　：「3」 ・船員年金任意継続被保険者　：「4」 ・「健康保険適用除外承認申請書」を同時に提出する者　：「6」 ・「適用証明書」を同時に提出する者　：「7」	シ

表４．５．２－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（３／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１３	個人番号情報	個人番号	数字	０，１２	個人番号を設定する	ス
１４		住民票住所を記載できない理由	数字	０，１	個人番号を設定できない場合かつ住民票住所を設定できない場合は、以下の理由に対応する数字を設定する ・海外在住　：「1」 ・短期在留　：「2」 ・その他　　：「3」 個人番号を設定した場合、又は住民票住所を設定した場合は省略する	セ
１５		備考欄	漢字	０～３７	住民票住所を記載できない理由が「その他」の場合に設定する 個人番号を設定した場合は省略する	ソ
			数字 英字 カナ	０～７５		
１６	基礎年金番号	課所符号	－	０	省略する	タ
１７		一連番号	－	０		チ

表４．５．２－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（４／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１８	資格取得年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ツ
１９		資格取得（該当）年月日	数字	6	資格取得（70歳以上被用者該当）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月１日の場合、 「010501」と設定する	テ
２０	被扶養者の有無		数字	1	協会管掌の健康保険に加入する者で、健康保険被扶養者（異動）届を年金事務所に提出する者については「1」を、その他の者については「0」を設定する	ト
２１	通貨によるものの額		数字	１～７	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年３回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する （例）１９万８千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	ナ
２２	現物によるものの額		数字	１～７	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のもので支払われるものについて、健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する （例）報酬が無い場合、 「0」または 「0000000」と設定する	ニ
２３	合計		数字	１～７	通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する （例）１９万８千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ヌ

表４．５．２－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（５／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２４	備考欄項目１		数字	０，１	70歳以上被用者に該当する場合は「1」を設定する	ネ
２５	備考欄項目２		数字	０，１	二以上事業所勤務者の資格取得の場合は「1」を設定する	ノ
２６	備考欄項目３		数字	０，１	特定適用事業所における短時間労働者の資格取得の場合は「1」を設定する	ハ
２７	備考欄項目４		数字	０，１	退職後の継続再雇用者の資格取得の場合は「1」を設定する	ヒ
２８	備考欄		漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する （１）健康保険法第118条第１項各号のいずれかに該当する人については、その旨を設定する （２）資格取得時までに引き続いて厚生年金保険の第四種被保険者であった人は、その旨として管轄していた年金事務所名を設定する	フ
			数字 英字 カナ	０～７５		
２９	郵便番号	親番号	数字	０，３	被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１０５－８５１３」の場合、 親番号に「105」 子番号に「8513」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する	ヘ
３０		子番号	数字	０，４		ホ

表４．５．２－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目説明（６／６）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３１	被保険者住所（カナ）	数字 英字 カナ	０～７５	被保険者の居住する住所を都道府県名から設定する なお、国外に居住する者については国名をカナで設定する	マ
３２	被保険者住所（漢字）	漢字	０～３７	被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・国外に居住する者の場合 ・住所に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が３７文字を超える場合	ミ
３３	70歳以上被用者届のみ提出	－	０	省略する	ム
３４	資格確認書発行要否	数字	０，１	資格確認書の発行を希望する場合は「１」を設定する	メ

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３５	事業所番号（健保組合）	数字 英字	１～５	健康保険組合の事業所番号を設定する	A
３６	被保険者等番号（健保組合）	数字 英字	０～７	事業主が番号を振り出せる場合は、任意の英数字を設定する	B
３７	健保固有項目	漢字	０～４０	健康保険組合固有項目の内容を設定する	C
		数字 英字 カナ	０～８０		

（３）資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

健康保険組合に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの作成例は、図４．５．２－２のとおりである。

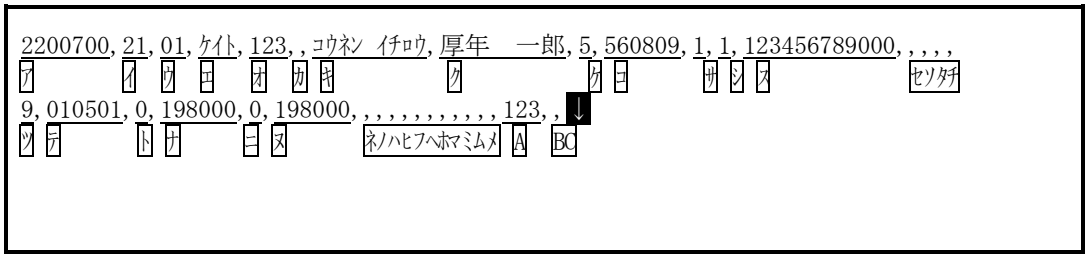


図４．５．２－２　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

４．５．３　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）

（１）資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの項目構成は、図４．５．３－１のとおりである。

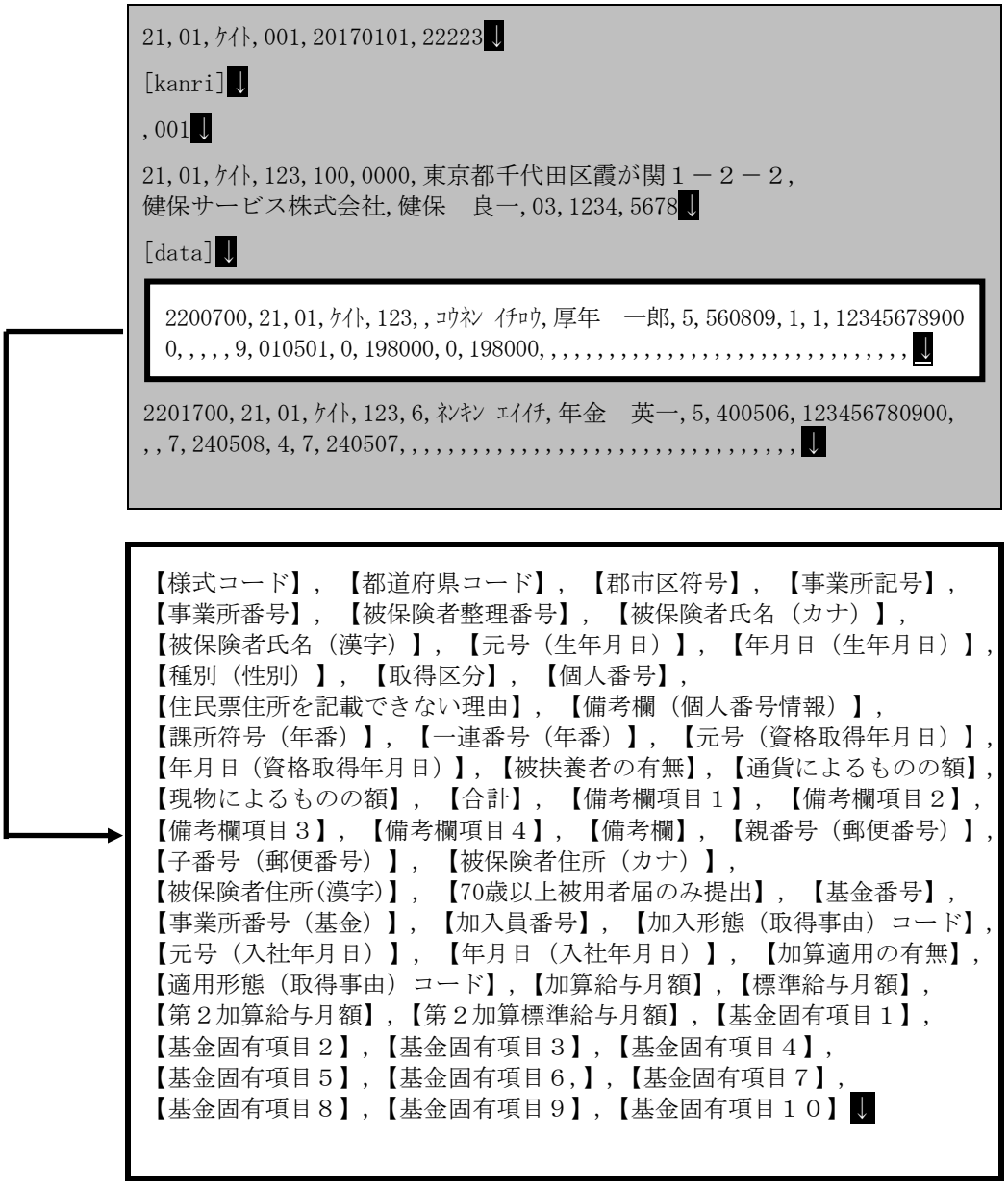


図４．５．３－１　資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成

（2）資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明

厚生年金基金に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの各項目の説明は、表４．５．３－１のとおりである。

表４．５．３－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（１／９）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2200700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	事業所番号		数字	１～５	「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する （例）事業所番号が「１２３」の場合、 「123」と設定する	オ
6	被保険者整理番号		－	０	省略する	カ
7	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「コウネン イチロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ△ｲﾁﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン Ｋ イチロウ」の場合、「ｺｳﾈﾝ△ｹｲ△ﾀﾛｳ」と設定する	キ

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
８	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被保険者氏名が「厚年 一郎」の場合、 「厚年△太郎」と設定する 被保険者氏名が「厚年 Ｋ 一郎」の場合、 「厚年△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	ク
９	生年月日	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ケ
１０	生年月日	年月日	数字	６	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和５６年８月９日の場合、 「560809」と設定する	コ
１１	種別（性別）		数字	０，１	当該被保険者の種別（性別）に対応する数字を設定する ・坑内員以外の男子　：「1」 ・女子　：「2」 ・坑内員　：「3」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員以外の男子　：「5」 ・厚生年金基金の加入員で女子　：「6」 ・厚生年金基金の加入員で坑内員：「7」	サ
１２	取得区分		数字	０，１	当該被保険者の取得区分に対応する数字を設定する ・健康保険・厚生年金保険に加入する者　：「1」 ・共済組合から公庫等へ出向する者　：「3」 ・船員年金任意継続被保険者　：「4」 ・「健康保険適用除外承認申請書」を同時に提出する者　：「6」 ・「適用証明書」を同時に提出する者　：「7」	シ

表４．５．３－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（３／９）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１３	個人番号情報	個人番号	－	０	省略する	ス
１４		住民票住所を記載できない理由	－	０	省略する	セ
１５		備考欄	－	０	省略する	ソ
			－	０		
１６	基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	タ
１７		一連番号	数字	０，６		チ

表４．５．３－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（４／９）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１８	資格取得年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ツ
１９		資格取得（該当）年月日	数字	6	資格取得（70歳以上被用者該当）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月１日の場合、 「010501」と設定する	テ
２０	被扶養者の有無		数字	1	協会管掌の健康保険に加入する者で、健康保険被扶養者（異動）届を年金事務所に提出する者については「1」を、その他の者については「0」を設定する	ト
２１	通貨によるものの額		数字	１～７	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年３回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する （例）１９万８千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	ナ
２２	現物によるものの額		数字	１～７	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のもので支払われるものについて、健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する （例）報酬が無い場合、 「0」または 「0000000」と設定する	ニ
２３	合計		数字	１～７	通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する （例）１９万８千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ヌ

表４．５．３－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（５／９）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２４	備考欄項目１		数字	０，１	70歳以上被用者に該当する場合は「1」を設定する	ネ
２５	備考欄項目２		数字	０，１	二以上事業所勤務者の資格取得の場合は「1」を設定する	ノ
２６	備考欄項目３		数字	０，１	特定適用事業所における短時間労働者の資格取得の場合は「1」を設定する	ハ
２７	備考欄項目４		数字	０，１	退職後の継続再雇用者の資格取得の場合は「1」を設定する	ヒ
２８	備考欄		漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する （１）健康保険法第118条第１項各号のいずれかに該当する人については、その旨を設定する （２）資格取得時までに引き続いて厚生年金保険の第四種被保険者であった人は、その旨として管轄していた年金事務所名を設定する	フ
			数字 英字 カナ	０～７５		
２９	郵便番号	親番号	数字	０，３	被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１０５－８５１３」の場合、 親番号に「105」 子番号に「8513」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する	ヘ
３０		子番号	数字	０，４		ホ

表４．５．３－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（６／９）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３１	被保険者住所（カナ）	数字 英字 カナ	０～７５	被保険者の居住する住所を都道府県名から設定する なお、国外に居住する者については国名をカナで設定する	マ
３２	被保険者住所（漢字）	漢字	０～３７	被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・国外に居住する者の場合 ・住所に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が３７文字を超える場合	ミ
３３	70歳以上被用者届のみ提出	－	０	省略する	ム

以下、厚生年金基金独自項目欄

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
３４	基金番号		数字	１～４	厚生年金基金の基金番号を設定する	A
３５	事業所番号（基金）		数字 英字	１～７	厚生年金基金の事業所番号を設定する	B
３６	加入員番号		数字 英字	０～１１	省略、または加入員手帳の番号を設定する	C
３７	加入形態(取得事由)コード		数字	１～２	厚生年金基金の加入形態コードを設定する (例)　新規　　：「1」または「01」 転入　　：「2」または「02」 復活　　：「3」または「03」 再加入　：「4」または「04」	D
３８	入社年月日	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	E
３９		年月日	数字	６	入社年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和３２年２月７日の場合、 「320207」と設定する	F
４０	加算適用の有無		数字	０～２	加算適用の有無を設定する (例) 有：「1」または「01」 無：「0」または「00」と設定	G
４１	適用形態(取得事由)コード		数字	０～２	厚生年金基金の適用形態コードを設定する (例)　新規　　：「1」または「01」 転入　　：「2」または「02」 復活　　：「3」または「03」 再加入　：「4」または「04」と設定する	H
４２	加算給与月額		数字	０～７	加算給与月額を設定する （例）１９万８千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	I

表４．５．３－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（８／９）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
４３	標準給与月額	数字	０～４	標準給与月額を設定する （例）１９万８千円の場合、 「198」または 「0198」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	J
４４	第２加算給与月額	数字	０～７	第２加算給与月額を設定する (例)１９万８千円の場合、 「198000」または 「0198000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	K
４５	第２加算標準給与月額	数字	０～４	第２加算標準給与月額を設定する (例)１９万８千円の場合、 「198」または 「0198」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	L
４６	基金固有項目１	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目１の内容を設定する	M
		数字 英字 カナ	０～１０		
４７	基金固有項目２	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目２の内容を設定する	N
		数字 英字 カナ	０～１０		
４８	基金固有項目３	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目３の内容を設定する	O
		数字 英字 カナ	０～１０		
４９	基金固有項目４	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目４の内容を設定する	P
		数字 英字 カナ	０～１０		

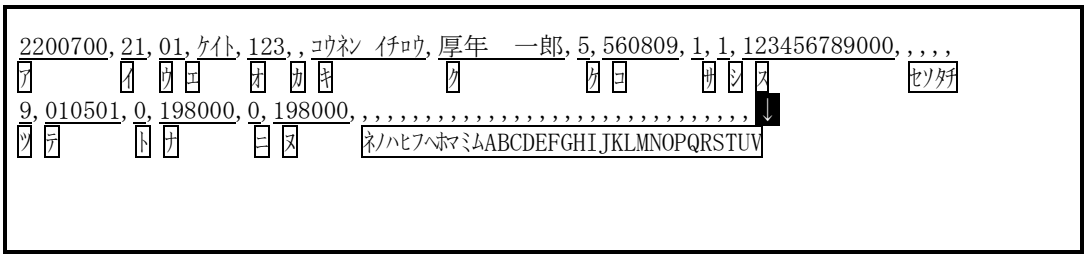
表４．５．３－１資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目説明（９／９）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５０	基金固有項目５	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目５の内容を設定する	Q
		数字 英字 カナ	０～１０		
５１	基金固有項目６	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目６の内容を設定する	R
		数字 英字 カナ	０～１０		
５２	基金固有項目７	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目７の内容を設定する	S
		数字 英字 カナ	０～１０		
５３	基金固有項目８	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目８の内容を設定する	T
		数字 英字 カナ	０～１０		
５４	基金固有項目９	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目９の内容を設定する	U
		数字 英字 カナ	０～１０		
５５	基金固有項目 １０	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目１０の内容を設定する	V
		数字 英字 カナ	０～１０		

※項番３６、３７、４０、４１、４３、４５、４６～５５については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

（３）資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

厚生年金基金に提出する資格取得届・70歳以上被用者該当届データレコードの作成例は、図４．５．３－２のとおりである。


2200700, 21, 01, ｹｲﾄ, 123, , ｺｳﾈﾝ ｲﾁﾛｳ, 厚年　一郎, 5, 560809, 1, 1, 123456789000, , , , ,
ｱ ｲ ｳ ｴ ｵ ｶ ｷ ｸ ｹ ｺ ｻ ｼ ｽ ｾｿﾀﾁ
9, 010501, 0, 198000, 0, 198000, , , ,

４．６　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード

４．６．１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）

（１）資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの項目構成は、図４．６．１－１のとおりである。

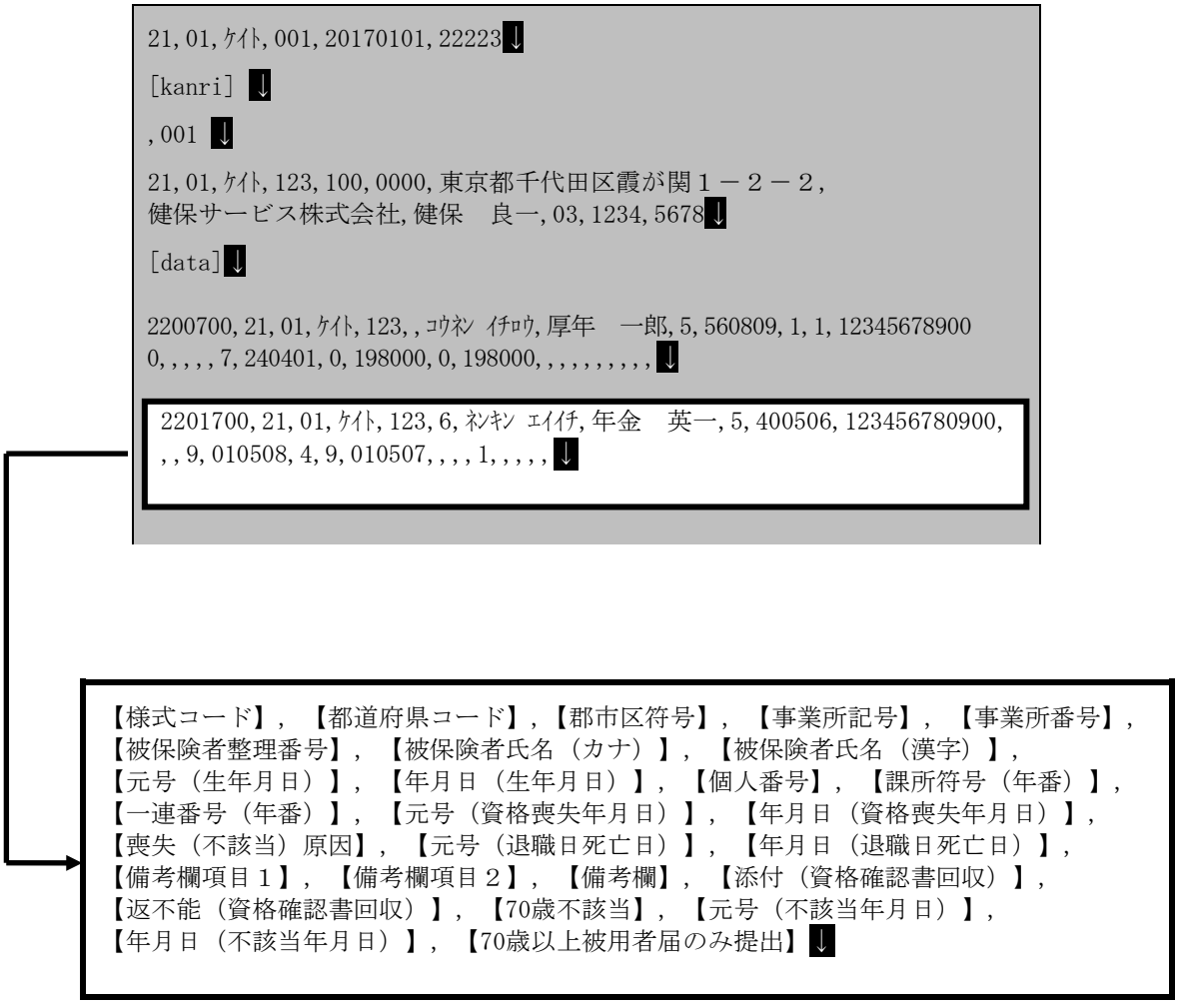


図４．６．１－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

（２）資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(年金事務所提出)の項目説明

年金事務所に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの各項目の説明は、表４．６．１－１のとおりである。

表４．６．１－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（１／４）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2201700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	事業所番号		数字	１～５	「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する （例）事業所番号が「１２３」の場合、 「123」と設定する	オ
6	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「6」の場合、「6」と設定する ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	カ
7	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ネンキン エイイチ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ␣ｴｲｲﾁ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K エイイチ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ␣ｹｲ␣ｴｲｲﾁ」と設定する	キ

表４．６．１－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(２／４)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
８	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「年金 英一」の場合、 「年金△英一」と設定する 被保険者氏名が「年金 Ｋ 英一」の場合、 「年金△ケイ△英一」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	ク
９	生年月日	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ケ
１０		年月日	数字	６	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和４０年５月６日の場合、 「400506」と設定する	コ
１１	個人番号		数字	０，１２	個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	サ
１２	基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	個人番号を入力した場合は省略してよいが、個人番号が空欄の場合は必須入力とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する	シ
１３		一連番号	数字	０，６	（例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	ス

表４．６．１－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(３／４)

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
１４	資格喪失年月日	元号		数字	０，１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」 ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	セ
１５	資格喪失年月日	年月日		数字	０，６	資格喪失年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する 資格喪失年月日は、以下のいずれかの年月日を設定する ・被保険者が退職または死亡した場合、退職または死亡した翌日 ・被保険者が転勤した場合、転勤した当日 ・被保険者が75歳に達した場合、75歳の誕生日の当日 ・一定の障害に該当し広域連合の認定を受け、後期高齢者医療の被保険者になった場合、その障害認定日 （例）令和１年５月７日の場合、 「010507」と設定する ※被保険者が70歳に達した場合における厚生年金保険の資格喪失届・70歳以上被用者該当届は、「被保険者資格喪失届・70歳以上被用者該当届〔70歳到達届〕」により提出してください ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	ソ
１６	喪失（不該当）原因			数字	１～２	以下の喪失原因に対応する数字を設定する ・退職等　：「4」 ・死亡　：「5」 ・７５歳到達（健康保険のみ喪失）　：「7」 ・障害認定　（健康保険のみ喪失）　：「9」 ・社会保障協定　：「11」	タ
１７	喪失（不該当）原因	退職日死亡日	元号	数字	０，１	喪失（不該当）原因が「退職等」または「死亡」の場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	チ
１８	喪失（不該当）原因	退職日死亡日	年月日	数字	０，６	喪失（不該当）原因が「退職等」または「死亡」の場合に、退職した日、死亡した日、転勤した日、雇用契約変更のあった日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月７日の場合、 「010507」と設定する	ツ
１９	備考欄項目１			数字	０，１	二以上事業所勤務者の資格喪失の場合は「1」を設定する	テ
２０	備考欄項目２			数字	０，１	退職後の継続再雇用者の資格喪失の場合は「1」を設定する	ト

表４．６．１－１　資格喪失届・70 歳以上被用者不該当届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（４／４）

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
２１	備考欄			漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する ・転勤や雇用契約の変更による喪失の場合はその旨設定する ・被保険者資格取得届を提出したが、年金事務所等から確認通知書などが送付される前に資格喪失した場合は、「資格取得届提出中」と設定する ・厚生年金基金の加入員である被保険者が資格取得した同月に資格を喪失する場合は、「加入員の同月得喪」と設定する	ナ
				数字 英字 カナ	０～７５		
２２	資格確認書回収	添付		数字	０～２	資格確認書を回収した枚数を「添付」、回収できなかった枚数を「返不能」に設定する なお、該当しない項目は省略する	ニ
２３		返不能		数字	０～２		ヌ
２４	70歳不該当情報	70歳不該当		文字	０，１	70歳以上被用者の場合に「1」を設定する	ネ
２５		不該当年月日	元号	数字	０，１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ノ
２６			年月日	数字	０，６	不該当年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する (例) 令和１年１０月３１日の場合、 「011031」と設定する ・70歳以上被用者不該当年月日は退職または死亡した年月日の当日を設定する	ハ
２７	70歳以上被用者届のみ提出			数字	０，１	70歳以上被用者不該当届のみを提出する場合は「1」を設定する ※当該項目を設定した場合、70歳不該当及び不該当年月日への設定は必須となる ※協会管掌健康保険の事業所で７５歳以上の後期高齢者医療制度の対象者は必須となる	ヒ

（３）資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図４．６．１－３の「健康保険・厚生年金保険被保険者資格喪失届／厚生年金保険70歳以上被用者不該当届」に対応する作成例は、図４．６．１－２のとおりである。

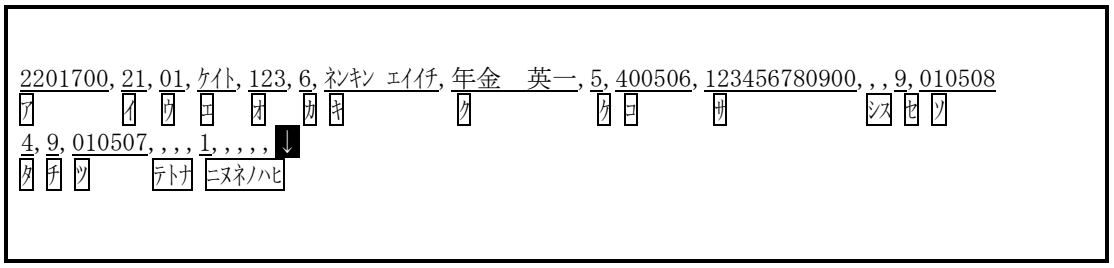


図４．６．１－２資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（年金事務所提出）の作成例

ア

様式コード
2 2 0 1

健康保険
厚生年金保険

厚生年金保険

被保険者資格喪失届
70歳以上被用者不該当届

令和　年　ウ　月　エ　日提出

事業所整理記号					—					事業所番号	オ									

提出者記入欄

事業所所在地	届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。 〒　－
事業所名称	
事業主氏名	
電話番号	（　　）

在職中に70歳に到達された方の厚生年金保険被保険者喪失届は、この用紙ではなく『70歳到達届』を提出してください。

受付印

社会保険労務士記載欄

氏名等

被保険者1

① 被保険者整理番号	カ	② 氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) キ (氏) ク　(名)	③ 生年月日	ケ 5. 昭和 7. 平成 9. 令和　コ 年 月 日
④ 個人番号（基礎年金番号）	サ シ ス	⑤ 喪失年月日	9. 令和 セ　ソ 年 月 日	⑥ 喪失（不該当）原因	タ 4. 退職等（令和 チ 年 ツ 月 日退職等） 5. 死亡（令和 年 月 日死亡） 7. 75歳到達（健康保険のみ喪失） 9. 障害認定（健康保険のみ喪失） 11. 社会保障協定
⑦ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. テ ト 以上事業所勤務者の喪失　3. その他（ナ） 2. 退職後の継続再雇用者の喪失	保険証回収	添付 ニ 枚 返不能 ヌ 枚	⑧ 70歳不該当	ネ □ 70歳以上被用者不該当（退職日または死亡日を記入してください） 不該当年月日 ノ 令和 ハ 月 日

被保険者2

① 被保険者整理番号		② 氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏)　(名)	③ 生年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和　年 月 日
④ 個人番号（基礎年金番号）		⑤ 喪失年月日	9. 令和 年 月 日	⑥ 喪失（不該当）原因	4. 退職等（令和 年 月 日退職等） 5. 死亡（令和 年 月 日死亡） 7. 75歳到達（健康保険のみ喪失） 9. 障害認定（健康保険のみ喪失） 11. 社会保障協定
⑦ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 二以上事業所勤務者の喪失　3. その他（　） 2. 退職後の継続再雇用者の喪失	保険証回収	添付 ＿＿ 枚 返不能 ＿＿ 枚	⑧ 70歳不該当	□ 70歳以上被用者不該当（退職日または死亡日を記入してください） 不該当年月日 9. 令和 年 月 日

被保険者3

① 被保険者整理番号		② 氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏)　(名)	③ 生年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和　年 月 日
④ 個人番号（基礎年金番号）		⑤ 喪失年月日	9. 令和 年 月 日	⑥ 喪失（不該当）原因	4. 退職等（令和 年 月 日退職等） 5. 死亡（令和 年 月 日死亡） 7. 75歳到達（健康保険のみ喪失） 9. 障害認定（健康保険のみ喪失） 11. 社会保障協定
⑦ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 二以上事業所勤務者の喪失　3. その他（　） 2. 退職後の継続再雇用者の喪失	保険証回収	添付 ＿＿ 枚 返不能 ＿＿ 枚	⑧ 70歳不該当	□ 70歳以上被用者不該当（退職日または死亡日を記入してください） 不該当年月日 9. 令和 年 月 日

被保険者4

① 被保険者整理番号		② 氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ) (氏)　(名)	③ 生年月日	5. 昭和 7. 平成 9. 令和　年 月 日
④ 個人番号（基礎年金番号）		⑤ 喪失年月日	9. 令和 年 月 日	⑥ 喪失（不該当）原因	4. 退職等（令和 年 月 日退職等） 5. 死亡（令和 年 月 日死亡） 7. 75歳到達（健康保険のみ喪失） 9. 障害認定（健康保険のみ喪失） 11. 社会保障協定
⑦ 備考	該当する項目を○で囲んでください。 1. 二以上事業所勤務者の喪失　3. その他（　） 2. 退職後の継続再雇用者の喪失	保険証回収	添付 ＿＿ 枚 返不能 ＿＿ 枚	⑧ 70歳不該当	□ 70歳以上被用者不該当（退職日または死亡日を記入してください） 不該当年月日 9. 令和 年 月 日

◎ イ 都道府県コード ヒ 70 歳以上被用者届のみ提出
　　については記載されていない。

◎　媒体に設定する様式コードは「2201」ではなく「2201700」である。

図４．６．１－３　健康保険・厚生年金保険被保険者資格喪失届／厚生年金保険 70 歳以上被用者不該当届

（令和 2 年 12 月現在）

４．６．２　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（健康保険組合提出）

（１）資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

健康保険組合に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの項目構成は、図４．６．２－１のとおりである。

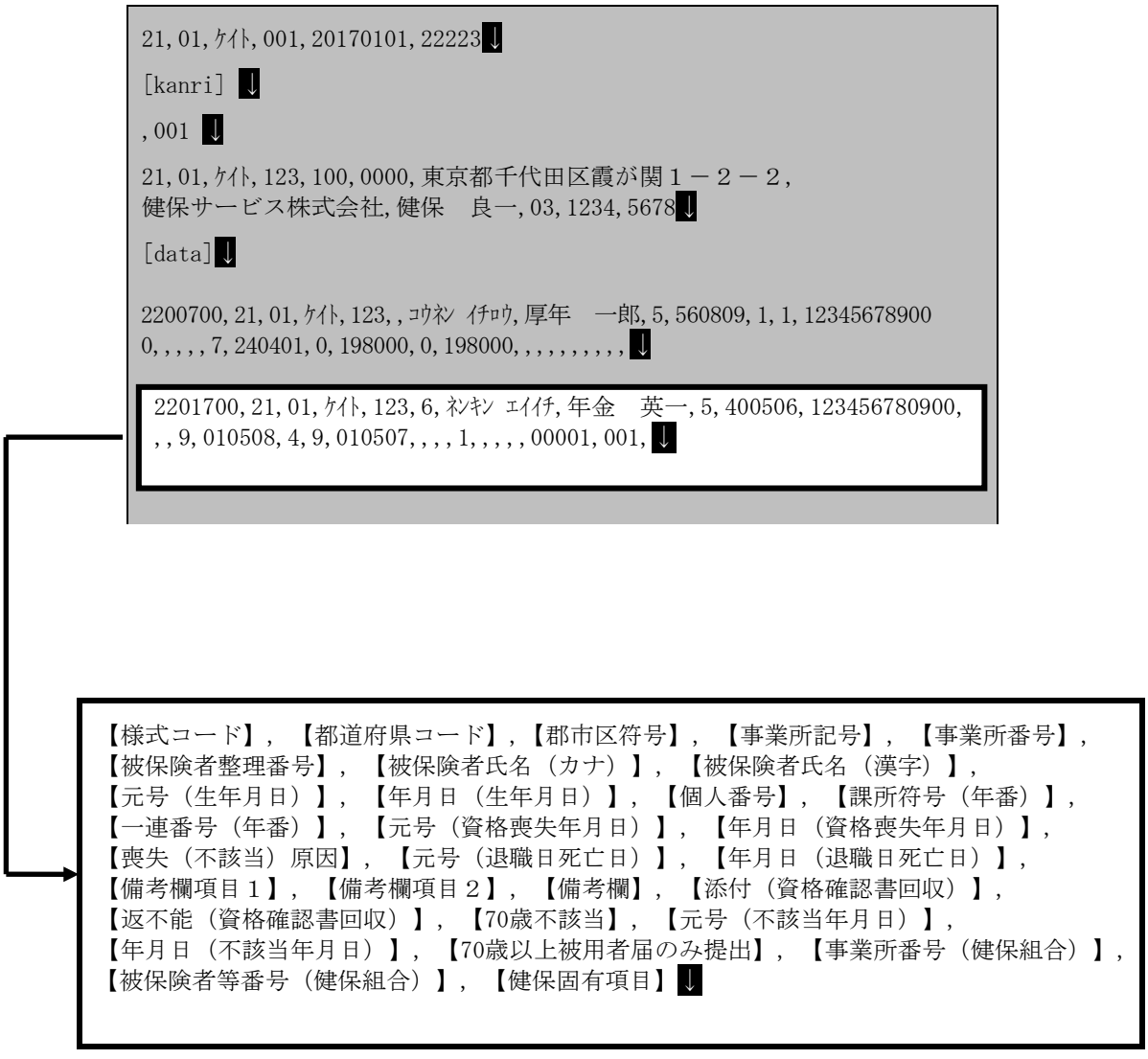


図４．６．２－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

（2）資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明

健康保険組合に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの各項目の説明は、表４．６．２－１のとおりである。

表４．６．２－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明（１／５）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2201700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	事業所番号		数字	１～５	「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所番号を設定する （例）事業所番号が「１２３」の場合、 「123」と設定する	オ
6	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「6」の場合、「6」と設定する	カ
7	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ネンキン エイイチ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ␣ｴｲｲﾁ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K エイイチ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ␣ｹｲ␣ｴｲｲﾁ」と設定する	キ

表４．６．２－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(２／５)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
８	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「年金 英一」の場合、 「年金△英一」と設定する 被保険者氏名が「年金 Ｋ 英一」の場合、 「年金△ケイ△英一」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	ク
９	生年月日	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ケ
１０		年月日	数字	６	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和４０年５月６日の場合、 「400506」と設定する	コ
１１	個人番号		数字	０，１２	個人番号を設定する	サ
１２	基礎年金番号	課所符号	－	０	省略する	シ
１３		一連番号	－	０		ス

表４．６．２－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(３／５)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１４	資格喪失年月日	元号	数字	０，１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	セ
１５	資格喪失年月日	年月日	数字	０，６	資格喪失年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する 資格喪失年月日は、以下のいずれかの年月日を設定する ・被保険者が退職または死亡した場合、退職または死亡した翌日 ・被保険者が転勤した場合、転勤した当日 ・被保険者が75歳に達した場合、75歳の誕生日の当日 ・一定の障害に該当し広域連合の認定を受け、後期高齢者医療の被保険者になった場合、その障害認定日 （例）令和１年５月７日の場合、 「010507」と設定する ※被保険者が70歳に達した場合における厚生年金保険の資格喪失届・70歳以上被用者該当届は、「被保険者資格喪失届・70歳以上被用者該当届〔70歳到達届〕」により提出してください	ソ
１６	喪失（不該当）原因		数字	１～２	以下の喪失原因に対応する数字を設定する ・退職等　：「4」 ・死亡　：「5」 ・７５歳到達（健康保険のみ喪失）　：「7」 ・障害認定　（健康保険のみ喪失）　：「9」 ・社会保障協定　：「11」	タ
１７	喪失（不該当）原因	退職日死亡日 元号	数字	０，１	喪失（不該当）原因が「退職等」または「死亡」の場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	チ
１８	喪失（不該当）原因	退職日死亡日 年月日	数字	０，６	喪失（不該当）原因が「退職等」または「死亡」の場合に、退職した日、死亡した日、転勤した日、雇用契約変更のあった日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月７日の場合、 「010507」と設定する	ツ
１９	備考欄項目１		数字	０，１	二以上事業所勤務者の資格喪失の場合は「1」を設定する	テ
２０	備考欄項目２		数字	０，１	退職後の継続再雇用者の資格喪失の場合は「1」を設定する	ト

表４．６．２－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(４／５)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２１	備考欄		漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する ・転勤や雇用契約の変更による喪失の場合はその旨設定する ・被保険者資格取得届を提出したが、年金事務所等から確認通知書などが送付される前に資格喪失した場合は、「資格取得届提出中」と設定する ・厚生年金基金の加入員である被保険者が資格取得した同月に資格を喪失する場合は、「加入員の同月得喪」と設定する	ナ
			数字 英字 カナ	０～７５		
２２	資格確認書回収	添付	数字	０～２	資格確認書を回収した枚数を「添付」、回収できなかった枚数を「返不能」に設定する なお、該当しない項目は省略する	ニ
２３		返不能	数字	０～２		ヌ
２４	70歳不該当情報	70歳不該当	－	０	省略する	ネ
２５		不該当年月日 元号	－	０	省略する	ノ
２６		不該当年月日 年月日	－	０	省略する	ハ
２７	70歳以上被用者届のみ提出		－	０	省略する	ヒ

表４．６．２－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(５／５)

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
２８	事業所番号（健保組合）	数字 英字	１～５	健康保険組合の事業所番号を設定する	A
２９	被保険者等番号(健保組合)	数字 英字	１～７	任意の英数字を設定する	B
３０	健保固有項目	漢字	０～４０	健康保険組合固有項目の内容を設定する	C
		数字 英字 カナ	０～８０		

（３）資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

健康保険組合に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの作成例は、図４．６．２－２のとおりである。

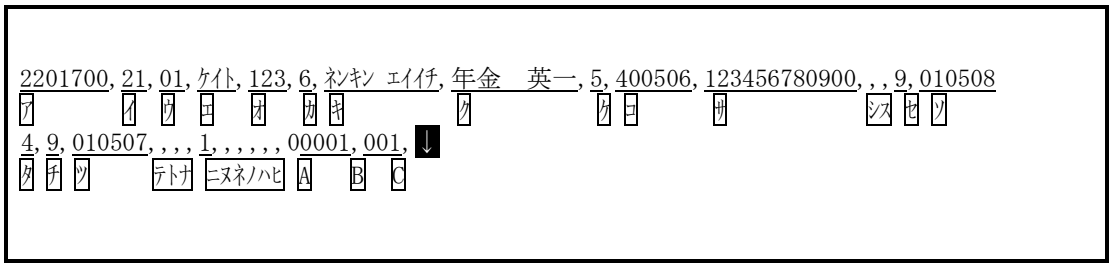


図４．６．２－２資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

４．６．３　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（厚生年金基金提出）

（１）資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの項目構成は、図４．６．３－１のとおりである。

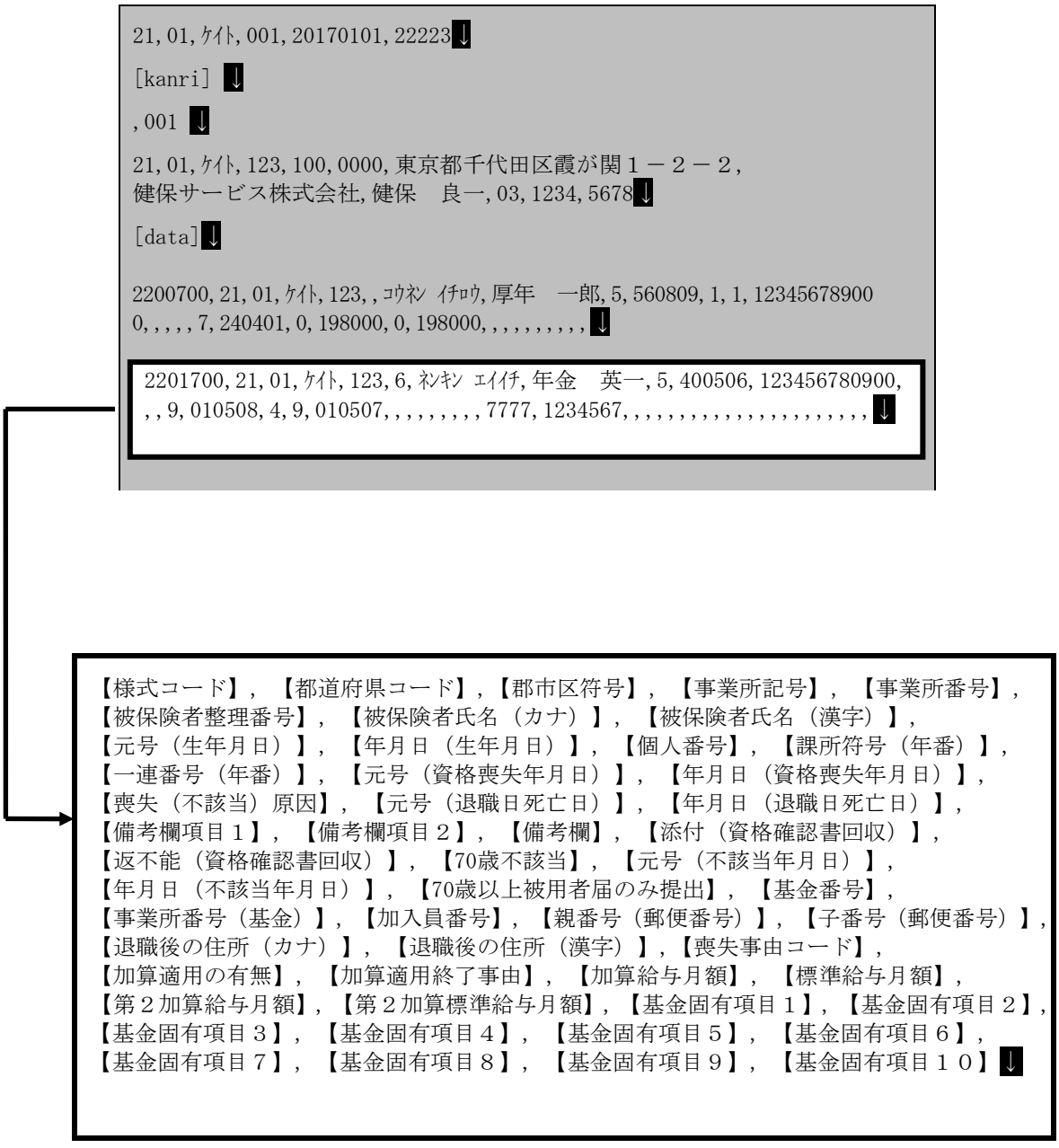


図４．６．３－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成

（2）資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明

厚生年金基金に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの各項目の説明は、表４．６．３－１のとおりである。

表４．６．３－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明（１／８）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2201700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3	事業所整理記号	郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4	事業所整理記号	事業所記号	数字 英字 カナ	１～４	(例) 東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	エ
5	事業所番号		数字	１～５	「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている 事業所番号を設定する (例) 事業所番号が「１２３」の場合、 「123」と設定する	オ
6	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する (例) 被保険者整理番号欄に記載されている番号が「6」の場合、「6」と設定する	カ
7	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する (例) 被保険者氏名が「ネンキン エイイチ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ␣ｴｲｲﾁ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン K エイイチ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ␣ｹｲ␣ｴｲｲﾁ」と設定する	キ

表４．６．３－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(２／８)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
８	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「年金 英一」の場合、 「年金△英一」と設定する 被保険者氏名が「年金 Ｋ 英一」の場合、 「年金△ケイ△英一」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	ク
９	生年月日	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ケ
１０		年月日	数字	６	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和４０年５月６日の場合、 「400506」と設定する	コ
１１	個人番号		－	０	省略する	サ
１２	基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	シ
１３		一連番号	数字	０，６		ス

表４．６．３－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(３／８)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１４	資格喪失年月日	元号	数字	０，１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	セ
１５	資格喪失年月日	年月日	数字	０，６	資格喪失年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する 資格喪失年月日は、以下のいずれかの年月日を設定する ・被保険者が退職または死亡した場合、退職または死亡した翌日 ・被保険者が転勤した場合、転勤した当日 ・被保険者が75歳に達した場合、75歳の誕生日の当日 ・一定の障害に該当し広域連合の認定を受け、後期高齢者医療の被保険者になった場合、その障害認定日 （例）令和１年５月７日の場合、 「010507」と設定する ※被保険者が70歳に達した場合における厚生年金保険の資格喪失届・70歳以上被用者該当届は、「被保険者資格喪失届・70歳以上被用者該当届〔70歳到達届〕」により提出してください	ソ
１６	喪失（不該当）原因		数字	１～２	以下の喪失原因に対応する数字を設定する ・退職等　：「4」 ・死亡　：「5」 ・７５歳到達（健康保険のみ喪失）　：「7」 ・障害認定　（健康保険のみ喪失）　：「9」 ・社会保障協定　：「11」	タ
１７	喪失（不該当）原因 退職日死亡日	元号	数字	０，１	喪失（不該当）原因が「退職等」または「死亡」の場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	チ
１８	喪失（不該当）原因 退職日死亡日	年月日	数字	０，６	喪失（不該当）原因が「退職等」または「死亡」の場合に、退職した日、死亡した日、転勤した日、雇用契約変更のあった日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月７日の場合、 「010507」と設定する	ツ
１９	備考欄項目１		数字	０，１	二以上事業所勤務者の資格喪失の場合は「1」を設定する	テ
２０	備考欄項目２		数字	０，１	退職後の継続再雇用者の資格喪失の場合は「1」を設定する	ト

表４．６．３－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(４／８)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２１	備考欄		漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は設定する ・転勤や雇用契約の変更による喪失の場合はその旨設定する ・被保険者資格取得届を提出したが、年金事務所等から確認通知書などが送付される前に資格喪失した場合は、「資格取得届提出中」と設定する ・厚生年金基金の加入員である被保険者が資格取得した同月に資格を喪失する場合は、「加入員の同月得喪」と設定する	ナ
			数字 英字 カナ	０～７５		
２２	資格確認書回収	添付	－	０	省略する	ニ
２３		返不能	－	０		ヌ
２４	７０歳不該当情報	70歳不該当	文字	０，１	70歳以上被用者の場合に「1」を設定する	ネ
２５		不該当年月日 元号	数字	０，１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ノ
２６		不該当年月日 年月日	数字	０，６	不該当年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する (例) 令和１年１０月３１日の場合、「011031」と設定する ・70歳以上被用者不該当年月日は退職または死亡した年月日の当日を設定する	ハ
２７	70歳以上被用者届のみ提出		－	０	省略する	ヒ

表４．６．３－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(５／８)

以下、厚生年金基金独自項目欄

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
２８	基金番号		数字	１～４	厚生年金基金の基金番号を設定する	A
２９	事業所番号（基金）		数字 英字	１～７	厚生年金基金の事業所番号を設定する	B
３０	加入員番号		数字 英字	１～１１	加入員手帳の番号を設定する	C
３１	郵便番号	親番号	数字	０，３	加入員の退職後の住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１０５－８５１３」の場合、 親番号に「105」 子番号に「8513」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に、「999」、子番号に「9999」を設定する	D
３２	郵便番号	子番号	数字	０，４		E
３３	退職後の住所（カナ）		数字 英字 カナ	１～７５	加入員の退職後の住所を都道府県名から設定する	F
３４	退職後の住所（漢字）		漢字 数字 英字	０～３７	加入員の退職後の住所を都道府県名から設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・国外に居住する者の場合 ・住所に「３．４コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が３７文字を超える場合	G
３５	喪失事由コード		数字	１～２	喪失事由コードを設定する （例） 年金　：「１」または「０１」 特例　：「２」または「０２」 転出　：「３」または「０３」 申脱保留　：「４」または「０４」 申脱（選）　：「５」または「０５」 申脱　：「６」または「０６」 休職　：「７」または「０７」 無給付　：「８」または「０８」 年金（選）　：「９」または「０９」 特例（選）　：「１０」	H

表４．６．３－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(６／８)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３６	加算適用の有無	数字	０～２	加算適用の有無を設定する （例）有：「１」または「０１」 　　無：「０」または「００」	I
３７	加算適用終了事由	数字	０～２	加算適用終了事由コードを設定する （例） 　年金　　：「１」または「０１」 　一時金　　：「２」または「０２」 　選一　　：「３」または「０３」 　休職　　：「４」または「０４」 　転出　　：「５」または「０５」 　無給付　　：「６」または「０６」 　申脱　　：「７」または「０７」 　申脱保留　　：「８」または「０８」	J
３８	加算給与月額	数字	０～７	加算給与月額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	K
３９	標準給与月額	数字	０～４	標準給与月額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	L
４０	第２加算給与月額	数字	０～７	第２加算給与月額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	M
４１	第２加算標準給与月額	数字	０～４	第２加算標準給与月額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	N

表４．６．３－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(７／８)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
４２	基金固有項目１	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目１の内容を設定する	O
		数字 英字 カナ	０～１０		
４３	基金固有項目２	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目２の内容を設定する	P
		数字 英字 カナ	０～１０		
４４	基金固有項目３	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目３の内容を設定する	Q
		数字 英字 カナ	０～１０		
４５	基金固有項目４	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目４の内容を設定する	R
		数字 英字 カナ	０～１０		
４６	基金固有項目５	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目５の内容を設定する	S
		数字 英字 カナ	０～１０		
４７	基金固有項目６	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目６の内容を設定する	T
		数字 英字 カナ	０～１０		
４８	基金固有項目７	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目７の内容を設定する	U
		数字 英字 カナ	０～１０		
４９	基金固有項目８	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目８の内容を設定する	V
		数字 英字 カナ	０～１０		

表４．６．３－１　資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(８／８)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５０	基金固有項目９	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目９の内容を設定する	W
		数字 英字 カナ	０～１０		
５１	基金固有項目 １０	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目１０の内容を設定する	X
		数字 英字 カナ	０～１０		

※項番３５、３６、３７、３９、４１、４２～５１については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

（３）資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

健康保険組合に提出する資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコードの作成例は、図４．６．３－２のとおりである。

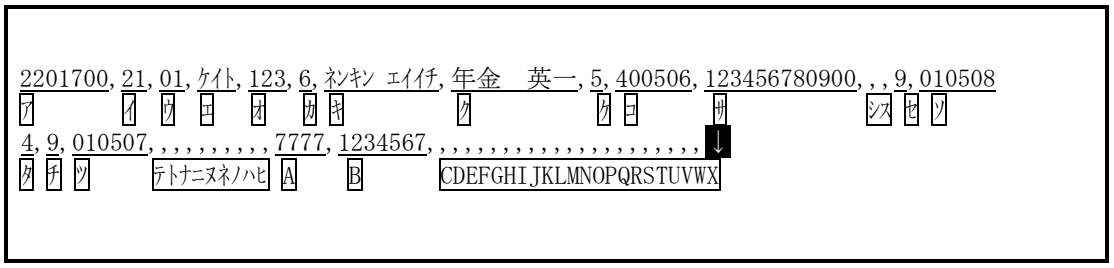


図４．６．３－２資格喪失届・70歳以上被用者不該当届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

7

４．７　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード

４．７．１　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（年金事務所提出）

（１）算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの項目構成は、図４．７．１－１のとおりである。

21,57,ｹﾏ,001,20170101,22223↓

[kanri] ↓

,001 ↓

21,57,ｹﾏ,,168,8505,東京都杉並区高井戸３－５－２４,
株式会社健保産業,健保　一郎,03,2345,6789↓

[data]↓

2225700,21,57,ｹﾏ,1,ｹﾝﾎﾟ　ｲﾁﾛｳ,健保　一郎,5,210527,9,01,09,0300,0300,7,
30,09,,,,,04,05,06,31,30,31,300000,300000,300000,0,0,0,300000,300000,
300000,900000,300000,,,,,,,,,,,,,,,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,2,ｹﾝﾎﾟ　ﾊﾅｺ,健保　花子,5,240723,9,01,09,0200,0200,7,
30,09,,,,,04,05,06,31,00,31,200000,0,200000,0,0,0,200000,,200000,
400000,200000,,,,,,,,,1,,,,５月休職,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,3,ﾈﾝｷﾝ　ﾀﾞｲｽｹ,年金　大助,5,351205,9,01,09,0300,0300,7,
30,09,04,1,04,12000,04,05,06,22,20,20,308000,　296000,296000,0,0,0,
308000,296000,296000,900000,300000,296000,,,,,,,,,,,,,,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,4,ｺｳﾈﾝ　ｹﾝｼﾞ,厚年　健司,5,420618,9,01,09,0240,0240,7,
30,09,,,,,04,05,06,22,20,16,264000,240000,192000,5000,5000,5000,
269000,245000,,514000,257000,,,,,,,,,,,,,,,↓

2221700,21,57,ｹﾏ,17,ｺｳﾈﾝ　ｻﾌﾞﾛｳ,厚年　三郎,5,350708,7,24,12,0260,0260,7,
24,09,09,1,,,09,10,11,31,30,31,300000,300000,300000,0,0,0,300000,300000,
300000,900000,300000,,,,,,,,基本給の変更,,,↓

2221700,21,57,ｹﾏ,25,ﾈﾝｷﾝ　ｼﾛｳ,年金　四郎,5,400609,7,24,12,0240,0240,7,24,
09,09,1,,,09,10,11,31,30,31,285000,285000,285000,0,0,0,285000,285000,
285000,855000,285000,,,,,,,,家族手当の支給,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,1　ｹﾝﾎﾟ　ｲﾁﾛｳ,健保　一郎,5,210527,,,600000,0,600000,
,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,2,ｹﾝﾎﾟ　ﾊﾅｺ,健保　花子,5,240723,,,400000,0,400000,
,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,3,ﾈﾝｷﾝ　ﾀﾞｲｽｹ,年金　大介,5,351205,,,624000,0,624000,
,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,3,　ｺｳﾈﾝ　ｶｽﾞｵ,厚年　一夫,5,420618,,,487900,0,487000,
,,,,,,↓

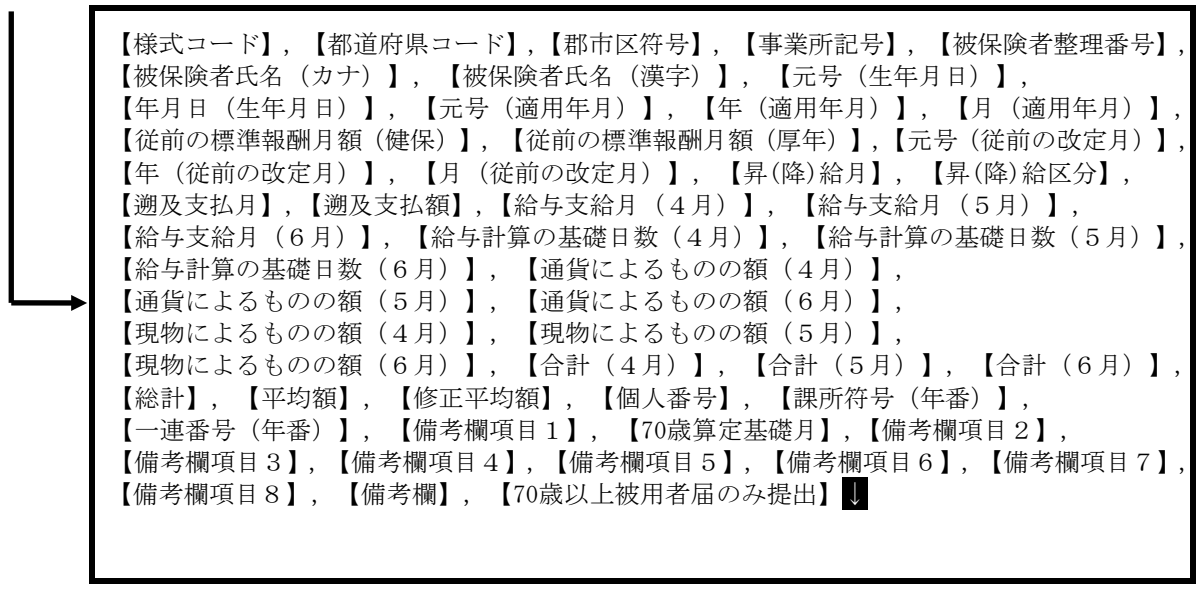


図４．７．１－１　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目構成

（2）算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明

年金事務所に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの各項目の説明は、表４．７．１－１のとおりである。

表４．７．１－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（１／７）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2225700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「５７－ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ｹﾏ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「１」の場合、 「1」と設定する ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、 「ｹﾝﾎﾟ␣ｲﾁﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ Ｋ イチロウ」の場合、「ｹﾝﾎﾟ␣ｹｲ␣ｲﾁﾛｳ」と設定する	カ

表４．７．１－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（２／７）

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
7	被保険者氏名 （漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する 被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	キ
8	生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和２１年５月２７日の場合、 「210527」と設定する	ケ
１０	適用年月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
１１		年	数字	2	当該届（媒体）を提出する年（和暦）を２文字で設定する （例）令和１年の場合、 「01」と設定する	サ
１２		月	数字	2	「09」を設定する	シ
１３	従前の 標準報酬月額 （健保）		数字	０，４	現在の標準報酬月額（健保）を４文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（健保）が「３００」の場合、 「0300」と設定する	ス
１４	従前の 標準報酬月額 （厚年）		数字	０，４	現在の標準報酬月額（厚年）を４文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（厚年）が「３００」の場合、 「0300」と設定する	セ

表４．７．１－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（３／７）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１５	従前の改定月	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ソ
１６		年	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した年（和暦）を２文字で設定する （例）平成３０年の場合、 「30」と設定する	タ
１７		月	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した月を２文字で設定する （例）９月の場合、 「09」と設定する	チ
１８	昇(降)給月		数字	０，２	昇給または降給分の支払月を設定する （例）４月の場合、 「04」と設定する	ツ
１９	昇(降)給区分		数字	０，１	昇（降）給により増（減）額された場合、下記の例に倣い設定する 昇給の場合　：「1」 降給の場合　：「2」 上記に該当しない場合は省略する	テ
２０	遡及支払月		数字	０，２	４月から６月に通常給以外の報酬が支払われた月を２文字で設定する （例）４月の場合、 「04」と設定する	ト
２１	遡及支払額		数字	０～７	４月から６月に支払われた通常給以外の報酬額を設定する （例）１万２千円の場合 「12000」または「0012000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する	ナ
２２	給与支給月	４月	数字	２	「04」を設定する	ニ
２３		５月	数字	２	「05」を設定する	ヌ
２４		６月	数字	２	「06」を設定する	ネ

表４．７．１－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（４／７）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２５	給与計算の基礎日数	４月	数字	２	給料や賃金を計算する基礎となる日数を２文字で設定する （例）日給者で給与計算の基礎日数が３１日の場合、「31」と設定する なお、以下に該当する場合は、「00」を 設定する ・当該月の給与計算の基礎日数が０日の場合	ノ
２６		５月	数字	２		ハ
２７		６月	数字	２		ヒ
２８	通貨によるものの額	４月	数字	１～７	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年３回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	フ
２９		５月	数字	１～７		ヘ
３０		６月	数字	１～７		ホ
３１	現物によるものの額	４月	数字	１～７	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のもので支払われるものについて、健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	マ
３２		５月	数字	１～７		ミ
３３		６月	数字	１～７		ム
３４	合計	４月	数字	１～７	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	メ
３５		５月	数字	１～７		モ
３６		６月	数字	１～７		ヤ

表４．７．１－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（５／７）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３７	総計	数字	１～７	給与計算の基礎日数が１７日以上だった月の、通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する パートタイマーの場合で給与計算の基礎日数が１７日以上の月がない場合には、給与計算の基礎日数が１５日以上の月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する 短時間労働者の場合は、給与計算の基礎日数が１１日以上の月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する (例) ９０万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する	ユ
３８	平均額	数字	１～７	４月、５月、６月のうち、給与計算の基礎日数が１７日以上の月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する （単位：円、１円未満切捨て） ただし、パートタイマーの被保険者であって全ての給与支給月の給与計算の基礎日数が１７日未満の場合は、１５日以上の月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する（単位：円、１円未満切捨て） また、短時間労働者の被保険者の場合は１１日以上の月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する (単位：円、１円未満切捨て) (例) ３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、全ての給与支給月の基礎日数が上記の日数を満たしていない場合は、「0」を設定する また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが１千万円を超えている場合は、１千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ヨ
３９	修正平均額	数字	０～７	算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合また算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合に設定する（単位：円、１円未満切捨て） （例）２９万６千円の場合、 「296000」または「0296000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する	ラ

表４．７．１－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（６／７）

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
４０	個人番号		数字	０，１２	被保険者が「70歳以上被用者」の場合に個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	リ
４１	基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	個人番号を入力した場合は省略してよいが、「70歳以上被用者」で個人番号が空欄の場合は必須入力とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	ル
４２		一連番号	数字	０，６		レ
４３	備考欄項目１		数字	０，１	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する ただし、７０歳到達年の６月に７０歳以上被用者に該当した者である場合は「１」を設定しない	ロ
４４	70歳算定基礎月		数字	０，２，４	算定期間中に70歳に到達したこと等により、健康保険と厚生年金保険の算定基礎月が異なる場合、70歳以上被用者分の算定基礎月を記入する ・算定基礎月が６月のみの場合には２文字を設定する （例）６月のみの場合、 「06」と設定する ・算定基礎月が５月と６月の場合には４文字を設定する （例）５月と６月の場合、 「0506」と設定する 月の間にはカンマ等挿入しないこと	ワ
４５	備考欄項目２		数字	０，１	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	ヲ
４６	備考欄項目３		数字	０，１	月額変更の予定がある場合は「1」を設定する	A
４７	備考欄項目４		数字	０，１	給与支払対象となる期間の途中から資格取得したことにより１カ月分の給与が支給されない場合に「1」を設定する	B
４８	備考欄項目５		数字	０，１	病休・育休・休職に該当する場合に「1」を設定する	C
４９	備考欄項目６		数字	０，１	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する ※算定の対象となる期間に被保険者区分が、一般の被保険者と短時間労働者が混在する場合は省略する	D

表４．７．１－１算定基礎届・70 歳以上被用者算定基礎届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(７／７)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５０	備考欄項目７	数字	０，１	パートに該当する場合は「1」を設定する ※算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合は「１」を設定する。 ・一般の被保険者⇔パート扱いする者 ・パート扱いする者⇔短時間労働者 ・一般の被保険者⇔パート扱いする者⇔短時間労働者	E
５１	備考欄項目８	数字	０，１	年間平均での算定を申し立てる場合に「1」を設定する	F
５２	備考欄	漢字 数字 英字 カナ	０～３７ ０～７５	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する ○現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する （例） ・現物給与が住宅の場合：「住宅」 ○保険者算定となる場合、その根拠となる情報を入力する ※「保険者算定」とは、通常の算定方法では対応が困難な場合や、その額が著しく不当になる場合などに、保険者が事情に応じた修正平均額を算定し、標準報酬月額を決定することをいう （例） ・給与締め日 15 日、当月 25 日支払、3 月 26 日資格取得者、4 月支払の給与が、3／26～4／15 分となる場合 ：「平成 25 年 3 月 26 日取得」 ・休職中の場合：「平成 25 年 3 月 15 日より病休中」 ：「休職給　4～5 月　60%」 ○備考欄項目で設定した項目の補足事項を入力する （例） ・２９年４月～育児休業 ・２８年１１月～２９年５月まで病休 ○算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨を入力する パート扱いする者（短時間就労者）及び短時間労働者について入力する （例） ４月はパート扱いする者、５、６月は短時間労働者の場合：パート４月　短時間労働者５、６月	G
５３	70歳以上被用者届のみ提出	数字	０，１	70歳以上被用者算定基礎届のみを提出する場合は「1」を設定する ※当該項目を設定した場合、備考欄項目１、個人番号または基礎年金番号への設定は必須となる	H

（３）算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図４．７．１－３の「健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届／厚生年金保険70歳以上被用者算定基礎届」に対応する作成例は、図４．７．１－２のとおりである。

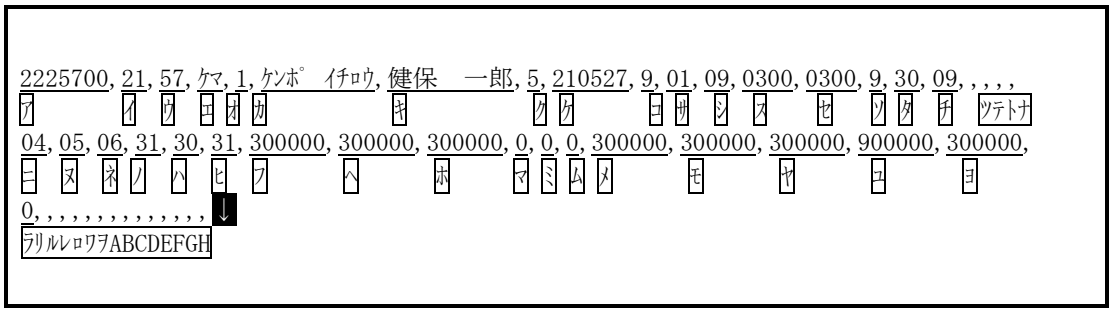


図４．７．１－２算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（年金事務所提出）の作成例

ア

様式コード 2225

健康保険
厚生年金保険
厚生年金保険

被保険者報酬月額算定基礎届
70歳以上被用者算定基礎届

平成　年　月　日提出

提出者記入欄

事業所整理記号　ウ　エ

届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。

事業所所在地　〒

事業所名称

事業主氏名　㊞

電話番号　(　　)

※ 押印または自署

受付印

社会保険労務士記載欄

氏名等　㊞

項目名	① 被保険者整理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	④ 適用年月	⑰ 個人番号[基礎年金番号] ※70歳以上被用者の場合のみ
	⑤ 従前の標準報酬月額	⑥従前改定月	⑦ 昇(降)給	⑧ 遡及支払額	⑱ 備考
	⑨ 給与支給月 / ⑩ 給与計算の基礎日数	報酬月額 ⑪ 通貨によるものの額 / ⑫ 現物によるものの額 / ⑬ 合計(⑪+⑫)		⑭ 総計(一定の基礎日数以上の月のみ) / ⑮ 平均額 / ⑯ 修正平均額	
1	① オ	② キ	③ ク ケ	④ サ シ 年 9 月	⑰ リ ル レ
	⑤ 健 ス 千円	厚 セ 千円	⑥ タ 年 チ 月	⑦ 昇(降)給 ツ 月 1. 昇 2. 降 テ	⑧ 遡及支払額 ト 月 ナ 円
	⑨ 支給月 4 ニ / ⑩ 日数 ノ 日	⑪ 通貨 フ 円	⑫ 現物 マ 円	⑬ 合計(⑪+⑫) メ 円	⑭ 総計 ユ 円
	5 ヌ / ハ 日	ヘ 円	ミ 円	モ 円	⑮ 平均額 ヨ 円
	6 ネ / ヒ 日	ホ 円	ム 円	ヤ 円	⑯修正平均額 ラ 円
2	①	②	③	④ 年 9 月	⑰
	⑤ 健 千円	厚 千円	⑥ 年 月	⑦ 昇(降)給 月 1. 昇給 2. 降給	⑧ 遡及支払額 月 円
	⑨ 支給月 4 月 / ⑩ 日数 日	⑪ 通貨 円	⑫ 現物 円	⑬ 合計(⑪+⑫) 円	⑭ 総計 円
	5 月 / 日	円	円	円	⑮ 平均額 円
	6 月 / 日	円	円	円	⑯修正平均額 円
3	①	②	③	④ 年 9 月	⑰
	⑤ 健 千円	厚 千円	⑥ 年 月	⑦ 昇(降)給 月 1. 昇給 2. 降給	⑧ 遡及支払額 月 円
	⑨ 支給月 4 月 / ⑩ 日数 日	⑪ 通貨 円	⑫ 現物 円	⑬ 合計(⑪+⑫) 円	⑭ 総計 円
	5 月 / 日	円	円	円	⑮ 平均額 円
	6 月 / 日	円	円	円	⑯修正平均額 円
4	①	②	③	④ 年 9 月	⑰
	⑤ 健 千円	厚 千円	⑥ 年 月	⑦ 昇(降)給 月 1. 昇給 2. 降給	⑧ 遡及支払額 月 円
	⑨ 支給月 4 月 / ⑩ 日数 日	⑪ 通貨 円	⑫ 現物 円	⑬ 合計(⑪+⑫) 円	⑭ 総計 円
	5 月 / 日	円	円	円	⑮ 平均額 円
	6 月 / 日	円	円	円	⑯修正平均額 円
5	①	②	③	④ 年 9 月	⑰
	⑤ 健 千円	厚 千円	⑥ 年 月	⑦ 昇(降)給 月 1. 昇給 2. 降給	⑧ 遡及支払額 月 円
	⑨ 支給月 4 月 / ⑩ 日数 日	⑪ 通貨 円	⑫ 現物 円	⑬ 合計(⑪+⑫) 円	⑭ 総計 円
	5 月 / 日	円	円	円	⑮ 平均額 円
	6 月 / 日	円	円	円	⑯修正平均額 円

1. 70歳以上被用者算定 (算定基礎月:　月　月)
2. 二以上勤務　3. 月額変更予定
4. 途中入社　5. 病休・育休・休職等
6. 短時間労働者(特定適用事業所等)
7. パート　8. 年間平均
9. その他 (　　)

※ ⑨支給月とは、給与の対象となった計算月ではなく実際に給与の支払いを行った月となります。

◎ イ 都道府県コード カ 被保険者氏名（カナ） コ 適用年月日（元号） ソ 従前の改定月（元号）
H 70 歳以上被用者届のみ提出については記載されていない。
◎　媒体に設定する様式コードは「2225」ではなく「2225700」である。

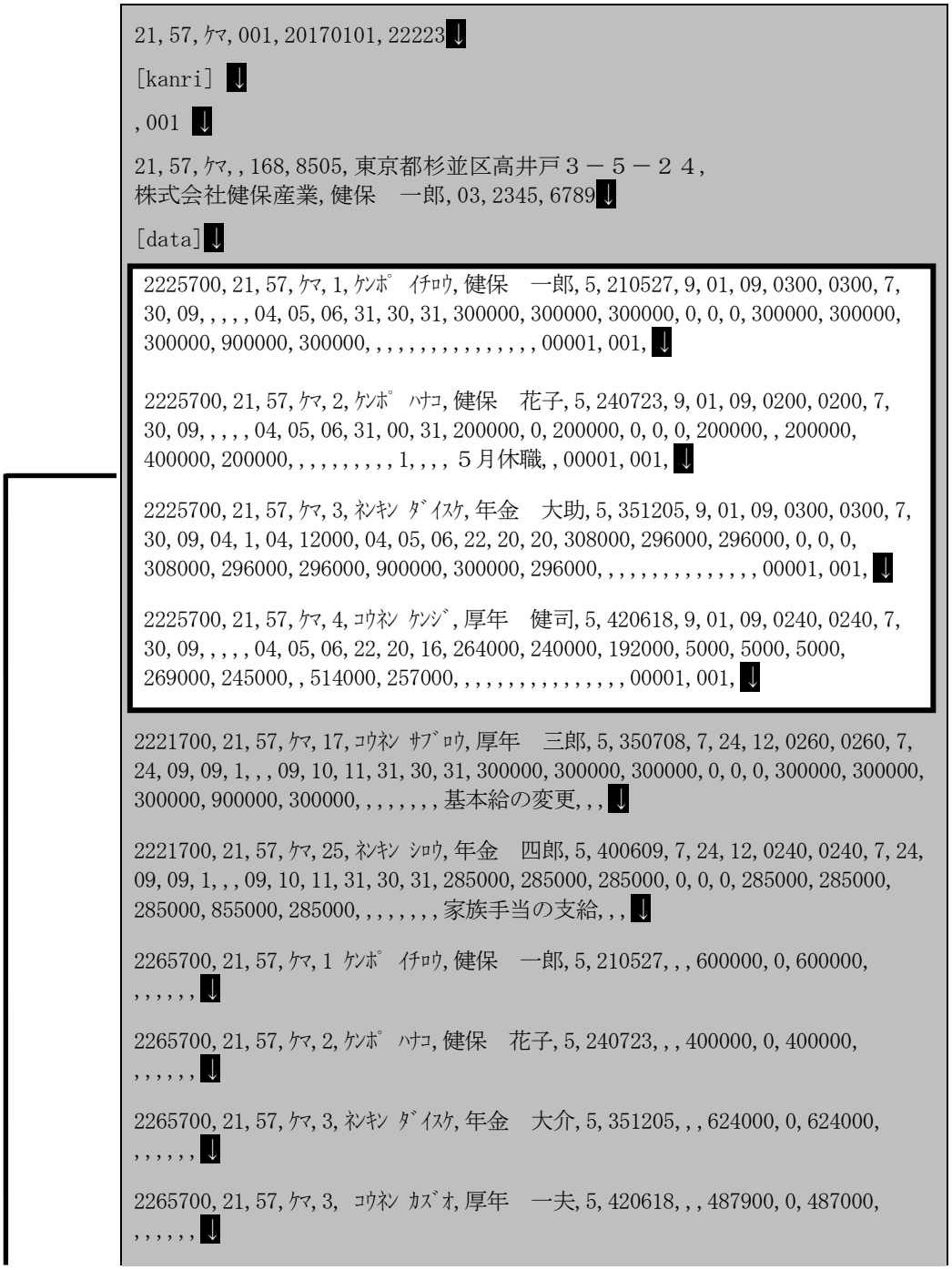
図４．７．１－３　健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届／厚生年金保険 70 歳以上被用者算定基礎届

（平成 30 年 10 月現在）

４．７．２　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（健康保険組合提出）

（１）算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

健康保険組合に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの項目構成は、図４．７．２－１のとおりである。



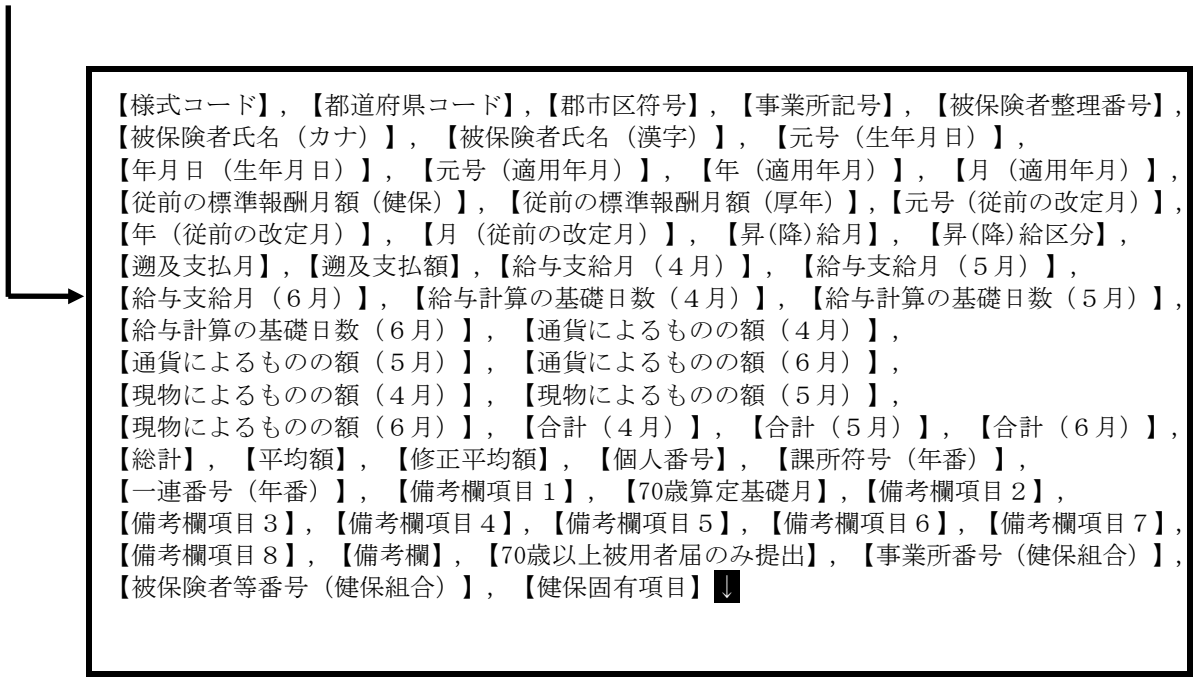


図４．７．２－１　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目構成

（２）算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明

健康保険組合に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの各項目の説明は、表４．７．２－１のとおりである。

表４．７．２－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明（１／８）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2225700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「５７－ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ｹﾏ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「１」の場合、 「1」と設定する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、 「ｹﾝﾎﾟ␣ｲﾁﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ Ｋ イチロウ」の場合、「ｹﾝﾎﾟ␣ｹｲ␣ｲﾁﾛｳ」と設定する	カ

表４．７．２－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明（２／８）

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
7	被保険者氏名 （漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「健保　一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する 被保険者氏名が「健保　Ｋ　一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	キ
8	生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和２１年５月２７日の場合、 「210527」と設定する	ケ
１０	適用年月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
１１		年	数字	2	当該届（媒体）を提出する年（和暦）を２文字で設定する （例）令和１年の場合、 「01」と設定する	サ
１２		月	数字	2	「09」を設定する	シ
１３	従前の 標準報酬月額 （健保）		数字	０，４	現在の標準報酬月額（健保）を４文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（健保）が「３００」の場合、 「0300」と設定する	ス
１４	従前の 標準報酬月額 （厚年）		数字	０，４	現在の標準報酬月額（厚年）を４文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（厚年）が「３００」の場合、 「0300」と設定する	セ

表４．７．２－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明（３／８）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１５	従前の改定月	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ソ
１６		年	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した年（和暦）を２文字で設定する （例）令和１年の場合、 「01」と設定する	タ
１７		月	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した月を２文字で設定する （例）９月の場合、 「09」と設定する	チ
１８	昇(降)給月		数字	０，２	昇給または降給分の支払月を設定する （例）４月の場合、 「04」と設定する	ツ
１９	昇(降)給区分		数字	０，１	昇（降）給により増（減）額された場合、下記の例に倣い設定する 昇給の場合　：「1」 降給の場合　：「2」 上記に該当しない場合は省略する	テ
２０	遡及支払月		数字	０，２	４月から６月に通常給以外の報酬が支払われた月を２文字で設定する （例）４月の場合、 「04」と設定する	ト
２１	遡及支払額		数字	０～７	４月から６月に支払われた通常給以外の報酬額を設定する （例）１万２千円の場合 「12000」または「0012000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する	ナ
２２	給与支給月	４月	数字	２	「04」を設定する	ニ
２３		５月	数字	２	「05」を設定する	ヌ
２４		６月	数字	２	「06」を設定する	ネ

表４．７．２－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明（４／８）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２５	給与計算の基礎日数	４月	数字	２	給料や賃金を計算する基礎となる日数を２文字で設定する （例）日給者で給与計算の基礎日数が３１日の場合、「31」と設定する なお、以下に該当する場合は、「00」を 設定する ・当該月の給与計算の基礎日数が０日の場合	ノ
２６		５月	数字	２		ハ
２７		６月	数字	２		ヒ
２８	通貨によるものの額	４月	数字	１～７	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年３回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	フ
２９		５月	数字	１～７		ヘ
３０		６月	数字	１～７		ホ
３１	現物によるものの額	４月	数字	１～７	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のもので支払われるものについて、健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	マ
３２		５月	数字	１～７		ミ
３３		６月	数字	１～７		ム
３４	合計	４月	数字	１～７	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	メ
３５		５月	数字	１～７		モ
３６		６月	数字	１～７		ヤ

表４．７．２－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(５／８)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３７	総計	数字	１～７	給与計算の基礎日数が１７日以上だった月の、通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する パートタイマーの場合で給与計算の基礎日数が１７日以上の月がない場合には、給与計算の基礎日数が１５日以上の月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する 短時間労働者の場合は、給与計算の基礎日数が１１日以上の月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する (例) ９０万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する	ユ
３８	平均額	数字	１～７	４月、５月、６月のうち、給与計算の基礎日数が１７日以上の月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する （単位：円、１円未満切捨て） ただし、パートタイマーの被保険者であって全ての給与支給月の給与計算の基礎日数が１７日未満の場合は、１５日以上の月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する（単位：円、１円未満切捨て） また、短時間労働者の被保険者の場合は１１日以上の月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する (単位：円、１円未満切捨て) (例) ３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、全ての給与支給月の基礎日数が上記の日数を満たしていない場合は、「0」を設定する また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが１千万円を超えている場合は、１千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ヨ
３９	修正平均額	数字	０～７	算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合また算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合に設定する（単位：円、１円未満切捨て） （例）２９万６千円の場合、 「296000」または「0296000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する	ラ

表４．７．２－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(６／８)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
４０	個人番号		－	０	省略する	リ
４１	基礎年金番号	課所符号	－	０	省略する	ル
４２	基礎年金番号	一連番号	－	０		レ
４３	備考欄項目１		数字	０，１	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ロ
４４	70歳算定基礎月		数字	０，２，４	算定期間中に70歳に到達したこと等により、健康保険と厚生年金保険の算定基礎月が異なる場合、70歳以上被用者分の算定基礎月を記入する ・算定基礎月が６月のみの場合には２文字を設定する （例）６月のみの場合、 「06」と設定する ・算定基礎月が５月と６月の場合には４文字を設定する （例）５月と６月の場合、 「0506」と設定する 月の間にはカンマ等挿入しないこと	ワ
４５	備考欄項目２		数字	０，１	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	ヲ
４６	備考欄項目３		数字	０，１	月額変更の予定がある場合は「1」を設定する	A
４７	備考欄項目４		数字	０，１	給与支払対象となる期間の途中から資格取得したことにより１カ月分の給与が支給されない場合に「1」を設定する	B
４８	備考欄項目５		数字	０，１	病休・育休・休職に該当する場合に「1」を設定する	C
４９	備考欄項目６		数字	０，１	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する ※算定の対象となる期間に被保険者区分が、一般の被保険者と短時間労働者が混在する場合は省略する	D

表４．７．２－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明（７／８）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５０	備考欄項目７	数字	０，１	パートに該当する場合は「1」を設定する ※算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合は「１」を設定する ・一般の被保険者⇔パート扱いする者 ・パート扱いする者⇔短時間労働者 ・一般の被保険者⇔パート扱いする者⇔短時間労働者	E
５１	備考欄項目８	数字	０，１	年間平均での算定を申し立てる場合に「1」を設定する	F
５２	備考欄	漢字 数字 英字 カナ	０～３７ ０～７５	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する ○現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する （例） ・現物給与が住宅の場合：「住宅」 ○保険者算定となる場合、その根拠となる情報を入力する ※「保険者算定」とは、通常の算定方法では対応が困難な場合や、その額が著しく不当になる場合などに、保険者が事情に応じた修正平均額を算定し、標準報酬月額を決定することをいう （例） ・給与締め日 15 日、当月 25 日支払、3 月 26 日資格取得者、4 月支払の給与が、3／26～4／15 分となる場合 ：「平成 25 年 3 月 26 日取得」 ・休職中の場合：「平成 25 年 3 月 15 日より病休中」 ：「休職給　4～5 月　60%」 ○備考欄項目で設定した項目の補足事項を入力する （例） ・２９年４月～育児休業 ・２８年１１月～２９年５月まで病休 ○算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨を入力する パート扱いする者（短時間就労者）及び短時間労働者について入力する （例） ４月はパート扱いする者、５、６月は短時間労働者の場合：パート４月　短時間労働者５、６月	G
５３	70歳以上被用者届のみ提出	－	０	省略する	H

表４．７．２－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(８／８)

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５４	事業所番号 （健保組合）	数字 英字	１～５	健康保険組合の事業所番号を設定する	a
５５	被保険者等番号 （健保組合）	数字 英字	１～７	任意の英数字を設定する	b
５６	健保固有項目	漢字	０～４０	健康保険組合固有項目の内容を設定する	c
		数字 英字 カナ	０～８０		

（３）算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

健康保険組合に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの作成例は、図４．７．２－２のとおりである。

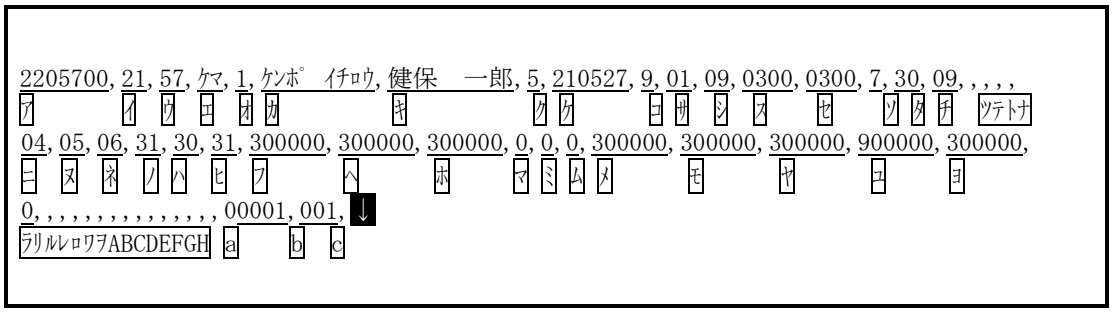
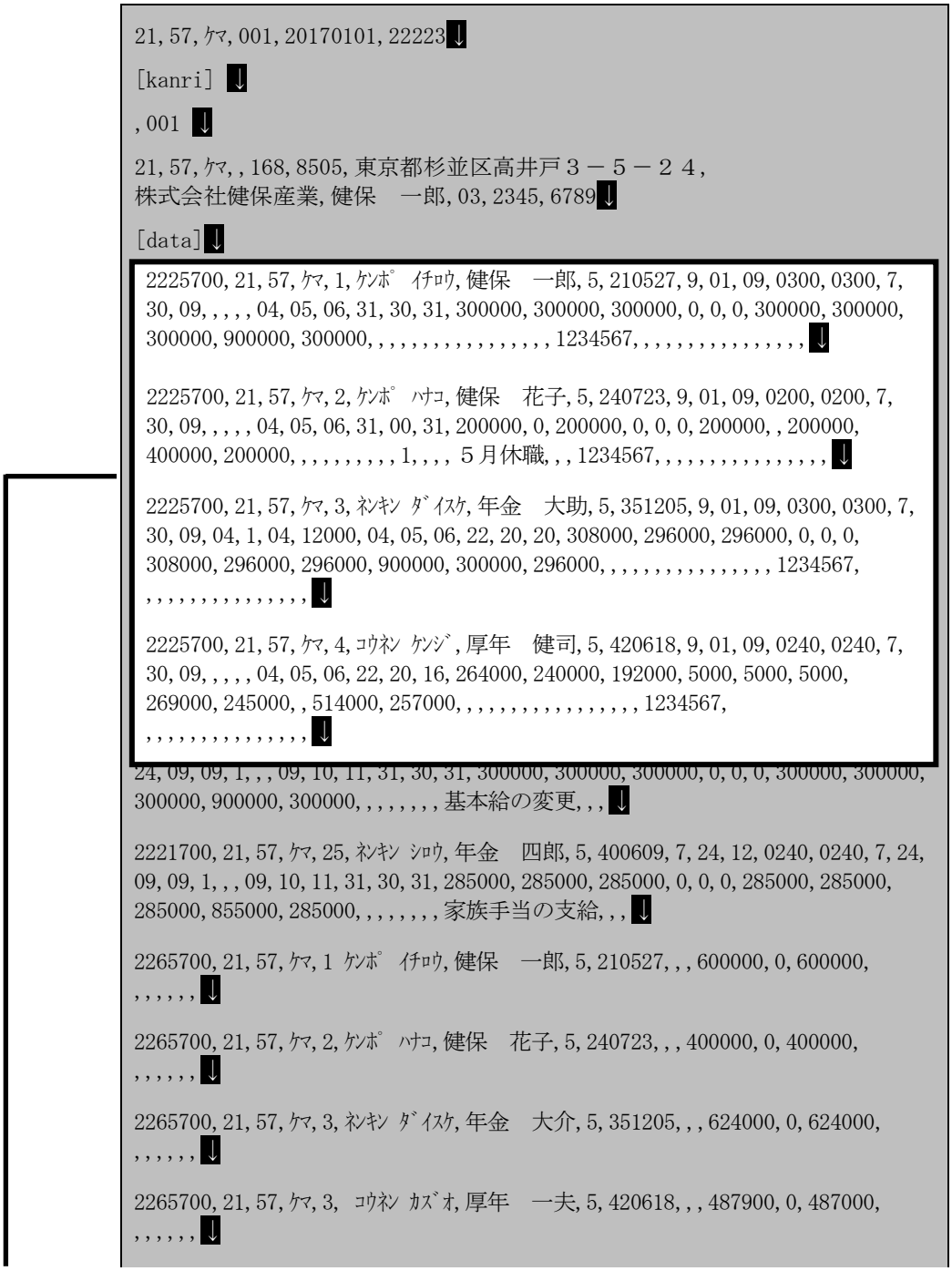


図４．７．２－２算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

４．７．３　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（厚生年金基金提出）

（１）算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの項目構成は、図４．７．３－１のとおりである。



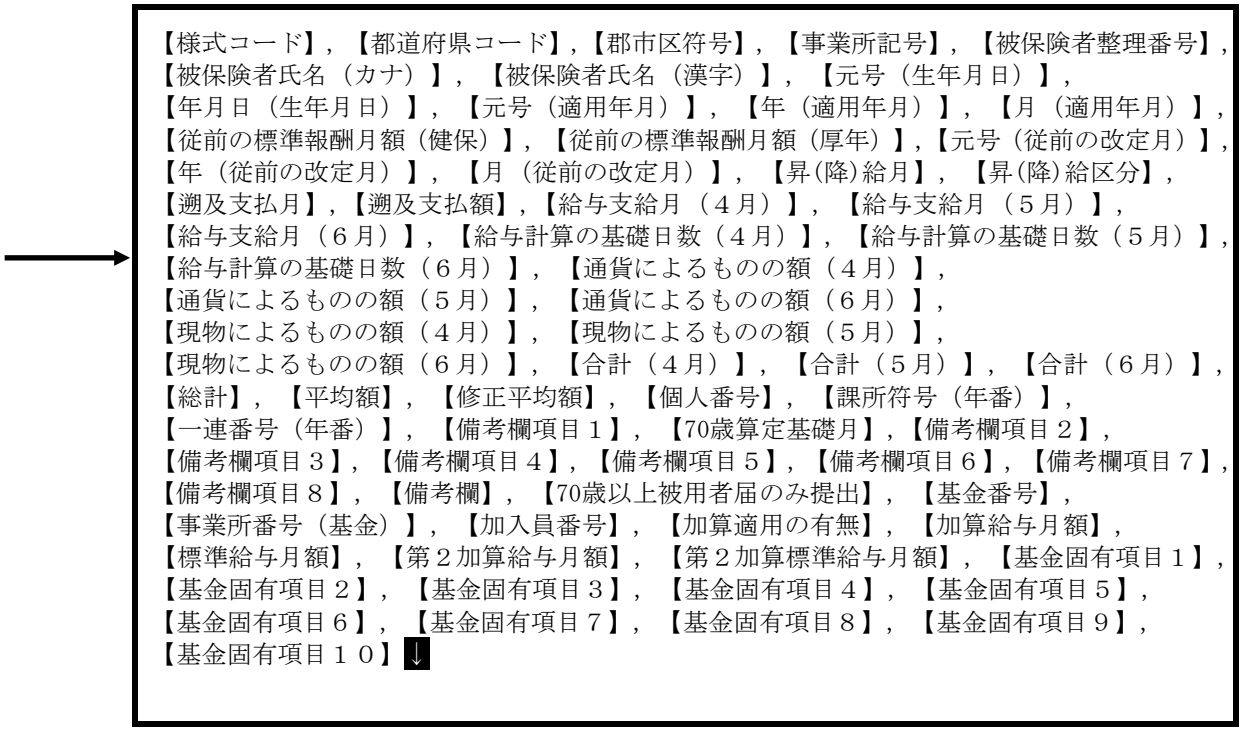


図４．７．３－１　算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目構成

（２）算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明

厚生年金基金に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの各項目の説明は、表４．７．３－１のとおりである。

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(1／10)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2225700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「５７－ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ｹﾏ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「１」の場合、 「1」と設定する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、 「ｹﾝﾎﾟ△ｲﾁﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ Ｋ イチロウ」の場合、「ｹﾝﾎﾟ△ｹｲ△ｲﾁﾛｳ」と設定する	カ

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(2／10)

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
7	被保険者氏名 （漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する 被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	キ
8	生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和２１年５月２７日の場合、 「210527」と設定する	ケ
１０	適用年月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
１１		年	数字	2	当該届（媒体）を提出する年（和暦）を２文字で設定する （例）令和１年の場合、 「01」と設定する	サ
１２		月	数字	2	「09」を設定する	シ
１３	従前の 標準報酬月額 （健保）		数字	０，４	現在の標準報酬月額（健保）を４文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（健保）が「３００」の場合、 「0300」と設定する	ス
１４	従前の 標準報酬月額 （厚年）		数字	０，４	現在の標準報酬月額（厚年）を４文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（厚年）が「３００」の場合、 「0300」と設定する	セ

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(3／10)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１５	従前の改定月	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ソ
１６		年	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した年（和暦）を２文字で設定する （例）令和１年の場合、 「01」と設定する	タ
１７		月	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した月を２文字で設定する （例）９月の場合、 「09」と設定する	チ
１８	昇(降)給月		数字	０，２	昇給または降給分の支払月を設定する （例）４月の場合、 「04」と設定する	ツ
１９	昇(降)給区分		数字	０，１	昇（降）給により増（減）額された場合、下記の例に倣い設定する 昇給の場合　：「1」 降給の場合　：「2」 上記に該当しない場合は省略する	テ
２０	遡及支払月		数字	０，２	４月から６月に通常給以外の報酬が支払われた月を２文字で設定する （例）４月の場合、 「04」と設定する	ト
２１	遡及支払額		数字	０～７	４月から６月に支払われた通常給以外の報酬額を設定する （例）１万２千円の場合 「12000」または「0012000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する	ナ
２２	給与支給月	４月	数字	２	「04」を設定する	ニ
２３		５月	数字	２	「05」を設定する	ヌ
２４		６月	数字	２	「06」を設定する	ネ

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(4／10)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２５	給与計算の基礎日数	４月	数字	２	給料や賃金を計算する基礎となる日数を２文字で設定する （例）日給者で給与計算の基礎日数が３１日の場合、「31」と設定する なお、以下に該当する場合は、「00」を 設定する ・当該月の給与計算の基礎日数が０日の場合	ノ
２６		５月	数字	２		ハ
２７		６月	数字	２		ヒ
２８	通貨によるものの額	４月	数字	１～７	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年３回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	フ
２９		５月	数字	１～７		ヘ
３０		６月	数字	１～７		ホ
３１	現物によるものの額	４月	数字	１～７	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のもので支払われるものについて、健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を、報酬が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	マ
３２		５月	数字	１～７		ミ
３３		６月	数字	１～７		ム
３４	合計	４月	数字	１～７	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	メ
３５		５月	数字	１～７		モ
３６		６月	数字	１～７		ヤ

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(5／10)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３７	総計	数字	１～７	給与計算の基礎日数が１７日以上だった月の、通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する パートタイマーの場合で給与計算の基礎日数が１７日以上の月がない場合には、給与計算の基礎日数が１５日以上の月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する 短時間労働者の場合は、給与計算の基礎日数が１１日以上の月の通貨によるものの額と現物によるものの額を合計した金額を設定する (例) ９０万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する	ユ
３８	平均額	数字	１～７	４月、５月、６月のうち、給与計算の基礎日数が１７日以上の月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する （単位：円、１円未満切捨て） ただし、パートタイマーの被保険者であって全ての給与支給月の給与計算の基礎日数が１７日未満の場合は、１５日以上の月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する（単位：円、１円未満切捨て） また、短時間労働者の被保険者の場合は１１日以上の月の合計を合算し、その月数で割った額を設定する (単位：円、１円未満切捨て) (例) ３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、全ての給与支給月の基礎日数が上記の日数を満たしていない場合は、「0」を設定する また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが１千万円を超えている場合は、１千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ヨ
３９	修正平均額	数字	０～７	算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合また算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合に設定する（単位：円、１円未満切捨て） （例）２９万６千円の場合、 「296000」または「0296000」と設定する 上記に該当しない場合は省略する	ラ

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(6／10)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
４０	個人番号		－	０	省略する	ﾘ
４１	基礎年金番号	課所符号	－	０	省略する	ﾙ
４２		一連番号	－	０		ﾚ
４３	備考欄項目１		数字	０，１	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ﾛ
４４	70歳算定基礎月		数字	０，２，４	算定期間中に70歳に到達したこと等により、健康保険と厚生年金保険の算定基礎月が異なる場合、70歳以上被用者分の算定基礎月を記入する ・算定基礎月が６月のみの場合には２文字を設定する （例）６月のみの場合、 「06」と設定する ・算定基礎月が５月と６月の場合には４文字を設定する （例）５月と６月の場合、 「0506」と設定する 月の間にはカンマ等挿入しないこと	ﾜ
４５	備考欄項目２		数字	０，１	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	ﾜ
４６	備考欄項目３		数字	０，１	月額変更の予定がある場合は「1」を設定する	A
４７	備考欄項目４		数字	０，１	給与支払対象となる期間の途中から資格取得したことにより１カ月分の給与が支給されない場合に「1」を設定する	B
４８	備考欄項目５		数字	０，１	病休・育休・休職に該当する場合に「1」を設定する	C
４９	備考欄項目６		数字	０，１	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する ※算定の対象となる期間に被保険者区分が、一般の被保険者と短時間労働者が混在する場合は省略する	D

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(7／10)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５０	備考欄項目７	数字	０，１	パートに該当する場合は「1」を設定する ※算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合は「1」を設定する ・一般の被保険者⇔パート扱いする者 ・パート扱いする者⇔短時間労働者 ・一般の被保険者⇔パート扱いする者⇔短時間労働者	E
５１	備考欄項目８	数字	０，１	年間平均での算定を申し立てる場合に「1」を設定する	F
５２	備考欄	漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する ○現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する （例） ・現物給与が住宅の場合：「住宅」 ○保険者算定となる場合、その根拠となる情報を入力する ※「保険者算定」とは、通常の算定方法では対応が困難な場合や、その額が著しく不当になる場合などに、保険者が事情に応じた修正平均額を算定し、標準報酬月額を決定することをいう （例） ・給与締め日 15 日、当月 25 日支払、3 月 26 日資格取得者、4 月支払の給与が、3／26～4／15 分となる場合 ：「平成 25 年 3 月 26 日取得」 ・休職中の場合：「平成 25 年 3 月 15 日より病休中」 ：「休職給　4～5 月　60%」 ○備考欄項目で設定した項目の補足事項を入力する （例） ・２９年４月～育児休業 ・２８年１１月～２９年５月まで病休 ○算定の対象となる期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨を入力する パート扱いする者（短時間就労者）及び短時間労働者について入力する （例） ４月はパート扱いする者、５、６月は短時間労働者の場合：パート４月　短時間労働者５、６月	G
		数字 英字 カナ	０～７５		
５３	70歳以上被用者届のみ提出	－	０	省略する	H

以下、厚生年金基金独自項目欄

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(8／10)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５４	基金番号	数字	１～４	厚生年金基金の基金番号を設定する	a
５５	事業所番号 (基金)	数字 英字	１～７	厚生年金基金の事業所番号を設定する	b
５６	加入員番号	数字 英字	１～１１	加入員手帳の番号を設定する	c
５７	加算適用の有無	数字	０～２	加算適用の有無を設定する （例）有：「1」または「01」 無：「0」または「00」	d
５８	加算給与月額	数字	０～７	加算給与月額を設定する （例）２４万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	e
５９	標準給与月額	数字	０～４	標準給与月額を設定する （例）２４万円の場合 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	f
６０	第２加算給与月額	数字	０～７	第２加算給与月額を設定する （例）２４万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	g
６１	第２加算標準給与月額	数字	０～４	第２標準給与月額を設定する （例）２４万円の場合 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	h

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(9／10)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
６２	基金固有項目１	数字	０～５	厚生年金基金固有項目１の内容を設定する	i
		数字 英字 カナ	０～１０		
６３	基金固有項目２	数字	０～５	厚生年金基金固有項目２の内容を設定する	j
		数字 英字 カナ	０～１０		
６４	基金固有項目３	数字	０～５	厚生年金基金固有項目３の内容を設定する	k
		数字 英字 カナ	０～１０		
６５	基金固有項目４	数字	０～５	厚生年金基金固有項目４の内容を設定する	l
		数字 英字 カナ	０～１０		
６６	基金固有項目５	数字	０～５	厚生年金基金固有項目５の内容を設定する	m
		数字 英字 カナ	０～１０		
６７	基金固有項目６	数字	０～５	厚生年金基金固有項目６の内容を設定する	n
		数字 英字 カナ	０～１０		
６８	基金固有項目７	数字	０～５	厚生年金基金固有項目７の内容を設定する	o
		数字 英字 カナ	０～１０		

表４．７．３－１算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(10／10)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
６９	基金固有項目８	数字	０～５	厚生年金基金固有項目８の内容を設定する	p
		数字 英字 カナ	０～１０		
７０	基金固有項目９	数字	０～５	厚生年金基金固有項目９の内容を設定する	q
		数字 英字 カナ	０～１０		
７１	基金固有項目１０	数字	０～５	厚生年金基金固有項目１０の内容を設定する	r
		数字 英字 カナ	０～１０		

※項番５７、５９、６１、６２～７１については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

（３）算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

厚生年金基金に提出する算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコードの作成例は、図４．７．３－２のとおりである。

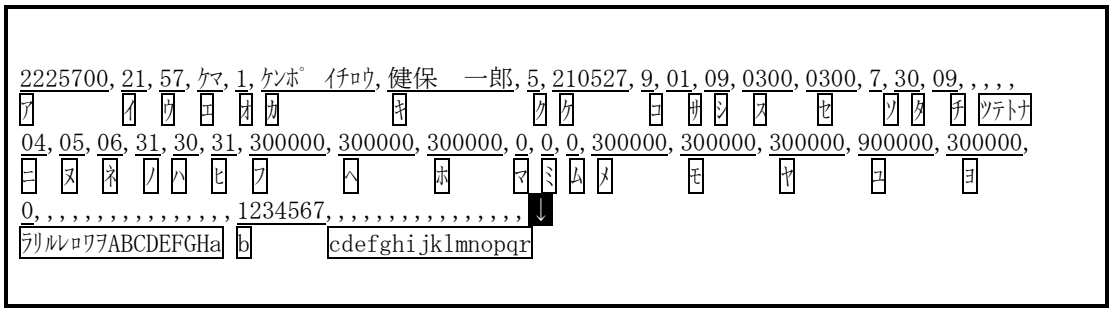


図４．７．３－２算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

４．８　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード

４．８．１　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（年金事務所提出）

（１）月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの項目構成は、図４．８．１－１のとおりである。

```
21,57,ｹﾏ,001,20170101,22223↓
[kanri] ↓
,001 ↓
21,57,ｹﾏ,,168,8505,東京都杉並区高井戸３－５－２４,
株式会社健保産業,健保　一郎,03,2345,6789↓
[data]↓

2225700,21,57,ｹﾏ,1,ｹﾝﾎﾟ　ｲﾁﾛｳ,健保　一郎,5,210527,7,25,09,0300,0300,7,24,
09,,,,,04,05,06,31,30,31,300000,300000,300000,0,0,0,300000,300000,
300000,900000,300000,,,,,,,,,,,,,,,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,2,ｹﾝﾎﾟ　ﾊﾅｺ,健保　花子,5,240723,7,25,09,0200,0200,7,24,
09,,,,,04,05,06,31,00,31,200000,0,200000,0,0,0,200000,0,200000,400000,
200000,,,,,,,,,1,,,,５月休職,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,3,ﾈﾝｷﾝ　ﾀﾞｲｽｹ,年金　大助,5,351205,7,25,09,0300,0300,7,
24,09,04,1,04,12000,04,05,06,22,20,20,308000,　296000,296000,0,0,0,
308000,296000,296000,900000,300000,296000,,,,,,,,,,,,,,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,4,ｺｳﾈﾝ　ｹﾝｼﾞ,厚年　健司,5,420618,7,25,09,0240,0240,7,24,
09,,,,,04,05,06,22,20,16,264000,240000,192000,5000,5000,5000,269000,
245000,197000,514000,257000,,,,,,,,,,,,,,,↓

2221700,21,57,ｹﾏ,17,ｺｳﾈﾝ　ｻﾌﾞﾛｳ,厚年　三郎,5,350708,9,01,12,0260,0260,9,
01,09,09,1,,,09,10,11,31,30,31,300000,300000,300000,0,0,0,300000,30000
0,300000,900000,300000,,,,,,,,基本給の変更,,,↓

2221700,21,57,ｹﾏ,25,ﾈﾝｷﾝ　ｼﾛｳ,年金　四郎,5,400609,9,01,12,0240,0240,9,0
1,09,09,1,,,09,10,11,31,30,31,285000,285000,285000,0,0,0,285000,285000,
285000,855000,285000,,,,,,,,家族手当の支給,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,1　ｹﾝﾎﾟ　ｲﾁﾛｳ,健保　一郎,5,210527,,,600000,0,600000,
,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,2,ｹﾝﾎﾟ　ﾊﾅｺ,健保　花子,5,240723,,,400000,0,400000,
,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,3,ﾈﾝｷﾝ　ﾀﾞｲｽｹ,年金　大介,5,351205,,,624000,0,624000,
,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,3,　ｺｳﾈﾝ　ｶｽﾞｵ,厚年　一夫,5,420618,,,487900,0,487000,
,,,,,,↓
```

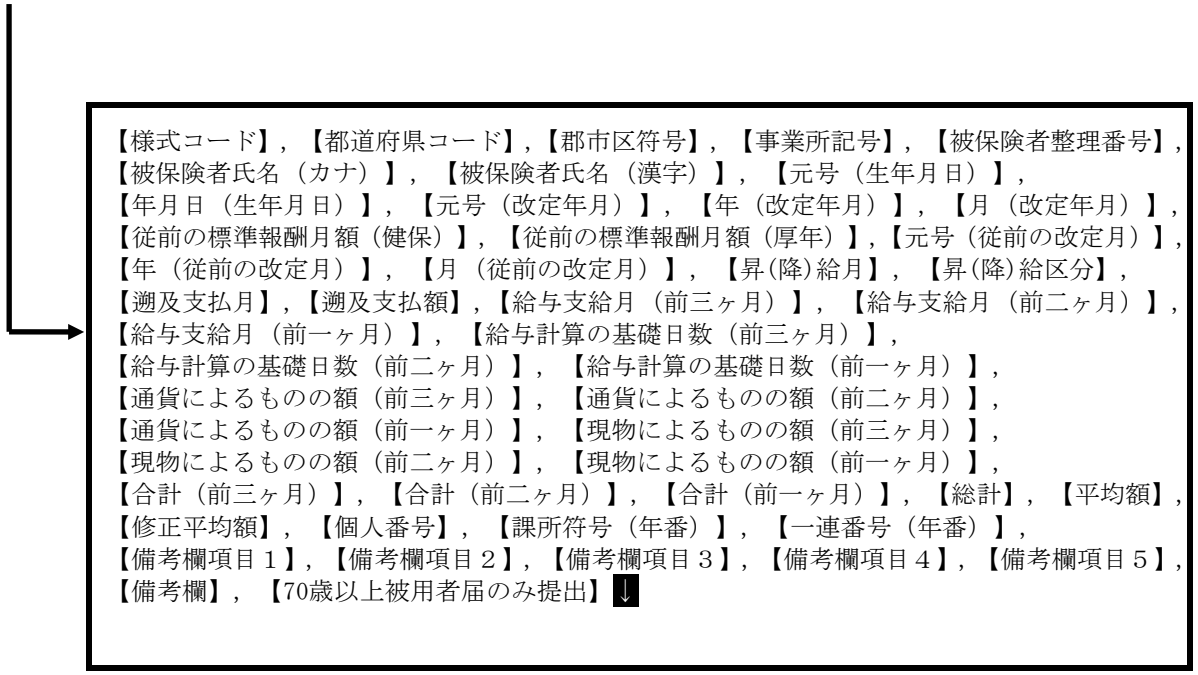


図４．８．１－１　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目構成

（2）月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明

年金事務所に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの各項目の説明は、表４．８．１－１のとおりである。

表４．８．１－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(1/6)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2221700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「５７－ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ｹﾏ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「１７」の場合、 「17」と設定する ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する (例) 被保険者氏名が「コウネン サブロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ ｻﾌﾞﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン Ｋ サブロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ ｹｲ ｻﾌﾞﾛｳ」と設定する	カ

表４．８．１－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(2/6)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「厚年 三郎」の場合、 「厚年△三郎」と設定する 被保険者氏名が「厚年 K 三郎」の場合、 「厚年△ケイ△三郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	キ
8	生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和３５年７月８日の場合、 「350708」と設定する	ケ
１０	改定年月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
１１		年	数字	2	（例）令和１年の場合、 「01」と設定する	サ
１２		月	数字	2	改定後の標準報酬月額が適用される月を２文字で設定する （例）１２月の場合、 「12」と設定する	シ
１３	従前の標準報酬月額	従前の標準報酬月額（健保）	数字	０，４	現在の標準報酬月額（健保）を４文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（健保）が「２６０」の場合、 「0260」と設定する	ス
１４		従前の標準報酬月額（厚年）	数字	０，４	現在の標準報酬月額（厚年）を４文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（厚年）が「２６０」の場合、 「0260」と設定する	セ

表４．８．１－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(3/6)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１５	従前の改定月	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ソ
１６		年	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した年（和暦）を２文字で設定する （例）令和１年の場合、 「01」と設定する	タ
１７		月	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した月を２文字で設定する （例）９月の場合、 「09」と設定する	チ
１８	昇（降）給月		数字	０，２	昇給または降給のあった月の支払月を設定する （例）９月の場合、 「09」と設定する	ツ
１９	昇（降）給区分		数字	０，１	以下の昇（降）給に対応する数字を設定する ・昇給：「1」 ・降給：「2」	テ
２０	遡及支払月		数字	０，２	「給与支給月」内に通常給以外の報酬が支払われた月を２文字で設定する （例）４月の場合、 「04」と設定する	ト
２１	遡及支払額		数字	０～７	「給与支給月」内に支払われた通常給以外の報酬額を設定する	ナ
２２	給与支給月	前三ヶ月	数字	２	改定年月の月の前三ヶ月、前二ヶ月、前一ヶ月を順に設定する （例１）改定年月の月が１２月の場合、 「09」、「10」、「11」の順に設定する （例２）改定年月の月が３月の場合、 「12」、「01」、「02」の順に設定する	ニ
２３		前二ヶ月	数字	２		ヌ
２４		前一ヶ月	数字	２		ネ

表４．８．１－１月額変更届・70 歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(4/6)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２５	給与計算の基礎日数	前三ヶ月	数字	２	給料や賃金を計算する基礎となる日数を２文字で設定する ・一般の被保険者（短時間労働者以外）の場合、17～31 日の範囲で設定する ・短時間労働者（特定適用事業所のみ）の場合、11～31 日の範囲で設定する （例）日給者で給与計算の基礎日数が３１日の場合、 「31」と設定する	ノ
２６		前二ヶ月	数字	２		ハ
２７		前一ヶ月	数字	２		ヒ
２８	通貨によるものの額	前三ヶ月	数字	１～７	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年３回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	フ
２９		前二ヶ月	数字	１～７		ヘ
３０		前一ヶ月	数字	１～７		ホ
３１	現物によるものの額	前三ヶ月	数字	１～７	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のもので支払われるものについて、健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する （例）報酬が無い場合、 「0」または 「0000000」と設定する	マ
３２		前二ヶ月	数字	１～７		ミ
３３		前一ヶ月	数字	１～７		ム

表４．８．１－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(5/6)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
３４	合計	前三ヶ月	数字	１～７	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	メ
３５		前二ヶ月	数字	１～７		モ
３６		前一ヶ月	数字	１～７		ヤ
３７	総計		数字	１～７	各「給与支給月」の「合計」の総計を設定する （例）９０万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ユ
３８	平均額		数字	１～７	総計を３で割った額を設定する (単位：円、１円未満切捨て) （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが１千万円を超えている場合は、１千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が１千万円以上の場合は「9999999」を設定する なお、１７日（短時間労働者の場合１１日）未満の月がある場合、月額変更の対象外となる	ヨ
３９	修正平均額		数字	０～７	算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合にのみ設定する（単位：円、１円未満切捨て） （例）３５万円の場合、 「350000」または 「0350000」と設定する また、年間平均による随時改定を申し立てる場合、年間平均額から算出した報酬月額（昇給（降給）月以後の継続した3か月の間に受けた固定的賃金の月平均額に、昇給（降給）月前の継続した9か月及び昇給（降給）月以後の継続した3か月の間に受けた非固定的賃金の月平均額を加えた額から算出した報酬月額）を設定する 上記以外の場合は省略する	ラ
４０	個人番号		数字	０，１２	被保険者が「70歳以上被用者」の場合に個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	リ

表４．８．１－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(6/6)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
４１	基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	個人番号を入力した場合は省略してよいが、「70歳以上被用者」で個人番号が空欄の場合は必須入力とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する	ル
４２		一連番号	数字	０，６	（例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	レ
４３	備考欄項目１		数字	０，１	70 歳以上被用者の場合は「1」を設定する ただし、改定年月の前３カ月以内に７０歳以上被用者に該当した者である場合は「１」を設定しない	ロ
４４	備考欄項目２		数字	０，１	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	ワ
４５	備考欄項目３		数字	０，１	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する	ヲ
４６	備考欄項目４		漢字	０～３７	・基本給の変更・家族手当の支給等、昇給・降給となった具体的な理由を記入する ・その他、月額変更に該当することになった具体的な理由を記入する	A
			数字 英字 カナ	０～７５		
４７	備考欄項目５		数字	０，１	70 歳到達時における雇用契約の変更など、健康保険のみ月額変更となる場合は「1」を設定する	B
４８	備考欄		漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する 現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する （例） ・現物給与が住宅の場合：「住宅」 ・算定基礎月の期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨記入する 《設定例》 １月は一般被保険者２、３月は短時間労働者の場合：「２、３月　短時間労働者」 ・年間平均による随時改定を申し立てる場合は「年間平均」と記入する	C
			数字 英字 カナ	０～７５		
４９	70歳以上被用者届のみ提出		数字	０，１	70 歳以上被用者月額変更届のみを提出する場合は「1」を設定する ※当該項目を設定した場合、備考欄項目１、個人番号または基礎年金番号への設定は必須となる	D

（3）月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図４．８．１－３の「健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額変更届／厚生年金保険70歳以上被用者月額変更届」に対応する。

作成例は、図４．８．１－２のとおりである。

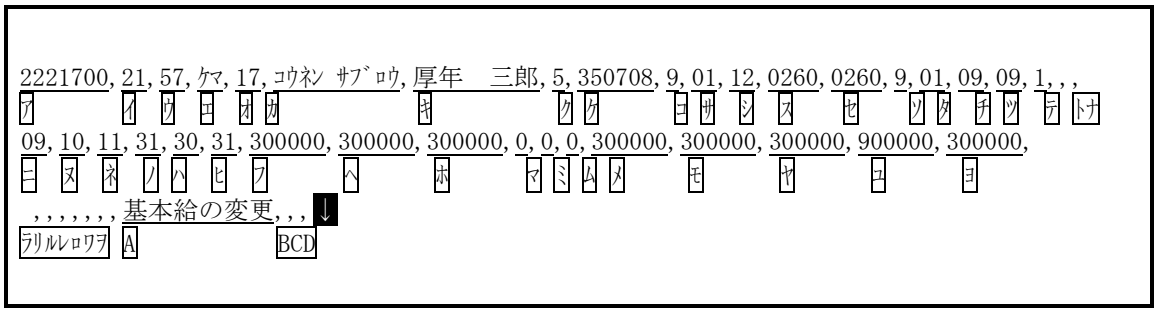


図４．８．１－２　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（年金事務所提出）の作成例

ア

様式コード 2221

健康保険
厚生年金保険
厚生年金保険

被保険者報酬月額変更届
70歳以上被用者月額変更届

平成　年　月　日提出

事業所整理記号　ウ　エ

提出者記入欄

届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。

事業所所在地　〒　－

事業所名称

事業主氏名　㊞

電話番号　（　）

受付印

社会保険労務士記載欄

氏名等　㊞

項目名	① 被保険者整理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	④ 改定年月	⑰ 個人番号[基礎年金番号] ※70歳以上被用者の場合のみ
	⑤ 従前の標準報酬月額	⑥ 従前改定月	⑦ 昇(降)給	⑧ 遡及支払額	⑱ 備考
	⑨ 給与支給月 / ⑩ 給与計算の基礎日数	報酬月額 ⑪ 通貨によるものの額 / ⑫ 現物によるものの額	⑬ 合計(⑪+⑫)	⑭ 総計 / ⑮ 平均額 / ⑯ 修正平均額	
1	① オ	② キ	③ ク ケ	④ サ 年 シ 月	⑰ リ ル レ
	⑤ 健 ス 千円 厚 セ 千円	⑥ タ 年 チ 月	⑦ ツ 月 1. テ 給 2. 給	⑧ 遡及支払額 ト 月 ナ 円	⑱ 1. ロ歳以上被用者月額変更 2. ワ上勤務 3. ヲ間労働者(特定適用事業所等) 4. A・降給の理由 ( ) 5. B保険のみ月額変更 歳到達時の契約変更等) 6. その他 (C)
	⑨ ニ 月 ⑩ ノ 日	⑪ 通貨 フ 円	⑫ 現物 マ 円	⑬ 合計(⑪+⑫) メ 円	⑭ 総計 ユ 円
	ヌ 月 ハ 日	ヘ 円	ミ 円	モ 円	⑮ 平均額 ヨ 円
	ネ 月 ヒ 日	ホ 円	ム 円	ヤ 円	⑯ 修正平均額 ラ 円
2	①	②	③	④ 年 月	⑰
	⑤ 健 千円 厚 千円	⑥ 年 月	⑦ 月 1. 昇給 2. 降給	⑧ 遡及支払額 月 円	⑱ 1. 70歳以上被用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者(特定適用事業所等) 4. 昇給・降給の理由 ( ) 5. 健康保険のみ月額変更 (70歳到達時の契約変更等) 6. その他 ( )
	⑨ 支給月 月 ⑩ 日数 日	⑪ 通貨 円	⑫ 現物 円	⑬ 合計(⑪+⑫) 円	⑭ 総計 円
	月 日	円	円	円	⑮ 平均額 円
	月 日	円	円	円	⑯ 修正平均額 円
3	①	②	③	④ 年 月	⑰
	⑤ 健 千円 厚 千円	⑥ 年 月	⑦ 月 1. 昇給 2. 降給	⑧ 遡及支払額 月 円	⑱ 1. 70歳以上被用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者(特定適用事業所等) 4. 昇給・降給の理由 ( ) 5. 健康保険のみ月額変更 (70歳到達時の契約変更等) 6. その他 ( )
	⑨ 支給月 月 ⑩ 日数 日	⑪ 通貨 円	⑫ 現物 円	⑬ 合計(⑪+⑫) 円	⑭ 総計 円
	月 日	円	円	円	⑮ 平均額 円
	月 日	円	円	円	⑯ 修正平均額 円
4	①	②	③	④ 年 月	⑰
	⑤ 健 千円 厚 千円	⑥ 年 月	⑦ 月 1. 昇給 2. 降給	⑧ 遡及支払額 月 円	⑱ 1. 70歳以上被用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者(特定適用事業所等) 4. 昇給・降給の理由 ( ) 5. 健康保険のみ月額変更 (70歳到達時の契約変更等) 6. その他 ( )
	⑨ 支給月 月 ⑩ 日数 日	⑪ 通貨 円	⑫ 現物 円	⑬ 合計(⑪+⑫) 円	⑭ 総計 円
	月 日	円	円	円	⑮ 平均額 円
	月 日	円	円	円	⑯ 修正平均額 円
5	①	②	③	④ 年 月	⑰
	⑤ 健 千円 厚 千円	⑥ 年 月	⑦ 月 1. 昇給 2. 降給	⑧ 遡及支払額 月 円	⑱ 1. 70歳以上被用者月額変更 2. 二以上勤務 3. 短時間労働者(特定適用事業所等) 4. 昇給・降給の理由 ( ) 5. 健康保険のみ月額変更 (70歳到達時の契約変更等) 6. その他 ( )
	⑨ 支給月 月 ⑩ 日数 日	⑪ 通貨 円	⑫ 現物 円	⑬ 合計(⑪+⑫) 円	⑭ 総計 円
	月 日	円	円	円	⑮ 平均額 円
	月 日	円	円	円	⑯ 修正平均額 円

※ ⑨支給月とは、給与の対象となった計算月ではなく実際に給与の支払いを行った月となります。

◎ イ 都道府県コード　カ 被保険者氏名（カナ）　コ 改定年月（元号）　ソ 従前の改定月（元号）
　D 70 歳以上被用者届のみ提出については記載されていない。
◎　媒体に設定する様式コードは「2221」ではなく「2221700」である。

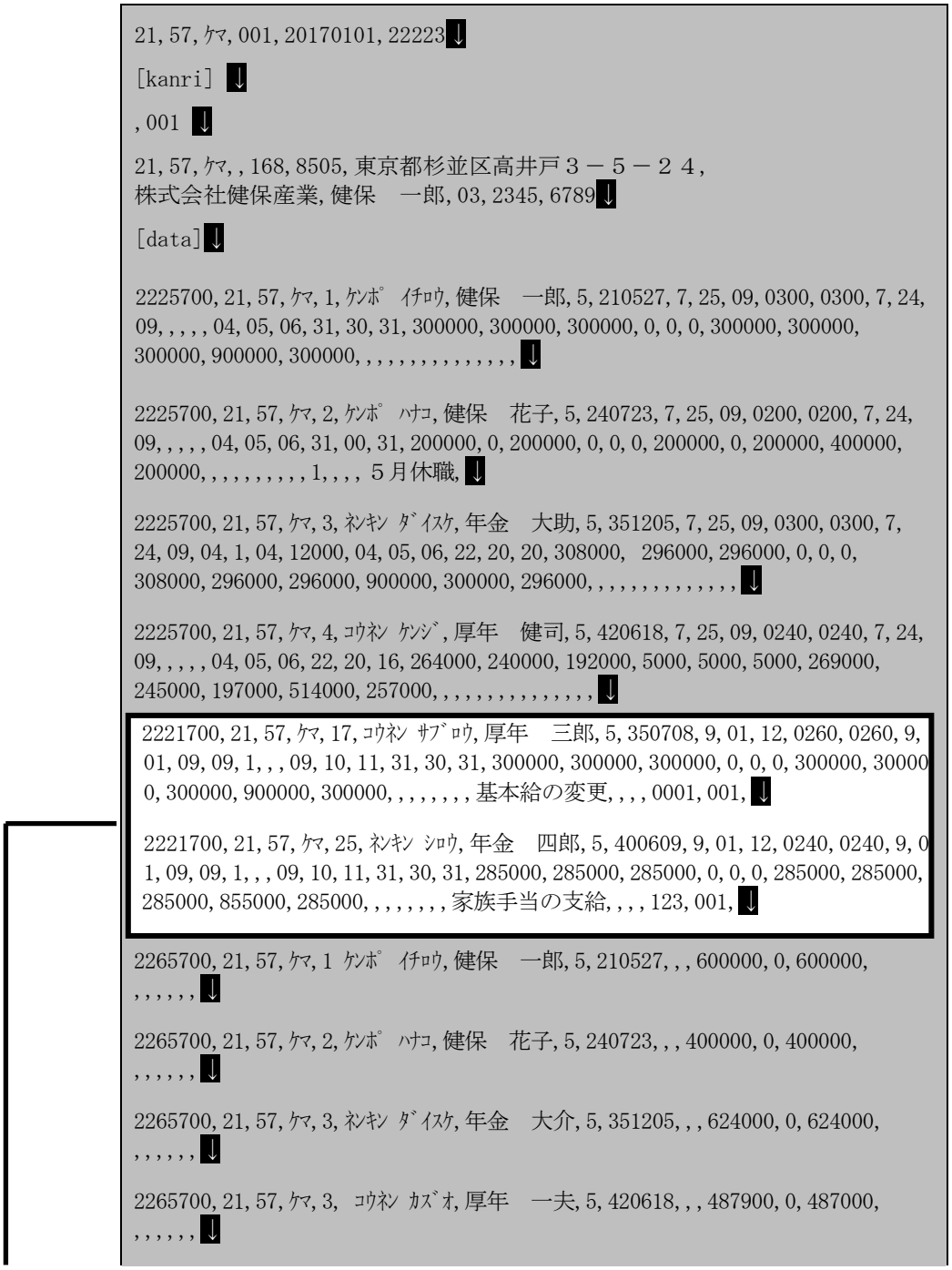
図４．８．１－３　健康保険・厚生年金保険被保険者報酬月額変更届／厚生年金保険 70 歳以上被用者月額変更届

（平成 30 年 10 月現在）

４．８．２　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（健康保険組合提出）

（１）月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

健康保険組合に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの項目構成は、図４．８．２－１のとおりである。



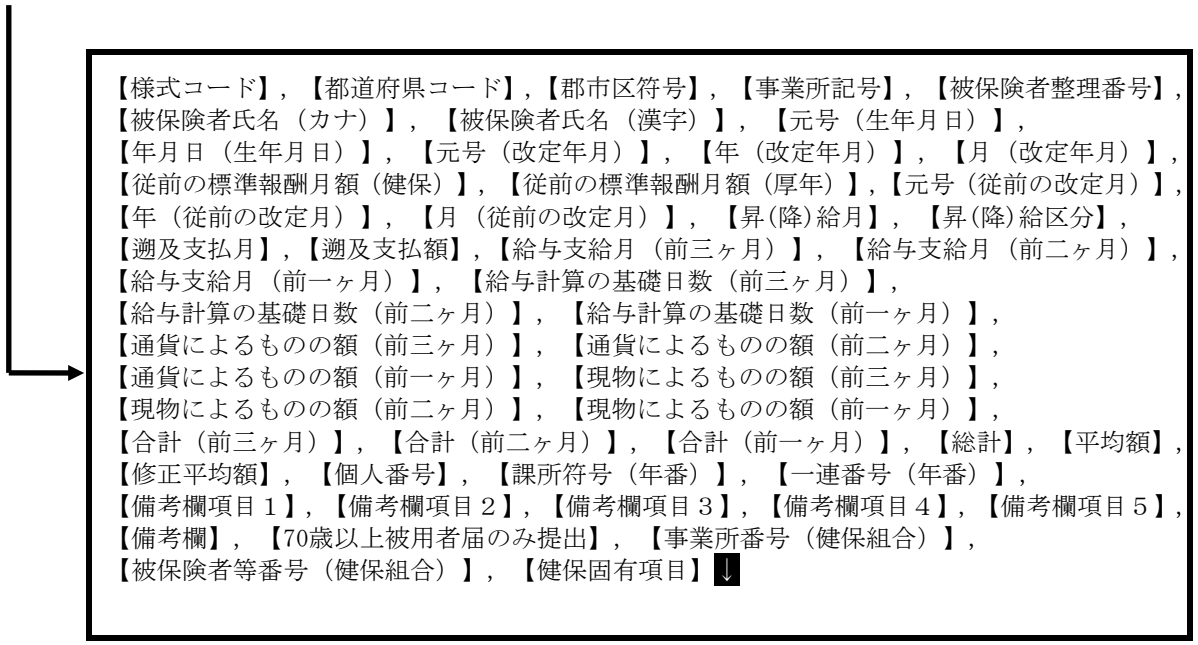


図４．８．２－１　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目構成

（２）月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明

健康保険組合に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの各項目の説明は、表４．８．２－１のとおりである。

表４．８．２－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(1/7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2221700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「５７－ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ｹﾏ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「１７」の場合、 「17」と設定する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「コウネン　サブロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ ｻﾌﾞﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン　Ｋ　サブロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ ｹｲ ｻﾌﾞﾛｳ」と設定する	カ

表４．８．２－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(2/7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「厚年 三郎」の場合、 「厚年△三郎」と設定する 被保険者氏名が「厚年 K 三郎」の場合、 「厚年△ケイ△三郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４ コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	キ
8	生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和３５年７月８日の場合、 「350708」と設定する	ケ
１０	改定年月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
１１		年	数字	2	（例）令和１年の場合、 「01」と設定する	サ
１２		月	数字	2	改定後の標準報酬月額が適用される月を２文字で設定する （例）１２月の場合、 「12」と設定する	シ
１３	従前の標準報酬月額	従前の標準報酬月額（健保）	数字	０，４	現在の標準報酬月額（健保）を４文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（健保）が「２６０」の場合、 「0260」と設定する	ス
１４		従前の標準報酬月額（厚年）	数字	０，４	現在の標準報酬月額（厚年）を４文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（厚年）が「２６０」の場合、 「0260」と設定する	セ

表４．８．２－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(3/7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１５	従前の改定月	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ソ
１６		年	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した年（和暦）を２文字で設定する （例）令和１年の場合、 「01」と設定する	タ
１７		月	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した月を２文字で設定する （例）９月の場合、 「09」と設定する	チ
１８	昇（降）給月		数字	０，２	昇給または降給のあった月の支払月を設定する （例）９月の場合、 「09」と設定する	ツ
１９	昇（降）給区分		数字	０，１	以下の昇（降）給に対応する数字を設定する ・昇給：「1」 ・降給：「2」	テ
２０	遡及支払月		数字	０，２	「給与支給月」内に通常給以外の報酬が支払われた月を２文字で設定する （例）４月の場合、 「04」と設定する	ト
２１	遡及支払額		数字	０～７	「給与支給月」内に支払われた通常給以外の報酬額を設定する	ナ
２２	給与支給月	前三ヶ月	数字	２	改定年月の月の前三ヶ月、前二ヶ月、前一ヶ月を順に設定する （例１）改定年月の月が１２月の場合、 「09」、「10」、「11」の順に設定する （例２）改定年月の月が３月の場合、 「12」、「01」、「02」の順に設定する	ニ
２３		前二ヶ月	数字	２		ヌ
２４		前一ヶ月	数字	２		ネ

表４．８．２－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(4/7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２５	給与計算の基礎日数	前三ヶ月	数字	２	給料や賃金を計算する基礎となる日数を２文字で設定する ・一般の被保険者（短時間労働者以外）の場合、17～31日の範囲で設定する ・短時間労働者（特定適用事業所のみ）の場合、11～31日の範囲で設定する （例）日給者で給与計算の基礎日数が３１日の場合、 「31」と設定する	ノ
２６		前二ヶ月	数字	２		ハ
２７		前一ヶ月	数字	２		ヒ
２８	通貨によるものの額	前三ヶ月	数字	１～７	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年３回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	フ
２９		前二ヶ月	数字	１～７		ヘ
３０		前一ヶ月	数字	１～７		ホ
３１	現物によるものの額	前三ヶ月	数字	１～７	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のもので支払われるものについて、健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する （例）報酬が無い場合、 「0」または 「0000000」と設定する	マ
３２		前二ヶ月	数字	１～７		ミ
３３		前一ヶ月	数字	１～７		ム

表４．８．２－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(5/7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
３４	合計	前三ヶ月	数字	１～７	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	メ
３５		前二ヶ月	数字	１～７		モ
３６		前一ヶ月	数字	１～７		ヤ
３７	総計		数字	１～７	各「給与支給月」の「合計」の総計を設定してください （例）９０万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ユ
３８	平均額		数字	１～７	総計を３で割った額を設定する （単位：円、１円未満切捨て） （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが１千万円を超えている場合は、１千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が１千万円以上の場合は「9999999」を設定する なお、１７日（短時間労働者の場合１１日）未満の月がある場合、月額変更の対象外となる	ヨ
３９	修正平均額		数字	０～７	算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合にのみ設定する（単位：円、１円未満切捨て） （例）３５万円の場合、 「350000」または 「0350000」と設定する また、年間平均による随時改定を申し立てる場合、年間平均額から算出した報酬月額（昇給（降給）月以後の継続した3か月の間に受けた固定的賃金の月平均額に、昇給（降給）月前の継続した9か月及び昇給（降給）月以後の継続した3か月の間に受けた非固定的賃金の月平均額を加えた額から算出した報酬月額）を設定する 上記以外の場合は省略する	ラ
４０	個人番号		－	０	省略する	リ

表４．８．２－１月額変更届・70 歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(6/7)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
４１	基礎年金番号	課所符号	－	０	省略する	ﾙ
４２		一連番号	－	０		ﾚ
４３	備考欄項目１		数字	０，１	70 歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ﾛ
４４	備考欄項目２		数字	０，１	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	ﾜ
４５	備考欄項目３		数字	０，１	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する	ﾝ
４６	備考欄項目４		漢字	０～３７	・基本給の変更・家族手当の支給等、昇給・降給となった具体的な理由を記入する ・その他、月額変更に該当することになった具体的な理由を記入する	A
			数字 英字 カナ	０～７５		
４７	備考欄項目５		数字	０，１	70 歳到達時における雇用契約の変更など、健康保険のみ月額変更となる場合は「1」を設定する	B
４８	備考欄		漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する 現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する （例） ・現物給与が住宅の場合：「住宅」 ・算定基礎月の期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨記入する 《設定例》 １月は一般被保険者２、３月は短時間労働者の場合：「２、３月　短時間労働者」 ・年間平均による随時改定を申し立てる場合は「年間平均」と記入する	C
			数字 英字 カナ	０～７５		
４９	70歳以上被用者届のみ提出		－	０	省略する	D

表４．８．２－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(7/7)

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５０	事業所番号 （健保組合）	数字 英字	１～５	健康保険組合の事業所番号を設定する	a
５１	被保険者等番号 （健保組合）	数字 英字	１～７	任意の英数字を設定する	b
５２	健保固有項目	漢字	０～４０	健康保険組合固有項目の内容を設定する	c
		数字 英字 カナ	０～８０		

（３）月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

健康保険組合に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの作成例は、図４．８．２－２のとおりである。

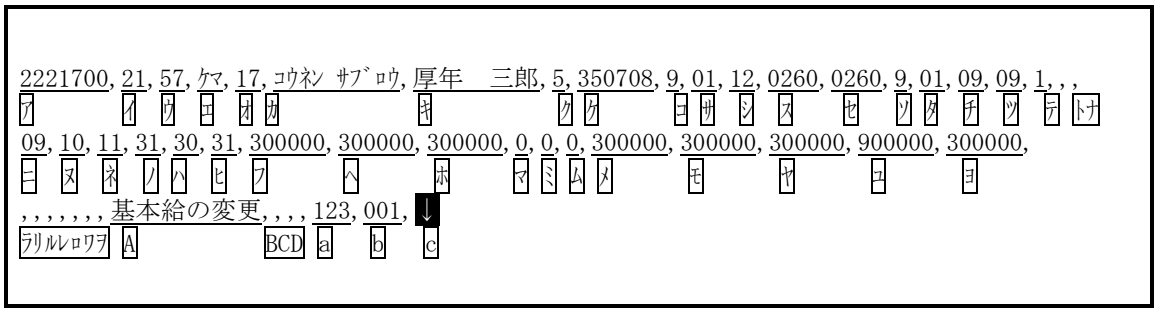
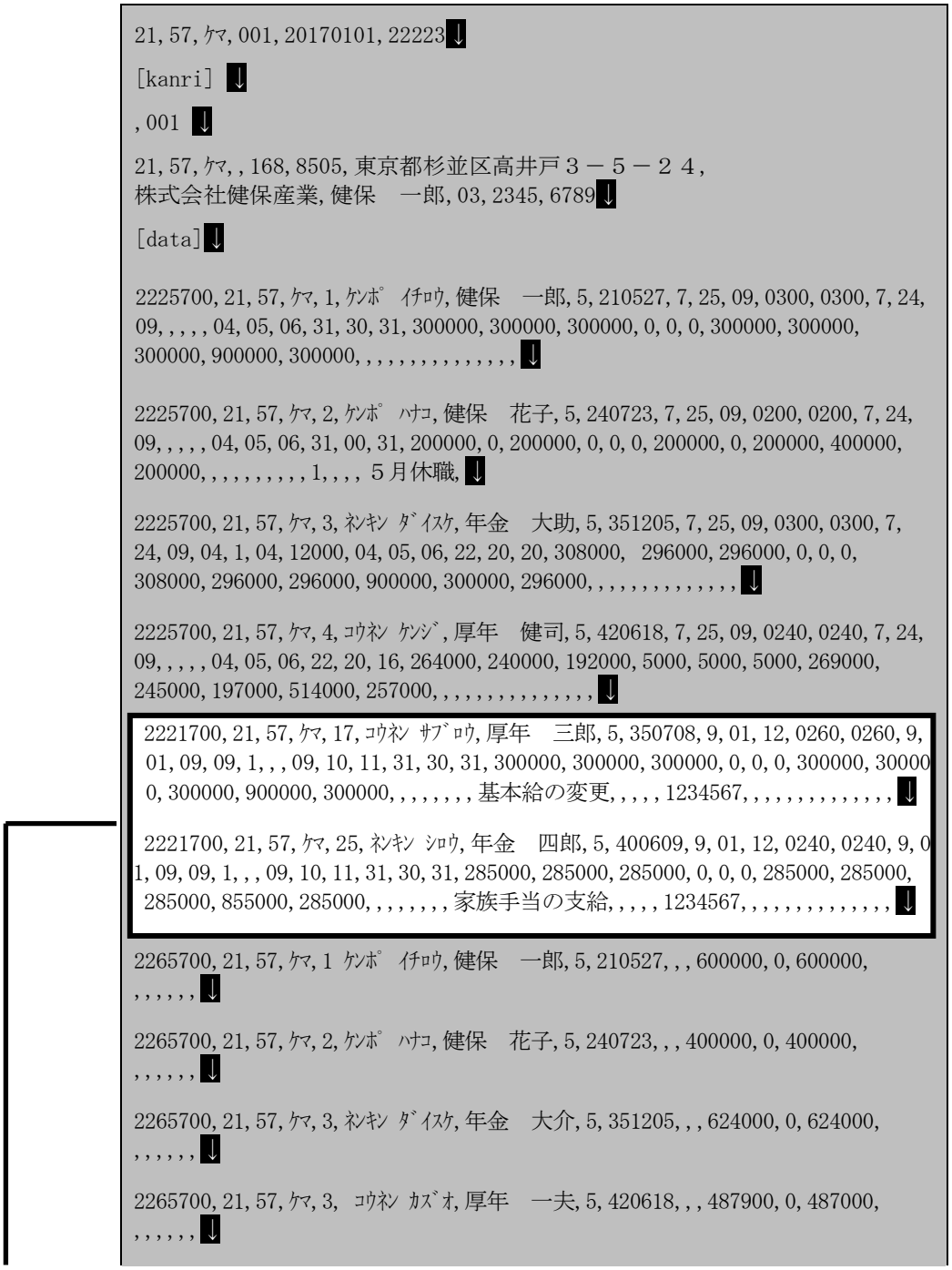


図４．８．２－２月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

４．８．３　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（厚生年金基金提出）

（１）月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの項目構成は、図４．８．３－１のとおりである。



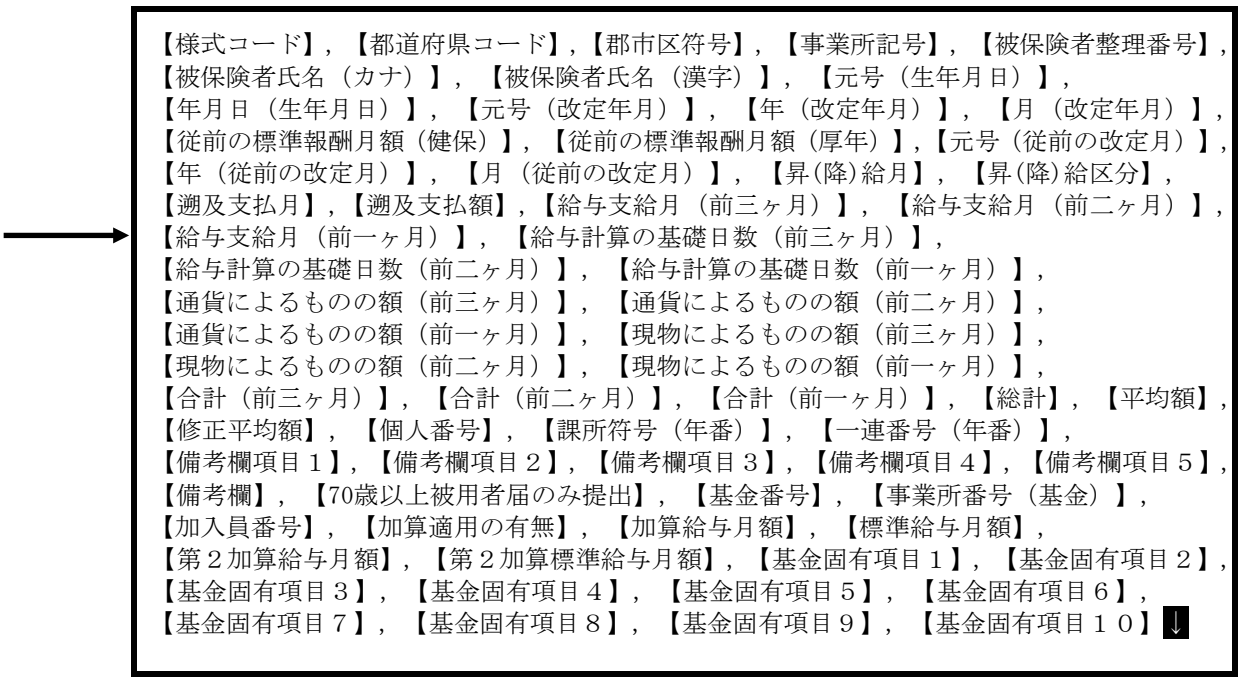


図４．８．３－１　月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目構成

（2）月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明

厚生年金基金に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの各項目の説明は、表４．８．３－１のとおりである。

表４．８．３－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(1/9)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2221700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「５７－ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ｹﾏ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「１７」の場合、 「17」と設定する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「コウネン サブロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ ｻﾌﾞﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「コウネン Ｋ サブロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ ｹｲ ｻﾌﾞﾛｳ」と設定する	カ

表４．８．３－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(2/9)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する (例) 被保険者氏名が「厚年 三郎」の場合、 「厚年△三郎」と設定する 被保険者氏名が「厚年 K 三郎」の場合、 「厚年△ケイ△三郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４ コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	ｷ
8	生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ｸ
9		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和３５年７月８日の場合、 「350708」と設定する	ｹ
１０	改定年月	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ｺ
１１		年	数字	2	（例）令和１年の場合、 「01」と設定する	ｻ
１２		月	数字	2	改定後の標準報酬月額が適用される月を２文字で設定する （例）１２月の場合、 「12」と設定する	ｼ
１３	従前の標準報酬月額	従前の標準報酬月額（健保）	数字	０，４	現在の標準報酬月額（健保）を４文字で設定する なお、厚生年金保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（健保）が「２６０」の場合、 「0260」と設定する	ｽ
１４		従前の標準報酬月額（厚年）	数字	０，４	現在の標準報酬月額（厚年）を４文字で設定する なお、健康保険のみ加入している者は省略する （例）標準報酬月額（厚年）が「２６０」の場合、 「0260」と設定する	ｾ

表４．８．３－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(3/9)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１５	従前の改定月	元号	数字	１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ソ
１６		年	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した年（和暦）を２文字で設定する （例）令和１年の場合、 「01」と設定する	タ
１７		月	数字	２	現在の標準報酬月額に改定した月を２文字で設定する （例）９月の場合、 「09」と設定する	チ
１８	昇（降）給月		数字	０，２	昇給または降給のあった月の支払月を設定する （例）９月の場合、 「09」と設定する	ツ
１９	昇（降）給区分		数字	０，１	以下の昇（降）給に対応する数字を設定する ・昇給：「1」 ・降給：「2」	テ
２０	遡及支払月		数字	０，２	「給与支給月」内に通常給以外の報酬が支払われた月を２文字で設定する （例）４月の場合、 「04」と設定する	ト
２１	遡及支払額		数字	０～７	「給与支給月」内に支払われた通常給以外の報酬額を設定する	ナ
２２	給与支給月	前三ヶ月	数字	２	改定年月の月の前三ヶ月、前二ヶ月、前一ヶ月を順に設定する （例１）改定年月の月が１２月の場合、 「09」、「10」、「11」の順に設定する （例２）改定年月の月が３月の場合、 「12」、「01」、「02」の順に設定する	ニ
２３		前二ヶ月	数字	２		ヌ
２４		前一ヶ月	数字	２		ネ

表４．８．３－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(4/9)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２５	給与計算の基礎日数	前三ヶ月	数字	２	給料や賃金を計算する基礎となる日数を２文字で設定する ・一般の被保険者（短時間労働者以外）の場合、17～31日の範囲で設定する ・短時間労働者（特定適用事業所のみ）の場合、11～31日の範囲で設定する （例）日給者で給与計算の基礎日数が３１日の場合、 「31」と設定する	ノ
２６		前二ヶ月	数字	２		ハ
２７		前一ヶ月	数字	２		ヒ
２８	通貨によるものの額	前三ヶ月	数字	１～７	報酬のうち、臨時に受けるものおよび年３回以下の回数で支払われる賞与以外のもので、通貨（金銭）で支払われる賃金、給料、俸給、手当、賞与その他いかなる名称であるかを問わず、労働者が労働の対償として受けるすべてのものの額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	フ
２９		前二ヶ月	数字	１～７		ヘ
３０		前一ヶ月	数字	１～７		ホ
３１	現物によるものの額	前三ヶ月	数字	１～７	報酬のうち、食事、住宅、被服など通貨（金銭）以外のもので支払われるものについて、健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、報酬が無い場合は「0」を、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する （例）報酬が無い場合、 「0」または 「0000000」と設定する	マ
３２		前二ヶ月	数字	１～７		ミ
３３		前一ヶ月	数字	１～７		ム

表４．８．３－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(5/9)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
３４	合計	前三ヶ月	数字	１～７	各給与支給月における通貨によるものの額と現物によるものの額を合算した額を設定する （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	メ
３５		前二ヶ月	数字	１～７		モ
３６		前一ヶ月	数字	１～７		ヤ
３７	総計		数字	１～７	各「給与支給月」の「合計」の総計を設定してください （例）９０万円の場合、 「900000」または 「0900000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	ユ
３８	平均額		数字	１～７	総計を３で割った額を設定する （単位：円、１円未満切捨て） （例）３０万円の場合、 「300000」または 「0300000」と設定する また、通貨によるものの額、現物によるものの額、合計のいずれかが１千万円を超えている場合は、１千万円以上の実際の額にて平均額を算出する 算出した平均額が１千万円以上の場合は「9999999」を設定する なお、１７日（短時間労働者の場合１１日）未満の月がある場合、月額変更の対象外となる	ヨ
３９	修正平均額		数字	０～７	算定が困難なときや、その額が著しく不当になる場合にのみ設定する（単位：円、１円未満切捨て） （例）３５万円の場合、 「350000」または 「0350000」と設定する また、年間平均による随時改定を申し立てる場合、年間平均額から算出した報酬月額（昇給（降給）月以後の継続した3か月の間に受けた固定的賃金の月平均額に、昇給（降給）月前の継続した9か月及び昇給（降給）月以後の継続した3か月の間に受けた非固定的賃金の月平均額を加えた額から算出した報酬月額）を設定する 上記以外の場合は省略する	ラ
４０	個人番号		－	０	省略する	リ

表４．８．３－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(6/9)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
４１	基礎年金番号	課所符号	－	０	省略する	ﾙ
４２		一連番号	－	０		ﾚ
４３	備考欄項目１		数字	０，１	70 歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ﾛ
４４	備考欄項目２		数字	０，１	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	ﾜ
４５	備考欄項目３		数字	０，１	特定適用事業所における短時間労働者の場合は「1」を設定する	ﾇ
４６	備考欄項目４		漢字	０～３７	・基本給の変更・家族手当の支給等、昇給・降給となった具体的な理由を記入する ・その他、月額変更に該当することになった具体的な理由を記入する	A
			数字 英字 カナ	０～７５		
４７	備考欄項目５		数字	０，１	70 歳到達時における雇用契約の変更など、健康保険のみ月額変更となる場合は「1」を設定する	B
４８	備考欄		漢字	０～３７	省略する なお、下記のような事例に該当する場合は例に倣い設定する 現物給与の名称（定期券、住宅、食事等）を入力する （例） ・現物給与が住宅の場合：「住宅」 ・算定基礎月の期間に被保険者区分の変更があった場合はその旨記入する 《設定例》 １月は一般被保険者２、３月は短時間労働者の場合：「２、３月　短時間労働者」 ・年間平均による随時改定を申し立てる場合は「年間平均」と記入する	C
			数字 英字 カナ	０～７５		
４９	70歳以上被用者届のみ提出		－	０	省略する	D

表４．８．３－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(7/9)

以下、厚生年金基金独自項目欄

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５０	基金番号	数字	１～４	厚生年金基金の基金番号を設定する	a
５１	事業所番号 （基金）	数字 英字	１～７	厚生年金基金の事業所番号を設定する	b
５２	加入員番号	数字 英字	１～１１	加入員手帳の番号を設定する	c
５３	加算適用の有無	数字	０～２	加算適用の有無を設定する （例）有：「1」または「01」 無：「0」または「00」	d
５４	加算給与月額	数字	０～７	加算給与月額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	e
５５	標準給与月額	数字	０～４	標準給与月額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	f
５６	第２加算給与月額	数字	０～７	第２加算給与月額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	g
５７	第２加算標準給与月額	数字	０～４	第２加算標準給与月額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	h

表４．８．３－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(8/9)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５８	基金固有項目１	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目１の内容を設定する	i
		数字 英字 カナ	０～１０		
５９	基金固有項目２	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目２の内容を設定する	j
		数字 英字 カナ	０～１０		
６０	基金固有項目３	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目３の内容を設定する	k
		数字 英字 カナ	０～１０		
６１	基金固有項目４	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目４の内容を設定する	l
		数字 英字 カナ	０～１０		
６２	基金固有項目５	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目５の内容を設定する	m
		数字 英字 カナ	０～１０		
６３	基金固有項目６	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目６の内容を設定する	n
		数字 英字 カナ	０～１０		
６４	基金固有項目７	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目７の内容を設定する	o
		数字 英字 カナ	０～１０		
６５	基金固有項目８	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目８の内容を設定する	p
		数字 英字 カナ	０～１０		

表４．８．３－１月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(9/9)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
６６	基金固有項目９	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目９の内容を設定する	g
		数字 英字 カナ	０～１０		
６７	基金固有項目 １０	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目１０の内容を設定する	r
		数字 英字 カナ	０～１０		

※項番５３、５５、５７、５８～６７については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

（３）月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

厚生年金基金に提出する月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコードの作成例は、図４．８．３－２のとおりである。

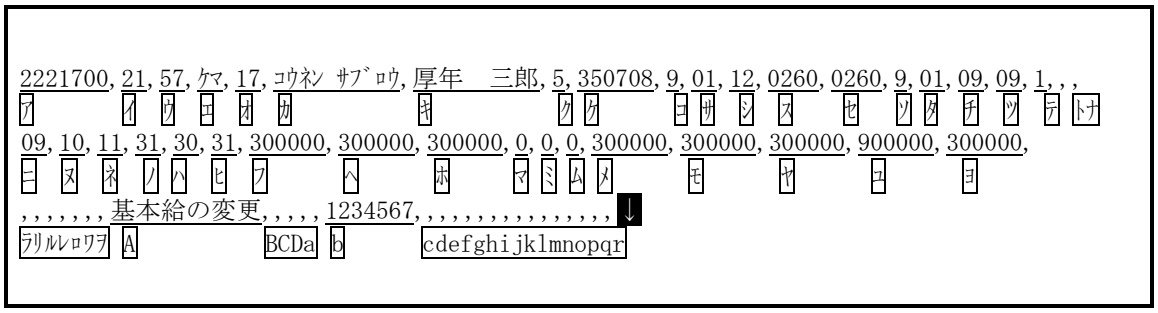


図４．８．３－２月額変更届・70歳以上被用者月額変更届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

４．９　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード

４．９．１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（年金事務所提出）

（１）賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの項目構成は、図４．９．１－１のとおりである。

21,57,ｹﾏ,001,20170101,22223↓

[kanri] ↓

,001 ↓

21,57,ｹﾏ,,168,8505,東京都杉並区高井戸３－５－２４,
株式会社健保産業,健保　一郎,03,2345,6789↓

[data]↓

2225700,21,57,ｹﾏ,1,ｹﾝﾎﾟ　ｲﾁﾛｳ,健保　一郎,5,210527,7,25,09,0300,0300,7,24,09,,,,,04,05,06,31,30,31,300000,300000,300000,0,0,0,300000,300000,300000,900000,300000,,,,,,,,,,,,,,,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,2,ｹﾝﾎﾟ　ﾊﾅｺ,健保　花子,5,240723,7,25,09,0200,0200,7,24,09,,,,,04,05,06,31,00,31,200000,0,200000,0,0,0,200000,0,200000,400000,200000,,,,,,,,,1,,,,５月休職,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,3,ﾈﾝｷﾝ　ﾀﾞｲｽｹ,年金　大助,5,351205,7,25,09,0300,0300,7,24,09,04,1,04,12000,04,05,06,22,20,20,308000,　296000,296000,0,0,0,308000,296000,296000,900000,300000,296000,,,,,,,,,,,,,,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,4,ｺｳﾈﾝ　ｹﾝｼﾞ,厚年　健司,5,420618,7,25,09,0240,0240,7,24,09,,,,,04,05,06,22,20,16,264000,240000,192000,5000,5000,5000,269000,245000,197000,514000,257000,,,,,,,,,,,,,,↓

2221700,21,57,ｹﾏ,17,ｺｳﾈﾝ　ｻﾌﾞﾛｳ,厚年　三郎,5,350708,7,24,12,0260,0260,7,24,09,09,1,,,09,10,11,31,30,31,300000,300000,300000,0,0,0,300000,300000,300000,900000,300000,,,,,,,,基本給の変更,,,↓

2221700,21,57,ｹﾏ,25,ﾈﾝｷﾝ　ｼﾛｳ,年金　四郎,5,400609,7,24,12,0240,0240,7,24,09,09,1,,,09,10,11,31,30,31,285000,285000,285000,0,0,0,285000,285000,285000,855000,285000,,,,,,,,家族手当の支給,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,1 ｹﾝﾎﾟ　ｲﾁﾛｳ,健保　一郎,5,210527,9,010725,600000,0,600000,,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,2,ｹﾝﾎﾟ　ﾊﾅｺ,健保　花子,5,240723,9,010725,400000,0,400000,,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,3,ﾈﾝｷﾝ　ﾀﾞｲｽｹ,年金　大介,5,351205,9,010725,624000,0,624000,,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,3,　ｺｳﾈﾝ　ｶｽﾞｵ,厚年　一夫,5,420618,9,010725,487900,0,487000,,,,,,,↓

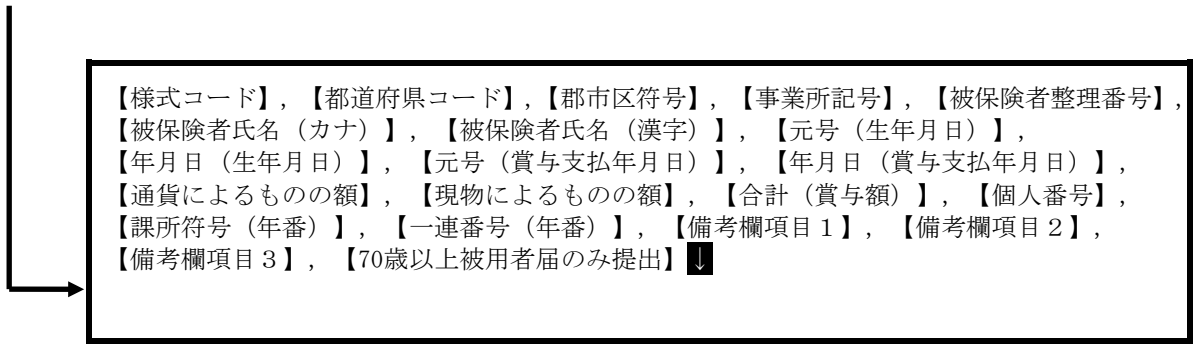


図４．９．１－１賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目構成

（2）賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明

年金事務所に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの各項目の説明は、表４．９．１－１のとおりである。

表４．９．１－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（1/4）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2265700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3	事業所整理記号	郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4	事業所整理記号	事業所記号	数字 英字 カナ	１～４	（例）東京都の事業所で事業所整理記号が「５７－ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ｹﾏ」と設定する	エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「1」の場合、「1」と設定する ※「70歳以上被用者届のみ提出」に「1」を設定した場合は、省略する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、「ｹﾝﾎﾟ␣ｲﾁﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ K イチロウ」の場合、「ｹﾝﾎﾟ␣ｹｲ␣ｲﾁﾛｳ」と設定する	カ

表４．９．１－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（2/4）

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
7	被保険者氏名 （漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する 被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	キ
8	生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和２１年５月２７日の場合、 「210527」と設定する	ケ
１０	賞与支払年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
１１		年月日	数字	6	賞与の支給を行った年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年７月２５日の場合、 「010725」と設定する	サ
１２	通貨によるものの額		数字	１～７	通貨(金銭)で支払われた賃金、給料、俸給、手当、賞与、その他いかなる名称であるかを問わず、被保険者が労働の対償として支給されたすべてのもののうち、三月を超える期間ごとに受けるものの額を設定する （例）６０万円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する なお、賞与が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	シ

表４．９．１－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明（3/4）

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
１３	現物によるものの額		数字	１～７	賞与のうち物品など金銭（通貨）以外のもので支払われるものをいう その額は健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を、賞与が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	ス
１４	合計（賞与額）		数字	１～７	「通貨によるものの額」に設定した額と「現物によるものの額」に設定した額の合計から1,000円未満を切捨てした額を設定する （例）「通貨によるものの額」と「現物によるものの額」の合計が600,870円の場合、 「600000」または「0600000」と設定する なお、１千万円以上の支給があった場合においては、 ①「通貨によるものの額」と「現物によるものの額」のいずれか一方のみ支給され、１千万円以上となる場合は、「9999000」を設定する （例）「通貨によるものの額」が10,000,000円、「現物によるものの額」が０円の場合、合計（賞与額）に「9999000」と設定する ②「通貨によるものの額」と「現物によるものの額」のいずれも支給され、合計して1千万円以上となる場合は、「9999999」を設定する （例）「通貨によるものの額」が9,950,000円、「現物によるものの額」が50,000円の場合、合計（賞与額）に「9999999」と設定する	セ
１５	個人番号		数字	０，１２	被保険者が「70歳以上被用者」の場合に個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	ソ
１６	基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	個人番号を入力した場合は省略してよいが、「70歳以上被用者」で個人番号が空欄の場合は必須入力とする 「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する	タ
１７		一連番号	数字	０，６		チ

表４．９．１－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(年金事務所提出)の項目説明(４/４)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
１８	備考欄項目１	数字	０，１	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ツ
１９	備考欄項目２	数字	０，１	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	テ
２０	備考欄項目３	数字	０，２	同一月内の賞与合算の場合は初回支払日を設定する （例）5日と25日に賞与が支払われた場合で、今回、合算して届出する場合、「05」と設定する 「賞与支払年月日」は25日で設定する	ト
２１	70歳以上被用者届のみ提出	数字	０，１	70歳以上被用者賞与支払届のみを提出する場合は「1」を設定する ※当該項目を設定した場合、備考欄項目１、個人番号または基礎年金番号への設定は必須となる	ナ

（3）賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図４．９．１－３の「健康保険・厚生年金保険被保険者賞与支払届／厚生年金保険70歳以上被用者賞与支払届」に対応する

作成例は、図４．９．１－２のとおりである。

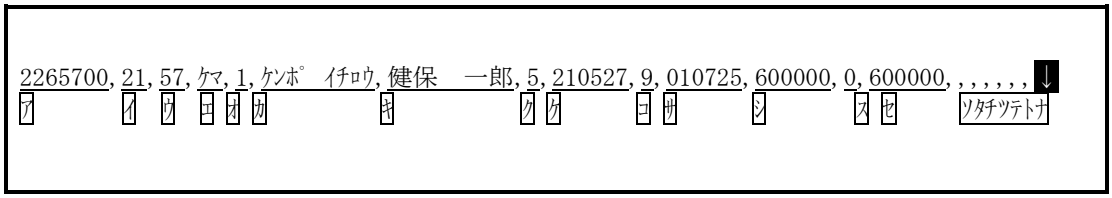


図４．９．１－２賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（年金事務所提出）の作成例

ア

様式コード
2 2 6 5

健康保険
厚生年金保険
厚生年金保険

被保険者賞与支払届
70歳以上被用者賞与支払届

平成　　年　　月　　日提出

提出者記入欄

事業所整理記号	ウ			エ				

届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。

〒

事業所所在地

事業所名称

事業主氏名　　㊞

電話番号　（　　）

※ 押印または自署

受付印

社会保険労務士記載欄

氏名等　　㊞

項目名	① 被保険者整理番号	② 被保険者氏名	③ 生年月日	⑦ 個人番号［基礎年金番号］※70歳以上被用者の場合のみ
	④ 賞与支払年月日	⑤ 賞与支払額	⑥ 賞与額(千円未満は切捨て)	⑧ 備考

共通　④ 賞与支払年月日(共通)　7.平成　　年　　月　　日

←1枚ずつ必ず記入してください。

1	①　オ ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。　コ　サ 7.平成　年　月　日	②　キ ⑤ (ア)(通貨)　シ　円 (イ)(現物)　ス　円	③　ク　ケ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　セ　,000 円	⑦　ソ　タ　チ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務　ツ 3. 同一月内の賞与合算　テ （初回支払日:　日）　ト
2	① ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。 7.平成　年　月　日	② ⑤ (ア)(通貨)　円 (イ)(現物)　円	③ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　,000 円	⑦ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務 3. 同一月内の賞与合算 （初回支払日:　日）
3	① ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。 7.平成　年　月　日	② ⑤ (ア)(通貨)　円 (イ)(現物)　円	③ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　,000 円	⑦ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務 3. 同一月内の賞与合算 （初回支払日:　日）
4	① ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。 7.平成　年　月　日	② ⑤ (ア)(通貨)　円 (イ)(現物)　円	③ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　,000 円	⑦ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務 3. 同一月内の賞与合算 （初回支払日:　日）
5	① ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。 7.平成　年　月　日	② ⑤ (ア)(通貨)　円 (イ)(現物)　円	③ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　,000 円	⑦ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務 3. 同一月内の賞与合算 （初回支払日:　日）
6	① ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。 7.平成　年　月　日	② ⑤ (ア)(通貨)　円 (イ)(現物)　円	③ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　,000 円	⑦ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務 3. 同一月内の賞与合算 （初回支払日:　日）
7	① ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。 7.平成　年　月　日	② ⑤ (ア)(通貨)　円 (イ)(現物)　円	③ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　,000 円	⑦ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務 3. 同一月内の賞与合算 （初回支払日:　日）
8	① ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。 7.平成　年　月　日	② ⑤ (ア)(通貨)　円 (イ)(現物)　円	③ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　,000 円	⑦ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務 3. 同一月内の賞与合算 （初回支払日:　日）
9	① ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。 7.平成　年　月　日	② ⑤ (ア)(通貨)　円 (イ)(現物)　円	③ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　,000 円	⑦ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務 3. 同一月内の賞与合算 （初回支払日:　日）
10	① ④ ※上記「賞与支払年月日(共通)」と同じ場合は、記入不要です。 7.平成　年　月　日	② ⑤ (ア)(通貨)　円 (イ)(現物)　円	③ ⑥(合計 (ア)+(イ)) 千円未満は切捨て　,000 円	⑦ ⑧ 1. 70歳以上被用者　2. 二以上勤務 3. 同一月内の賞与合算 （初回支払日:　日）

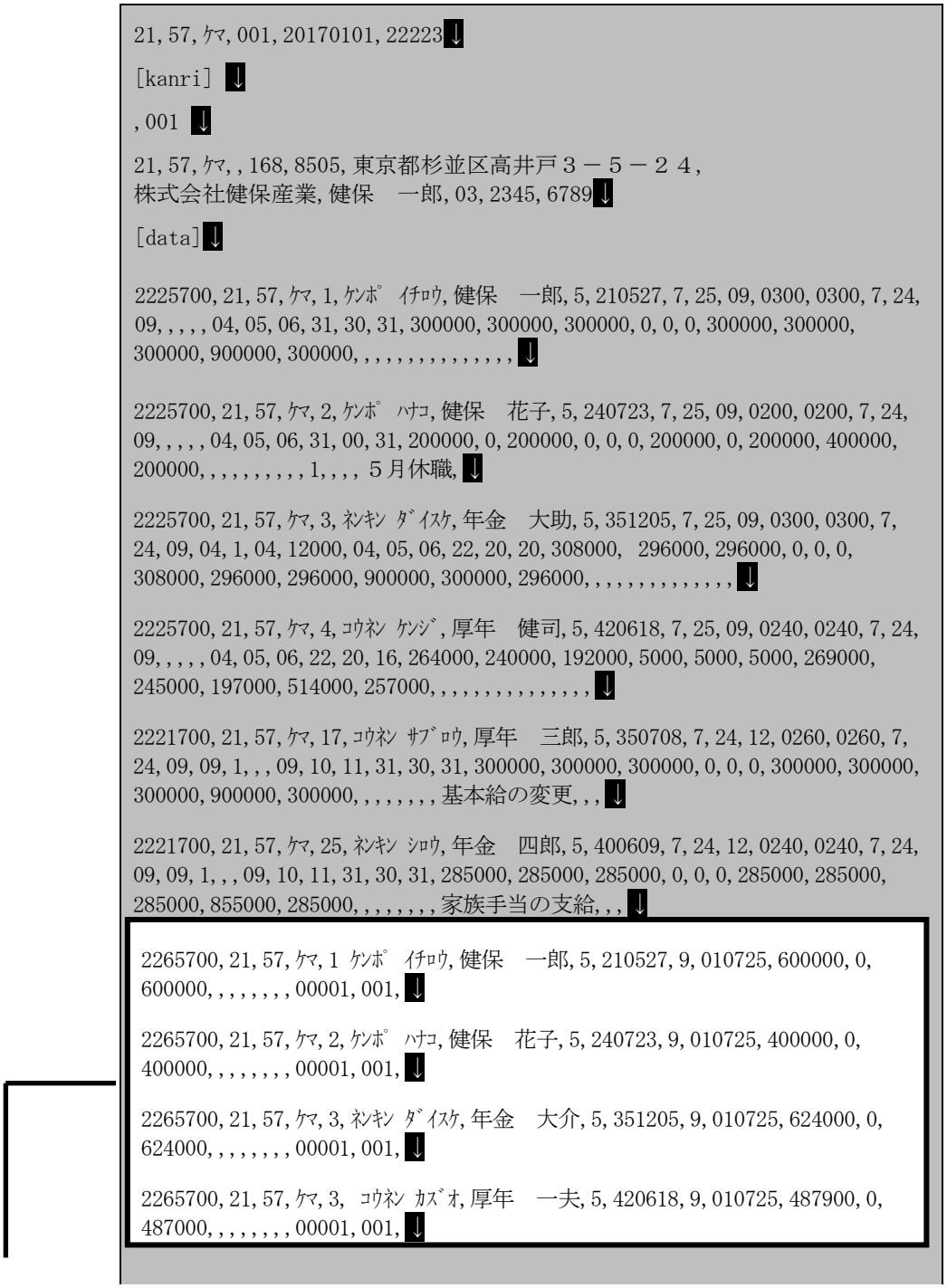
◎ イ 都道府県コード カ 被保険者氏名（カナ） ナ 70 歳以上被用者届のみ提出については記載されていない。
◎　媒体に設定する様式コードは「2265」ではなく「2265700」である。

図４．９．１－３　健康保険・厚生年金保険被保険者賞与支払届／厚生年金保険 70 歳以上被用者賞与支払届
（平成 30 年 10 月現在）

４．９．２　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（健康保険組合提出）

（１）賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（健康保険組合提出）の項目構成

健康保険組合に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの項目構成は、図４．９．２－１のとおりである。



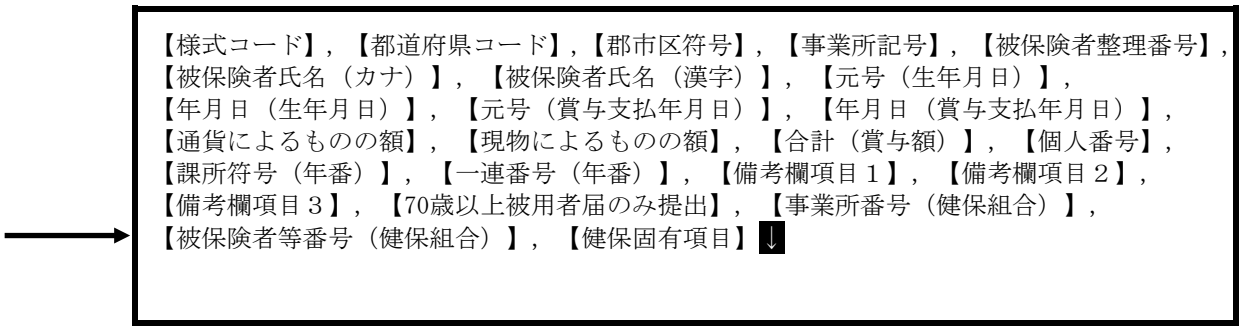


図４．９．２－１賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目構成

（2）賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明

健康保険組合に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの各項目の説明は、表４．９．２－１のとおりである。

表４．９．２－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明（1/4）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2265700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「５７－ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ｹﾏ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「1」の場合、「1」と設定する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、「ｹﾝﾎﾟ△ｲﾁﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ K イチロウ」の場合、「ｹﾝﾎﾟ△ｹｲ△ｲﾁﾛｳ」と設定する	カ

表４．９．２－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明（2/4）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する 被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	キ
8	生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和２１年５月２７日の場合、 「210527」と設定する	ケ
１０	賞与支払年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
１１		年月日	数字	6	賞与の支給を行った年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年７月２５日の場合、 「010725」と設定する	サ
１２	通貨によるものの額		数字	１～７	通貨(金銭)で支払われた賃金、給料、俸給、手当、賞与、その他いかなる名称であるかを問わず、被保険者が労働の対償として支給されたすべてのもののうち、三月を超える期間ごとに受けるものの額を設定する （例）６０万円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する なお、賞与が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	シ

表４．９．２－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明（3/4）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
１３	現物によるものの額	数字	１～７	賞与のうち物品など金銭（通貨）以外のもので支払われるものをいう その額は健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を、賞与が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	ス
１４	合計（賞与額）	数字	１～７	「通貨によるものの額」に設定した額と「現物によるものの額」に設定した額の合計から1,000円未満を切捨てした額を設定する （例）「通貨によるものの額」と「現物によるものの額」の合計が600,870円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	セ
１５	個人番号	－	０	省略する	ソ
１６	基礎年金番号　課所符号	－	０	省略する	タ
１７	基礎年金番号　一連番号	－	０		チ
１８	備考欄項目１	数字	０，１	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ツ
１９	備考欄項目２	数字	０，１	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	テ
２０	備考欄項目３	数字	０，２	同一月内の賞与合算の場合は初回支払日を設定する （例）5日と25日に賞与が支払われた場合で、今回、合算して届出する場合、「05」と設定する 「賞与支払年月日」は25日で設定する	ト

表４．９．２－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(健康保険組合提出)の項目説明(４/４)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
２１	70歳以上被用者届のみ提出	－	０	省略する	ナ

以下、健康保険組合独自項目欄

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
２２	事業所番号（健保組合）	数字 英字	１～５	健康保険組合の事業所番号を設定する	A
２３	被保険者等番号（健保組合）	数字 英字	１～７	任意の英数字を設定する	B
２４	健保固有項目	漢字	０～４０	健康保険組合固有項目の内容を設定する	C
		数字 英字 カナ	０～８０		

（3）賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（健康保険組合提出）の作成例

健康保険組合に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの作成例は、図４．９．２－２のとおりである。

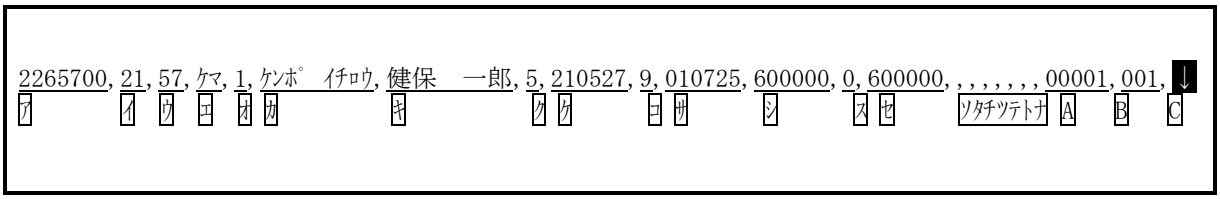


図４．９．２－２賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（健康保険組合提出)の作成例

４．９．３　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（厚生年金基金提出）

（１）賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（厚生年金基金提出）の項目構成

厚生年金基金に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの項目構成は、図４．９．３－１のとおりである。

21,57,ｹﾏ,001,20170101,22223↓

[kanri] ↓

,001 ↓

21,57,ｹﾏ,,168,8505,東京都杉並区高井戸３－５－２４,
株式会社健保産業,健保　一郎,03,2345,6789↓

[data]↓

2225700,21,57,ｹﾏ,1,ｹﾝﾎﾟ　ｲﾁﾛｳ,健保　一郎,5,210527,7,25,09,0300,0300,7,24,09,,,,,04,05,06,31,30,31,300000,300000,300000,0,0,0,300000,300000,300000,900000,300000,,,,,,,,,,,,,,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,2,ｹﾝﾎﾟ　ﾊﾅｺ,健保　花子,5,240723,7,25,09,0200,0200,7,24,09,,,,,04,05,06,31,00,31,200000,0,200000,0,0,0,200000,0,200000,400000,200000,,,,,,,,,1,,,,５月休職,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,3,ﾈﾝｷﾝ　ﾀﾞｲｽｹ,年金　大助,5,351205,7,25,09,0300,0300,7,24,09,04,1,04,12000,04,05,06,22,20,20,308000,　296000,296000,0,0,0,308000,296000,296000,900000,300000,296000,,,,,,,,,,,,,↓

2225700,21,57,ｹﾏ,4,ｺｳﾈﾝ　ｹﾝｼﾞ,厚年　健司,5,420618,7,25,09,0240,0240,7,24,09,,,,,04,05,06,22,20,16,264000,240000,192000,5000,5000,5000,269000,245000,197000,514000,257000,,,,,,,,,,,,,↓

2221700,21,57,ｹﾏ,17,ｺｳﾈﾝ　ｻﾌﾞﾛｳ,厚年　三郎,5,350708,7,24,12,0260,0260,7,24,09,09,1,,,09,10,11,31,30,31,300000,300000,300000,0,0,0,300000,300000,300000,900000,300000,,,,,,,,基本給の変更,,,↓

2221700,21,57,ｹﾏ,25,ﾈﾝｷﾝ　ｼﾛｳ,年金　四郎,5,400609,7,24,12,0240,0240,7,24,09,09,1,,,09,10,11,31,30,31,285000,285000,285000,0,0,0,285000,285000,285000,855000,285000,,,,,,,,家族手当の支給,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,1 ｹﾝﾎﾟ　ｲﾁﾛｳ,健保　一郎,5,210527,9,010725,600000,0,600000,,,,,,,,1234567,,,,,,,,,,,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,2,ｹﾝﾎﾟ　ﾊﾅｺ,健保　花子,5,240723,9,010725,400000,0,400000,,,,,,,,1234567,,,,,,,,,,,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,3,ﾈﾝｷﾝ　ﾀﾞｲｽｹ,年金　大介,5,351205,9,010725,624000,0,624000,,,,,,,,1234567,,,,,,,,,,,,,,,,↓

2265700,21,57,ｹﾏ,3,　ｺｳﾈﾝ　ｶｽﾞｵ,厚年　一夫,5,420618,9,010725,487900,0,487000,,,,,,,,1234567,,,,,,,,,,,,,,,,↓

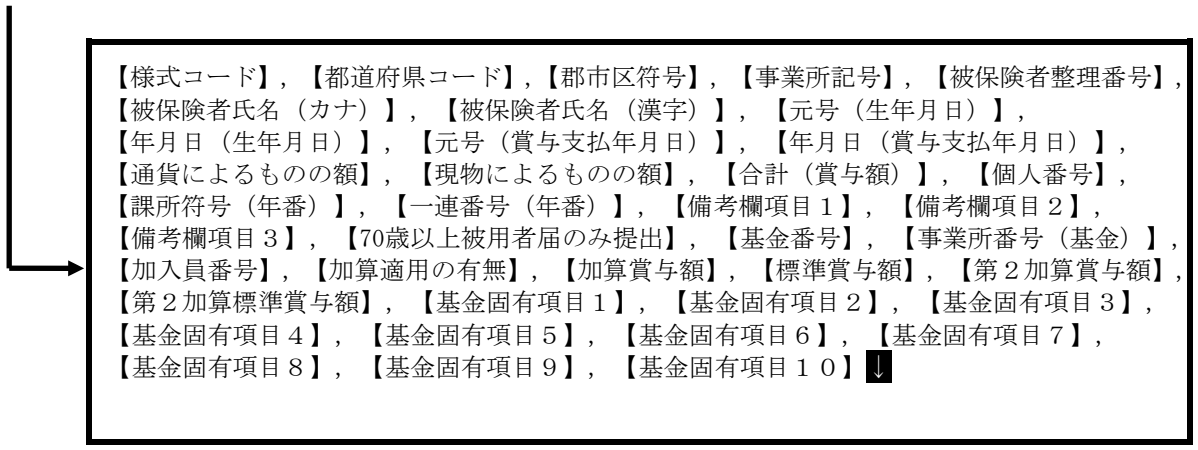


図４．９．３－１賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目構成

（2）賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明

厚生年金基金に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの各項目の説明は、表４．９．３－１のとおりである。

表４．９．３－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明（1/6）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2265700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「５７－ケマ」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「57」 事業所記号に「ｹﾏ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）被保険者整理番号欄に記載されている番号が「1」の場合、「1」と設定する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ケンポ イチロウ」の場合、「ｹﾝﾎﾟ␣ｲﾁﾛｳ」と設定する 被保険者氏名が「ケンポ K イチロウ」の場合、「ｹﾝﾎﾟ␣ｹｲ␣ｲﾁﾛｳ」と設定する	カ

表４．９．３－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明（2/6）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「健保 一郎」の場合、 「健保△一郎」と設定する 被保険者氏名が「健保 K 一郎」の場合、 「健保△ケイ△一郎」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	キ
8	生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・明治：「1」 ・大正：「3」 ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ク
9		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和２１年５月２７日の場合、 「210527」と設定する	ケ
１０	賞与支払年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	コ
１１		年月日	数字	6	賞与の支給を行った年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年７月２５日の場合、 「010725」と設定する	サ
１２	通貨によるものの額		数字	１～７	通貨(金銭)で支払われた賃金、給料、俸給、手当、賞与、その他いかなる名称であるかを問わず、被保険者が労働の対償として支給されたすべてのもののうち、三月を超える期間ごとに受けるものの額を設定する （例）６０万円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する なお、賞与が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	シ

表４．９．３－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明（3/6）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
１３	現物によるものの額	数字	１～７	賞与のうち物品など金銭（通貨）以外のもので支払われるものをいう その額は健康保険法第４６条第１項もしくは第２項または厚生年金保険法第２５条の規定により厚生労働大臣、または健康保険組合が定めた価額によって算出した額を設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を、賞与が無い場合は「0」または「0000000」を設定する	ス
１４	合計（賞与額）	数字	１～７	「通貨によるものの額」に設定した額と「現物によるものの額」に設定した額の合計から1,000円未満を切捨てした額を設定する （例）「通貨によるものの額」と「現物によるものの額」の合計が600,870円の場合、 「600000」または 「0600000」と設定する なお、１千万円以上の場合は「9999999」を設定する	セ
１５	個人番号	－	０	省略する	ソ
１６	基礎年金番号　課所符号	－	０	省略する	タ
１７	基礎年金番号　一連番号	－	０		チ
１８	備考欄項目１	数字	０，１	70歳以上被用者の場合は「1」を設定する	ツ
１９	備考欄項目２	数字	０，１	二以上事業所勤務者の場合は「1」を設定する	テ
２０	備考欄項目３	数字	０，２	同一月内の賞与合算の場合は初回支払日を設定する （例）5日と25日に賞与が支払われた場合で、今回、合算して届出する場合、「05」と設定する 「賞与支払年月日」は25日で設定する	ト

表４．９．３－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(４/６)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
２１	70歳以上被用者届のみ提出	－	０	省略する	ナ

以下、厚生年金基金独自項目欄

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
２２	基金番号	数字	１～４	厚生年金基金の基金番号を設定する	A
２３	事業所番号（基金）	数字 英字	１～７	厚生年金基金の事業所番号を設定する	B
２４	加入員番号	数字 英字	１～１１	加入員手帳の番号を設定する	C
２５	加算適用の有無	数字	０～２	加算適用の有無を設定する （例）有：「1」または「01」 無：「0」または「00」	D
２６	加算賞与額	数字	０～７	加算賞与額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	E
２７	標準賞与額	数字	０～４	標準賞与額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	F

表４．９．３－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(５/６)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
２８	第２加算賞与額	数字	０～７	第２加算賞与額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240000」または 「0240000」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999999」を設定する	G
２９	第２加算標準賞与額	数字	０～４	第２加算標準賞与額を設定する （例）　２４万円の場合、 「240」または 「0240」と設定する なお、報酬が１千万円以上の場合「9999」を設定する	H
３０	基金固有項目１	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目１の内容を設定する	I
		数字 英字 カナ	０～１０		
３１	基金固有項目２	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目２の内容を設定する	J
		数字 英字 カナ	０～１０		
３２	基金固有項目３	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目３の内容を設定する	K
		数字 英字 カナ	０～１０		
３３	基金固有項目４	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目４の内容を設定する	L
		数字 英字 カナ	０～１０		
３４	基金固有項目５	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目５の内容を設定する	M
		数字 英字 カナ	０～１０		
３５	基金固有項目６	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目６の内容を設定する	N
		数字 英字 カナ	０～１０		

表４．９．３－１　賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード(厚生年金基金提出)の項目説明(６/６)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３６	基金固有項目７	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目７の内容を設定する	O
		数字 英字 カナ	０～１０		
３７	基金固有項目８	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目８の内容を設定する	P
		数字 英字 カナ	０～１０		
３８	基金固有項目９	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目９の内容を設定する	Q
		数字 英字 カナ	０～１０		
３９	基金固有項目 １０	漢字	０～５	厚生年金基金固有項目１０の内容を設定する	R
		数字 英字 カナ	０～１０		

※項番２５、２７、２９、３０～３９については、各基金によりコード等の設定が異なるため、各基金に確認すること。

（3）賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（厚生年金基金提出）の作成例

厚生年金基金に提出する賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコードの作成例は、図４．９．３－２のとおりである。

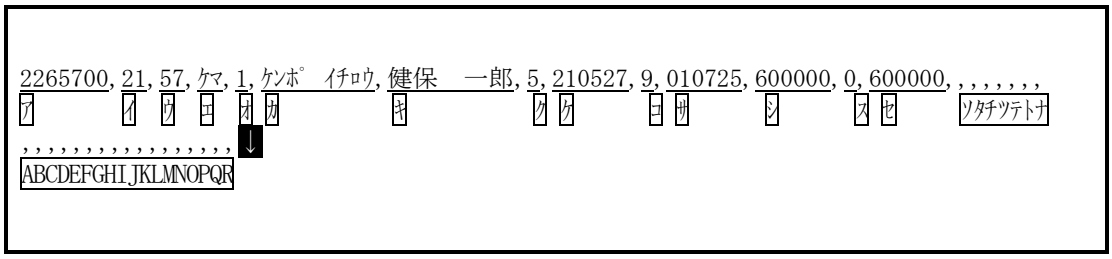


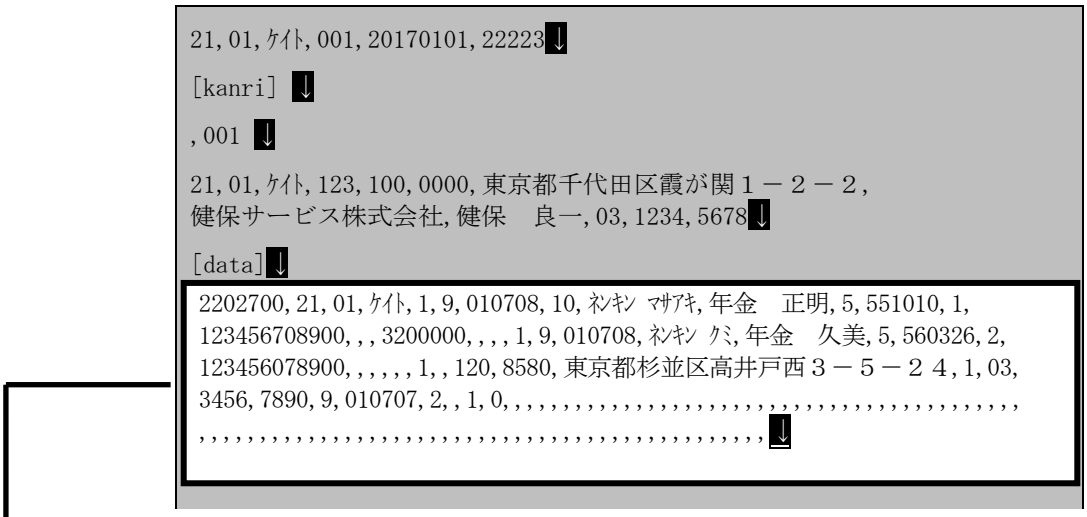
図４．９．３－２賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届データレコード（厚生年金基金提出)の作成例

４．１０　被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコード

４．１０．１　被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコード（年金事務所提出）

（１）被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目構成は、図４．１０．１－１のとおりである。


21,01,ｹｲﾄ,001,20170101,22223↓
[kanri] ↓
,001 ↓
21,01,ｹｲﾄ,123,100,0000,東京都千代田区霞が関１－２－２,
健保サービス株式会社,健保　良一,03,1234,5678↓
[data]↓
2202700,21,01,ｹｲﾄ,1,9,010708,10,ﾈﾝｷﾝ ﾏｻｱｷ,年金　正明,5,551010,1,
123456708900,,,3200000,,,,1,9,010708,ﾈﾝｷﾝ ｸﾐ,年金　久美,5,560326,2,
123456078900,,,,,,1,,120,8580,東京都杉並区高井戸西３－５－２４,1,03,
3456,7890,9,010707,2,,1,0,,,,,,

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【事業主確認欄】，
【元号（事業主等受付年月日）】，【年月日（事業主等受付年月日）】，【被保険者整理番号】，
【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【元号（被保険者生年月日）】，
【年月日（被保険者生年月日）】，【被保険者の性別】，【被保険者の個人番号】，
【課所符号（被保険者の年番）】，【一連番号（被保険者の年番）】，【被保険者の収入】，
【親番号（被保険者の郵便番号）】，【子番号（被保険者の郵便番号）】，【被保険者住所（漢字）】，
【異動の別】，【元号（配偶者である被扶養者の届出日）】，
【年月日（配偶者である被扶養者の届出日）】，【配偶者である被扶養者の氏名（カナ）】，
【配偶者である被扶養者の氏名（漢字）】，【元号（配偶者である被扶養者の生年月日）】，
【年月日（配偶者である被扶養者の生年月日）】，【性別（続柄）（配偶者である被扶養者）】，
【個人番号（配偶者である被扶養者）】，【課所符号（配偶者である被扶養者の年番）】，
【一連番号（配偶者である被扶養者の年番）】，【外国籍】，
【外国人通称名（カナ）（配偶者である被扶養者）】，【外国人通称名（漢字）（配偶者である被扶養者）】，
【同居・別居の別（配偶者である被扶養者住所）】，【住所地（配偶者である被扶養者住所）】，
【親番号（郵便番号）（配偶者である被扶養者）】，【子番号（郵便番号）（配偶者である被扶養者）】，
【配偶者である被扶養者住所（漢字）】，【種別（電話番号）（配偶者である被扶養者）】，
【局番１（電話番号）（配偶者である被扶養者）】，【局番２（電話番号）（配偶者である被扶養者）】，
【局番３（電話番号）（配偶者である被扶養者）】，【元号（配偶者である被扶養者になった日）】，
【年月日（配偶者である被扶養者になった日）】，【配偶者である被扶養者になった理由（選択）】，
【配偶者である被扶養者になった理由（その他の理由）】，【職業（配偶者である被扶養者）】，
【収入（配偶者である被扶養者）】，【元号（配偶者である被扶養者でなくなった日）】，
【年月日（配偶者である被扶養者でなくなった日）】，【配偶者である被扶養者でなくなった理由（選択）】，
【配偶者である被扶養者でなくなった理由（その他の理由）】，
【元号（死亡年月日）（配偶者である被扶養者でなくなった理由）】，
【年月日（死亡年月日）（配偶者である被扶養者でなくなった理由）】，
【備考（配偶者である被扶養者）】，【続柄確認（配偶者である被扶養者）】，
【海外特例（配偶者である被扶養者）】，【元号（海外特例要件に該当した日）】，
【年月日（海外特例要件に該当した日）】，【海外特例要件に該当した理由（選択）】，
【海外特例要件に該当した理由（その他の理由）】，【元号（海外特例要件に非該当となった日）】，
【年月日（海外特例要件に非該当となった日）】，【海外特例要件に非該当となった理由（選択）】，
【海外特例要件に非該当となった理由（その他の理由）】，
【元号（国内転入日）（海外特例要件に非該当となった理由）】，
【年月日（国内転入日）（海外特例要件に非該当となった理由）】，【配偶者の年間収入】，
【被扶養者番号（その他の被扶養者１）】，【その他の被扶養者１の氏名（カナ）】，
【その他の被扶養者１の氏名（漢字）】，【元号（その他の被扶養者１の生年月日）】，
【年月日（その他の被扶養者１の生年月日）】，【性別（その他の被扶養者１）】，
【続柄コード（その他の被扶養者１）】，【続柄コードその他補足（その他の被扶養者１）】，
【個人番号（その他の被扶養者１）】，【同居・別居の別（その他の被扶養者１）】，
【親番号（郵便番号）（その他の被扶養者１）】，【子番号（郵便番号）（その他の被扶養者１）】，
【その他の被扶養者１住所（漢字）】，【海外特例（その他の被扶養者１）】，
【海外特例要件に該当した理由（選択）】，【海外特例要件に該当した理由（その他の理由）】，
【海外特例要件に非該当となった理由（選択）】，【海外特例要件に非該当となった理由（その他の理由）】，
【元号（国内転入日）（海外特例要件に非該当となった理由）】，
【年月日（国内転入日）（海外特例要件に非該当となった理由）】，
【元号（その他の被扶養者１になった日）】，【年月日（その他の被扶養者１になった日）】，
【職業（その他の被扶養者１）】，【住所地（その他の被扶養者１）】，【収入（その他の被扶養者１）】，
【その他の被扶養者１になった理由（選択）】，【その他の被扶養者１になった理由（その他の理由）】，
【元号（その他の被扶養者１でなくなった日）】，【年月日（その他の被扶養者１でなくなった日）】，
【その他の被扶養者１でなくなった理由（選択）】，
【その他の被扶養者１でなくなった理由（その他の理由）】，【備考（その他の被扶養者１）】，
【続柄確認（その他の被扶養者１）】，【届出意思確認済】，【資格確認書発行要否（配偶者である被扶養者）】，
【資格確認書発行要否（その他の被扶養者１）】，【資格確認書発行要否（その他の被扶養者２）】↓

その他の被扶養者1－2

図４．１０．１－１　被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

（２）被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明

年金事務所に提出する被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届のデータレコードの各項目の説明は、表４．１０．１－１のとおりである。

なお、以下の点に留意すること。

・全国健康保険協会(協会けんぽ)管掌健康保険及び国民年金第３号被保険者の届出が対象となる。
・同一レコードには「該当」「非該当」、または「変更」を３名まで設定できる。
・配偶者を含む「該当(第３号被保険者該当)」「非該当(第３号被保険者非該当)」、または「変更」を申請する場合は、必ず「配偶者である被扶養者」に配偶者を設定すること。
・配偶者を含まない「該当」「非該当」、または「変更」を申請する場合は、「配偶者である被扶養者」を省略し、「その他の被扶養者１」から設定すること。

表４．１０．１－１　被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明（１／２３）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2202700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり	イ
3		郡市区符号	数字	2	また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する	ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４	（例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	エ
5	事業主確認欄		数字	０，１	収入に関する証明の添付が省略されている場合、所得税法上の控除対象配偶者・扶養親族であることを確認し、以下に対応する数値を設定する 確認未完了　　：「0」 確認完了　　：「1」	オ
6	事業主等受付年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	カ
7		年月日	数字	6	事業主等受付年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年７月８日の場合、 「010708」と設定する	キ

表４．１０．１－１　被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明（２／２３）

項番	項　目　名		種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
８	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号が「１０」の場合「10」と設定する なお、項番21「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略不可とする 資格取得届と同じ媒体内に提出する場合は省略する	ク
９	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ネンキン マサアキ」の場合、「ﾈﾝｷﾝ△ﾏｻｱｷ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン Ｋ マサアキ」の場合、「ﾈﾝｷﾝ△ｹｲ△ﾏｻｱｷ」と設定する	ケ
１０	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被保険者氏名が「年金 正明」の場合、「年金△正明」と設定する 被保険者氏名が「年金 Ｋ 正明」の場合、「年金△ケイ△正明」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	コ
１１	被保険者生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	サ
１２		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和５５年１０月１０日の場合、「551010」と設定する	シ
１３	被保険者の性別		数字	1	当該被保険者の種別（性別）に対応する数字を設定する ・男：「1」 ・女：「2」	ス
１４	被保険者の個人番号		数字	０，１２	被保険者の個人番号を設定する	セ

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１５	被保険者の基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する 個人番号が空欄の場合省略不可とする なお、健康保険のみに加入する者については省略とする	ソ
１６		一連番号	数字	０，６		タ
１７	被保険者の収入		数字	０，７	被保険者の年間収入を円単位で７文字で設定する （例）年間収入が「3,200,000円」の場合、 「3200000」と設定する 年間収入が「10,000,000円」以上の場合は、「9999999」と設定する 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合には省略する	チ
１８	被保険者の郵便番号	親番号	数字	０，３	個人番号を入力した場合は省略する 被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１２０－８５８０」の場合、 親番号に「120」 子番号に「8580」と設定する なお、海外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する	ツ
１９		子番号	数字	０，４		テ
２０	被保険者住所（漢字）		漢字	０～３７	個人番号を入力した場合は省略する 被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する 海外に居住する者については国名を設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・住所に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が３７文字を超える場合	ト

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
２１	異動の別			数字	１	以下の異動の別に対応する数字を設定する ・該当　　：「1」 ・非該当　　：「2」 ・変更　　：「3」	ナ
２２	配偶者である被扶養者（第３号被保険者）	届出日	元号	数字	０，１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ニ
２３			年月日	数字	０，６	配偶者が被保険者を通じて事業主にこの届書を提出する年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年７月８日の場合、 「010708」と設定する	ヌ
２４		被扶養者氏名	カナ	カナ	０～２５	「異動の別」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、被扶養者氏名を設定する 被扶養者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被扶養者氏名が「ネンキン クミ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ△ｸﾐ」と設定する 被扶養者氏名が「ネンキン K クミ」の場合、「ﾈﾝｷﾝ△ｹｲ△ｸﾐ」と設定する	ネ
２５			漢字	漢字	０～１２	「異動の別」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、被扶養者氏名を設定する 被扶養者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被扶養者氏名が「年金 久美」の場合、 「年金△久美」と設定する 被扶養者氏名が「年金 K 久美」の場合、 「年金△ケイ△久美」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	ノ

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
２６	配偶者である被扶養者（第３号被保険者）	生年月日	元号	数字	０，１	配偶者である被扶養者の生年月日を設定する なお、「異動の別」が変更：「3」かつ生年月日の訂正がある場合に訂正後の生年月日を設定する 以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ハ
２７			年月日	数字	０，６	配偶者である被扶養者の生年月日を設定する なお、「異動の別」が変更：「3」かつ生年月日の訂正がある場合に訂正後の生年月日を設定する 配偶者である被扶養者の生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和５６年３月２６日の場合、 「560326」と設定する	ヒ
２８		性別（続柄）		数字	０，１	以下の続柄に対応する数字を設定する ・夫　　：「1」 ・妻　　：「2」 ・夫（未届）　：「3」 ・妻（未届）　：「4」 なお、配偶者である被扶養者（第３号被保険者）を設定する場合は、当該項目は省略不可とする	フ
２９		個人番号		数字	０，１２	個人番号を設定する	ヘ
３０		基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	個人番号が空欄の場合、「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する なお、基礎年金番号の通知を受けていない者、または健康保険のみ加入する者については省略する	ホ
３１			一連番号	数字	０，６		マ
３２		外国籍		漢字	０～３０	外国籍の場合、配偶者である被扶養者の国籍を設定する	ミ

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
３３	配偶者である被扶養者（第３号被保険者）	外国人通称名	カナ	カナ	０～２５	配偶者である被扶養者の外国人通称名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する	ﾑ
３４			漢字	漢字	０～１２	配偶者である被扶養者の外国人通称名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	ﾒ
３５		被扶養者住所	同居・別居の別	数字	０，１	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする 被保険者との生活状況について対応する数字を設定する ・同居：「1」 ・別居：「2」 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する	ﾓ
３６			住所地	数字	０，２	後期高齢者医療制度加入該当者の場合（項番52「被扶養者でなくなった理由」が「4.75歳到達」、「5.障害認定」の時）のみ、以下の都道府県名に対応する数字を設定する ・北海道：「01」～（略）～　沖縄県：「47」※1 「異動の別」が該当：「1」または変更：「3」の場合は省略する ※1 表４．１０．１－２ 都道府県コード一覧を参照	ﾔ

表４．１０．１－１　被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明（７／２３）

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
３７	配偶者である被扶養者（第３号被保険者）	被扶養者住所	郵便番号 親番号	数字	０，３	配偶者である被扶養者を設定する場合は省略不可とする ※被扶養者の個人番号の有無、同居・別居の別の区分の設定に関わらず、省略不可とする	ユ
３８			郵便番号 子番号	数字	０，４	配偶者である被扶養者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１２０－８５８０」の場合、 親番号に「120」 子番号に「8580」と設定する なお、海外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する	ヨ
３９			漢字	漢字	０～３７	配偶者である被扶養者を設定する場合は省略不可とする ※被扶養者の個人番号の有無、同居・別居の別の区分の設定に関わらず、省略不可とする 配偶者である被扶養者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する 海外居住する者については国内における協力者住所（親族、第２号被保険者の勤務先住所等）を設定する 親族の場合は氏名及び続柄を備考に設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・住所に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が３７文字を超える場合	ラ
４０		電話番号	種別	数字	０，１	以下の種別に対応する数字を設定する ・自宅　：「1」 ・携帯　：「2」 ・勤務先　：「3」 ・その他　：「4」	リ
４１			局番１	数字	０，２～５	配偶者である被扶養者の電話番号（市外局番等）を設定する	ル
４２			局番２	数字	０，１～４	配偶者である被扶養者の電話番号（市内局番等）を設定する	レ
４３			局番３	数字	０，４～５	配偶者である被扶養者の電話番号（番号）を設定する	ロ

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
４４	配偶者である被扶養者（第３号被保険者）	被扶養者になった日	元号	数字	０，１	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者になった日に訂正がある場合は訂正後の日（元号）を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ワ
４５			年月日	数字	０，６	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者になった日に訂正がある場合は訂正後の日（年月日）を設定する 上記以外の場合は省略する 被扶養者になった年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年７月７日の場合、 「010707」と設定する	ヲ
４６		被扶養者になった理由	（選択）	数字	０，１	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・配偶者の就職　：「1」 ・婚姻　：「2」 ・離職　：「3」 ・収入減少　：「4」 ・その他　：「5」	A
４７			（その他の理由）	漢字 数字 英字 カナ	０～２４ ０～４８	「被扶養者になった理由」がその他：「5」の場合は省略不可とする	B
４８		職業		数字	０，１	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する 以下の職業に対応する値を設定する ・無職　：「1」 ・パート　：「2」 ・年金受給者　：「3」 ・その他　：「4」	C
４９		収入		数字	０，７	配偶者である被扶養者の今後１年間の年間収入見込み額を円単位で７文字で設定する なお、異動の別が「該当」である場合は、省略不可とする	D

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
５０	配偶者である被扶養者（第３号被保険者）	被扶養者でなくなった日	元号	数字	０，１	「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（元号）を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	E
５１			年月日	数字	０，６	「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（年月日）を設定する 上記以外の場合は省略する 被扶養者でなくなった理由が死亡の場合は、「死亡年月日の翌日」を設定する その他、就職等の場合は、就職等をした日を設定する また、後期高齢者医療の被保険者となることにより被扶養者でなくなる場合は、当該被保険者になった日を設定する 被扶養者でなくなった年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月３日の場合、 「010503」と設定する	F
５２		被扶養者でなくなった理由	（選択）	数字	０，１	「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする 「異動の別」が該当：「1」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・死亡　：「1」 ・離婚　：「2」 ・就職・収入増加　：「3」 ・75歳到達　：「4」 ・障害認定　：「5」 ・その他　：「6」	G
５３			（その他の理由）	漢字 数字 英字 カナ	０～２４ ０～４８	「被扶養者でなくなった理由」が、その他：「6」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	H

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
５４	配偶者である被扶養者（第３号被保険者）	被扶養者でなくなった理由	死亡年月日 元号	数字	０，１	被扶養者でなくなった理由が「1」(死亡)の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」 「被扶養者でなくなった理由」が死亡：「1」の場合は省略	I
５５			死亡年月日 年月日	数字	０，６	被扶養者でなくなった理由が「1」(死亡)の場合 死亡年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月３日の場合、 「010503」と設定する 「被扶養者でなくなった理由」が死亡：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	J
５６		備考		漢字 数字 英字 カナ	０～３７ ０～７５	「異動の別」が変更：「3」の場合、省略不可とし、変更項目と変更前情報を設定する ３号住所を親族の国内協力者住所とした場合、国内協力者の氏名及び続柄を設定する。 (例)国内協力者が3号被保険者の父の場合 「国内協力者：年金　一郎（父）」と設定する 海外居住中の３号被保険者に係る非該当の場合は「海外在住のため資格喪失」と設定する	K
５７		続柄確認		数字	０，１	事業主が戸籍謄本等で被保険者と扶養認定を受ける方の続柄を確認した場合は「1」を設定する なお、上記以外の場合は、省略する	L
５８		海外特例		数字	０，１	以下の海外特例に対応する数字を設定する ・該当　　：「1」 ・非該当　　：「2」 なお、上記以外の場合は、省略する また、「被扶養者になった日」が入力されている場合は、非該当：「2」は設定不可とする 「被扶養者でなくなった日」が入力されている場合は、省略する	M
５９		海外特例要件に該当した日	元号	数字	０，１	「海外特例」が該当：「1」の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	N
６０			年月日	数字	０，６	「海外特例」が該当：「1」の場合 海外特例要件に該当した日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和２年４月１日の場合、「020401」と設定する ※「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	O

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
６１	配偶者である被扶養者（第３号被保険者）	海外特例要件に該当した理由	(選択)	数字	０，１	「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする 以下の理由に対応する値を設定する ・留学　：「1」 ・同行家族　：「2」 ・特定活動　：「3」 ・海外婚姻　：「4」 ・その他　：「5」 なお、上記以外の場合は、省略する	P
６２			(その他の理由)	漢字 数字英字カナ	０～２４ ０～４８	「海外特例要件に該当した理由」が、その他：「5」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	Q
６３		海外特例要件に非該当となった日	元号	数字	０，１	海外特例が非該当：「2」の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	R
６４			年月日	数字	０，６	「海外特例」が非該当：「2」の場合 海外特例要件に該当した日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和２年４月１日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	S
６５		海外特例要件に非該当となった理由	(選択)	数字	０，１	「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする 以下の理由に対応する値を設定する ・国内転入　：「1」 ・その他　：「2」 なお、上記以外の場合は、省略する	T
６６			(その他の理由)	漢字 数字英字カナ	０～２４ ０～４８	「海外特例要件に非該当となった理由」が、その他：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	U

項番	項目名				種別	文字数	設定内容	作成例
６７	配偶者である被扶養者第３号被保険者	海外特例要件に非該当となった理由	国内転入日	元号	数字	０，１	海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	V
６８				年月日	数字	０，６	海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合 国内転入日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和２年４月１日の場合、 「020401」と設定する ※海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	W
６９	配偶者の年間収入				数字	０，７	被扶養者でない配偶者を有するとき、配偶者の年間収入を円単位で７文字で設定する （例）年間収入が「1,500,000円」の場合 「1500000」と設定する 年間収入が「10,000,000円」以上の場合は、「9999999」と設定する 「異動の別」が、変更：「3」または非該当：「2」の場合は省略する	X

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
７０	その他の被扶養者１	被扶養者番号		－	０	省略する	Y
７１		被扶養者氏名	カナ	カナ	０～２５	「異動の別」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、被扶養者氏名を設定する 被扶養者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被扶養者氏名が「コウネン タロウ」の場合、 「ｺｳﾈﾝ△ﾀﾛｳ」と設定する 被扶養者氏名が「コウネン Ｋ タロウ」の場合、「ｺｳﾈﾝ△ｹｲ△ﾀﾛｳ」と設定する	Z
７２			漢字	漢字	０～１２	「異動の別」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、被扶養者氏名を設定する 被扶養者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被扶養者氏名が「厚年 太郎」の場合、 「厚年△太郎」と設定する 被扶養者氏名が「厚年 Ｋ 太郎」の場合、 「厚年△ケイ△太郎」と設定する 以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を超える場合	a
７３		生年月日	元号	数字	０，１	「異動の別」が、変更：「3」かつ、生年月日の訂正がある場合に設定する 上記以外の場合は、被扶養者の生年月日を設定する 以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	b
７４			年月日	数字	０，６	「異動の別」が、変更：「3」かつ、生年月日の訂正がある場合に設定する 上記以外の場合は、被扶養者の生年月日を設定する 生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月３日の場合、 「010503」と設定する	c

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
７５	その他の被扶養者１	性別		数字	０，１	その他の被扶養者の性別に対応する数字を設定する ・男：「1」 ・女：「2」 なお、その他の被扶養者１を設定する場合は、省略不可とする	d
７６		続柄コード		数字	０，２	以下の続柄に対応する数字を設定する ・実子･養子　：「01」 ・1以外の子　：「02」 ・父母･養父母　：「03」 ・義父母　：「04」 ・弟妹　：「05」 ・兄姉　：「06」 ・祖父母　：「07」 ・曾祖父母　：「08」 ・孫　：「09」 ・その他　：「10」 なお、その他の被扶養者１を設定する場合は、省略不可とする	e
７７		続柄コードその他補足		漢字	０～１２	「異動の別」が非該当：「2」の場合には省略する 「続柄コード」がその他：「10」の場合には設定する 「続柄コード」がその他：「10」以外の場合には省略する	f
				数字英字カナ	０～２４		
７８		個人番号		数字	０，１２	その他の被扶養者の個人番号を設定する	g
７９		同居･別居の別		数字	０，１	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする 被保険者との生活状況について対応する数字を設定する ・同居：「1」 ・別居：「2」 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する	h
８０		被扶養者住所	郵便番号 親番号	数字	０，３	その他の被扶養者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１２０－８５８０」の場合、 親番号に「120」 子番号に「8580」と設定する なお、海外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する 「異動の別」が該当：「1」、非該当：「2」の場合、かつその他の被扶養者を設定する場合は省略不可とする。 ※被扶養者の個人番号の有無、同居･別居の別の区分の設定に関わらず、省略不可とする	i
８１			郵便番号 子番号	数字	０，４		j

表４．１０．１－１　被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（１５／２３）

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例

８２	その他の被扶養者１	被扶養者住所	漢字	漢字	０～３７	「異動の別」が該当：「1」、非該当：「2」の場合、かつその他の被扶養者を設定する場合は省略不可とする。 ※被扶養者の個人番号の有無、同居・別居の別の区分の設定に関わらず、省略不可とする その他の被扶養者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する 海外に居住する者については国名を設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・住所に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が３７文字を超える場合	k
８３		海外特例		数字	０，１	以下の海外特例に対応する数字を設定する ・該当　　：「1」 ・非該当　　：「2」 なお、上記以外の場合は、省略する。 また、「被扶養者になった日」が入力されている場合は、非該当：「2」は設定不可とする 「被扶養者でなくなった日」が入力されている場合は、省略する	l
８４		海外特例要件に該当した理由	（選択）	数字	０，１	「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする 以下の理由に対応する値を設定する ・留学　　：「1」 ・同行家族　　：「2」 ・特定活動　　：「3」 ・海外婚姻　　：「4」 ・その他　　：「5」 なお、上記以外の場合は、省略する	m
８５			(その他の理由)	漢字	０～２４	「海外特例要件に該当した理由」が、その他：「5」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	n
				数字 英字 カナ	０～４８		

項番	項目名				種別	文字数	設定内容	作成例
８６	その他の被扶養者１	海外特例要件に非該当となった理由	（選択）		数字	０，１	「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする 以下の理由に対応する値を設定する ・国内転入　：「1」 ・その他　：「2」 なお、上記以外の場合は、省略する	o
８７			（その他の理由）		漢字	０～２４	「海外特例要件に非該当となった理由」が、その他：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	p
					数字英字カナ	０～４８		
８８			国内転入日	元号	数字	０，１	海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例要件に非該当となった理由」が国内転入：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	q
８９				年月日	数字	０，６	海外特例要件に非該当となった理由が「1」(国内転入)の場合国内転入日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和２年４月１日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例要件に非該当となった理由」が国内転入：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	r

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
９０	その他の被扶養者１	被扶養者になった日	元号	数字	０，１	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者になった日に訂正がある場合は訂正後の日（元号）を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	s
９１			年月日	数字	０，６	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者になった日に訂正がある場合は訂正後の日（年月日）を設定する 上記以外の場合は省略する 被扶養者になった年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月３日の場合、 「010503」と設定する	t
９２		職業		数字	０，１	「異動の別」が該当：「1」の場合は省略不可とする 「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する 以下の職業に対応する値を設定する ・無職　：「1」 ・パート　：「2」 ・年金受給者　：「3」 ・小・中学生以下　：「4」 ・高・大学生　：「5」 ・その他　：「6」	u
９３		住所地		数字	０，２	後期高齢者医療制度加入該当者の場合（項番77「被扶養者でなくなった理由」が「4.75歳到達」、「5.障害認定」の時）のみ、以下の都道府県名に対応する数字を設定する ・北海道：「01」～（略）～　沖縄県：「47」※１ 「異動の別」が該当：「1」または変更：「3」の場合は省略する ※1 表４．１０．１－２ 都道府県コード一覧を参照	v
９４		収入		数字	０，７	その他の被扶養者１の今後１年間の年間収入見込み額を円単位で７文字で設定する なお、異動の別が「該当」の場合は省略不可とする	w

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
９５	その他の被扶養者１	被扶養者になった理由	(選択)	数字	０，１	「異動の別」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・出生　：「1」 ・離職　：「2」 ・収入減　：「3」 ・同居　：「4」 ・その他　：「5」	x
９６			(その他の理由)	漢字	０～２４	「被扶養者になった理由」がその他：「5」の場合は省略不可とする	y
				数字 英字 カナ	０～４８		
９７		被扶養者でなくなった日	元号	数字	０，１	「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（元号）を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	z
９８			年月日	数字	０，６	「異動の別」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ被扶養者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（年月日）を設定する 上記以外の場合は省略する 被扶養者でなくなった理由が死亡の場合は、「死亡年月日の翌日」を設定する その他、就職等の場合は、就職等をした日を設定する また、後期高齢者医療の被保険者となることにより被扶養者でなくなる場合は、当該被保険者になった日を設定する 被扶養者でなくなった年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月３日の場合、 「010503」と設定する	I

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
９９	その他の被扶養者１	被扶養者でなくなった理由	（選択）	数字	０，１	「異動の別」が該当：「1」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・死亡　：「1」 ・就職　：「2」 ・収入増加　：「3」 ・75歳到達　：「4」 ・障害認定　：「5」 ・その他　：「6」	Ⅱ
１００			（その他の理由）	漢字	０～２４	「被扶養者でなくなった理由」が、その他：「6」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	Ⅲ
				数字 英字 カナ	０～４８		
１０１		備考		漢字	０～３７	「異動の別」が該当：「1」の場合、住民票住所を設定する ※「個人番号」を設定した場合、住所は省略可能 「異動の別」が変更：「3」の場合、省略不可とし、変更項目名と変更前情報を設定する	Ⅳ
				数字 英字 カナ	０～７５		
１０２		続柄確認		数字	０，１	事業主が戸籍謄本等で被保険者と扶養認定を受ける方の続柄を確認した場合は「1」を設定する なお、上記以外の場合は、省略する	Ⅴ
１０３	その他の被扶養者２	被扶養者番号		数字	０	設定内容はその他の被扶養者１と同様にする	Ⅵ
１０４		被扶養者氏名	カナ	カナ	０～２５		Ⅶ
１０５			漢字	漢字	０～１２		a
１０６		生年月日	元号	数字	０，１		b
１０７			年月日	数字	０，６		c

表４．１０．１－１　被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（２１／２３）

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
１０８	その他の被扶養者２	性別		数字	０，１	設定内容はその他の被扶養者１と同様にする	d
１０９		続柄コード		数字	０，２		e
１１０		続柄コードその他補足		漢字	０～１２		f
				数字 英字 カナ	０～２４		
１１１		個人番号		数字	０，１２		g
１１２		同居・別居の別		数字	０，１		h
１１３		被扶養者住所	郵便番号 親番号	数字	０，３		i
１１４			郵便番号 子番号	数字	０，４		j
１１５			漢字	漢字	０～３７		k
１１６		海外特例		数字	０，１		l
１１７		海外特例要件に該当した理由	（選択）	数字	０，１		m
１１８			（その他の理由）	漢字	０～２４		n
				数字 英字 カナ	０～４８		

表４．１０．１－１　被扶養者(異動)届・国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（２２／２３）

項番	項目名				種別	文字数	設定内容	作成例
１１９	その他の被扶養者２	海外特例要件に非該当となった理由	（選択）		数字	０，１	設定内容はその他の被扶養者１と同様にする	o
１２０			（その他の理由）		漢字	０～２４		p
					数字 英字 カナ	０～４８		
１２１			国内転入日	元号	数字	０，１		q
１２２				年月日	数字	０，６		r
１２３		被扶養者になった日	元号		数字	０，１		s
１２４			年月日		数字	０，６		t

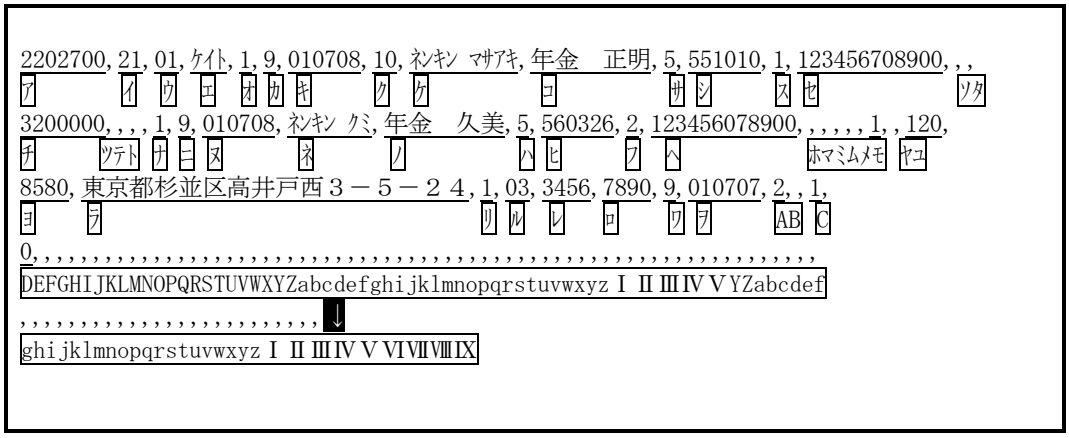
項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１２５	職業		数字	０，１	設定内容はその他の被扶養者１と同様にする	u
１２６	住所地		数字	０，２		v
１２７	収入		数字	０，７		w
１２８	被扶養者になった理由	（選択）	数字	０，１		x
１２９	被扶養者になった理由	（その他の理由）	漢字	０～２４		y
			数字英字カナ	０～４８		
１３０	被扶養者でなくなった日	元号	数字	０，１		z
１３１		年月日	数字	０，６		I
１３２	被扶養者でなくなった理由	（選択）	数字	０，１		II
１３３		（その他の理由）	漢字	０～２４		III
			数字英字カナ	０～４８		
１３４	備考		漢字	０～３７		IV
			数字英字カナ	０～７５		
１３５	続柄確認		数字	０，１		V
１３６	届出意思確認済		－	０	省略する	VI
１３７	資格確認書発行要否(配偶者である被扶養者)		数字	０，１	資格確認書の発行を希望する場合は「1」を設定する	VII
１３８	資格確認書発行要否(その他の被扶養者１)		数字	０，１		VIII
１３９	資格確認書発行要否(その他の被扶養者２)		数字	０，１		IX

表４．１０．１－２ 都道府県コード一覧

都道府県コード	漢字都道府県名
01	北海道
02	青森県
03	岩手県
04	宮城県
05	秋田県
06	山形県
07	福島県
08	茨城県
09	栃木県
10	群馬県
11	埼玉県
12	千葉県
13	東京都
14	神奈川県
15	新潟県
16	富山県
17	石川県
18	福井県
19	山梨県
20	長野県
21	岐阜県
22	静岡県
23	愛知県
24	三重県
25	滋賀県
26	京都府
27	大阪府
28	兵庫県
29	奈良県
30	和歌山県
31	鳥取県
32	島根県
33	岡山県
34	広島県
35	山口県
36	徳島県
37	香川県
38	愛媛県
39	高知県
40	福岡県
41	佐賀県
42	長崎県
43	熊本県
44	大分県
45	宮崎県
46	鹿児島県
47	沖縄県

（３）被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届データレコードの作成例

図４．１０．１－３の「健康保険被扶養者（異動）届／国民年金第３号被保険者関係届」に対応する作成例は、図４．１０．１－２のとおりである。


2202700, 21, 01, ｹｲﾄ, 1, 9, 010708, 10, ﾈﾝｷﾝ ﾏｻｱｷ, 年金　正明, 5, 551010, 1, 123456708900, , ,
3200000, , , , 1, 9, 010708, ﾈﾝｷﾝ ｸﾐ, 年金　久美, 5, 560326, 2, 123456078900, , , , , 1, , 120,
8580, 東京都杉並区高井戸西３－５－２４, 1, 03, 3456, 7890, 9, 010707, 2, , 1,
0, , , , ,

様式コード 2202

協会管掌事業所用

健康保険
国民年金

被扶養者（異動）届
第3号被保険者関係届

令和　年　月　日提出

事業主記入欄

事業所整理記号　ウ　－　エ

届出記入の個人番号（基礎年金番号）に誤りがないことを確認しました。

事業所所在地　〒　－

事業所名称

事業主氏名

電話番号　（　　）

厚生年金被保険者の配偶者にかかる届出の記載がある場合、同時に『国民年金第3号被保険者関係届』として受理し、配偶者を第3号被保険者に、第2号被保険者を配偶者として読み替えます。

受付印

社会保険労務士記載欄
氏名等

事業主確認欄　オ　業主が確認した場合に○で囲んでください。　1.確認　収入に関する証明の添付が省略されている者は、所得税法上の控除対象配偶者・扶養親族であることを確認しました。

事業主等受付年月日　カ　令和　年　キ　月　日

A.被保険者欄

①被保険者整理番号　ク
②氏名　(フリガナ)　ケ　コ　(氏)　(名)
③生年月日　サ　5.昭和 7.平成 9.令和　年　シ　月　日
④性別　ス　男　2.女
⑤個人番号［基礎年金番号］　セ　ソ　タ
⑥取得年月日　5.昭和 7.平成 9.令和　年　月　日
⑦収入（年収）　チ　円
⑧住所　個人番号を記入した場合は、住所記入は不要です。　〒　ツ　－　テ　ト

※事業主が、認定を受ける方の続柄を裏面(a)の書類で確認した場合は、B欄⑮（又はC欄⑯）の「※続柄確認済み」の□に✓を付してください。（添付書類については裏面(a)(b)参照）
配偶者が被扶養者（第3号被保険者）になった場合は「該当」、被扶養者でなくなった場合は「非該当」、変更の場合は「変更」を○で囲んでください。

B.配偶者である被扶養者欄（第3号被保険者）

①氏名　第3号被保険者に関し、この届書記載のとおり届出します。
令和　ニ　年　ヌ　月　日
（フリガナ）　ネ
（氏名）　ノ
※第3号被保険者関係届の提出は配偶者（第2号被保険者）に委任します　□

②生年月日　ハ　5.昭和 7.平成 9.令和　年　ヒ　月　日
③性別（続柄）　フ　1.夫 3.夫（未届） 2.妻 4.妻（未届）
④個人番号［基礎年金番号］　ヘ　ホ　マ
⑤外国籍　ミ
⑥外国人通称名　（フリガナ）　ム　メ
⑦住所　モ　1. 同居 2. 別居　〒　ユ　－　ヨ　ラ
⑧電話番号　リ　1. 自宅 2. 携帯 3. 勤務先 4. その他　ル（　レ　）ロ

1.該当 / 2.非該当 / 3.変更　ナ
⑨被扶養者（第3号被保険者）になった日　ワ　9. 令和　年　ヲ　月　日
⑩理由　ア　1. 配偶者の就職 2. 婚姻 3. 離職 4. 収入減少 5. その他（　B　）
⑪職業　C　1.無職 2.パート（　） 3.年金受給者 4.その他
⑫収入（年収）　D　円

1.該当 / 2.非該当 / 3.変更　E
⑬被扶養者（第3号被保険者）でなくなった日　9. 令和　年　F　月　日
⑭理由　G　1. 死亡（令和　I　年　J　月　日） 2. 離婚 3. 就職・収入増加 4.75歳到達 5.障害認定 6.その他（　H　）
⑮備考　K　※ 続柄確認済み　□　L

右の⑯～⑲欄は、海外居住者又は海外から国内に転入した場合の記入してください。
1.海外特例要件該当 / 2.海外特例要件非該当　M
⑯海外特例要件該当した日　N　9. 令和　年　O　月　日
⑰理由　P　1. 留学 2. 同行家族 3. 特定活動 4. 海外婚姻 5. その他　Q
⑱海外特例要件非該当となった日　R　9. 令和　年　S　月　日
⑲理由　T　1. 国内転入（令和　V　年　W　月　日） 2. その他（　U　）
⑳資格確認書発行要否　Ⅶ　□ 発行が必要　種別 31

㉑ 被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください。　配偶者の収入（年収）　X　円

配偶者以外の方が被扶養者になった場合は「該当」、被扶養者でなくなった場合は「非該当」、変更の場合は「変更」を○で囲んでください。

C.その他の被扶養者欄1

①氏名　（フリガナ）　Z　a　（氏）　（名）
②生年月日　b　5.昭和 7.平成 9.令和　年　c　月　日
③性別　d　1.男 2.女
④続柄　e　1. 実子・養子 2. 1以外の子 3. 父母・養父母 4. 養父母 5. 弟妹 6. 兄姉 7. 祖父母 8. 曽祖父母 9. 孫 10. その他（　f　）
⑤個人番号　g
⑥住所　h　1. 同居 2. 別居　〒　i　－　j　k
右の⑦～⑨欄は、海外居住者又は海外から国内に転入した場合のみ記入してください。
⑦海外特例要件　l　1.海外特例要件該当 / 2.海外特例要件非該当
⑧理由　m　1. 留学 2. 同行家族 3. 特定活動 4. 海外婚姻 5. その他（　n　）
⑨理由　o　1. 国内転入（令和　q　年　r　日） 2. その他（　p　）

1.該当
⑩被扶養者になった日　s　9. 令和　年　t　月　日
⑪職業　u　1. 無職 2. パート 3. 年金受給者 4. 小・中学生以下 5. 高・大学生（　年生） 6. その他（　）
⑫収入（年収）　W　円
⑬理由　x　1. 出生 2. 離職 3. 収入減 4. 同居 5. その他（　y　）

2.非該当 / 3.変更
⑭被扶養者でなくなった日　Z　9. 令和　年　I　月　日
⑮理由　Ⅱ　1. 死亡 2. 就職 3. 収入増加 4. 75歳到達 5. 障害認定 6. その他（　Ⅲ　）
⑯備考　Ⅳ　Ⅴ　※ 続柄確認済み　□
⑰資格確認書発行要否　Ⅷ　□ 発行が必要

C.その他の被扶養者欄2

①氏名　（フリガナ）　（氏）　（名）
②生年月日　5.昭和 7.平成 9.令和　年　月　日
③性別　1.男 2.女
④続柄　1. 実子・養子 2. 1以外の子 3. 父母・養父母 4. 養父母 5. 弟妹 6. 兄姉 7. 祖父母 8. 曽祖父母 9. 孫 10. その他（　）
⑤個人番号
⑥住所　1. 同居 2. 別居　〒　－
右の⑦～⑨欄は、海外居住者又は海外から国内に転入した場合のみ記入してください。
⑦海外特例要件　1.海外特例要件該当 / 2.海外特例要件非該当
⑧理由　1. 留学 2. 同行家族 3. 特定活動 4. 海外婚姻 5. その他（　）
⑨理由　1. 国内転入（令和　年　月　日） 2. その他（　）

1.該当
⑩被扶養者になった日　9. 令和　年　月　日
⑪職業　1. 無職 2. パート 3. 年金受給者 4. 小・中学生以下 5. 高・大学生（　年生） 6. その他（　）
⑫収入（年収）　円
⑬理由　1. 出生 2. 離職 3. 収入減 4. 同居 5. その他（　）

2.非該当 / 3.変更
⑭被扶養者でなくなった日　9. 令和　年　月　日
⑮理由　1. 死亡 2. 就職 3. 収入増加 4. 75歳到達 5. 障害認定 6. その他（　）
⑯備考　※ 続柄確認済み　□
⑰資格確認書発行要否　Ⅸ　□ 発行が必要

※被扶養者の「該当」と「非該当（変更）」は同時に提出できません。「該当」、「非該当」、「変更」はそれぞれ別の用紙で提出してください。

扶養に関する申立書（添付書類の内容について補足する事項がある場合に記入してください）

申立の事実に相違ありません。　氏名

◎ イ 都道府県コード　ヤ 配偶者である被保険者の住所地　Y その他の被扶養者１の被扶養者番号
f その他の被扶養者１の続柄コードその他補足　z その他の被扶養者１の住所地
◎　媒体に設定する様式コードは「2202」ではなく「2202700」である。

図４．１０．１－３　健康保険被扶養者（異動）届／国民年金第３号被保険者関係届

（令和６年 12 月現在）

４．１１　国民年金第３号被保険者関係届データレコード

４．１１．１　国民年金第３号被保険者関係届データレコード（年金事務所提出）

（１）国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目構成

年金事務所に提出する国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目構成は、図４．１１．１－１のとおりである。



図４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目構成

（２）国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明

年金事務所に提出する国民年金第３号被保険者関係届データレコードの各項目の説明は、表４．１１．１－１のとおりである。

表４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（１／１２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「4300700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	事業主等受付年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	オ
6		年月日	数字	6	事業主等受付年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年７月８日の場合、 「010708」と設定する	カ

表４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（２／１２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
7	配偶者（２号被保険者）	氏名（カナ）	カナ	１～２５	３号被保険者の配偶者（２号被保険者）のカナ氏名を設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ネンキン マサアキ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ△ﾏｻｱｷ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン Ｋ マサアキ」の場合、「ﾈﾝｷﾝ△ｹｲ△ﾏｻｱｷ」と設定する	キ
8		氏名（漢字）	漢字	０～１２	３号被保険者の配偶者（２号被保険者）の漢字氏名を設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被保険者氏名が「年金 正明」の場合、 「年金△正明」と設定する 被保険者氏名が「年金 Ｋ 正明」の場合、 「年金△ケイ△正明」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	ク
9		生年月日 元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ケ
１０		生年月日 年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和５５年１０月１０日の場合、 「551010」と設定する	コ

表４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（３／１２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１１	配偶者（２号被保険者）	性別	数字	１	３号被保険者の配偶者（２号被保険者）の性別に対応する数字を設定する ・男：「1」 ・女：「2」	サ
１２		個人番号	数字	０，１２	個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	シ
１３		基礎年金番号　課所符号	数字	０，４	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する なお、個人番号が空欄の場合必須入力とする	ス
１４		基礎年金番号　一連番号	数字	０，６		セ
１５		郵便番号　親番号	数字	０，３	配偶者（２号被保険者）の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１２０－８５８０」の場合、 親番号に「120」 子番号に「8580」と設定する なお、国外に居住する者については、親番号に「999」、子番号に「9999」を設定する 個人番号を入力した場合は省略する	ソ
１６		郵便番号　子番号	数字	０，４		タ
１７		住所（漢字）	漢字	０～３７	配偶者（２号被保険者）の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する 国外居住する者については国名を設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・住所に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が３７文字を超える場合 個人番号を入力した場合は省略する	チ

表４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（４／１２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
１８	３号被保険者	届出日　元号	数字	０，１	以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ツ
１９	３号被保険者	届出日　年月日	数字	０，６	第３号被保険者が配偶者を通して、事業主にこの届書を提出する年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年７月８日の場合、 「010708」と設定する	テ
２０	３号被保険者	氏名（カナ）	カナ	１～２５	「異動の別(３号該当)」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、３号被保険者氏名を設定する ３号被保険者のカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ネンキン クミ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ△ｸﾐ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン Ｋ クミ」の場合、「ﾈﾝｷﾝ△ｹｲ△ｸﾐ」と設定する	ト
２１	３号被保険者	氏名（漢字）	漢字	０～１２	「異動の別(３号該当)」が変更：「3」かつ、氏名の訂正がある場合は、変更後の氏名を設定する 上記以外の場合は、３号被保険者氏名を設定する ３号被保険者の漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被保険者氏名が「年金 久美」の場合、 「年金△久美」と設定する 被保険者氏名が「年金 Ｋ 久美」の場合、 「年金△ケイ△久美」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	ナ

表４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（５／１２）

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
２２	３号被保険者	生年月日	元号	数字	１	３号被保険者の生年月日を設定する なお、「異動の別(３号該当)」が変更：「3」かつ生年月日の訂正がある場合に訂正後の生年月日を設定する 以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	ニ
２３			年月日	数字	６	３号被保険者の生年月日を設定する なお、「異動の別(３号該当)」が変更：「3」かつ生年月日の訂正がある場合に訂正後の生年月日を設定する ３号被保険者の生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和５６年３月２６日の場合、 「560326」と設定する	ヌ
２４		性別（続柄）		数字	１	以下の続柄に対応する数字を設定する ・夫　　：「1」 ・妻　　：「2」 ・夫（未届）　：「3」 ・妻（未届）　：「4」	ネ
２５		個人番号		数字	０，１２	個人番号を設定する なお、個人番号を入力できない場合は、基礎年金番号の入力を必須とする	ノ
２６		基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する なお、個人番号が空欄の場合必須入力とする	ハ
２７			一連番号	数字	０，６		ヒ

表４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（６／１２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
２８	３号被保険者	外国籍	漢字	０～３０	外国籍の場合、対象被保険者の国籍を設定する	フ
２９		外国人通称名（カナ）	カナ	０～２５	３号被保険者のカナ外国人通称名を設定する 全て半角カナ大文字とする 姓と名の間に半角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを1文字設定する	ヘ
３０		外国人通称名（漢字）	漢字	０～１２	３号被保険者の漢字外国人通称名を設定する 姓と名の間に全角スペースを1文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを1文字設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	ホ
３１		住所 同居区分	数字	０，１	「異動の別(３号該当)」が該当：「1」の場合は省略不可とする ３号被保険者との生活状況について対応する数字を設定する ・同居：「1」 ・別居：「2」 「異動の別(３号該当)」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する	マ
３２		郵便番号 親番号	数字	３	３号被保険者の居住する住所の郵便番号を親番号、子番号に分けて設定する （例）郵便番号が「１２０－８５８０」の場合、 親番号に「120」 子番号に「8580」と設定する	ミ
３３		郵便番号 子番号	数字	４		ム

表４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（７／１２）

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
３４	３号被保険者	住所（漢字）		漢字	０～３７	３号被保険者の居住する住所を都道府県名から漢字で設定する 海外居住する者については国内における協力者住所（親族、第２号被保険者の勤務先住所等）を設定する。 親族の場合は氏名及び続柄を備考に設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は、省略する ・住所に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれ、他の文字で代替えができない場合 ・住所が３７文字を超える場合	ﾒ
３５		電話番号	種別	数字	０，１	以下の種別に対応する数字を設定する ・自宅　　：「1」 ・携帯　　：「2」 ・勤務先　　：「3」 ・その他　　：「4」	ﾓ
３６			局番１	数字	０，２～５	３号被保険者の電話番号（市外局番等）を設定する	ﾔ
３７			局番２	数字	０，１～４	３号被保険者の電話番号（市内局番等）を設定する	ﾕ
３８			局番３	数字	０，４～５	３号被保険者の電話番号（番号）を設定する	ﾖ

表４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（８／１２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
３９	異動の別(３号該当)		数字	１	３号該当に対応する数字を設定する ・該当　　：「1」 ・非該当　：「2」 ・変更　　：「3」	ラ
４０	３号被保険者になった日	元号	数字	０，１	「異動の別(３号該当)」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ３号被保険者になった日に訂正がある場合は訂正後の日（元号）を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	リ
４１		年月日	数字	０，６	「異動の別(３号該当)」が該当：「1」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ３号被保険者になった日に訂正がある場合は訂正後の日（年月日）を設定する 上記以外の場合は省略する ３号被保険者となった日（該当年月日）（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年７月７日の場合、 「010707」と設定する	ル
４２	３号被保険者になった理由	（選択）	数字	０，１	「異動の別(３号該当)」が該当：「1」の場合は省略不可とする 「異動の別(３号該当)」が非該当：「2」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・配偶者の就職　：「1」 ・婚姻　　：「2」 ・離職　　：「3」 ・収入減少　：「4」 ・その他　　：「5」	レ
４３		（その他の理由）	漢字	０～２４	「３号被保険者になった理由（選択）」がその他：「5」の場合は必須入力とする	ロ
			数字 英字 カナ	０～４８		

表４．１１．１－１　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの項目説明　（９／１２）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
４４	配偶者の加入制度		数字	０，２	以下の加入制度に対応する数字を設定する ・厚生年金保険・健康保険　　：「31」 「異動の別（３号該当）」が該当：「1」の場合は必須入力とする	ワ
４５	３号被保険者でなくなった日	元号	数字	０，１	「異動の別(３号該当)」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ３号被保険者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（元号）を設定する 上記以外の場合は省略する 以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」	ヲ
４６		年月日	数字	０，６	「異動の別(３号該当)」が非該当：「2」の場合は省略不可とする また、変更：「3」かつ３号被保険者でなくなった日に訂正がある場合は訂正後の日（年月日）を設定する 上記以外の場合は省略する ３号被保険者でなくなった理由が死亡の場合は、「死亡年月日の翌日」を設定する その他、就職等の場合は、就職等をした日を設定する ３号被保険者でなくなった日（解除年月日）（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月３日の場合、 「010503」と設定する	A

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
４７	３号被保険者でなくなった理由	理由（選択）	数字	０，１	「異動の別(３号該当)」が非該当：「2」の場合は省略不可とする 「異動の別(３号該当)」が該当：「1」または変更：「3」の場合は省略する 以下の理由に対応する値を設定する ・死亡　：「1」 ・離婚　：「2」 ・収入増加　：「3」 ・その他　：「6」 海外居住中の３号被保険者に係る非該当や、海外居住中に海外特例に該当しなくなった場合は、その他：「6」を設定する	B
４８		死亡年月日　元号	数字	０，１	３号被保険者でなくなった理由が「1」（死亡）の場合以下の元号に対応する数字を設定する ・平成：「7」 ・令和：「9」 「３号被保険者でなくなった理由」が死亡：「1」の場合は必須入力とする	C
４９		死亡年月日　年月日	数字	０，６	３号被保険者でなくなった理由が「1」(死亡)の場合死亡年月日(和暦)を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和１年５月３日の場合、 「010503」と設定する 「３号被保険者でなくなった理由」が死亡：「1」の場合は必須入力とする	D
５０	３号被保険者でなくなった理由	（その他の理由）	漢字	０～２４	３号被保険者でなくなった理由が、その他「6」の場合は省略不可とする 海外居住中の３号被保険者に係る非該当や、海外居住中に海外特例に該当しなくなった場合は「海外居住のため資格喪失」と設定する	E
			数字英字カナ	０～４８		
５１	備考		漢字	０～３７	「異動の別(３号該当)」が変更：「3」の場合、省略不可とし、変更項目と変更前情報を設定する ３号住所を親族の国内協力者住所とした場合、国内協力者の氏名及び続柄を設定する。 (例)国内協力者が３号被保険者の父の場合 「国内協力者：年金　一郎（父）」と設定する	F
			数字英字カナ	０～７５		

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
５２	海外特例		数字	０，１	以下の海外特例に対応する数字を設定する ・該当　　：「1」 ・非該当　　：「2」 なお、上記以外の場合は、省略する。 また、「３号被保険者になった日」が入力されている場合は、非該当：「2」は設定不可とする 「３号被保険者でなくなった日」が入力されている場合は、省略する	G
５３	海外特例要件に該当した日	元号	数字	０，１	「海外特例」が該当：「1」の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	H
５４		年 月 日	数字	０，６	「海外特例」が該当：「1」の場合 海外特例要件に該当した日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和２年４月１日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例」が該当：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	I
５５	海外特例要件に該当した理由	（選択）	数字	０，１	「海外特例」が該当：「1」の場合は 以下の理由に対応する値を設定する ・留学　　：「1」 ・同行家族　　：「2」 ・特定活動　　：「3」 ・海外婚姻　　：「4」 ・その他　　：「5」 なお、上記以外の場合は、省略する	J
５６		（その他の理由）	漢字	０～２４	「海外特例要件に該当した理由」が、その他：「5」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	K
			数字 英字 カナ	０～４８		

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
５７	海外特例要件に非該当となった日	元号	数字	０，１	「海外特例」が非該当：「2」の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	L
５８		年月日	数字	０，６	「海外特例」が非該当：「2」の場合 海外特例要件に非該当となった日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和２年４月１日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	M
５９	海外特例要件に非該当となった理由	（選択）	数字	０，１	「海外特例」が非該当：「2」の場合は省略不可とする 以下の理由に対応する値を設定する ・国内転入　：「1」 ・その他　：「2」 なお、上記以外の場合は、省略する	N
６０		（その他の理由）	漢字	０～２４	「海外特例要件に非該当となった理由」が、その他：「2」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	O
			数字 英字 カナ	０～４８		
６１		国内転入日　元号	数字	０，１	「海外特例要件に非該当となった理由」が「1」（国内転入）の場合 以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 ※「海外特例要件に非該当となった理由」が国内転入：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	P
６２		国内転入日　年月日	数字	０，６	「海外特例要件に非該当となった理由」が「1」（国内転入）の場合 国内転入日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和２年４月１日の場合、 「020401」と設定する ※「海外特例要件に非該当となった理由」が国内転入：「1」の場合は省略不可とする なお、上記以外の場合は、省略する	Q

項番	項目名	種別	文字数	設定内容	作成例
６３	届出意思確認済	－	０	省略する	R

（３）国民年金第３号被保険者関係届データレコードの作成例

図４．１１．１－３の「国民年金第３号被保険者関係届」に対応する作成例は、図４．１１．１－２のとおりである。

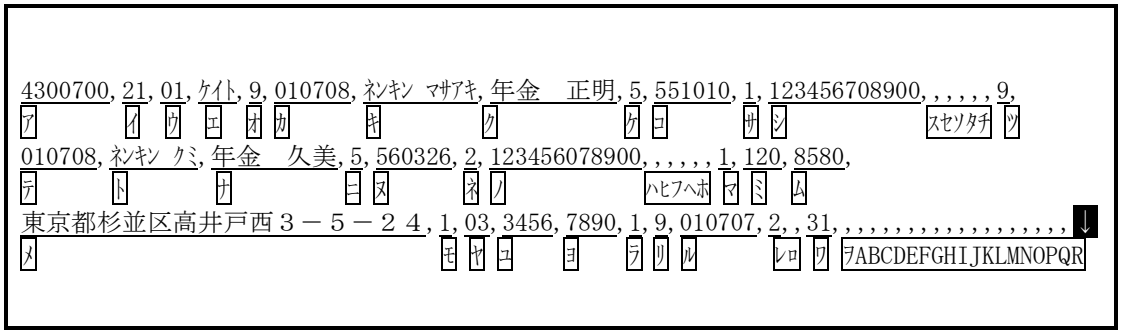


図４．１１．１－２　国民年金第３号被保険者関係届データレコードの作成例

ア 様式コード 4300

国民年金　第3号被保険者関係届

令和　　年　　月　　日提出

提出者情報

届出記入の個人番号（基礎年金番号）に誤りがないことを確認しました。

事業所所在地　〒　－

事業所名称

事業主氏名　㊞

電話番号　（　　）

事業主等受付年月日　令和　　年　　月　　日　オ　カ

日本年金機構

社会保険労務士記載欄

氏名等　㊞

A. 配偶者欄（第2号被保険者）

①氏名　（ﾌﾘｶﾞﾅ）キ　ク

②生年月日　ケ　昭和 7.平成 9.令和　コ　年　月　日

③性別　サ　1.男性 2.女性

④個人番号［基礎年金番号］　シ　ス　セ

⑤住所　個人番号を記入した場合は、住所記載は不要です。

〒ソ　－　タ　チ 都道府県

届出内容に応じて、該当・非該当（変更）のいずれかを〇で囲み、記入してください。

B. 第3号被保険者欄

①氏名　この届書記載のとおり届出します。

令和　年　月　日　ツ　テ

日本年金機構理事長あて

（ﾌﾘｶﾞﾅ）ト

（氏名）ナ　㊞

※届書の提出は配偶者（第2号被保険者）に委任します□

②生年月日　ニ　5.昭和 7.平成 9.令和　ヌ　年　月　日

③性別（続柄）　ネ　1.夫 2.妻 3.夫（未届） 4.妻（未届）

④個人番号［基礎年金番号］　ノ　ハ　ヒ

⑤外国籍　フ

⑥外国人通称名　（ﾌﾘｶﾞﾅ）ヘ　ホ

⑦住所　マ　1.同居・2.別居　〒ミ　－　ム　メ

※同居の場合も住民票の住所を記入してください。

※海外特例要件該当の届出の場合は、国内協力者住所を記入してください。なお、親族の場合は氏名及び続柄を⑭備考に記入してください。

⑧電話番号　モ　1.自宅 2.携帯 3.勤務先 4.その他　ヤ（ユ）ヨ

該当　ラ

⑨第3号被保険者になった日　リ　7.平成 9.令和　ル　年　月　日

⑩理由　レ　1.配偶者の就職 2.婚姻 3.離職 4.収入減少 5.その他（ロ）

⑪配偶者の加入制度　ワ　31.厚生年金保険・健康保険 32.国家公務員共済組合 36.地方公務員等共済組合 37.日本私立学校振興・共済事業団 30.厚生年金保険・船員保険

非該当（変更）

⑫第3号被保険者でなくなった日　ヲ　7.平成 9.令和　A　年　月　日

⑬理由　B　C　D　1.死亡（令和　年　月　日） 2.離婚 3.収入増加 6.その他（E）

⑭備考　F

右の⑮～⑱の欄は、海外へ転出した場合や海外から転入した場合にいずれか〇で囲み、記入　G

1.海外特例要件該当

⑮海外特例要件に該当した日　H　9.令和　I　年　月　日

⑯理由　J　1.留学 2.同行家族 3.特定活動 4.海外婚姻 5.その他（K）

2.海外特例要件非該当

⑰海外特例要件に非該当となった日　L　9.令和　M　年　月　日

⑱理由　N　1.国内転入（令和　年　月　日） 2.その他（O）　P　Q

健康保険証の発行元に確認を受けてください。 ※届書記載の配偶者が協会けんぽ加入者の場合は、確認不要です。

医療保険者記入欄

組合（保険者）番号

上記のとおり第3号被保険者関係届の届出がありましたので提出します。

届出記載の第3号被保険者は、健康保険組合又は共済組合に加入している者の被扶養者であることを確認する。

認定年月日　令和　年　月　日　（「⑨第3号被保険者になった日」と同じ場合は、記載の必要はありません）

所在地　〒　－

名称

代表者等氏名　㊞

電話　（　　）

◎ イ 都道府県コード ウ 郡市区符号 エ 事業所記号

◎　媒体に設定する様式コードは「4300」ではなく「4300700」である。

図４．１１．１－３　国民年金第３号被保険者関係届

（令和４年10月現在）

４．１２　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード

４．１２．１　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード（年金事務所提出）

（１）産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目構成

年金事務所に提出する産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目構成は、図４．１２．１－１のとおりである。

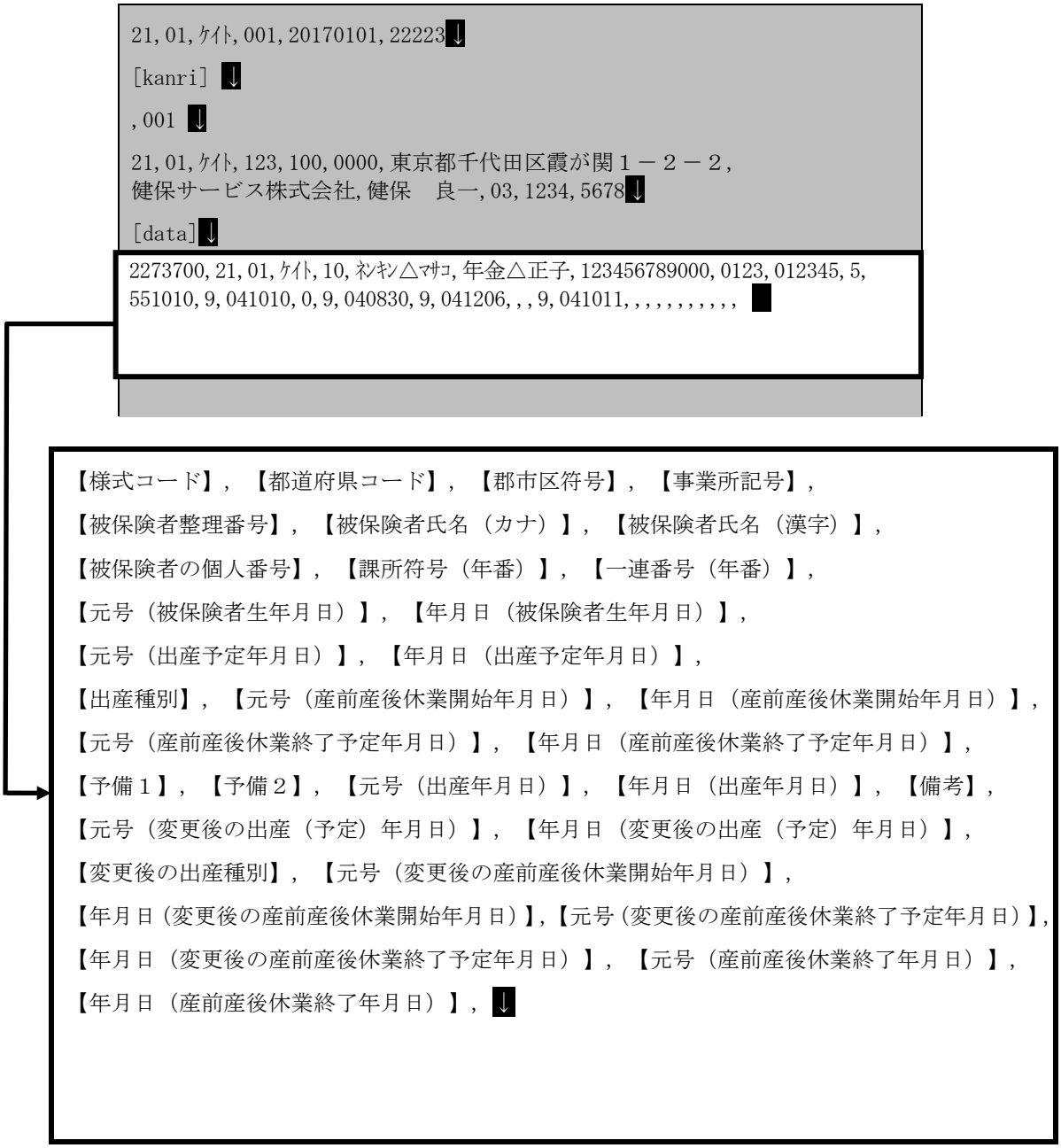


図４．１２．１－１　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目構成

（2）産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明

年金事務所に提出する産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの各項目の説明は、表４．１２．１－１のとおりである。
なお、以下の点に留意すること。
・出産（予定）日・産前産後休業終了（予定）日を変更する場合は、「変更欄」の項目も設定すること。
・予定より早く産前産後休業を終了した場合は、「終了欄」の項目も設定すること。

表４．１２．１－１　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明　（１／６）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2273700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号が「１０の場合「10」と設定する 資格取得届と同じ媒体内に提出する場合は省略する	オ
6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ネンキン　マサコ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ△ﾏｻｺ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン　Ｋ　マサコ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ△ｹｲ△ﾏｻｺ」と設定する	カ

表４．１２．１－１　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明　（２／６）

7	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被保険者氏名が「年金 正子」の場合、 「年金△正子」と設定する 被保険者氏名が「年金 Ｋ 正子」の場合、 「年金△ケイ△正子」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	キ
8	被保険者の個人番号		数字	０，１２	被保険者の個人番号を設定する	ク
9	被保険者の基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する 個人番号が空欄の場合省略不可とする なお、健康保険のみに加入する者については省略とする	ケ
10		一連番号	数字	０，６		コ
11	被保険者生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	サ

表４．１２．１－１　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明　（３／６）

12		年月日	数字	6	生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和５５年１０月１０日の場合、 「551010」と設定する	シ
13	出産予定年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ス
14		年月日	数字	6	出産予定年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	セ
15	出産種別		数字	1	出産予定の子の人数が１人の場合は「0.単胎」、2人（双子）以上の場合は「1.多胎」と設定する	ソ
16	産前産後休業開始年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	タ
17		年月日	数字	6	産前産後休業開始年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	チ

表４．１２．１－１　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明　（４／６）

18	産前産後休業終了予定年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ツ
19		年月日	数字	6	産前産後休業終了予定年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	テ
20	予備１		カナ	０～２５	省略する	ト
21	予備２		漢字	０～１２	省略する	ナ

表４．１２．１－１　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明　（５／６）

22	出産年月日	元号	数字	０，１	申出書を出産後に提出する場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ニ
23		年月日	数字	０，６	申出書を出産後に提出する場合に、出産年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ヌ
24	備考		漢字, 数字 英字 カナ	０～３７, ０～７５	特記事項がある場合に設定する	ネ
25	変更	変更後の出産（予定）年月日 元号	数字	０，１	出産（予定）日を変更する場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ノ
26		変更後の出産（予定）年月日 年月日	数字	０，６	出産（予定）日を変更する場合に、年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ハ
27		変更後の出産種別		０，１	出産予定の子の人数が１人の場合は「0.単胎」、2 人（双子）以上の場合は「1.多胎」と設定する	ヒ

表４．１２．１－１　産前産後休業取得者申出書申出書/変更（終了）届データレコードの項目説明　（６／６）

28	変更	変更後の産前産後休業開始年月日	元号	数字	０，１	産前産後休業開始年月日を変更する場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	フ
29			年月日	数字	０，６	産前産後休業開始年月日を変更する場合に、年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ヘ
30		変更後の産前産後休業終了予定年月日	元号	数字	０，１	産前産後休業終了予定年月日を変更する場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ホ
31			年月日	数字	０，６	産前産後休業終了予定年月日を変更する場合に、年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	マ
32	終了	産前産後休業終了年月日	元号	数字	０，１	予定より早く産前産後休業を終了した場合に,以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ミ
33			年月日	数字	０，６	予定より早く産前産後休業を終了した場合に，産前産後休業終了年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ム

（３）産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの作成例

図４．１２．１－３の「産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届」に対応する作成例は、図４．１２．１－２のとおりである。

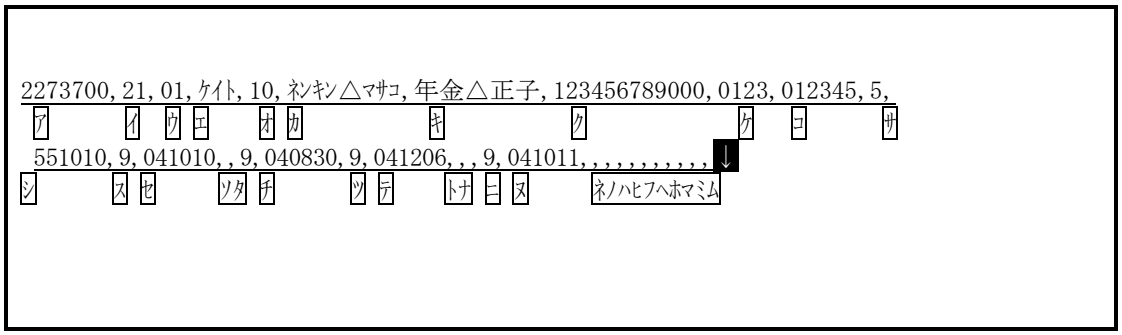


図４．１２．１－２　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコードの作成例

ア

様式コード			
2	2	7	3

健康保険
厚生年金保険

産前産後休業取得者 申出書/変更(終了)届

令和　　年　　月　　日提出

提出者記入欄

事業所整理記号	ウ　－　エ
事業所所在地	届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。 〒　　－
事業所名称	
事業主氏名	
電話番号	（　　）

受付印

社会保険労務士記載欄

氏名等

新規申出の場合は共通記載欄に必要項目を記入してください。

変更・終了の場合は、共通記載欄に産前産後休業取得時に提出いただいた内容を記入のうえ、A.変更・B.終了の必要項目を記入してください。

共通記載欄（取得申出）

①被保険者整理番号	オ		②個人番号[基礎年金番号]	クケコ				
③被保険者氏名	(フリガナ)(氏) カ / キ		(名)		④被保険者生年月日	サ 5.昭和 7.平成 9.令和	シ	年　月　日
⑤出産予定年月日	ス 9.令和	セ	年　月　日		⑥出産種別	ソ 0.単胎 1.多胎		※出産予定の子の人数が2人(双子)以上の場合に「1.多胎」を○で囲んでください。
⑦産前産後休業開始年月日	タ 9.令和	チ	年　月　日		⑧産前産後休業終了予定年月日	ツ 9.令和	テ	年　月　日
⑨は、この申出書を出産後に提出する場合のみ記入してください。								
⑨出産年月日	ニ 9.令和	ヌ	年　月　日					
⑩備考	ネ							

出産(予定)日・産前産後休業終了(予定)日を変更する場合　※必ず共通記載欄も記入してください。

A.変更

⑪変更後の出産(予定)年月日	ノ 9.令和	ハ	年　月　日		⑫変更後の出産種別	ヒ 0.単胎 1.多胎		※出産予定の子の人数が2人(双子)以上の場合に「1.多胎」を○で囲んでください。
⑬産前産後休業開始年月日	フ 9.令和	ヘ	年　月　日		⑭産前産後休業終了予定年月日	ホ 9.令和	マ	年　月　日

予定より早く産前産後休業を終了した場合　※必ず共通記載欄も記入してください。

B.終了

⑮産前産後休業終了年月日	ミ 9.令和	ム	年　月　日					

○ 産前産後休業期間とは、出産日以前42日(多胎妊娠の場合は98日)～出産日後56日の間に、妊娠または出産を理由として労務に従事しない期間のことです。

○ この申出書を出産予定日より前に提出された場合で、実際の出産日が予定日と異なった場合は、再度『産前産後休業取得者変更届』(当届書の「共通記載欄」と「A.変更」欄に記入)を提出してください。休業期間の基準日である出産年月日がずれることで、開始・終了年月日が変更になります。

○ 産前産後休業取得申出時に記載した終了予定年月日より早く産休を終了した場合は、『産前産後休業終了届』(当届書の「共通記載欄」と「B.終了」欄に記入)を提出してください。

○ 保険料が免除となるのは、産前産後休業開始日の属する月分から、終了日翌日の属する月の前月分までとなります。

◎ イ 都道府県コード トナ 予備については記載されていない。

◎ 媒体に設定する様式コードは「2273」ではなく「2273700」である。

図４．１２．１－３　産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届

（令和４年10月現在）

４．１３　育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコード

４．１３．１　育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコード（年金事務所提出）

（１） 育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコード（年金事務所提出）の項目構成

年金事務所に提出する育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコードの項目構成は、図４．１３．１－１のとおりである。

```
21,01,ｹｲﾄ,001,20170101,22223↓
[kanri] ↓
,001 ↓
21,01,ｹｲﾄ,123,100,0000,東京都千代田区霞が関１－２－２,
健保サービス株式会社,健保　良一,03,1234,5678↓
[data]↓
↓
2263700,21,01,ｹｲﾄ,10,ﾈﾝｷﾝ△ﾏｻｺ,年金△正子,123456789000,0123,012345,
5,551010,2,ﾈﾝｷﾝ△ﾏｻｱｷ,年金△正明,9,041010,1,,,9,041207,9,051009,,,,,
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,↓
```

【様式コード】，【都道府県コード】，【郡市区符号】，【事業所記号】，【被保険者整理番号】，
【被保険者氏名（カナ）】，【被保険者氏名（漢字）】，【被保険者の個人番号】，
【課所符号（年番）】，【一連番号（年番）】，【元号(被保険者生年月日)】，
【年月日(被保険者生年月日)】，【被保険者の性別】，【養育する子の氏名（カナ）】，
【養育する子の氏名（漢字）】，【元号(養育する子の生年月日)】，【年月日(養育する子の生年月日)】，
【区分】，【元号(養育開始年月日（実子以外）)】，【年月日(養育開始年月日（実子以外）)】，
【元号(育児休業等開始年月日)】，【年月日(育児休業等開始年月日)】，
【元号(育児休業等終了（予定）年月日)】，【年月日(育児休業等終了（予定）年月日)】，
【育児休業等取得日数】，【就業予定日数】，【パパママ育休プラス該当区分】，【備考】，
【元号(育児休業等終了（予定）年月日（変更後）】，
【年月日(育児休業等終了（予定）年月日（変更後）)】，
【育児休業等取得日数（変更後）①】，【元号(育児休業等終了年月日)】，
【年月日(育児休業等終了年月日)】，【育児休業等取得日数（変更後）②】，
【元号(育児休業等開始年月日①)】，【年月日(育児休業等開始年月日①)】，
【元号(育児休業等終了（予定）年月日①)】，【年月日(育児休業等終了（予定）年月日①)】，
【育児休業等取得日数①】，【就業予定日数①】，
【元号(育児休業等開始年月日②)】，【年月日(育児休業等開始年月日②)】，
【元号(育児休業等終了（予定）年月日②】，【年月日(育児休業等終了（予定）年月日②)】，
【育児休業等取得日数②】，【就業予定日数②】，【元号(育児休業等開始年月日③)】，
【年月日(育児休業等開始年月日③)】，【元号(育児休業等終了（予定）年月日③)】，
【年月日(育児休業等終了（予定）年月日③)】，【育児休業等取得日数③】，
【元号(育児休業等開始年月日④)】，【年月日(育児休業等開始年月日④)】，
【元号(育児休業等終了（予定）年月日④)】，【年月日(育児休業等終了（予定）年月日④)】，
【育児休業等取得日数④】↓

図４．１３．１－１　育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコードの項目構成

（２） 育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコード（年金事務所提出）の項目説明

年金事務所に提出する育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコードの各項目の説明は、表４．１３．１－１のとおりである。

なお、以下の点に留意すること。

・「育児休業等終了（予定）日」を延長する場合は「延長欄」の項目も設定すること。
・予定より早く育児休業を終了した場合は「終了欄」の項目も設定すること。
・「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、「育休等取得内訳欄」を設定すること。

表４．１３．１－１　育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコードの項目説明　（１／１０）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	様式コード		数字	7	「2263700」を設定する	ア
2	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	都道府県コードは巻末の参考資料３「都道府県コード一覧表」のとおり また、「納入告知書　納付書・領収証書」に記載されている事業所整理記号の上２桁を郡市区符号に、上２桁以外を事業所記号に分けて設定する （例）東京都の事業所で事業所整理記号が「０１－ケイト」の場合、 都道府県コードに「21」 郡市区符号に「01」 事業所記号に「ｹｲﾄ」と設定する	イ
3		郡市区符号	数字	2		ウ
4		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		エ
5	被保険者整理番号		数字	０～６	「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号を設定する （例）「被保険者資格取得確認および標準報酬決定通知書」の被保険者整理番号欄に記載されている番号が「１０」の場合「10」と設定する 資格取得届と同じ媒体内に提出する場合は省略する	オ

6	被保険者氏名（カナ）		カナ	１～２５	被保険者氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）被保険者氏名が「ネンキン マサコ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ△ﾏｻｺ」と設定する 被保険者氏名が「ネンキン Ｋ マサコ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ△ｹｲ△ﾏｻｺ」と設定する	カ
7	被保険者氏名（漢字）		漢字	０～１２	被保険者氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）被保険者氏名が「年金 正子」の場合、 「年金△正子」と設定する 被保険者氏名が「年金 Ｋ 正子」の場合、 「年金△ケイ△正子」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	キ
8	被保険者の個人番号		数字	０，１２	被保険者の個人番号を設定する	ク
9	被保険者の基礎年金番号	課所符号	数字	０，４	「年金手帳」または「基礎年金番号通知書」に記載されている基礎年金番号の上４桁を課所符号に、下６桁を一連番号に分けて設定する （例）基礎年金番号が「０１２３－０１２３４５」の場合、 課所符号に「0123」 一連番号に「012345」と設定する 個人番号が空欄の場合省略不可とする なお、健康保険のみに加入する者については省略とする	ケ
10		一連番号	数字	０，６		コ

11	被保険者生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・昭和：「5」 ・平成：「7」 ・令和：「9」	サ
12		年月日	数字	6	被保険者生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）昭和５５年１０月１０日の場合、 「551010」と設定する	シ
13	被保険者の性別		数字	1	当該被保険者の種別（性別）に対応する数字を設定する ・男：「1」 ・女：「2」	ス
14	養育する子の氏名（カナ）		カナ	１～２５	養育する子の氏名をカナで設定する 姓と名の間に半角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に半角スペースを１文字設定する （例）養育する子の氏名が「ネンキン マサアキ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ△ﾏｻｱｷ」と設定する 養育する子の氏名が「ネンキン Ｋ マサアキ」の場合、 「ﾈﾝｷﾝ△ｹｲ△ﾏｻｱｷ」と設定する	セ
15	養育する子の氏名（漢字）		漢字	１～１２	養育する子の氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペース（半角スペース不可）を１文字設定する （例）養育する子の氏名が「年金 正明」の場合、 「年金△正明」と設定する 養育する子の氏名が「年金 Ｋ 正明」の場合、 「年金△ケイ△正明」と設定する なお、以下のいずれかに該当する場合は省略する ・氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合 ・氏名が全角スペースを含め１２文字を越える場合	ソ

表４．１３．１－１　育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコードの項目説明　（４／１０）

16	養育する子の生年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	タ
17		年月日	数字	6	養育する子の生年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	チ
18	区分		数字	1	養育する子の区分を設定する ・実子　　：「1」 ・その他　　：「2」	ツ
19	養育開始年月日（実子以外）	元号	数字	０，１	養育する子の区分が 「2.その他」 の場合に、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	テ
20		年月日	数字	０，６	養育する子の区分が 「2.その他」 の場合に、養育開始年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ト
21	育児休業等開始年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ナ
22		年月日	数字	6	育児休業等開始年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ニ
23	育児休業等終了（予定）年月日	元号	数字	1	以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ヌ
24		年月日	数字	6	育児休業等終了（予定）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ネ

25	育児休業等取得日数		数字	０，１，２	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内の場合、育児休業等取得日数を設定する 設定する場合は、「14～30」の値を設定する	ノ
26	就業予定日数		数字	０，１，２	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内の場合、就業予定日数を設定する 設定する場合は、「0～16」の値を設定する	ハ
27	パパママ育休プラス該当区分		数字	０，１	パパママ育休プラス該当する場合は「1」を設定する なお、上記以外の場合は、省略する	ヒ
28	備考		漢字, 数字英字カナ	０～３７，０～７５	省略する	フ
29	延長	育児休業等終了（予定）年月日（変更後） 元号	数字	０，１	育児休業等取得者申出書の期間を延長する場合、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ヘ
30		育児休業等終了（予定）年月日（変更後） 年月日	数字	０，６	育児休業等取得者申出書の期間を延長する場合、育児休業等終了（予定）年月日（変更後）（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ホ
31		育児休業等取得日数（変更後）①	数字	０，１，２	育児休業等取得者申出書の期間を延長する場合で、「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日（変更後）の翌日」が同一月内の場合に、変更後の育児休業等取得日数を設定する 設定する場合は、「14～30」の値を設定する	マ

表４．１３．１－１　育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届データレコードの項目説明　（６／１０）

32	終了	育児休業等終了年月日	元号	数字	０，１	申出していた終了予定日より早く育児休業等を終了した場合、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ミ
33			年月日	数字	０，６	申出していた終了予定日より早く育児休業等を終了した場合、育児休業等終了年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ム
34		育児休業等取得日数（変更後）②		数字	０，１，２	申出していた終了予定日より早く育児休業等を終了した場合で、「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了年月日の翌日」が同一月内の場合に、変更後の育児休業等取得日数を設定する 設定する場合は、「1～30」の値を設定する	メ

35	育休等取得内訳①	育児休業等開始年月日①	元号	数字	０，１	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	モ
36			年月日	数字	０，６	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合、育休等取得内訳①として育児休業等開始年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ヤ
37		育児休業等終了（予定）年月日①	元号	数字	０，１	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ユ
38			年月日	数字	０，６	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合、育休等取得内訳①として育児休業等終了（予定）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ヨ
39		育児休業等取得日数①		数字	０，１，２	育休等取得内訳①における育児休業等取得日数を設定する	ラ
40		就業予定日数①		数字	０，１，２	育休等取得内訳①における就業予定日数を設定する	リ

41	育休等取得内訳②	育児休業等開始年月日②	元号	数字	０，１	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ル
42			年月日	数字	０，６	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳②として育児休業等開始年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	レ
43		育児休業等終了（予定）年月日②	元号	数字	０，１	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」	ロ
44			年月日	数字	０，６	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳②として育児休業等終了（予定）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する	ワ
45		育児休業等取得日数②		数字	０，１，２	育休等取得内訳②における育児休業等取得日数を設定する	ヲ
46		就業予定日数②		数字	０，１，２	育休等取得内訳②における就業予定日数を設定する	A

47	育休等取得内訳③	育児休業等開始年月日③	元号	数字	０，１	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 育休等取得内訳が３回存在しない場合は、省略する	B
48			年月日	数字	０，６	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳③として育児休業等開始年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する 育休等取得内訳が３回存在しない場合は、省略する	C
49		育児休業等終了（予定）年月日③	元号	数字	０，１	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 育休等取得内訳が３回存在しない場合は、省略する	D
50			年月日	数字	０，６	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳③として育児休業等終了（予定）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する 育休等取得内訳が３回存在しない場合は、省略する	E
51		育児休業等取得日数③		数字	０，１，２	育休等取得内訳③における育児休業等取得日数を設定する 育休等取得内訳が３回存在しない場合は、省略する	F

52	育休等取得内訳④	育児休業等開始年月日④	元号	数字	０，１	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 育休等取得内訳が４回存在しない場合は、省略する	G
53			年月日	数字	０，６	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳④として育児休業等開始年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する 育休等取得内訳が４回存在しない場合は、省略する	H
54		育児休業等終了（予定）年月日④	元号	数字	０，１	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、以下の元号に対応する数字を設定する ・令和：「9」 育休等取得内訳が４回存在しない場合は、省略する	I
55			年月日	数字	０，６	「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了（予定）年月日の翌日」が同一月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合は、育休等取得内訳④として育児休業等終了（予定）年月日（和暦）を年、月、日それぞれ２文字で設定する （例）令和４年１０月１０日の場合、 「041010」と設定する 育休等取得内訳が４回存在しない場合は、省略する	J
56		育児休業等取得日数④		数字	０，１，２	育休等取得内訳④における育児休業等取得日数を設定する 育休等取得内訳が４回存在しない場合は、省略する	K

（３）育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコード（年金事務所提出）の作成例

図４．１３．１－３の「育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届」に対応する作成例は、図４．１３．１－２のとおりである。

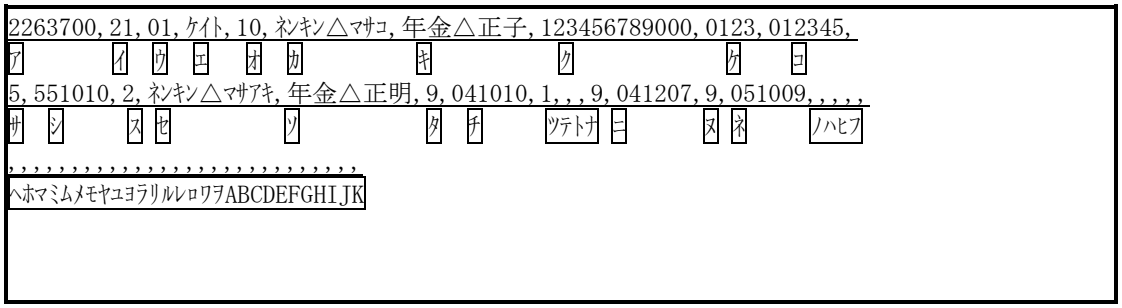


図４．１３．１－２　育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届データレコードの作成例

ア

様式コード
2 2 6 3

健 康 保 険
厚生年金保険

育児休業等取得者 申出書(新規・延長)/終了届

様式バーコード

令和　　年　　月　　日提出

受付印

提出者記入欄

事業所整理記号　　ウ　　ー エ

事業所所在地　届書記入の個人番号に誤りがないことを確認しました。
〒　　ー

事業所名称

事業主氏名

電話番号　(　　)

社会保険労務士記載欄
氏　名　等

新規申出の場合は共通記載欄に必要項目を記入してください。
延長・終了の場合は、共通記載欄に育児休業取得時に提出いただいた内容を記入のうえ、A.延長　B.終了の必要項目を記入してください。

≪「⑩育児休業等開始年月日」と「⑪育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同月内の場合≫

・共通記載欄の**⑫育児休業等取得日数欄**と**⑬就業予定日数欄**を必ず記入してください。
・同月内に複数回の育児休業を取得した場合は、**⑩育児休業等開始年月日**欄に、**初回の育児休業等開始年月日**を、
⑪育児休業等終了予定年月日欄に**最終回の育児休業等終了予定年月日**を記入のうえ、**C.育休等取得内訳を記入**してください。

共通記載欄（新規申出）

①被保険者整理番号	オ	②個人番号[基礎年金番号]	クケ　コ		
③被保険者氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ)(氏) カキ　(名)		④被保険者生年月日	サ 5.昭和 7.平成 9.令和	年 シ 月 日
⑤被保険者性別	ス 1.男 2.女				
⑥養育する子の氏名	(ﾌﾘｶﾞﾅ)(氏) セソ　(名)		⑦養育する子の生年月日	タ 9.令和	年 チ 月 日
⑧区分	ツ 1.実子 2.その他 ※「2.その他」の場合は、⑨養育開始年月日(実子以外)も記入してください。		⑨養育開始年月日(実子以外)	テ 9.令和	年 ト 月 日
⑩育児休業等開始年月日	ナ 9.令和	年 ニ 月 日	⑪育児休業等終了(予定)年月日	ヌ 9.令和	年 ネ 月 日
⑫育児休業等取得日数 ※「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同月内の場合のみ記入してください。	ノ 日	⑬就業予定日数 ※「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同月内の場合のみ記入してください。	ハ 日	⑭パパママ育休プラス該当区分 ※パパママ育休プラスに該当する場合 ☑ してください。	ヒ □ 該当
⑮備考	フ				

終了予定日を延長する場合　※必ず共通記載欄も記入してください。

A.延長

⑯育児休業等終了(予定)年月日(変更後)	ヘ 9.令和	ホ 年 月 日	⑰変更後の育児休業等取得日数 マ 日

※延長後の「⑯育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が「⑩育児休業開始年月日」と同月内の場合は、⑰変更後の育児休業等取得日数欄も記入してください。

予定より早く育児休業を終了した場合　※必ず共通記載欄も記入してください。

B.終了

⑱育児休業等終了年月日	ミ 9.令和	ム 年 月 日	⑲変更後の育児休業等取得日数 メ 日

※「⑱育児休業等終了年月日の翌日」が「⑩育児休業等開始年月日」と同月内の場合は、⑲変更後の育児休業等取得日数欄も記入してください。

「育児休業等開始年月日」と「育児休業等終了(予定)年月日の翌日」が同月内、かつ複数回育児休業等を取得する場合　※必ず共通記載欄も記入してください。

C.育休等取得内訳

1	⑳育児休業等開始年月日	モ 9.令和	ヤ 年 月 日	㉑育児休業等終了(予定)年月日	ユ 9.令和	ヨ 年 月 日	㉒育児休業等取得日数	ラ 日
2	㉔育児休業等開始年月日	ル 9.令和	レ 年 月 日	㉕育児休業等終了(予定)年月日	ロ 9.令和	ワ 年 月 日	㉖育児休業等取得日数	ヲ 日
3	㉘育児休業等開始年月日	B 9.令和	C 年 月 日	㉙育児休業等終了(予定)年月日	D 9.令和	E 年 月 日	㉚育児休業等取得日数	F 日
4	㉜育児休業等開始年月日	G 9.令和	H 年 月 日	㉝育児休業等終了(予定)年月日	I 9.令和	J 年 月 日	㉞育児休業等取得日数	K 日

1	㉓就業予定日数	リ 日	
2	㉗就業予定日数	A 日	
3	㉛就業予定日数	日	
4	㉟就業予定日数	日	

◎　イ 都道府県コードについては記載されていない。
◎　媒体に設定する様式コードは「2263」ではなく「2263700」である。

図４．１３．１－３　育児休業等取得者申出書(新規・延長）/終了届

（令和 4 年 10 月現在）

第５章　社会保険労務士が
ファイルを作成する場合

本書の第１章から第４章では、１事業所分の届出内容を１つの媒体（電子媒体届書ＣＤ、電子媒体届書ＤＶＤ及びＣＳＶ形式届書ファイル）に収録、提出する方法を記載している。

適用事業所の届書の作成や提出を代行している社会保険労務士は、ＣＤ／ＤＶＤ提出の場合に限り、１つの媒体（ＣＤ／ＤＶＤ）に複数事業所分の届出内容を混在して収録することが可能である。

しかし、電子申請による申請に限っては、１つのファイル（ＣＳＶ形式届書ファイル）に１事業所分の届出内容しか収録できないものとする。

社会保険労務士がファイルを作成する場合は、第１章から第４章までの内容と一部相違しているため、本章にて相違点を第１章から第４章に対応づけて説明する。

５．１　提出形態

本節で記述している内容は、ＣＤ／ＤＶＤ提出を行う場合の内容であり、電子申請を行う際には、「１．３　電子申請について」を参照すること。

利用可能な媒体（ＣＤ／ＤＶＤ）は、提出先（年金事務所、健康保険組合、厚生年金基金）に確認すること。

５．１．１　事務センター（年金事務所）提出

第１章との相違点は以下のとおりである。

（１）媒体（副）の保管について

ＣＤ及びＤＶＤの媒体は、媒体（正）を年金事務所へ提出し、媒体（副）は社会保険労務士が保管する。

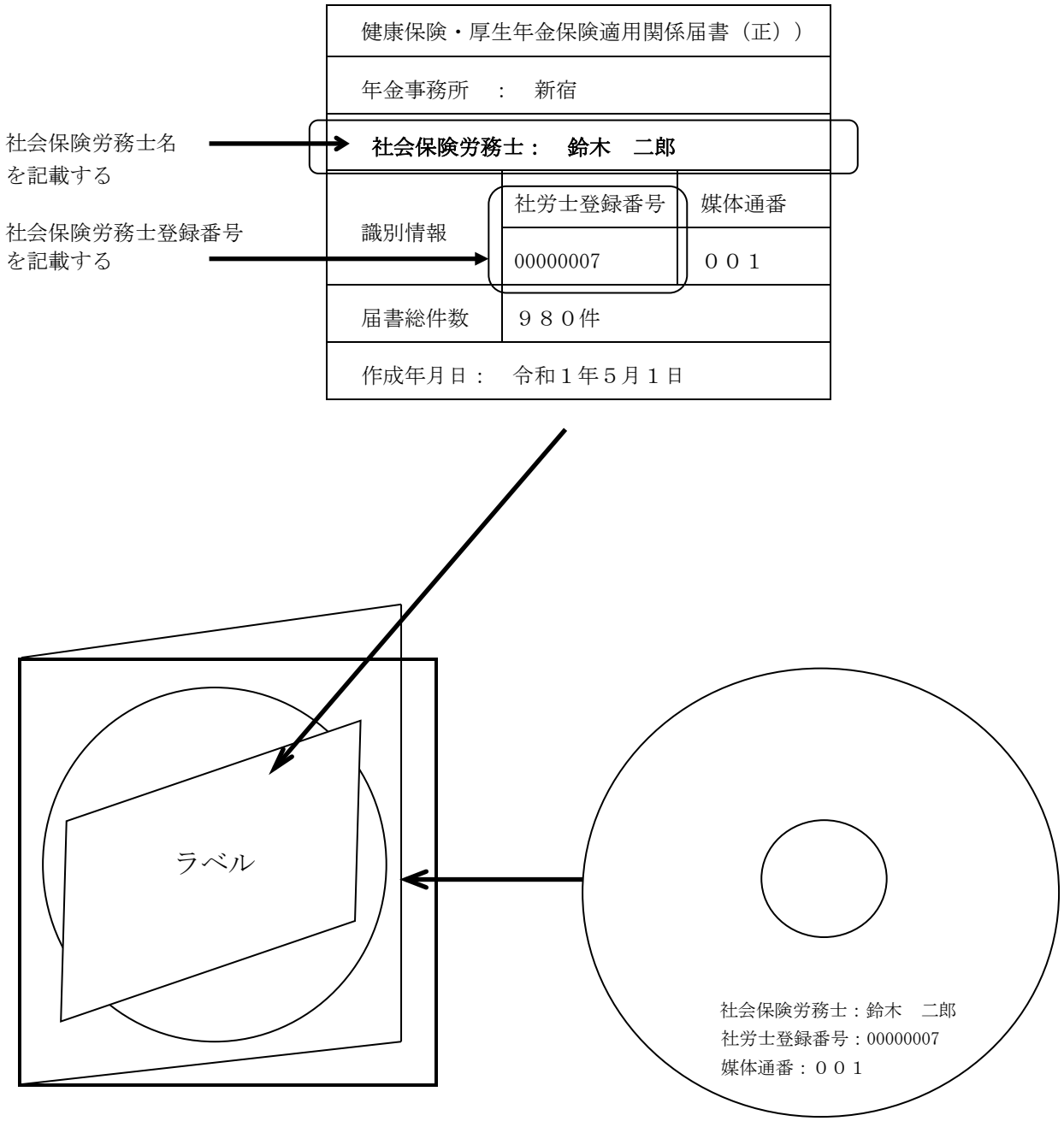
（２）ラベルの記載内容について

「事業所」の欄を「社会保険労務士」に変更し、媒体の提出元である社会保険労務士名を記載する。

また、年金事務所に提出する媒体の「提出元ＩＤ」欄には社会保険労務士登録番号を記載する。

（社会保険労務士登録番号の設定内容は、表５．４．１．１－１ 項番３のとおりである ）

ＣＤラベル、ＤＶＤラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図５．１．１－１のとおりである。



ＣＤ／ＤＶＤの表面には①社会保険労務士名、②社会保険労務士登録番号、
③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること
※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図５．１．１－１　ＣＤラベル、ＤＶＤラベルの記載例及びディスク本体の記載例
（社会保険労務士が作成する場合）

５．１．２　健康保険組合提出

第１章との相違点は以下のとおりである。

（１）媒体（副）の保管について

ＣＤ及びＤＶＤの媒体は、媒体（正）を健康保険組合へ提出し、媒体（副）は社会保険労務士が保管する。

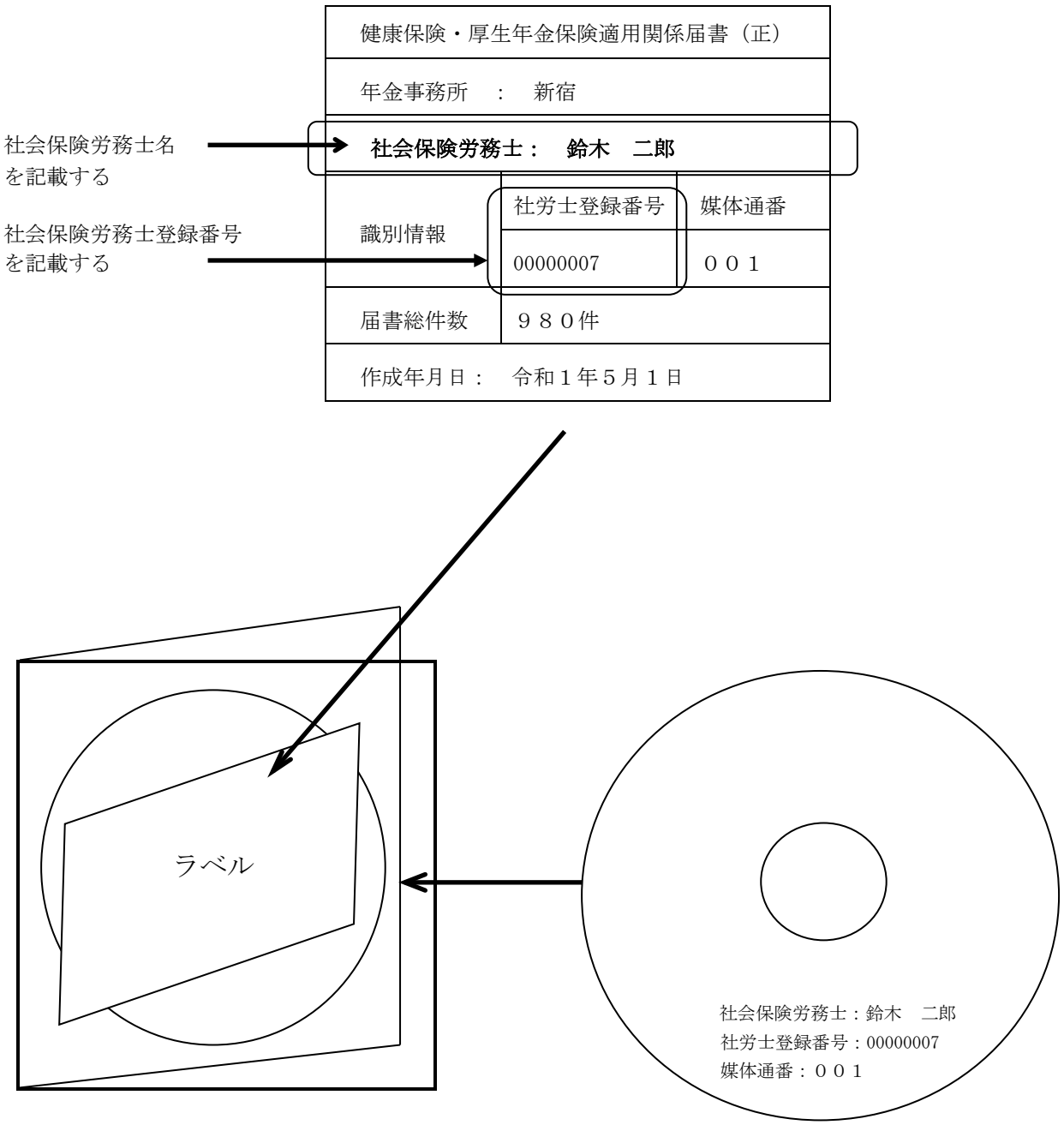
（２）ラベルの記載内容について

「事業所」の欄を「社会保険労務士」に変更し、媒体の提出元である社会保険労務士名を記載する。

また、健康保険組合に提出する媒体の「事業所番号」欄には社会保険労務士登録番号を記載する。

（社会保険労務士登録番号の設定内容は、表５．４．１．２－１ 項番３のとおりである ）

ＣＤラベル、ＤＶＤラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図５．１．２．１－１のとおりである。



ＣＤ／ＤＶＤの表面には①社会保険労務士名、②社会保険労務士登録番号、
③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること
※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図５．１．２．１－１　健康保険組合に提出するＣＤラベル、
ＤＶＤラベルの記載例及びディスク本体の記載例
（社会保険労務士が作成する場合）

５．１．３　厚生年金基金提出

第１章との相違点は以下のとおりである。

（１）媒体（副）の保管について

ＣＤ及びＤＶＤの媒体は、媒体（正）を厚生年金基金に提出し、媒体（副）は社会保険労務士が保管する。

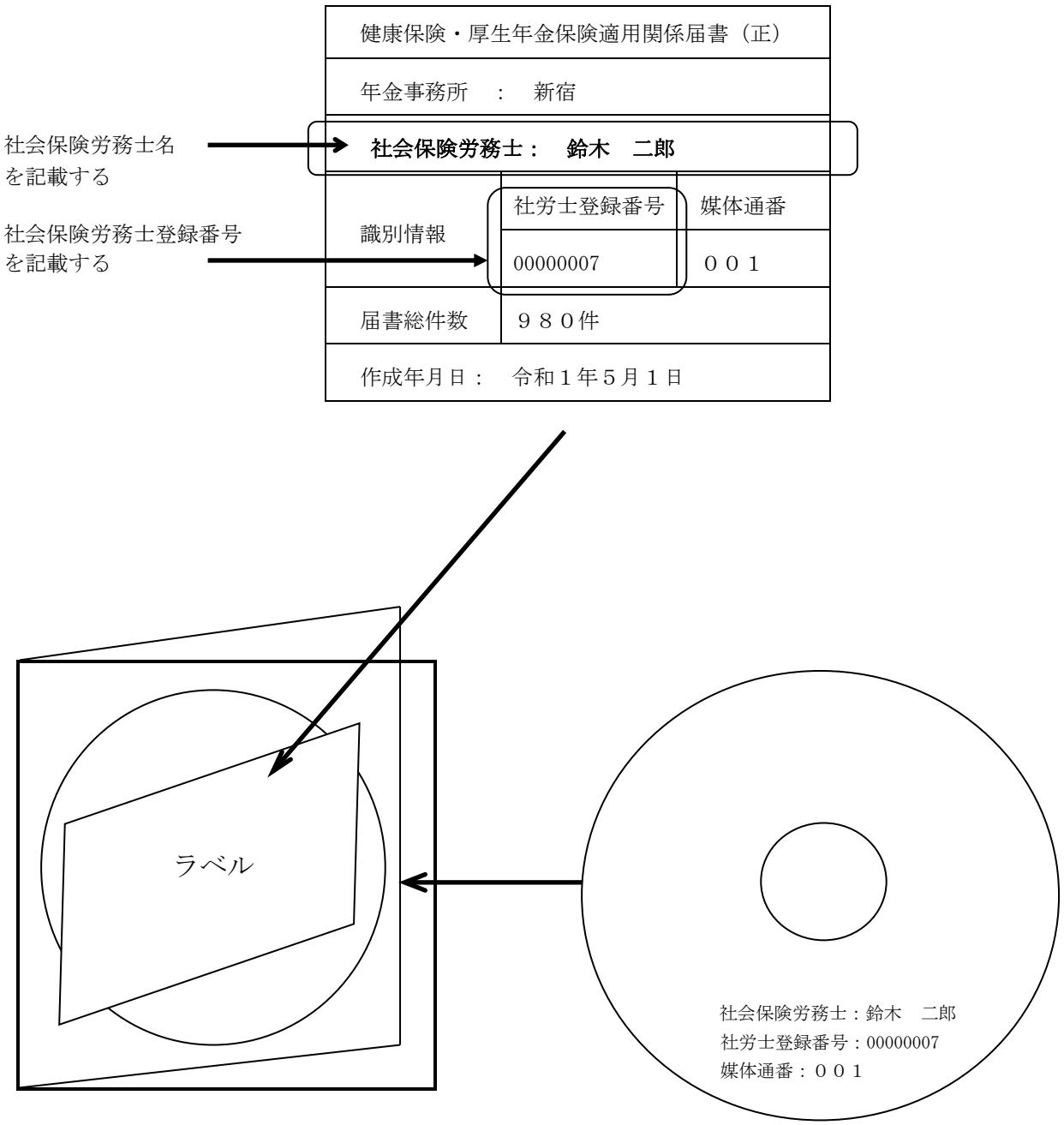
（２）ラベルの記載内容について

「事業所」の欄を「社会保険労務士」に変更し、媒体の提出元である社会保険労務士名を記載する。

また、厚生年金基金に提出する媒体の「事業所番号」欄には社会保険労務士登録番号を記載する。

（社会保険労務士登録番号の設定内容は、表５．４．１．３－１ 項番１のとおりである ）

ＣＤラベル、ＤＶＤラベルの記載例及びディスク本体の記載例は、図５．１．３．１－１のとおりである。



ＣＤ／ＤＶＤの表面には①社会保険労務士名、②社会保険労務士登録番号、
③媒体通番を油性のフェルトペン等で直接記載すること
※シール貼付は読取エラーの原因となるため、行わないこと

図５．１．３．１－１　健康保険組合に提出するＣＤラベル、
ＤＶＤラベルの記載例及びディスク本体の記載例
（社会保険労務士が作成する場合）

５．２　ハード仕様

第２章のとおりであり、相違点はない。

５．３　ソフト仕様

ＣＤ／ＤＶＤ提出（年金事務所提出分）における第３章（事業所提出の場合）との相違点は、ファイル形式のみである。

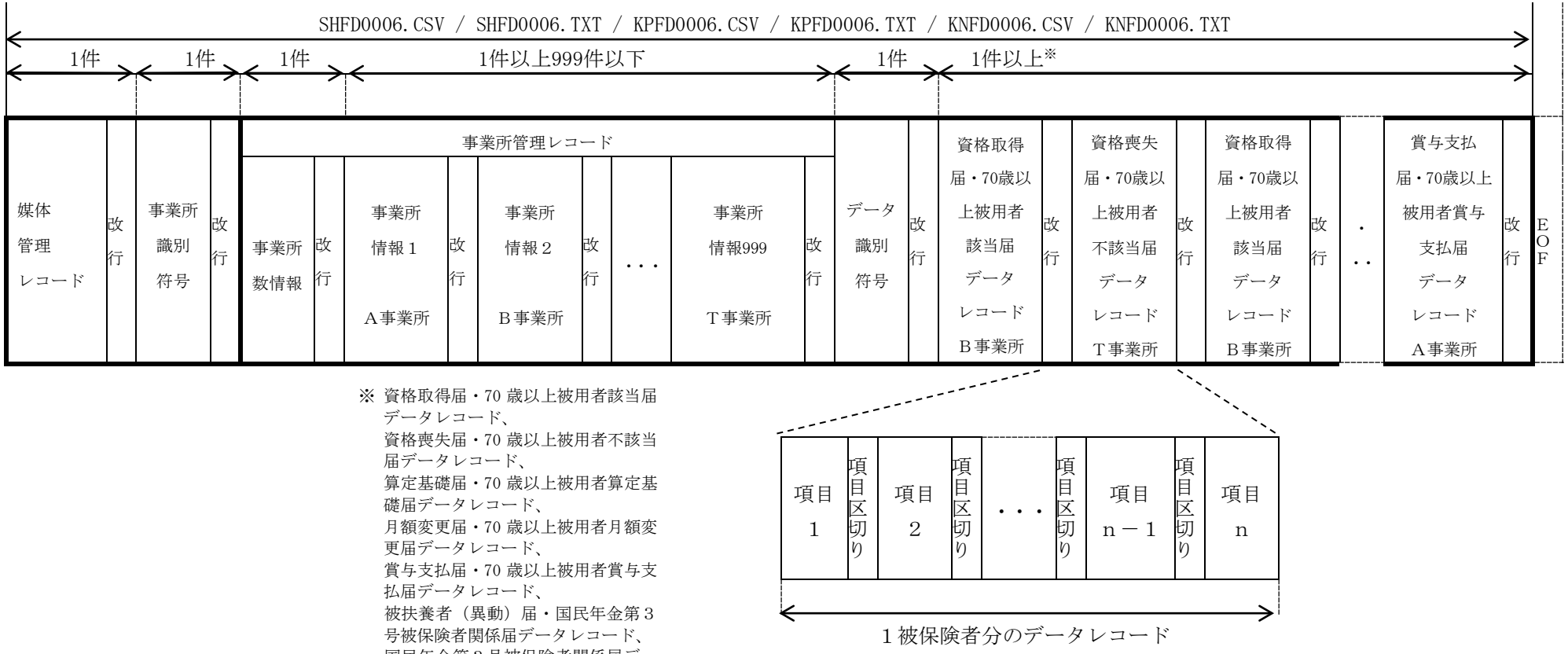
また、電子申請においては、１事業所収録のファイル形式（事業所提出のファイル形式）のため、第３章との相違点はない。

（１）ファイル形式

事業所管理レコードに同一管轄内で最大９９９の事業所情報を、順不同で収録することが可能である。

・ファイルの構成図は、図５．３－１及び図５．３－２のとおりである
・テキストエディタで作成した場合のファイルのイメージは、図５．３－３のとおりである

なお、事業所管理レコードに引き続き設定する各データレコードの収録順については、事業所情報の収録順序に関わらず、順不同である。



※ 資格取得届・70 歳以上被用者該当届データレコード、
資格喪失届・70 歳以上被用者不該当届データレコード、
算定基礎届・70 歳以上被用者算定基礎届データレコード、
月額変更届・70 歳以上被用者月額変更届データレコード、
賞与支払届・70 歳以上被用者賞与支払届データレコード、
被扶養者（異動）届・国民年金第３号被保険者関係届データレコード、
国民年金第３号被保険者関係届データレコード
産前産後休業取得者申出書/変更（終了）届データレコード
育児休業等取得者申出書(新規・延長)/終了届データレコードのうち、1 件以上収納する
（ただし、健康保険組合提出媒体、厚生年金基金提出媒体は被扶養者(異動）届・国民年金第３号被保険者関係届、３号関係届は含まれない）

図５．３－１　ファイルの構成図（社会保険労務士がＣＤ／ＤＶＤ提出する場合）

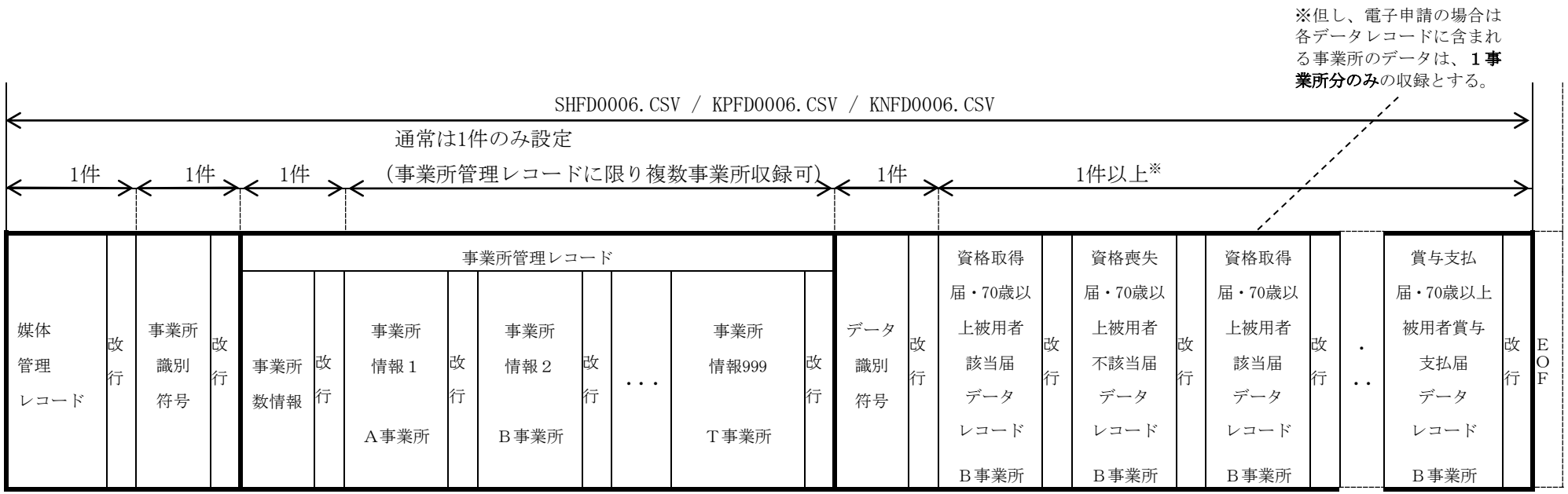


図５．３－２　ファイルの構成図（社会保険労務士が電子申請する場合）

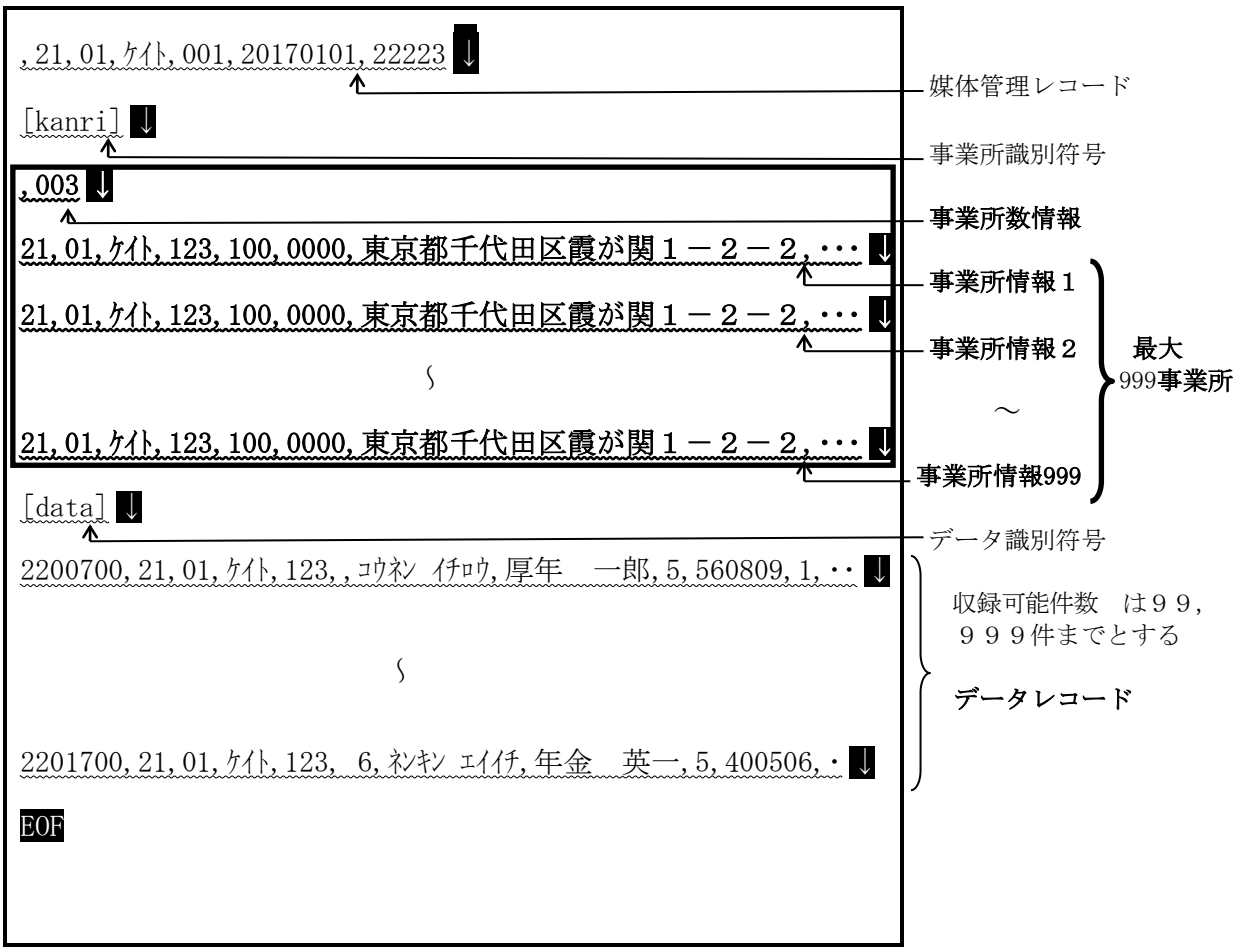


図５．３－３　ファイルのイメージ（社会保険労務士が作成する場合）

５．４　項目構成・項目説明・作成例

第４章との項目の相違点は媒体管理レコードおよび事業所管理レコードであり、項目の相違点について本節以降記載する。

各データレコードの各項目については、第４章のとおりであるが、社会保険労務士においては、提出方法によって、データレコードの収録形式が相違する。

（１）社会保険労務士がＣＤ／ＤＶＤ提出する場合

・複数事業所収録、１事業所収録の双方が可能

・届出内容の混在が可能

（２）社会保険労務士が電子申請する場合

・１事業所収録のみ可能

・届出内容の混在が可能

よって、社会保険労務士においては、従来通り複数事業所分の届出データを１つの媒体（ＣＤ／ＤＶＤ）にまとめて収録し、提出する運用は今後も可能であるが、電子申請による届出を行う場合は、上記の収録形式の相違（１事業所収録のみ可能）があるため、注意が必要となる。

５．４．１　媒体管理レコード

５．４．１．１　媒体管理レコード（年金事務所提出）

提出元ＩＤに社会保険労務士登録番号を設定する。その他の項目については、第４章のとおりである。

・レコードの項目構成は、図５．４．１．１－１のとおりである

・レコードの各項目の説明は、表５．４．１．１－１のとおりである

・レコードに設定する内容は、表５．４．１．１－２のとおりである

・表５．４．１．１－２に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、図５．４．１．１－２のとおりである

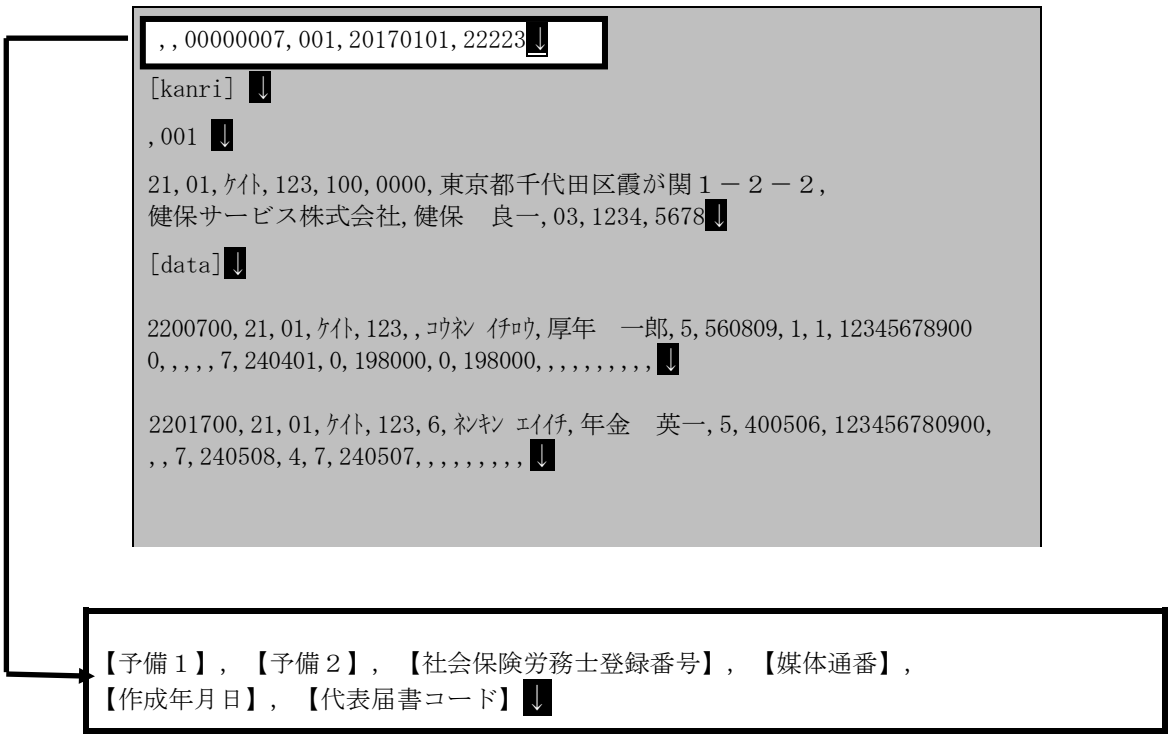


図５．４．１．１－１　媒体管理レコード（年金事務所提出）の項目構成

表５．４．１．１－１　媒体管理レコード（年金事務所提出）の項目説明

項番	項目名			種別	文字数	設定内容	作成例
1	識別情報	提出元ID	予備１	－	0	省略する	ア
2			予備２	－	0	省略する	イ
3			社会保険労務士登録番号	数字	8	社会保険労務士登録番号を８文字で設定する （例）社会保険労務士登録番号が「００００００７」の場合「00000007」と設定する	ウ
4		媒体通番		数字	3	提出する媒体の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第４章（４．１－２～４．１－３）の設定内容と同様である	エ
5	作成年月日			数字	8		オ
6	代表届書コード			数字	5		カ

表５．４．１．１－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名	設　定　内　容
社会保険労務士登録番号	００００００００７
媒体通番	００１
媒体の作成年月日	２０１７年1月１日

,,00000007,001,20170101,22223↓
ア イ ウ　　エ　オ　　カ

図５．４．１．１－２　媒体管理レコード（年金事務所提出）の作成例

５．４．１．２　媒体管理レコード（健康保険組合提出）

事業所番号に社会保険労務士登録番号を設定する。その他の項目については、第４章のとおりである。

・レコードの項目構成は、図５．４．１．２－１のとおりである

・レコードの各項目の説明は、表５．４．１．２－１のとおりである

・レコードに設定する内容は、表５．４．１．２－２のとおりである

・表５．４．１．２－２に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、図５．４．１．２－２のとおりである

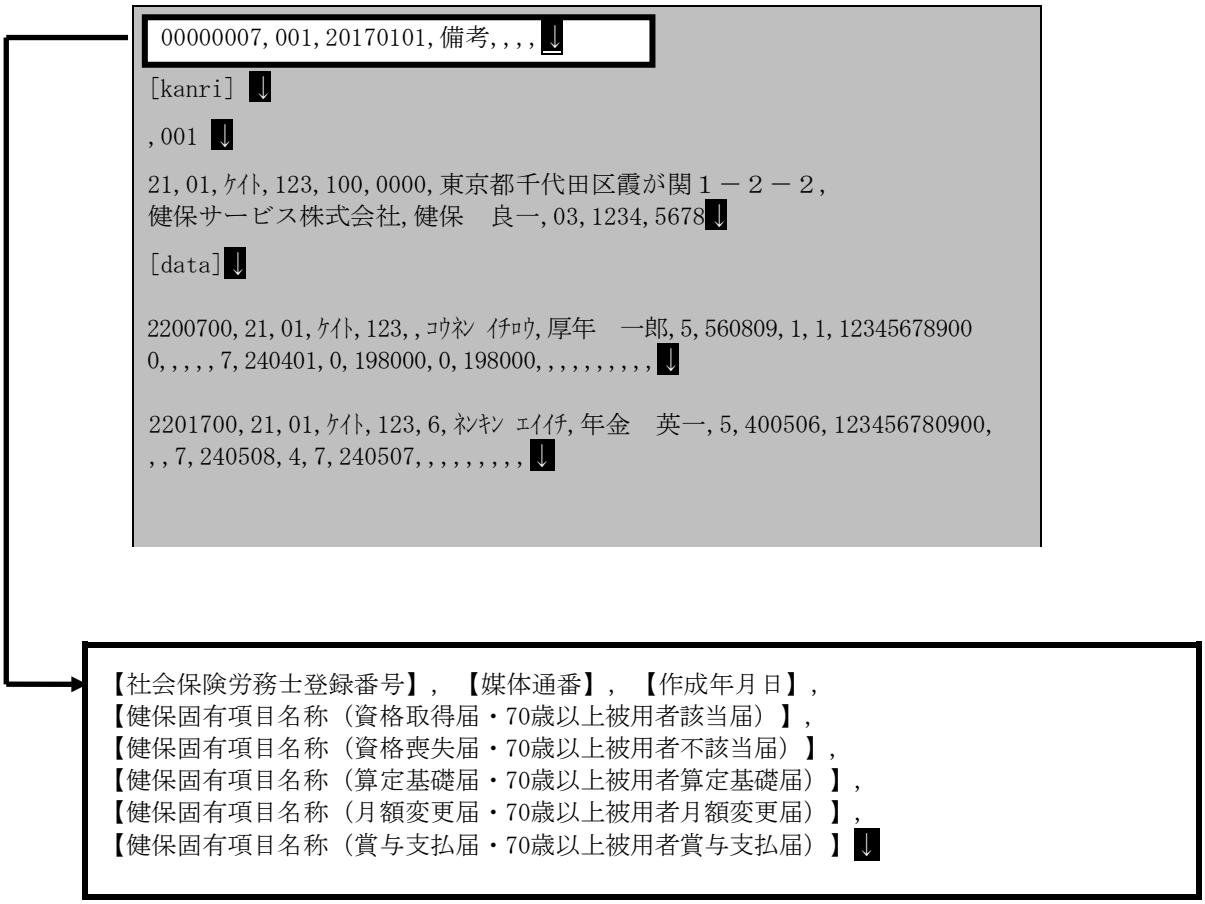


図５．４．１．２－１　媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目構成

表５．４．１．２－１　媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目説明（1/2）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	識別情報	社会保険労務士登録番号	数字	8	社会保険労務士登録番号を８文字で設定する （例）社会保険労務士登録番号が「００００００７」の場合「00000007」と設定する	ア
2		媒体通番	数字	3	提出する媒体の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第４章（Ｐ４．１－６）の設定内容と同様である	イ
3	作成年月日		数字	8		ウ

表５．４．１．２－１　媒体管理レコード（健康保険組合提出）の項目説明（2/2）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
4	健保固有項目名称（資格取得届・70歳以上被用者該当届）	漢字	０～５	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	ヨ
		数字 英字 カナ	０～１０		
5	健保固有項目名称（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～５	資格喪失届･70歳以上被用者不該当届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	オ
		数字 英字 カナ	０～１０		
6	健保固有項目名称（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～５	算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	カ
		数字 英字 カナ	０～１０		
7	健保固有項目名称（月額変更届・70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～５	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	キ
		数字 英字 カナ	０～１０		
8	健保固有項目名称（賞与支払届・70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～５	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する健康保険組合固有の項目名称を設定する	ク
		数字 英字 カナ	０～１０		

表５．４．１．２－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名	設　定　内　容
社会保険労務士登録番号	００００００７
媒体通番	００１
ファイルの作成年月日	２０１７年1月１日
健保固有項目名称 （資格取得届）	備考

00000007,001,20170101,備考,,,,↓
ア　　イ　ウ　　ヨ　ｵｶｷｸ

図５．４．１．２－２　媒体管理レコード（健康保険組合提出）の作成例

５．４．１．３　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）

事業所番号に社会保険労務士登録番号を設定する。その他の項目については、第４章のとおりである。

・レコードの項目構成は、図５．４．１．３－１のとおりである

・レコードの各項目の説明は、表５．４．１．３－１のとおりである

・レコードに設定する内容は、表５．４．１．３－２のとおりである

・表５．４．１．３－２に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、図５．４．１．３－２のとおりである

```
00000007,001,20170101,備考,,,,,,,,,,退職年月日,,,,,,,,,,
従前の標準給与月額,,,,,,,,,,従前の基準給与月額,,,,,,,,,,
第３加算標準賞与額,,,,,,,,,↓

[kanri]↓

,001↓

21,01,ｹｲﾄ,123,100,0000,東京都千代田区霞が関１－２－２,
健保サービス株式会社,健保　良一,03,1234,5678↓

[data]↓

2200700,21,01,ｹｲﾄ,123,,ｺｳﾈﾝ ｲﾁﾛｳ,厚年　一郎,5,560809,1,1,12345678900
0,,,,,7,240401,0,198000,0,198000,,,,,,,,,,↓

2201700,21,01,ｹｲﾄ,123,6,ﾈﾝｷﾝ ｴｲｲﾁ,年金　英一,5,400506,123456780900,
,,7,240508,4,7,240507,,,,,,,,,↓
```

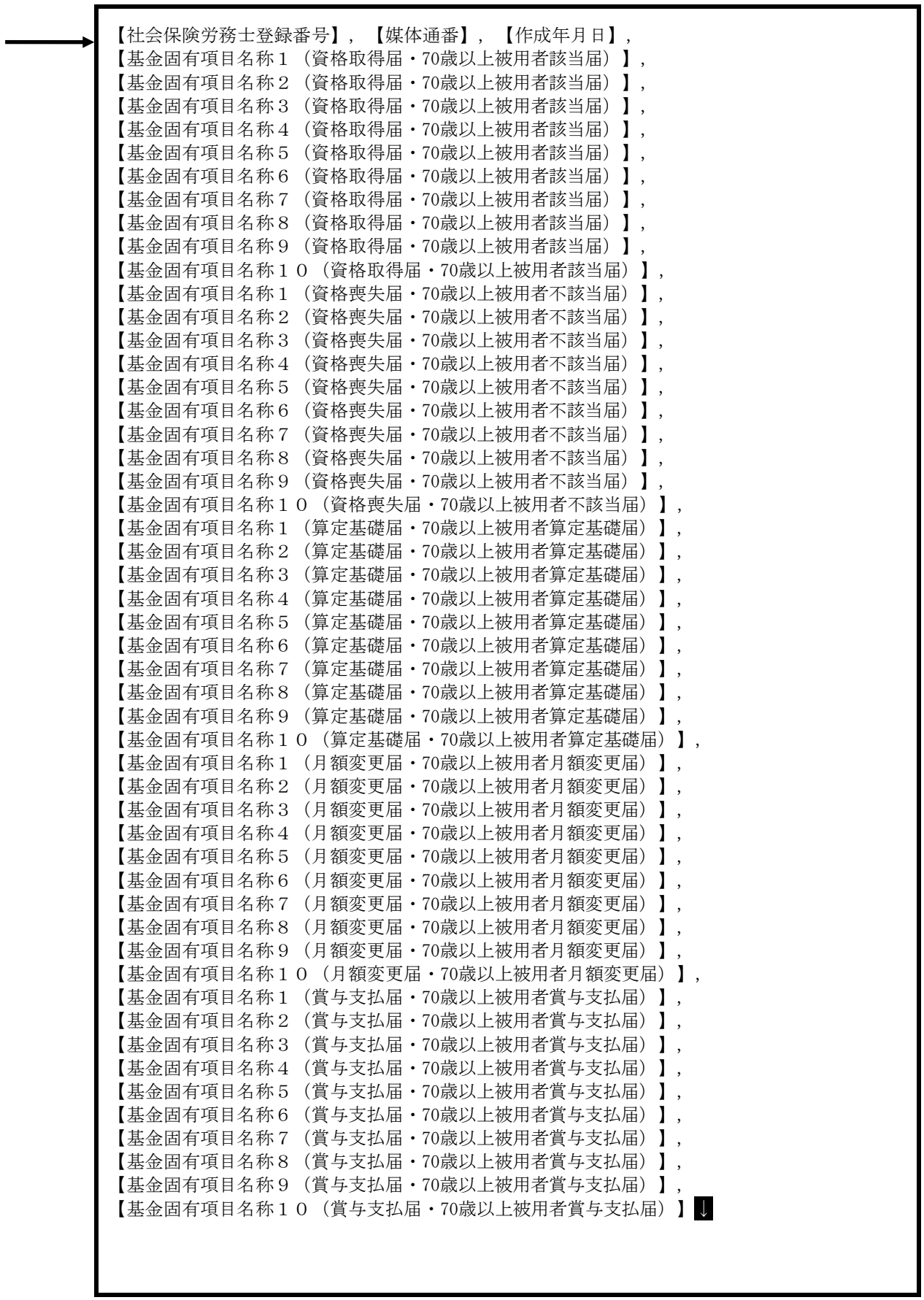


図５．４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目構成

表５．４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明　（1／8）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	識別情報	社会保険労務士登録番号	数字	８	社会保険労務士登録番号を８文字で設定する （例）社会保険労務士登録番号が「００００００７」の場合「00000007」と設定する	ア
2	識別情報	媒体通番	数字	３	提出する媒体の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第４章（Ｐ４．１－１１）の設定内容と同様である	イ
3	作成年月日		数字	８		ウ
4	基金固有項目名称１（資格取得届･70歳以上被用者該当届）		漢字 数字英字カナ	０～１０ ０～２０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	エ
5	基金固有項目名称２（資格取得届･70歳以上被用者該当届）		漢字 数字英字カナ	０～１０ ０～２０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	オ
6	基金固有項目名称３（資格取得届･70歳以上被用者該当届）		漢字 数字英字カナ	０～１０ ０～２０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	カ
7	基金固有項目名称４（資格取得届･70歳以上被用者該当届）		漢字 数字英字カナ	０～１０ ０～２０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	キ
8	基金固有項目名称５（資格取得届･70歳以上被用者該当届）		漢字 数字英字カナ	０～１０ ０～２０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ク

表５．４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明　（２／８）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
９	基金固有項目名称６（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ケ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１０	基金固有項目名称７（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	コ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１１	基金固有項目名称８（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	サ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１２	基金固有項目名称９（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	シ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１３	基金固有項目名称１０（資格取得届･70歳以上被用者該当届）	漢字	０～１０	資格取得届・70歳以上被用者該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ス
		数字 英字 カナ	０～２０		
１４	基金固有項目名称１（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	セ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１５	基金固有項目名称２（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ソ
		数字 英字 カナ	０～２０		

表５．４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明　（３／８）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
１６	基金固有項目名称３（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届･70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	夕
		数字 英字 カナ	０～２０		
１７	基金固有項目名称４（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届･70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	チ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１８	基金固有項目名称５（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届･70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ツ
		数字 英字 カナ	０～２０		
１９	基金固有項目名称６（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届･70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	テ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２０	基金固有項目名称７（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届･70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ト
		数字 英字 カナ	０～２０		
２１	基金固有項目名称８（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届･70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ナ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２２	基金固有項目名称９（資格喪失届･70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届･70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ニ
		数字 英字 カナ	０～２０		

表５．４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明　（４／８）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
２３	基金固有項目名称１０（資格喪失届・70歳以上被用者不該当届）	漢字	０～１０	資格喪失届・70歳以上被用者不該当届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヌ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２４	基金固有項目名称１（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ネ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２５	基金固有項目名称２（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ノ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２６	基金固有項目名称３（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ハ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２７	基金固有項目名称４（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヒ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２８	基金固有項目名称５（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	フ
		数字 英字 カナ	０～２０		
２９	基金固有項目名称６（算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヘ
		数字 英字 カナ	０～２０		

表５．４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明　（５／８）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３０	基金固有項目名称７（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ホ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３１	基金固有項目名称８（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	マ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３２	基金固有項目名称９（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ミ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３３	基金固有項目名称１０（算定基礎届･70歳以上被用者算定基礎届）	漢字	０～１０	算定基礎届・70歳以上被用者算定基礎届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ム
		数字 英字 カナ	０～２０		
３４	基金固有項目名称１（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	メ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３５	基金固有項目名称２（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	モ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３６	基金固有項目名称３（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヤ
		数字 英字 カナ	０～２０		

表５．４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明　（６／８）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
３７	基金固有項目名称４（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ユ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３８	基金固有項目名称５（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ヨ
		数字 英字 カナ	０～２０		
３９	基金固有項目名称６（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ラ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４０	基金固有項目名称７（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	リ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４１	基金固有項目名称８（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ル
		数字 英字 カナ	０～２０		
４２	基金固有項目名称９（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	レ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４３	基金固有項目名称１０（月額変更届･70歳以上被用者月額変更届）	漢字	０～１０	月額変更届･70歳以上被用者月額変更届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ロ
		数字 英字 カナ	０～２０		

表５．４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明　（７／８）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
４４	基金固有項目名称１（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾜ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４５	基金固有項目名称２（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	ﾇ
		数字 英字 カナ	０～２０		
４６	基金固有項目名称３（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	A
		数字 英字 カナ	０～２０		
４７	基金固有項目名称４（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	B
		数字 英字 カナ	０～２０		
４８	基金固有項目名称５（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	C
		数字 英字 カナ	０～２０		
４９	基金固有項目名称６（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	D
		数字 英字 カナ	０～２０		
５０	基金固有項目名称７（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	E
		数字 英字 カナ	０～２０		

表５．４．１．３－１　媒体管理レコード（厚生年金基金提出）の項目説明　（８／８）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
５１	基金固有項目名称８（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	F
		数字 英字 カナ	０～２０		
５２	基金固有項目名称９（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	G
		数字 英字 カナ	０～２０		
５３	基金固有項目名称１０（賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届）	漢字	０～１０	賞与支払届･70歳以上被用者賞与支払届に関する厚生年金基金固有の項目名称を設定する	H
		数字 英字 カナ	０～２０		

表５．４．１．３－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名	設　定　内　容
社会保険労務士登録番号	００００００００７
媒体通番	００１
ファイルの作成年月日	２０１７年１月１日
基金固有項目名称１ （資格取得届）	備考
基金固有項目名称１ （資格喪失届）	退職年月日
基金固有項目名称１ （算定基礎届）	従前の標準給与月額
基金固有項目名称１ （月額変更届）	従前の基準給与月額
基金固有項目名称１ （賞与支払届）	第３加算標準賞与額

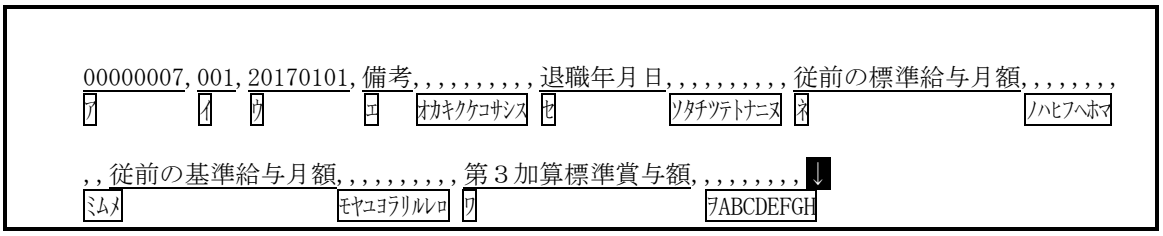


図５．４．１．３－２　媒体管理レコード　（厚生年金基金提出）の作成例

５．４．２　事業所管理レコード

５．４．２．１　事業所管理レコード（年金事務所提出）

社会保険労務士名、事業所情報数および事業所情報（最大９９９）を設定する。

・レコードの項目構成は、図５．４．２．１－１のとおりである

・レコードの各項目の説明は、表５．４．２．１－１のとおりである

・レコードに設定する内容は、表５．４．２．１－２のとおりである

・表５．４．２．１－２に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、
図５．４．２．１－２のとおりである

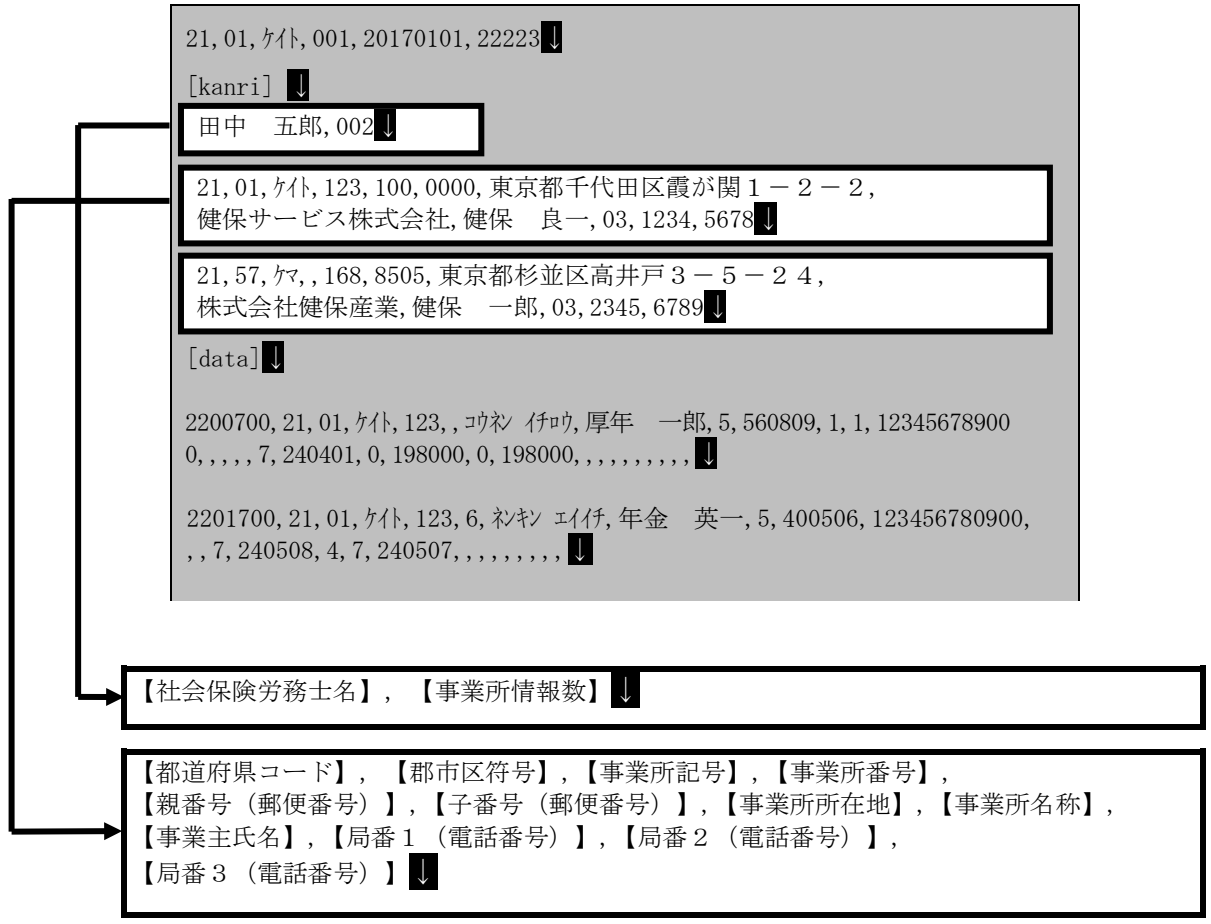


図５．４．２．１－１事業所管理レコード（年金事務所提出）の項目構成

表５．４．２．１－１事業所管理レコード(年金事務所提出)の項目説明(事業所数情報)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
1	社会保険労務士名	漢字	１～１２	社会保険労務士の氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）社会保険労務士氏名が「田中 五郎」の場合 「田中△五郎」と設定する 社会保険労務士氏名が「田中 Ｋ 五郎」の場合 「田中△ケイ△五郎」と設定する	ア
		カナ	１～２５	なお、氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または社会保険労務士氏名全てを２５文字以内のカナで設定する （例）社会保険労務士氏名が「髙田 六郎」（“髙”は使用不可文字）の場合、 「高田△六郎」（代替え文字使用）または、 「ﾀｶﾀﾞ△ﾛｸﾛｳ」（カナ使用）と設定する	
2	事業所情報数	数字	１～３	設定した事業所情報の数を１から９９９の範囲で１文字以上３文字以内で設定する （例）設定する事業所情報が９事業所分ある場合、 「009」を設定する 上記以外に「9」または「09」を設定してもよい	イ

表５．４．２．１－１事業所管理レコード(年金事務所提出)の項目説明(事業所情報)

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	事業所整理記号	都道府県コード	数字	2	届書の作成、提出を委託した適用事業所の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第４章（Ｐ４．３－６～Ｐ４．３－７）の設定内容と同様である 設定時の注意点は以下のとおりである ・媒体の提出先である年金事務所の管轄区内の事業所の情報を設定する ・媒体に収録する届出内容に対応した事業所の情報を設定する ・データレコードに収録がない事業所の情報を設定することも可能である	ウ,ソ,ヒ
2		郡市区符号	数字	2		ヨ,タ,フ
3		事業所記号	数字 英字 カナ	１～４		オ,チ,ヘ
4	事業所番号		数字	１～５		カ,ツ,ホ
5	郵便番号	親番号	数字	3		キ,テ,マ
6		子番号	数字	4		ク,ト,ミ
7	事業所所在地		漢字	１～３７		ケ,ナ,ム
			数字 英字 カナ	１～７５		
8	事業所名称		漢字	１～２５		コ,ニ,メ
			カナ	１～５０		
9	事業主氏名		漢字	１～１２		サ,ヌ,モ
			カナ	１～２５		
１０	電話番号	局番１	数字	２～５		シ,ネ,ヤ
１１		局番２	数字	１～４		ス,ノ,ユ
１２		局番３	数字	４～５		セ,ハ,ヨ

表５．４．２．１－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名		設　　定　　内　　容
社会保険労務士氏名		田中　五郎
事業所情報数		２
事業所情報１	事業所整理記号	０１－ケイト
	事業主番号氏名	１２３
	事業所所在地	〒１００－００００　東京都千代田区霞が関１－２－２
	事業所名称	健保サービス株式会社
	事業主氏名	健保　良一
	事業所電話番号	０３－１２３４－５６７８
事業所情報２	事業所整理記号	５７－ケマ
	事業主番号氏名	
	事業所所在地	〒１６８－８５０５　東京都杉並区高井戸３－５－２４
	事業所名称	株式会社健保産業
	事業主氏名	健保　一郎
	事業所電話番号	０３－２３４５－６７８９

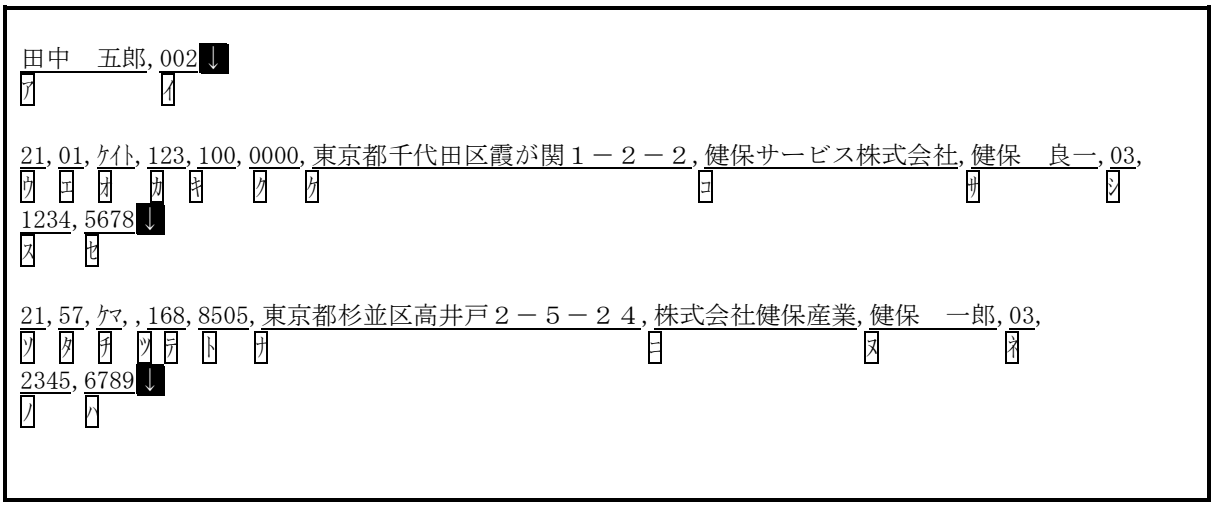


図５．４．２．１－２　事業所管理レコード（年金事務所提出）の作成例

５．４．２．２　事業所管理レコード（健康保険組合提出）

社会保険労務士名、事業所情報数および事業所情報（最大９９９）を設定する。

・レコードの項目構成は、図５．４．２．２－１のとおりである
・レコードの各項目の説明は、表５．４．２．２－１のとおりである
・レコードに設定する内容は、表５．４．２．２－２のとおりである
・表５．４．２．２－２に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、
　図５．４．２．２－２のとおりである

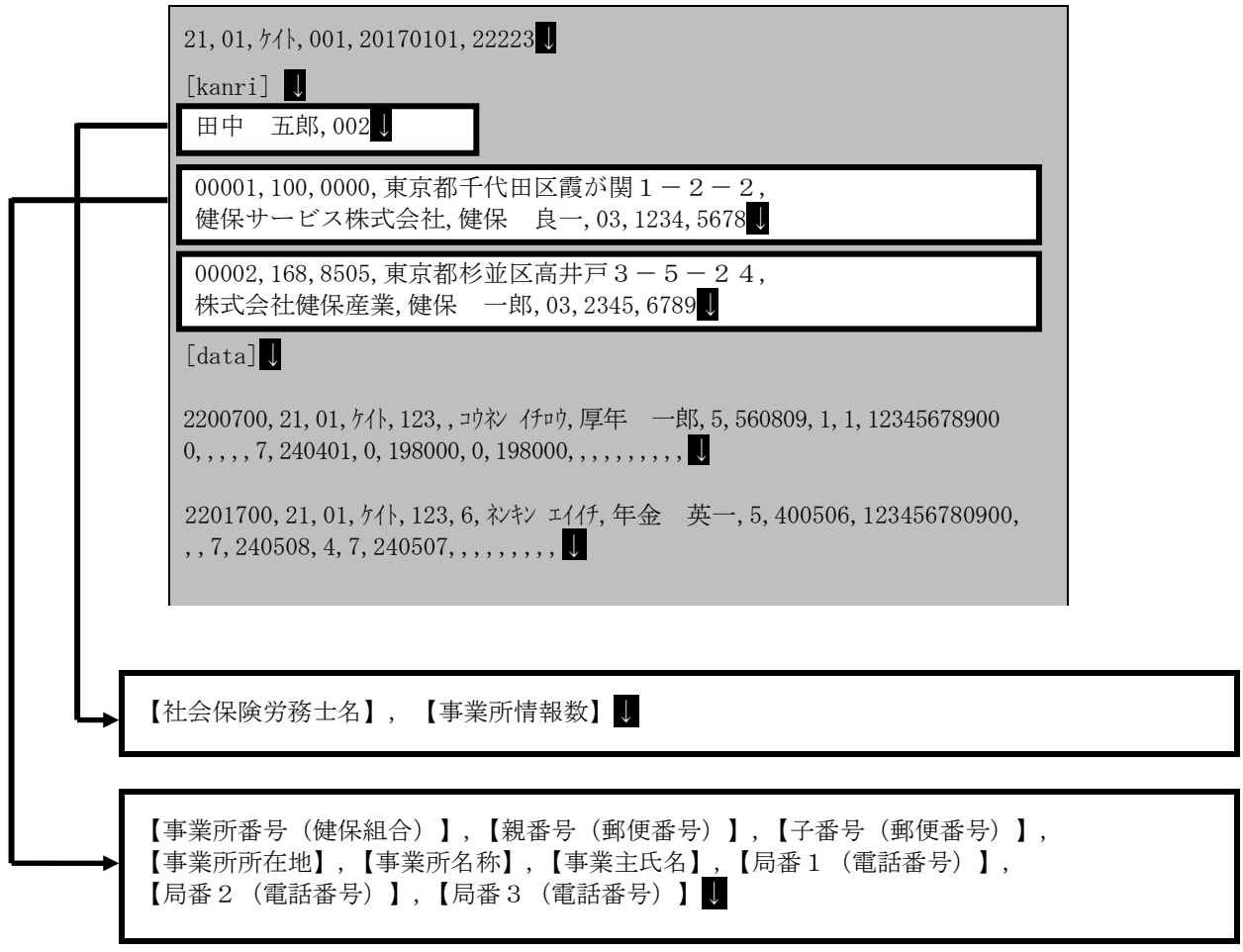


図５．４．２．２－１事業所管理レコード（健康保険組合提出）の項目構成

表５．４．２．２－１ 事業所管理レコード(健康保険組合提出)の項目説明(事業所数情報)

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
1	社会保険労務士名	漢字	１～１２	社会保険労務士の氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）社会保険労務士氏名が「田中 五郎」の場合 「田中△五郎」と設定する 社会保険労務士氏名が「田中 K 五郎」の場合 「田中△ケイ△五郎」と設定する	ア
		カナ	１～２５	なお、氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または社会保険労務士氏名全てを２５文字以内のカナで設定する （例）社会保険労務士氏名が「髙田 六郎」（“髙”は使用不可文字）の場合、 「高田△六郎」（代替え文字使用）または、 「ﾀｶﾀﾞ△ﾛｸﾛｳ」（カナ使用）と設定する	
2	事業所情報数	数字	１～３	設定した事業所情報の数を１から９９９の範囲で１文字以上３文字以内で設定する （例）設定する事業所情報が９事業所分ある場合、 「009」を設定する 上記以外に「9」または「09」を設定してもよい	イ

表５．４．２．２－１ 事業所管理レコード(健康保険組合提出)の項目説明（事業所数情報）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	事業所番号（健保組合）		数字 英字	１～５	届書の作成、提出を委託した適用事業所の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第４章（４．３－１０～４．３－１１）の設定内容と同様である 設定時の注意点は以下のとおりである ・媒体の提出先である健康保険組合に加入している事業所の情報を設定する ・媒体に収録する届出内容に対応した事業所の情報を設定する ・データレコードに収録がない事業所の情報を設定することも可能である	ウ, シ, ナ
2	郵便番号	親番号	数字	３		エ, ス, ニ
3		子番号	数字	４		オ, セ, ヌ
4	事業所所在地		漢字	１～３７		カ, ソ, ネ
			数字 英字 カナ	１～７５		
5	事業所名称		漢字	１～２５		キ, タ, ノ
			カナ	１～５０		
6	事業主氏名		漢字	１～１２		ク, チ, ハ
			カナ	１～２５		
7	電話番号	局番１	数字	２～５		ケ, ツ, ヒ
8		局番２	数字	１～４		コ, テ, フ
9		局番３	数字	４～５		サ, ト, ヘ

表５．４．２．２－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名		設　　定　　内　　容
社会保険労務士氏名		田中　五郎
事業所情報数		２
事業所情報１	事業所番号（健保組合）	００００１
	事業所所在地	〒１００－００００　東京都千代田区霞が関１－２－２
	事業所名称	健保サービス株式会社
	事業主氏名	健保　良一
	事業所電話番号	０３－１２３４－５６７８
事業所情報２	事業所番号（健保組合）	００００２
	事業所所在地	〒１６８－８５０５　東京都杉並区高井戸３－５－２４
	事業所名称	株式会社健保産業
	事業主氏名	健保　一郎
	事業所電話番号	０３－２３４５－６７８９

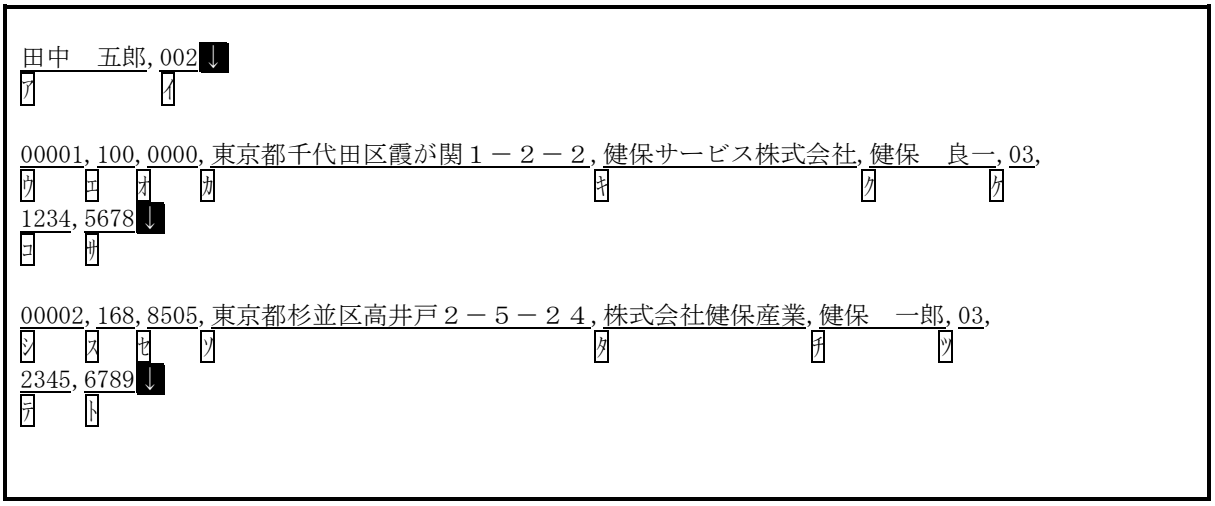


図５．４．２．２－２　事業所管理レコード（健康保険組合提出）の作成例

５．４．２．３　事業所管理レコード（厚生年金基金提出）

社会保険労務士名、事業所情報数および事業所情報（最大９９９）を設定する。

・レコードの項目構成は、図５．４．２．３－１のとおりである
・レコードの各項目の説明は、表５．４．２．３－１のとおりである
・レコードに設定する内容は、表５．４．２．３－２のとおりである
・表５．４．２．３－２に示す社会保険労務士が提出する場合の作成例は、
　図５．４．２．３－２のとおりである

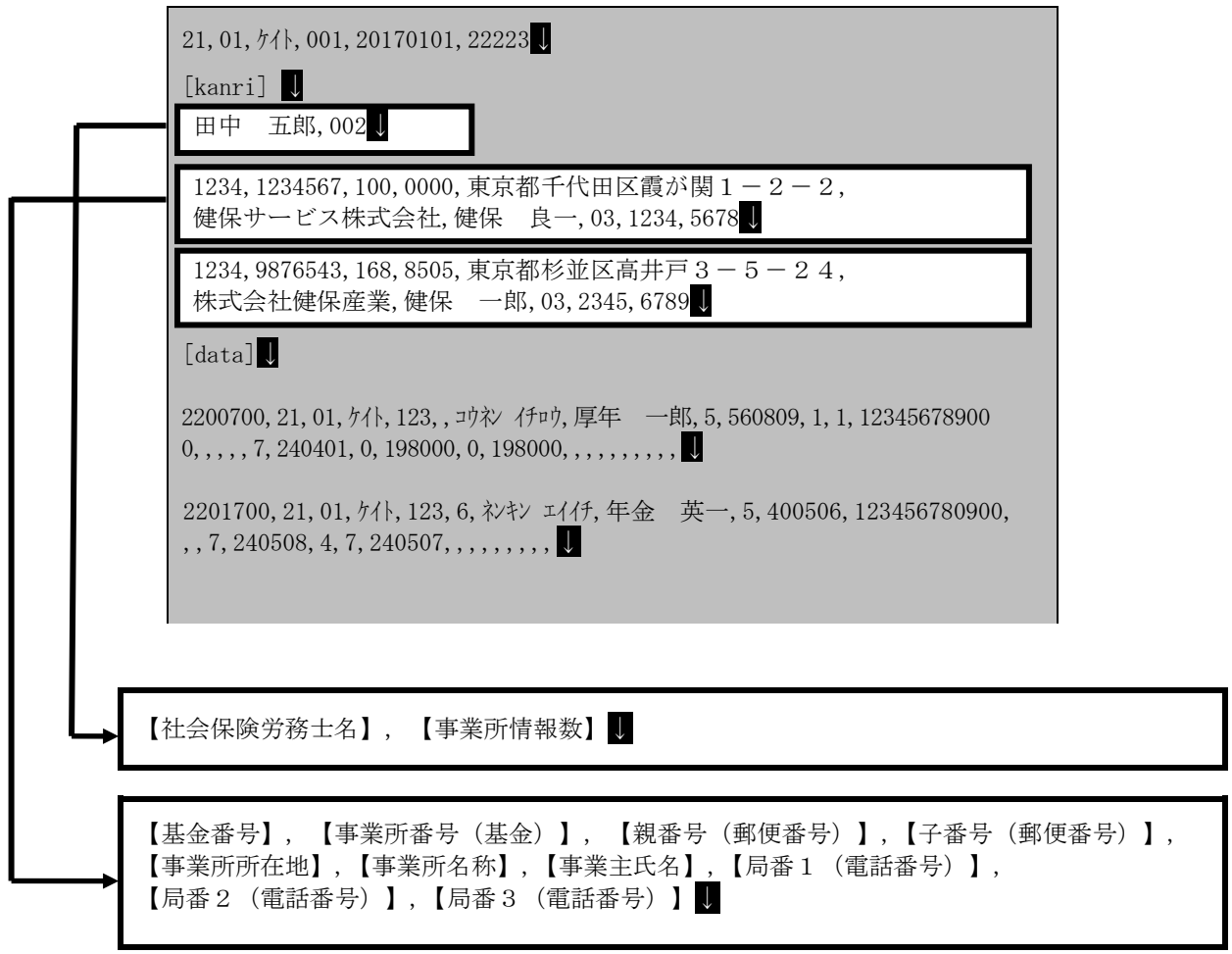


図５．４．２．３－１事業所管理レコード（厚生年金基金提出）の項目構成

表５．４．２．３－１ 事業所管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明（事業所数情報）

項番	項　目　名	種別	文字数	設　　定　　内　　容	作成例
1	社会保険労務士名	漢字	１～１２	社会保険労務士の氏名を漢字で設定する 姓と名の間に全角スペースを１文字設定する ミドルネームを設定する場合は、ミドルネームの前後に全角スペースを１文字設定する （例）社会保険労務士氏名が「田中 五郎」の場合 「田中△五郎」と設定する 社会保険労務士氏名が「田中 K 五郎」の場合 「田中△ケイ△五郎」と設定する	ア
		カナ	１～２５	なお、氏名に「３．４　コード規定」で使用不可とした文字が含まれる場合は、代替え文字を使用するか、または社会保険労務士氏名全てを２５文字以内のカナで設定する （例）社会保険労務士氏名が「髙田 六郎」（“髙”は使用不可文字）の場合、 「高田△六郎」（代替え文字使用）または、 「ﾀｶﾀﾞ△ﾛｸﾛｳ」（カナ使用）と設定する	
2	事業所情報数	数字	１～３	設定した事業所情報の数を１から９９９の範囲で１文字以上３文字以内で設定する （例）設定する事業所情報が９事業所分ある場合、 「009」を設定する 上記以外に「9」または「09」を設定してもよい	イ

表５．４．２．３－１ 事業所管理レコード(厚生年金基金提出)の項目説明（事業所数情報）

項番	項目名		種別	文字数	設定内容	作成例
1	基金番号		数字	１～４	届書の作成、提出を委託した適用事業所の情報を設定する 各項目ごとの設定内容は第４章（４．３－１４～４．３－１５）の設定内容と同様である 設定時の注意点は以下のとおりである ・媒体の提出先である厚生年金基金に加入している事業所の情報を設定する ・媒体に収録する届出内容に対応した事業所の情報を設定する ・データレコードに収録がない事業所の情報を設定することも可能である	ウ,ス,ヌ
2	事業所番号（基金）		数字 英字	１～７		エ,セ,ネ
3	郵便番号	親番号	数字	３		オ,ソ,ノ
4		子番号	数字	４		カ,タ,ハ
5	事業所所在地		漢字	１～３７		キ,チ,ヒ
			数字 英字 カナ	１～７５		
6	事業所名称		漢字	１～２５		ク,ツ,フ
			カナ	１～５０		
7	事業主氏名		漢字	１～１２		ケ,テ,ヘ
			カナ	１～２５		
8	電話番号	局番１	数字	２～５		コ,ト,ホ
9		局番２	数字	１～４		サ,ナ,マ
１０		局番３	数字	４～５		シ,ニ,ミ

表５．４．２．３－２　提出媒体の情報（例）

項　目　名		設　　定　　内　　容
社会保険労務士氏名		田中　五郎
事業所情報数		２
事業所情報１	基金番号	１２３４
	事業所番号（基金）	１２３４５６７
	事業所所在地	〒１００－００００　東京都千代田区霞が関１－２－２
	事業所名称	健保サービス株式会社
	事業主氏名	健保　良一
	事業所電話番号	０３－１２３４－５６７８
事業所情報２	基金番号	１２３４
	事業所番号（基金）	９８７６５４３
	事業所所在地	〒１６８－８５０５　東京都杉並区高井戸３－５－２４
	事業所名称	株式会社健保産業
	事業主氏名	健保　一郎
	事業所電話番号	０３－２３４５－６７８９

```
田中　五郎, 002↓
ｱ　　ｲ

1234, 1234567, 100, 0000, 東京都千代田区霞が関１－２－２, 健保サービス株式会社, 健保　良一, 03,
ｳ　　ｴ　　ｵ　　ｶ　　ｷ　　ｸ　　ｹ　　ｺ
1234, 5678↓
ｻ　　ｼ

1234, 9876543, 168, 8505, 東京都杉並区高井戸２－５－２４, 株式会社健保産業, 健保　一郎, 03,
ｽ　　ｾ　　ｿ　　ﾀ　　ﾁ　　ﾂ　　ﾃ　　ﾄ
2345, 6789↓
ﾅ　　ﾆ
```

図５．４．２．３－２　事業所管理レコード（厚生年金基金提出）の作成例

参考資料１

ＪＩＳコード→シフトＪＩＳコードシフト方法

今回使用するシフトＪＩＳコードについて、ＪＩＳコードからのシフト方法は以下のとおりである。

ＪＩＳコードにおける上位バイトを$ＨＩＧＨ_1$、下位バイトを$ＬＯＷ_1$とし、条件に従って以下の計算を（１）～（４）の順番で行う。

（１）$ＨＩＧＨ_1$が奇数の場合	$ＬＯＷ_2$＝$ＬＯＷ_1$＋１Ｆ
$ＨＩＧＨ_1$がそれ以外の場合	$ＬＯＷ_2$＝$ＬＯＷ_1$＋７Ｄ
（２）$ＬＯＷ_2$が７Ｆ以上の場合	$ＬＯＷ_3$＝$ＬＯＷ_2$＋１
それ以外の場合	$ＬＯＷ_3$＝$ＬＯＷ_2$（計算なし）
（３）無条件（必ず行う）	$ＨＩＧＨ_2$＝（$ＨＩＧＨ_1$－２１）／２＋８１
（４）$ＨＩＧＨ_2$が９Ｆより大きい場合	$ＨＩＧＨ_3$＝$ＨＩＧＨ_2$＋４０
それ以外の場合	$ＨＩＧＨ_3$＝$ＨＩＧＨ_2$（計算なし）

シフトＪＩＳコードにおける上位バイトは$ＨＩＧＨ_3$、下位バイトは$ＬＯＷ_3$となる

（計算例）「亜」（ＪＩＳコード３０２１）のシフト方法

$ＨＩＧＨ_1$＝３０　$ＬＯＷ_1$＝２１

（１）$ＨＩＧＨ_1$＝３０は偶数（１０進数に直すと４８）であるため

$ＬＯＷ_2$＝２１＋７Ｄ

＝９Ｅ

（２）$ＬＯＷ_2$＝９Ｅ≧７Ｆであるため

$ＬＯＷ_3$＝９Ｅ＋１

＝９Ｆ

（３）$ＨＩＧＨ_2$＝（３０－２１）／２＋８１

＝８８

（４）計算なし（$ＨＩＧＨ_2$＝８８＜９Ｆであるため）

→「亜」のシフトＪＩＳコードは８８９Ｆとなる

参考資料２

使用可能文字一覧（2バイト文字）

注意事項：下記の文字は出力例であり、資格確認書等に印字される字形とは異なる場合があります。

1. 特殊文字

ｼﾌﾄJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8140	SP	、	。	,	.	・	:	;	?	!	゛	°	´	`	¨	^
8150	￣	_	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	-	／	＼
8160	～	∥	|	…	‥	‘	’	“	”	(	)	〔	〕	[	]	{
8170	}	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	
8180	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
8190	$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆
81A0	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	＝			

2. 数字

ｼﾌﾄJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8240																0
8250	1	2	3	4	5	6	7	8	9							

3. ローマ字

ｼﾌﾄJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8260	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
8270	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
8280		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
8290	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					

4. 平仮名

ｼﾌﾄJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8290																ぁ
82A0	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け
82B0	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち
82C0	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
82D0	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み	む	め
82E0	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ
82F0	を	ん														

5. 片仮名

ｼﾌﾄJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8340	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ
8350	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ
8360	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ
8370	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ	
8380	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
8390	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									

6. ギリシア文字

ｼﾌﾄJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8390																Α
83A0	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ
83B0	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω									α
83C0	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
83D0	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω									

7. ロシア文字

ｼﾌﾄJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8440	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
8450	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю
8460	Я															
8470	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
8480	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
8490	ю	я														

8. 漢字(第一水準)

ｼﾌﾄJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8890																亜
88A0	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦
88B0	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷
88C0	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
88D0	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃	萎	衣
88E0	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨
88F0	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭			
8940	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓
8950	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲
8960	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴
8970	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円	
8980	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
8990	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	押
89A0	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶
89B0	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価
89C0	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
89D0	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨	迦	過
89E0	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会
89F0	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改			
8A40	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外
8A50	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣
8A60	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚
8A70	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫	
8A80	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
8A90	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	粥
8AA0	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官
8AB0	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢
8AC0	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
8AD0	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸	巌	玩
8AE0	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇
8AF0	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄			
8B40	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌
8B50	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇
8B60	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍
8B70	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救	
8B80	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
8B90	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	供
8BA0	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯
8BB0	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響
8BC0	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
8BD0	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟	謹	近
8BE0	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具
8BF0	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈			
8C40	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫
8C50	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契
8C60	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
8C70	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨	
8C80	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
8C90	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	検
8CA0	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険
8CB0	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺
8CC0	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
8CD0	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互	伍	午
8CE0	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉
8CF0	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向			
8D40	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘
8D50	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩
8D60	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔
8D70	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降	
8D80	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
8D90	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	此
8DA0	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮
8DB0	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐
8DC0	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
8DD0	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在	材	罪
8DE0	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾
8DF0	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷			
8E40	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三
8E50	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸
8E60	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉
8E70	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止	
8E80	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
8E90	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	次
8EA0	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識
8EB0	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質
8EC0	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
8ED0	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵	酌	釈
8EE0	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣
8EF0	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周			
8F40	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆
8F50	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎	柔
8F60	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出
8F70	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳	
8F80	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
8F90	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	勝
8FA0	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄
8FB0	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵
8FC0	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
8FD0	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤	鉦	鍾
8FE0	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾
8FF0	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾			
9040	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇
9050	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神
9060	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵
9070	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨	
9080	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
9090	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	澄
90A0	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星
90B0	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請
90C0	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
90D0	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設	窃	節
90E0	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
90F0	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線			
9140	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前
9150	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙
9160	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双
9170	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻	
9180	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
9190	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	臓
91A0	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊
91B0	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多	太	汰
91C0	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
91D0	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸	退	逮
91E0	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托
91F0	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只			
9240	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹
9250	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆
9260	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛
9270	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄	
9280	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
9290	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	帖
92A0	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹
92B0	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕	沈	珍
92C0	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
92D0	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴
92E0	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵
92F0	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓			
9340	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹
9350	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点
9360	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登
9370	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬	
9380	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
9390	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	董
93A0	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同
93B0	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿	得	徳
93C0	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
93D0	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍	奈	那
93E0	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難
93F0	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入			
9440	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念
9450	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿	農
9460	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳
9470	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅	
9480	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
9490	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	函
94A0	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪
94B0	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反	叛	帆
94C0	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
94D0	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇	彼	悲
94E0	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費
94F0	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美			
9540	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧
9550	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹	廟
9560	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓
9570	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷	
9580	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
9590	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	福
95A0	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
95B0	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平	弊	柄
95C0	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
95D0	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪	圃	捕
95E0	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包
95F0	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋			
9640	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽
9650	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某	棒
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
9680	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
9690	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	漫
96A0	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民
96B0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命	明	盟
96C0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄
96D0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅	尤	戻
96E0	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄
96F0	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒			
9740	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌
9750	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	誉
9760	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔
9770	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲	
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	痢
97A0	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留
97B0	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌	寮	料
97C0	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
97D0	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累	類	令
97E0	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦
97F0	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			
9840	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼
9850	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録	論
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀
9870	湾	碗	腕													

9. 漢字(第2水準)

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9890																弍
98A0	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	事	舒	弐
98B0	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗	仞	仭
98C0	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
98D0	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤	俥	倚
98E0	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假
98F0	會	偕	偐	偈	做	俸	俺	偸	傀	傚	傅	傴	傲			
9940	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖
9950	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	競	兩
9960	兪	兮	冀	冂	冏	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩
9970	冪	冫	決	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭	
9980	凰	凵	函	刃	刋	刎	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
9990	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劒	劒	劔	劈	劑	辨	辦
99A0	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹
99B0	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區	卆	卅
99C0	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
99D0	厰	厶	參	篡	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叼	吁	吽	呀	听
99E0	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	咳	呱	呷	呰	咒	呻
99F0	咀	呟	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨			
9A40	咫	哂	咤	咾	哽	哿	哥	哦	唏	唔	哽	唹	哭	哺	唁	唸

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9A50	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	唯	喙	喀	咯	喊	喟
9A60	啻	啾	喘	喞	單	喫	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤
9A70	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸	
9A80	噫	噤	噸	噬	噪	噺	噦	噣	噭	噮	噓	噫	噺	嚏	嚔	嚴
9A90	嚼	嚥	嚮	嚶	嚴	嚼	囁	囃	口	囘	囝	囝	囿	圃	圉	圈
9AA0	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圠	圻	圵	圾	圻	址	坏	坩	埀
9AB0	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垉	埃	埆	埔	埒	埒	埜
9AC0	埴	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	塹	毀	塒	堲	塹	墅
9AD0	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壜	壘	壌
9AE0	壟	壯	壺	壹	壻	壺	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	本
9AF0	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奩	奧	奬	奩			
9B40	奸	妁	妝	佞	佚	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑
9B50	娜	娉	娚	婀	娙	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽
9B60	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃
9B70	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀	
9B80	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
9B90	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	屐
9BA0	屏	孱	屬	屮	山	岑	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岼	岵	岻	岼
9BB0	岷	岨	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嵎	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛
9BC0	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶄	嶂	嶂
9BD0	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶸	嵷	嶼	嶲	嶺	嶷	巒	巖	巛	巫	已
9BE0	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢
9BF0	幣	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏			
9C40	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾
9C50	弃	弉	彝	彜	弋	弍	弓	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑
9C60	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙
9C70	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠	
9C80	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	悁
9C90	悒	悧	悩	悳	悸	恤	悁	悟	悤	恙	悁	悍	悋	悃	悚	悄
9CA0	悛	悖	悗	悃	悷	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘
9CB0	慍	愕	愆	惶	愈	愀	慊	慥	愃	慇	慼	慱	憂	慙	憮	慌
9CC0	慤	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慝	慄	慳	慷	慘	憖	慚	慫
9CD0	慴	慯	慥	慱	慟	憑	慓	憮	憙	慙	憩	憬	憔	憚	憊	憑
9CE0	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶
9CF0	戁	戄	戇	戞	戡	戩	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛			
9D40	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂
9D50	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	挐	拿	拆	擔	拈
9D60	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拾	捐
9D70	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫	
9D80	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
9D90	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	據
9DA0	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶
9DB0	擴	擲	擺	攀	攙	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	收	攸	
9DC0	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
9DD0	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊	昃	昇
9DE0	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢
9DF0	晰	暴	暈	暎	暉	暄	暘	暝	暹	曉	暾	暼				
9E40	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曳	曷	朏	朖	朞	朦	朧
9E50	霸	朮	朿	朶	杁	朸	杓	杏	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩
9E60	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞
9E70	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎	
9E80	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	栟	桴
9E90	梵	梠	桻	梴	梱	梪	梯	某	梱	棘	棡	棱	棡	棍	棔	棔
9EA0	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椀	椥
9EB0	楡	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞
9EC0	楝	榃	榱	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	榻	槝	榠

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9ED0	樋	樮	槫	槙	榜	榕	榴	槞	榔	樂	樛	槿	權	槨	槲	槧
9EE0	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	榕	樒	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸
9EF0	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣			
9F40	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫺	欄	櫟	櫛	櫑	櫪	櫻	欅
9F50	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	欽
9F60	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪
9F70	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯	
9F80	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
9F90	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	沺
9FA0	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣
9FB0	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸
9FC0	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淥	淪	淮	渭	湮	渮
9FD0	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤	滿	渝
9FE0	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂
9FF0	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌			
E040	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎
E050	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱
E060	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	瀦	瀝	瀘	瀟	瀰
E070	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝	
E080	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熙	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
E090	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	燹
E0A0	燿	燦	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘
E0B0	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒
E0C0	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
E0D0	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獣	獵	獻	獺	珈	玳	珎	玻	珀
E0E0	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜
E0F0	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱			
E140	甎	甕	甃	甅	甍	甦	甬	甼	畄	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
E150	畧	畺	當	甦	甬	甼	畄	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畺
E160	畫	畛	畸	當	疆	疇	畴	疊	疂	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂
E170	疳	疾	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿	
E180	痼	痒	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
E190	瘰	瘻	癇	癈	癆	癌	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	癲
E1A0	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皹	皺
E1B0	皿	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盼	眈	眇	眄	眩
E1C0	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
E1D0	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	瞼	矇	矍	矚
E1E0	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硼	碆	磡	磆	磔
E1F0	碣	碵	碪	磆	磴	磑	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬			
E240	磧	磚	磽	磴	礁	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕
E250	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬
E260	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	稔	稜	稗
E270	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰	
E280	竇	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竚	竝	竡	竢	竦	竭
E290	竰	竭	端	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	筺
E2A0	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	箝	箋	箚	箘	箙	箝	箋
E2B0	箍	箜	箒	箋	箒	箏	箏	箙	篋	篁	篌	篏	篋	篆	篝	篩
E2C0	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簔	篶	簀	簀	簔
E2D0	簟	簔	簫	簸	簔	籃	籔	籏	籀	籐	籐	籟	籤	籤	籥	籬
E2E0	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粨	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀
E2F0	糅	糘	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆			
E340	紂	紜	紕	紊	絅	紘	紮	絏	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨
E350	絮	絏	絣	經	綉	條	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫
E360	總	綢	綯	縣	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	緬
E370	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繩	縻	縵	縹	繃	縷	
E380	繧	繝	繖	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	繿	繽	繿

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E390	瀞	纔	纈	纉	續	纏	纈	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	罅
E3A0	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罸	罰	罳	罷
E3B0	罹	羂	羈	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱
E3C0	翅	翠	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
E3D0	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨	聳	聲
E3E0	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥
E3F0	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋			
E440	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂
E450	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉
E460	臍	臑	臙	臘	膿	臚	臟	臺	臧	臺	臻	與	舁	舂	舅	與
E470	舊	舍	舐	舗	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤	
E480	艦	艪	艫	艱	艮	艱	艶	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
E490	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	茵
E4A0	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	荔	莅	莚	莪	莟
E4B0	莢	莖	莫	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	荵	莉	莨	菴	菅	菫
E4C0	菎	菽	萃	菘	萋	菁	萫	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
E4D0	萩	葭	葑	萼	蓼	蒄	葦	葫	葡	葭	蒂	葩	葆	萬	葯	葹
E4E0	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蓀	蓐	蓁	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡
E4F0	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈			
E540	蕁	藥	藍	藉	藴	藤	藹	藺	藾	蘆	蘢	蕷	薛	薮	薇	薜
E550	薗	薤	薫	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋
E560	藾	藺	蘆	龍	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩
E570	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬	
E580	蛟	蛛	蛯	蛭	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蜒	蜩	蜴	蜿
E590	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	蝓
E5A0	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	蟲	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇
E5B0	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠑	蠖	蠍	蠖	蠕	蠢
E5C0	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	衰
E5D0	衵	衽	衿	袂	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿	袱	裃
E5E0	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃
E5F0	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞			
E640	襦	襤	襭	襪	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬
E650	覯	覲	覿	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐
E660	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂
E670	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧	
E680	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謗	謠	謔
E690	謾	謫	譓	謫	謳	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	譟
E6A0	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讃	砌	豁	谿	豈
E6B0	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貍	貎	貔	豼	貘
E6C0	貟	貶	貭	貪	貽	貲	貳	貳	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
E6D0	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧	赭	赱
E6E0	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣
E6F0	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊			
E740	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇
E750	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躙	軀	躰	體	躱	軅
E760	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟
E770	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	轆	轎	轗	轜	轢	轣		
E780	轤	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
E790	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	達	逝	遏
E7A0	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽
E7B0	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙
E7C0	鄢	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醫	醢	
E7D0	醪	醸	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釜	釗	釰	釵	釶
E7E0	鈎	鈑	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐
E7F0	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	錙	錮			
E840	錙	錢	錚	錣	錻	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔

シフトJIS	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
E850	鋭	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鏸	鐔	鐓	鐃	鐇
E860	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰
E870	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閃	閖	閘	閙	
E880	閾	閹	閻	閼	閿	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
E890	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陛	陝
E8A0	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隷
E8B0	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑
E8C0	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
E8D0	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜
E8E0	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	齒	竟	韶	韵
E8F0	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顦	顯	顰			
E940	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飜	飩	飫	餃	餉	餒	餔
E950	餘	餡	餝	餞	餤	餅	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑
E960	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮
E970	駱	駲	駸	駻	駾	騏	騅	騁	騙	騫	騒	驅	驂	驀	驃	
E980	驟	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
E990	髏	髑	髓	體	髞	髟	髱	髣	髴	髷	髪	髯	髱	髷	髴	髷
E9A0	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬩	鬮	鬪	鬻	鬯	鬲	魄	魅
E9B0	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鮹
E9C0	鯊	鯏	鯑	鯒	鯑	鯒	鰚	鯣	鯢	鯒	鰆	鰺	鯵	鯱	鯰	鰕
E9D0	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰔	鰛	鰡	鰰	鰯	鰮	鰹	鰺
E9E0	鰲	鰳	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆
E9F0	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鴇	鴿	鴾	鵆	鵈	鵝		
EA40	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵆	鵠	鶇	鶉	鶏	鶫	鵺	鶚	鶻	鶲	鷁
EA50	鶺	鷁	鶻	鶸	鷆	鷏	鷙	鷓	鷸	鷆	鷭	鷯	鷦	鷲	鷸	鷹
EA60	鷺	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麒	麕	麗	麝	麥	麩	麹	
EA70	麺	麭	黌	黼	黎	黏	黝	黝	黠	黝	黠	黠	黨	黯		
EA80	黴	黶	黷	黼	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼬	鼾	齊	齒	
EA90	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	堯
EAA0	槇	遙	瑤	凜	熙											

参考資料３

都道府県コード一覧

No	都道府県コード	漢字都道府県名
1	01	北海道
2	02	青森県
3	03	岩手県
4	04	宮城県
5	05	秋田県
6	06	山形県
7	07	福島県
8	08	茨城県
9	09	栃木県
10	10	群馬県
11	11	埼玉県
12	12	千葉県
13	21	東京都
14	31	神奈川県
15	32	新潟県
16	33	富山県
17	34	石川県
18	35	福井県
19	36	山梨県
20	37	長野県
21	38	岐阜県
22	39	静岡県
23	41	大阪府
24	42	兵庫県
25	51	愛知県
26	52	三重県
27	53	滋賀県
28	54	京都府
29	55	奈良県
30	56	和歌山県
31	57	鳥取県
32	58	島根県
33	59	岡山県
34	60	広島県
35	61	山口県
36	71	徳島県
37	72	香川県
38	73	愛媛県
39	74	高知県
40	75	福岡県
41	76	佐賀県
42	77	長崎県
43	78	熊本県
44	79	大分県
45	80	宮崎県
46	81	鹿児島県
47	82	沖縄県